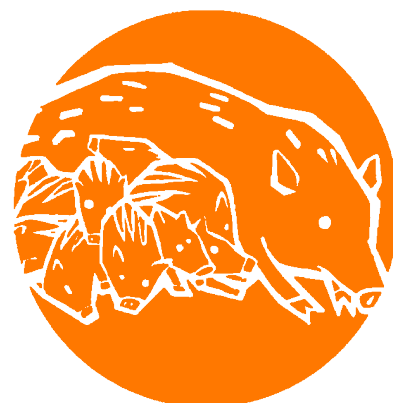
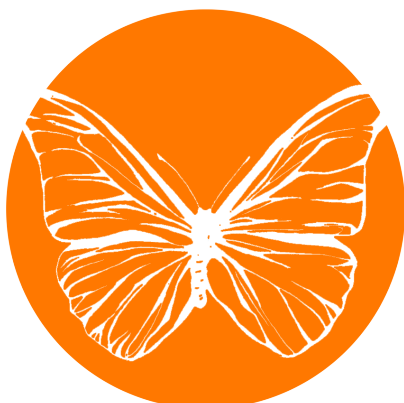


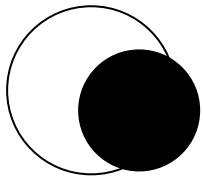
-平成20年度-

館報

2008

vol. 17





はじめに

08年度の館報をお届けするのは09年度も終りに近づく頃で、この稿を書く時は09年度のことで頭がいっぱいになっています。09年度の頭で、しかし08年度の「はじめに」をまとめます。

新展開も第2期に入って2年目、もはや新という字は必要ないくらいひとはくでは新展開で定着した博物館活動を日常活動のうちに生かしつつあります。08年度には課題ごとに構成したタスクフォースが有効に機能したこともあって、博物館の基盤を強める研究活動と平行して、育てている能力を博物館活動に集中して展開することができ、それなりの成果をあげることができました。

08年度には国内の主要5博物館がフランスの自然史博物館と共催した「ファール展」に参画しました。07年以来2年目の最後にあたったこの巡回展を起点に、兵庫県とフランスアペロン県との準姉妹県の関係を発展させた国際フォーラムを含むファール大作戦が成功裏に展開されました。

注目を浴びている篠山層群の化石は、丹波市だけでなく篠山市にも発掘場所が広がり、恐竜に加えて哺乳類などさらに学術的に興味ある材料が発見されました。丹波市上久下地区の恐竜化石の発掘は第2次も成果をあげ、市民と恐竜を共有するひとはく恐竜ラボが山南町に開設されました。

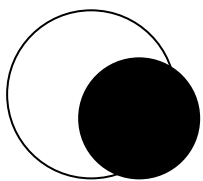
生物多様性にかかわる社会への発信としては、4月に里山を主題に、環境省と共催で G8環境大臣会合記念シンポジウムを開催しました。また、環境基本法の趣旨に則って編まれた生物多様性ひょうご戦略の策定にあたっては、ひとはくは県の自然環境課に協力して事務局機能を下支えしました。

協働の輪を拡げる活動のうちでも目玉のひとつと位置づけられる共生のひろばは4回目となりましたが、08年度もホロンピアホールの広い会場で熱気が溢れる交流の場を育てています。また、県立大学大学院では、ひとはくで学んだ修士の第1期生8名が巣立っていきました。入学生全員が無事にコースを終了するという好成績で、ここでも協働の輪を拡げる活動に着実な成果を見ています。

目玉になる活動とその成果を拾い上げても、限られた人的資源と予算で、よくこれだけのことができたものと自画自賛するところです。しかし、もっと大切なことは、目玉が浮かび上がるに十分な基盤的な活動が日常的に推進されていることが、これら目に見える確かな成果につながっているという事実です。意欲が先走りしてつぶれてしまう館員がないように祈りながら、08年度の活動実績を反省し、さらなる成果に向けた活動を押し進めたいと念じます。

積極的な活動が見える範囲では、ひとはくの活動も、博物館関連業界内や兵庫県下ではそれ相当に評価していただけるようになっていると見せてもらっています。しかし、世間一般からいえば、まだまだ博物館の意義が理解されるには道遠しといわねばなりません。最近も、博物館の赤字体質がメディアで話題になることがありました。世間では、学校の赤字などはあまり深刻には考えられず、むしろ次世代育成のための増資が課題として取り上げられます。人類の未来を考えれば当然のことです。しかし、教育といえば学校教育しか考えられない発想を改めなければ、日本人の学習意欲が振興され、錬磨されることは期待できません。そのための博物館の役割がまだまだ認知されるのにほど遠いという現実にはきびしいものがあります。10年前なら博物館に資金を投入しても効果が期待されないという意見にも一理あったかもしれません。しかし、最近10年間における博物館関連団体の活動は刮目に値するものです。人と自然の博物館も、その先頭を切って前向きの貢献に成果をあげつつあると自負します。08年度の館報が、それを具体的に示す内容になっていると期待します。

兵庫県立人と自然の博物館
館長 岩槻 邦男



目 次

■組織及び施設概要

・ 沿革	4
・ 機能	5
・ 常設展示の概要	6
・ 施設の概要	8
・ 組織と職員	1 1
・ 各研究部の概要	1 4

■平成 20 年度事業報告

・ ひとくはくトピックス	1 6
・ タスクフォース活動報告	2 5
・ 平成 20 年度事業報告	2 9

■資料および個人別成果

○博物館概要等に関連する資料

・ 主な収蔵資料	3 8
・ 情報システム	3 9
・ 条例等	4 1
・ 博物館協議会委員名簿	4 7

○個人別成果報告に関する資料

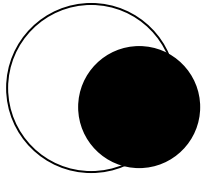
・ 館長	4 8
・ 自然・環境評価研究部	5 1
・ 自然・環境マネジメント研究部	8 0
・ 自然・環境再生研究部	1 1 1
・ 個人成果報告一覧	1 2 5

○博物館事業報告に関連する資料

・ セミナー一覧	1 2 9
・ 企画展等一覧	1 3 7
・ 企画展関連講座	1 3 8
・ 生徒・学生等の受け入れ状況	1 4 0
・ 学校教育支援プログラム	1 4 2
・ 平成 19～20 年度 2 年間学校団体連続入館状況	1 4 3
・ 来館一般団体一覧	1 4 4
・ 来館学校団体一覧	1 4 8
・ 共催および協力事業等	1 5 0
・ サイエンスショー2008 出展者一覧	1 5 6
・ ひとくはくフェスティバル' 08 参画団体	1 5 7
・ フロアサービス実績一覧	1 5 9
・ 外部資金導入状況	1 6 0

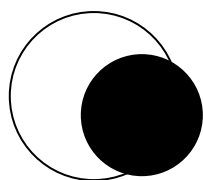
利用案内	1 6 2
------	-------

組織及び施設概要

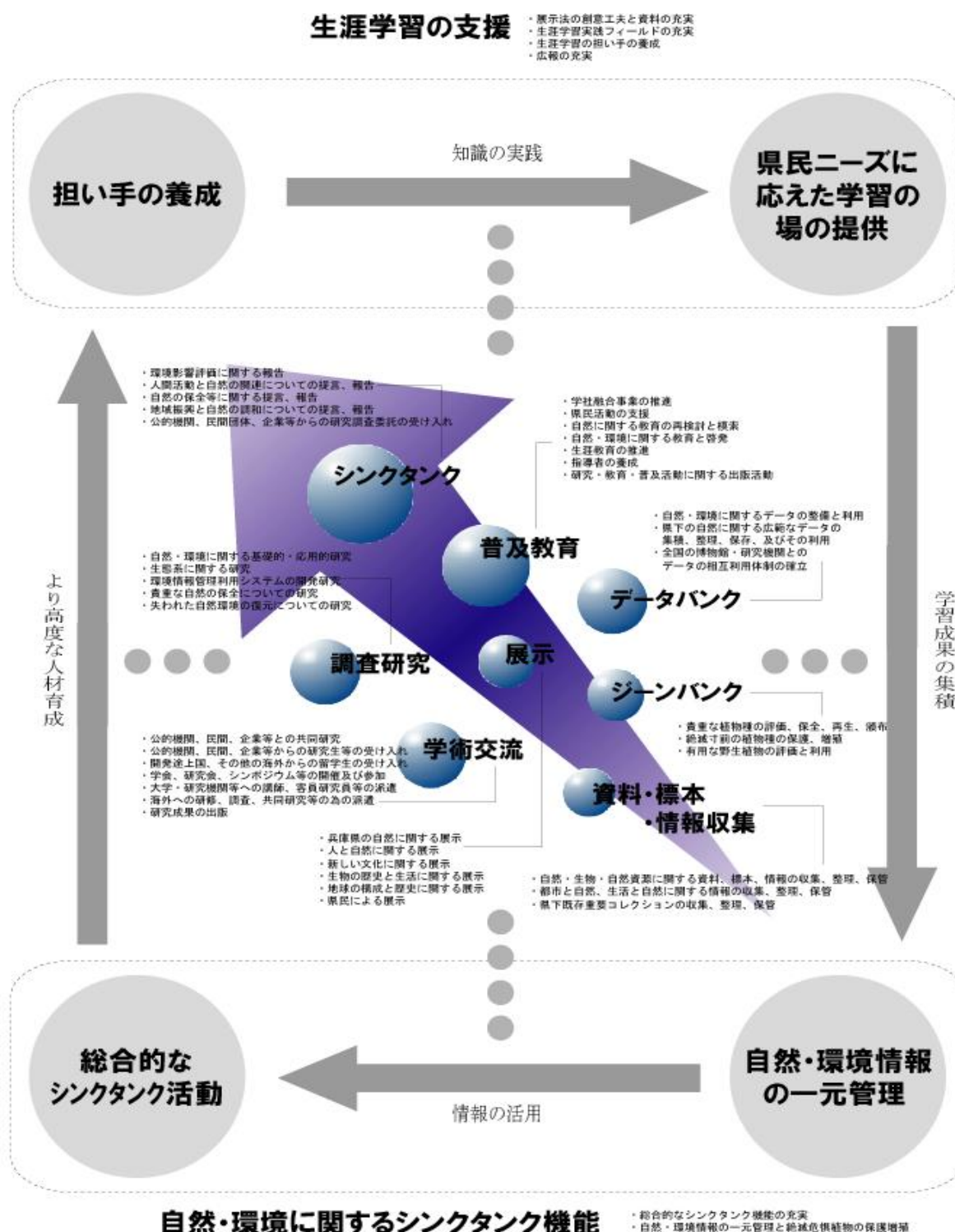


沿 革

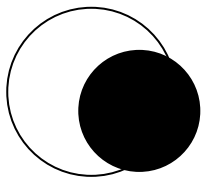
昭和 44 年 2 月 26 日	「県立自然科学博物館設置について」県議会に請願が行われた。
昭和 44 年 6 月 5 日	県議会において請願が採択された。
昭和 48 年 6 月	兵庫県自然保護協会から環境保全・自然保護活動の分野の博物館設置について要望書が提出された。
昭和 51 年 5 月	I F H P 兵庫国際会議が開催され、人間居住環境研究センターを設置する必要性が認められた。
昭和 59 年 4 月	自然系博物館建設調査費が予算計上された。
昭和 61 年 12 月	兵庫県立自然系博物館建設基本構想（報告）が策定された。
昭和 63 年 8 月	自然系博物館は三田市のホロンピア館を活用して建設することが決定した。
平成元年 4 月 1 日	兵庫県教育委員会社会教育・文化財課に自然系博物館（仮称）設立準備室が設立された。
平成 3 年 12 月	研究・収蔵棟が完成した。
平成 4 年 3 月 25 日	本館（ホロンピア館）の模様替え工事が完了した。
平成 4 年 4 月 1 日	兵庫県立人と自然の博物館の設置および管理に関する条例および同規則が施行され、同時に人と自然の博物館内に姫路工業大学自然・環境科学研究所が設立された。
平成 4 年 6 月 25 日	ジーンファームが完成した。
平成 4 年 9 月 20 日	エントランスホールが完成した。
平成 4 年 9 月 30 日	コートヤードゾーン、屋内展示工事、情報センター設備が完成した。
平成 4 年 10 月 9 日	兵庫県立人と自然の博物館開館および姫路工業大学自然・環境科学研究所開所の記念式典が挙行された。
平成 4 年 10 月 10 日	開館。
平成 9 年 6 月 14 日	マレーシア国立サバ大学と国際学術交流協定を締結した。
平成 9 年 11 月 4 日	文部省の科学研究費補助金取扱規定による研究機関に指定された。
平成 10 年 3 月 12 日	日本育英会施行令による日本育英会の第一種学資金の返還を免除される職を置く研究所に指定された。
平成 11 年 11 月 13 日	NPO 法人「人と自然の会」（博物館ボランティア）と協力協定を締結した。
平成 13 年 4 月	兵庫県教育委員会行政組織規則の改正に伴い、博物館の組織が大きく改編され規則の改定を行い、博物館事業の新展開を公表した。
平成 14 年 4 月	博物館事業の新展開を着実に推進するために、平成 18 年度までに実現させる数値目標と考え方を示した中期目標を公表した。
平成 14 年 10 月	博物館が開館 10 周年を迎え、10 周年記念式典を執り行った。
平成 16 年 4 月	県立大学の統合に伴い、博物館に設立する研究所を兵庫県立大学自然・環境科学研究所に改称した。
平成 18 年 6 月	猪名川町と協力協定を締結した。
平成 18 年 9 月	丹波地域で恐竜化石が発見され、発掘を開始した。
平成 19 年 3 月	新たな「兵庫県立人と自然の博物館」基本構想が策定された。
平成 20 年 3 月	新たな「兵庫県立人と自然の博物館」基本計画が策定された。
平成 20 年 4 月	「ひとはく恐竜ラボ」がオープンした。



機能



博物館の基本8機能と重点事業の展開方針



常設展示の概要

■テーマ1 兵庫の自然誌

南北とも海に接し、気候の変化が大きい兵庫県の特徴ある自然を大型パネル・映像・ジオラマなどで紹介します。「森に生きる」では兵庫県で見られる野生動物をはく製で紹介しています。



■テーマ2 人と自然

先人達がいかに自然とうまくつきあってきたか、現在その関係が急速に変化していることを、標本・映像などで紹介します。都市から熱帯夜をなくすゲームにも挑戦してみましょう。



■テーマ3 新しい文化

“モノ”と“ゴミ”が、豊かな暮らしのあり方や環境問題を問います。動植物のすみかでもある自然と人とのつきあい方を考えた新しいまちづくりと生活スタイルを提案します。



■テーマ4 生物の世界

地球上の生物は、環境の変化に対応しながら多様な種を進化させてきました。ここでは、生物が複雑な関係の中で生活していること、生物の種の変異や進化、日本列島の生物相がどのようにできあがったのかを紹介します。



■テーマ5 地球・生命と大地

約 35 億年前の生命の誕生から人類誕生までの生物の歴史を多くの化石標本でたどります。また、森林の多様性、地球のプレート運動、日本列島の生い立ちを紹介します。





■ひととはくサロン

自由に閲覧できる「図書コーナー」や、自然環境についての最新の情報が集められている「情報コーナー」のほか、「さわれる標本コーナー」「休憩コーナー」などがあります。



■丹波の恐竜化石

2006年8月に丹波市山南町で発見された大型草食恐竜化石の肋骨、尾椎、血道弓などを展示しています。



■ひととはく恐竜ラボ

恐竜化石のクリーニング作業及び展示等を行う施設として「ひととはく恐竜ラボ」が2008年4月にオープンしました。研究員などによる作業風景を間近に見ることができます。



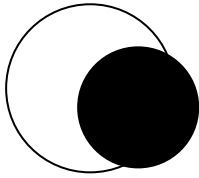
■ナチュラリストの幻郷

博物館に寄せられた多数のコレクションについて、標本を見てその意味を知り、ナチュラリスト達がどのような思いで何を夢見てコレクションを収集してきたかを感じ取ってください。



■共生の森

ラフレシアやオランウータンなど赤道直下のボルネオ島の貴重な標本類を展示しています。熱帯雨林を体感しながら「共生の森」について学ぶことができます。



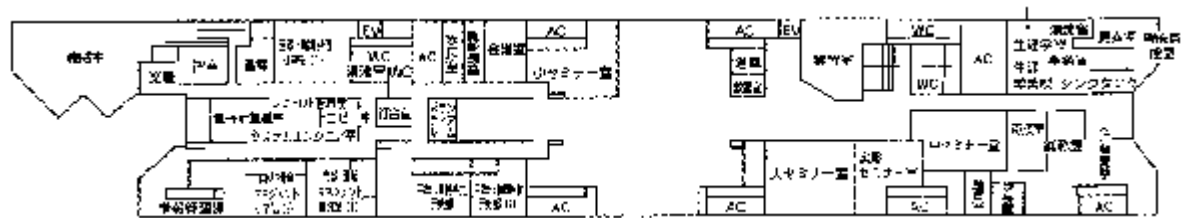
施設の概要

- (1) 規模 敷地（設置許可・使用承認面積）：37,036.54 m² 延床面積：18,691 m²
- (2) 建物構造
- ・本館（鉄骨4階建） 建面積 4,221 m² 延床面積 12,222 m²
 - ・エントランスホール（鉄筋コンクリートドーム型）
建面積 360 m² 延床面積 360 m²
 - ・研究、収蔵棟（鉄筋コンクリート3階建）
建面積 2,327 m² 延床面積 5,988 m²
 - ・ジーンファーム管理棟（軽量鉄骨平屋）
建面積 121 m² 延床面積 121 m²
 - ・ひとはく恐竜ラボ（鉄骨平屋）
建面積 260 m² 延床面積 260 m²
- (3) 施設の概要
- ・本館（鉄骨4階建）
外観は、建築家丹下健三氏の設計による全面ハーフミラー張りの建物。
展示関係のスペースをはじめとして電子計算機室や各研究部・総務課・生涯学習課・情報管理課・各事業室を設置。さらに500人収容のホロンピアホールも設置。
 - ・エントランスホール（鉄筋コンクリートドーム型）
博物館への導入的役割を果たしているハーフミラー張りでドーム型屋根の建物。観覧券の発売や博物館の総合案内を実施。
 - ・研究、収蔵棟（鉄筋コンクリート3階建）
研究や資料整理のための各設備と資料の保存条件に合わせた各収蔵庫を設置。
屋上には植栽を実施。
 - ・ジーンファーム
ジーンバンク事業を实践とする場として圃場・ガラス室・研究温室・育成温室・昆虫網室、管理棟を設置し、主に県内産の重要植物の保護・増殖に活用。
 - ・ひとはく恐竜ラボ
恐竜等の化石クリーニングを進めるための施設。クリーニング室、資料室、倉庫のほか、作業を公開し、発掘調査の成果を展示するホールを設置
- (4) 施設状況
- ・展示関係 4,124 m² ・管理関係 349 m² ・収蔵関係 2,966 m²
 - ・研究関係 2,105 m² ・教育普及関係 1,324 m² ・エントランス 360 m²
 - ・機械、その他 7,723 m²

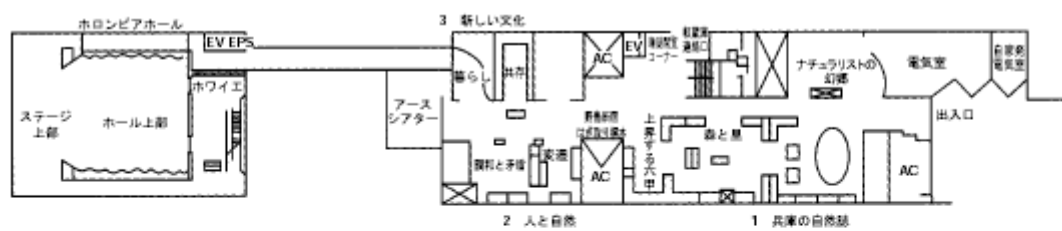
配置図

●本館

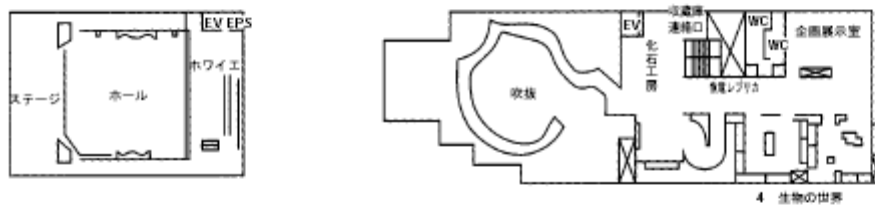
4階



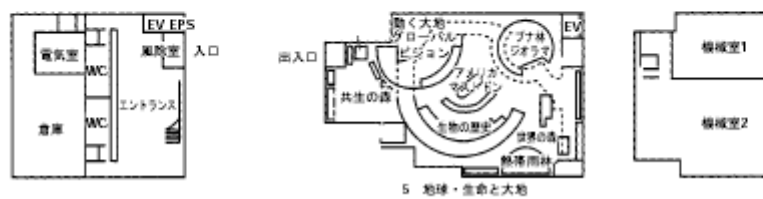
3階



2階

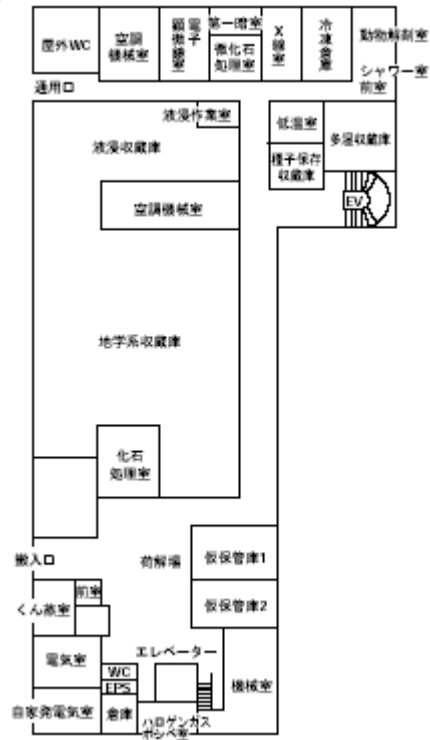


1階

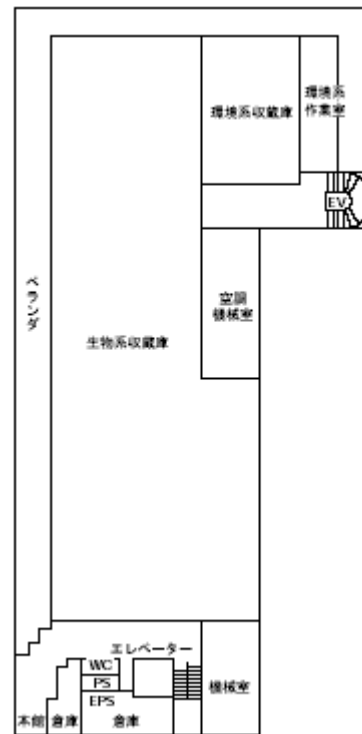


●研究・収蔵庫棟

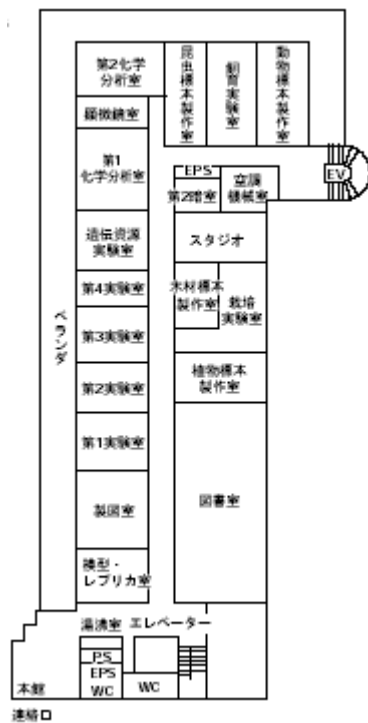
1 階



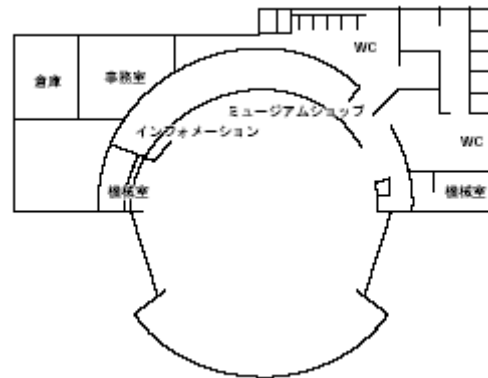
2 階



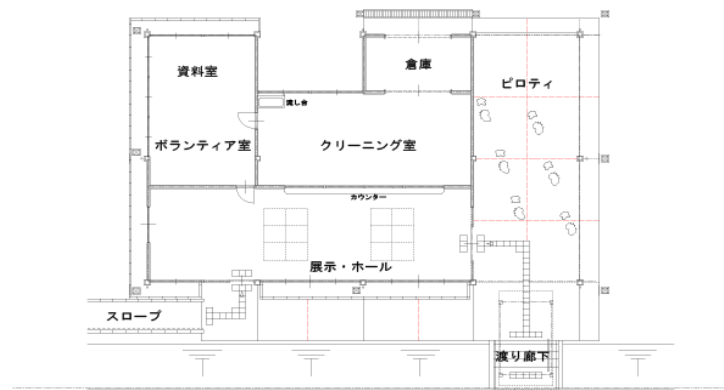
3 階

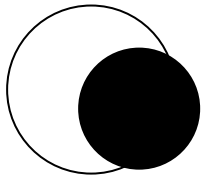


エントランスホール



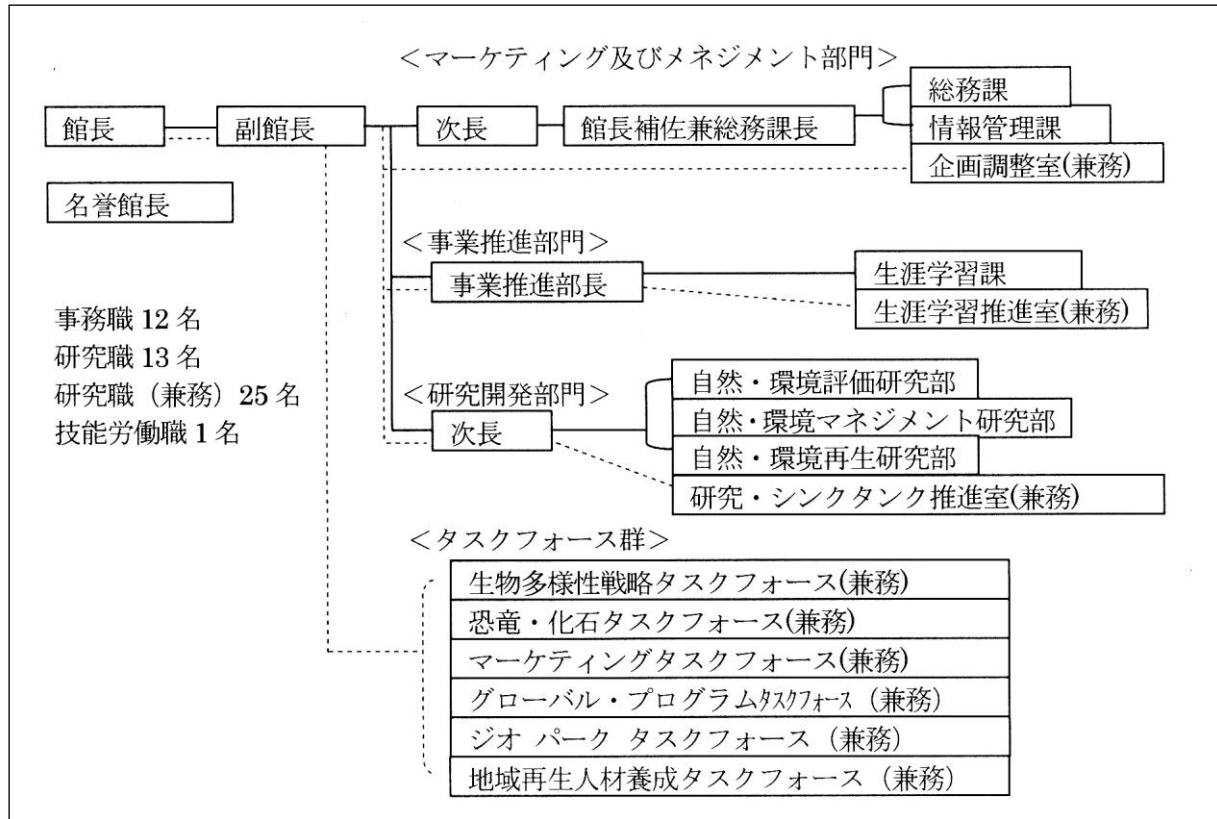
ひとはく恐竜ラボ





組織と職員

(1) 組織図



※ 実線は組織規制上の職制で、点線は館長辞令による博物館独自の職制

(2) 職員数

区 分	事務職	研究職	技能労働職	非常勤嘱託員	合 計
総務課	6		1	2 (館長・名誉館長)	9
情報管理課	2				2
生涯学習課	4				4
自然・環境評価研究部		7 (兼務 10)			7 (兼務 10)
自然・環境マネジメント研究部		4 (兼務 10)			4 (兼務 10)
自然・環境再生研究部		2 (兼務 5)			2 (兼務 5)
合 計	12	13 (兼務 25)	1	2	28 (兼務 25)

※ (兼務) は兵庫県立大学 自然・環境科学研究所との兼務職員

(3) 職員配置

名誉館長	河合 雅雄
館長	岩槻 邦男
副館長	中瀬 勲
次長（事務系）	森 正明
次長（研究系）	江崎 保男
館長補佐	西向 寛昭
事業推進部長	(副館長兼務)
事業推進部門総合調整担当	服部 保
研究開発部門総合調整担当	小林 文夫

【マーケティング及びマネジメント部門】

総務課

課 長	(館長補佐兼務)
主 査	川東 丈純
主 査	梶本 悦子
事務職員	花輪 美鶴
事務職員	津田奈保子
技 師	塚本 健司

情報管理課

課 長	藤村 仁志
指導主事	八尾 滋樹

企画調整室（研究員兼務）

室長（主任研究員）	田原 直樹
副室長（研究員）	小舘 誓治
研 究 員	藤本 真里
研 究 員	武田 重昭
研 究 員	北村 俊平

館長特任（研究員兼務）

研究部長（自然・環境マネジメント研究部）	江崎 保男
研究部長（自然・環境再生研究部）	服部 保
研究部長（自然・環境評価研究部）	高橋 晃
主任研究員	大谷 剛
主任研究員	先山 徹
研 究 員	藤本 真里
課 長	藤村 仁志

【事業推進部門】

生涯学習課

課 長	平松 紳一
指導主事	西岡 敬三
主 査	小林 美樹
主 任	矢野 啓司

生涯学習推進室

室長（研究部長）	高橋 晃
副室長（主任研究員）	大谷 剛
副室長（研究員）	鈴木 武
副室長（主任研究員）	八木 剛
研 究 員	沢田 佳久
研 究 員	黒田有寿茂
研 究 員	上田 萌子
研 究 員	山本 伸子
研 究 員	布施 静香

演説フロアサービス担当（研究員兼務）

マネージャー（研究員）	石田 弘明
-------------	-------

連携・アウトリーチ担当（研究員兼務）

マネージャー（研究員）	橋本 佳延
-------------	-------

広報・出版支援担当（研究員兼務）

マネージャー（主任研究員）	八木 剛
---------------	------

フェスティバル担当（研究員兼務）

マネージャー（主任研究員）	半田久美子
主任研究員	先山 徹
研 究 員	藤本 真里

スクールパートナー担当（研究員兼務）

マネージャー（主任研究員）	大谷 剛
指導主事	西岡 敬三
指導主事	八尾 滋樹

ネットワーク構築担当（研究員兼務）

マネージャー（研究員）	鈴木 武
-------------	------

【研究開発部門】

自然・環境評価研究部

研究部長	高橋 晃
研究部長代理（主任研究員）	佐藤 裕司
(地域環境地質研究グループ)	
研究部長代理（主任研究員）	佐藤 裕司
主任研究員	小林 文夫
主任研究員	先山 徹
主任研究員	加藤 茂弘

(埋蔵自然遺産研究グループ)

主任研究員	古谷 裕
主任研究員	半田久美子
主任研究員	松原 尚志
主任研究員	三枝 春生
研 究 員	池田 忠宏

(森林多様性研究グループ)

研究部長	高橋 晃
主任研究員	秋山 弘之
主任研究員	高野 温子
研 究 員	山本 伸子
研 究 員	布施 静香

(昆虫共生系研究グループ)

主任研究員	太田 英利
主任研究員	橋本 佳明
主任研究員	八木 剛
研 究 員	沢田 佳久

自然・環境マネジメント研究部

研究部長	江崎 保男
研究部長代理（主任研究員）	田原 直樹
(流域生態研究グループ)	

研究部長	江崎 保男
主任研究員	田中 哲夫
主任研究員	三橋 弘宗

(動物共生研究グループ)

主任研究員	大谷 剛
主任研究員	三谷 雅純
研 究 員	北村 俊平
研 究 員	遠藤菜緒子

(コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ)

副 館 長	中瀬 勲
研 究 員	藤本 真里
研 究 員	赤澤 宏樹
研 究 員	武田 重昭

(コミュニティデザイン（都市再生）研究グループ)

研究部長代理（主任研究員）	田原 直樹
研 究 員	山崎 義人
研 究 員	上田 萌子

自然・環境再生研究部

研究部長	服部 保
(植生創出研究グループ)	
研究部長	服部 保
研 究 員	小舘 誓治
研 究 員	石田 弘明
研 究 員	橋本 佳延

(生物多様性保全研究グループ)

主任研究員	藤井 俊夫
研 究 員	鈴木 武
研 究 員	黒田有寿茂

研究・シンクタンク推進室（研究員兼務）

室長（主任研究員）	田中 哲夫
副室長（主任研究員）	橋本 佳明
副室長（主任研究員）	三橋 弘宗
副室長（研究員）	赤澤 宏樹

研究促進・総合共同研究推進担当（研究員兼務）

マネージャー（主任研究員）	橋本 佳明
主任研究員	加藤 茂弘
研 究 員	藤本 真里
研 究 員	石田 弘明
研 究 員	遠藤菜緒子

研究環境整備・研究紀要担当（研究員兼務）

マネージャー（主任研究員）	秋山 弘之
主任研究員	小林 文夫
主任研究員	三谷 雅純
主任研究員	藤井 俊夫
研 究 員	上田 萌子

資料データバンク整備活用担当（研究員兼務）

マネージャー（主任研究員）	高野 温子
主任研究員	大谷 剛
主任研究員	松原 尚志
研 究 員	山崎 義人
研 究 員	橋本 佳延

ジーンバンク活用担当（研究員兼務）

マネージャー（研究部長）	服部 保
--------------	------

研究企画開発担当（研究員兼務）

マネージャー（研究員）	赤澤 宏樹
-------------	-------

【タスクフォース群】**生物多様性戦略タスクフォース**

リーダー（研究部長）	服部 保
サブリーダー（研究員）	橋本 佳延

恐竜・化石タスクフォース

リーダー（主任研究員）	佐藤 裕司
サブリーダー（主任研究員）	先山 徹
サブリーダー（主任研究員）	三枝 春生
サブリーダー（研究員）	藤本 真里
	小林 文夫
	古谷 裕
	加藤 茂弘
	半田久美子
	松原 尚志
	池田 忠宏
	石田 弘明
	川東 丈純
	平松 紳一

マーケティングタスクフォース

リーダー（主任研究員）	小林 文夫
サブリーダー（主任研究員）	秋山 弘之

グローバル・プログラムタスクフォース

リーダー（研究部長）	高橋 晃
サブリーダー（主任研究員）	太田 英利
サブリーダー（主任研究員）	古谷 裕
	高野 温子
	黒田有寿茂

ジオパークタスクフォース

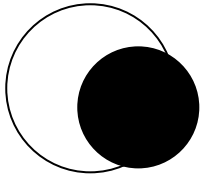
リーダー（主任研究員）	先山 徹
サブリーダー（研究員）	藤本 真里

地域再生人材養成タスクフォース

リーダー（主任研究員）	田原 直樹
サブリーダー（研究員）	山崎 義人
	中瀬 勲
	服部 保
	江崎 保男
	三枝 春生
	三橋 弘宗
	藤本 真里
	赤澤 宏樹
	武田 重昭
	上田 萌子
	石田 弘明
	橋本 佳延

（平成 21 年 4 月 1 日現在）

なお下線は館長辞令による人と自然の博物館独自の職制



各研究部の概要

■自然・環境評価研究部

自然環境保全の基盤となる地形学や地質学、過去と現在の生物を対象とした分類学や形態学、生物地理学等の分野の調査研究と資料収集活動に取り組んでいます。

本研究部では、これらの成果に基づき、過去から現在、そして兵庫県から地球レベルにいたる自然環境の変遷や生物相の由来、生物多様性を創出し維持している共生関係の解明を進め、自然環境保全のための有効な提案を行っていきます。

■自然・環境マネジメント研究部

人間の生活は、農山村はもちろんのこと、都市においても自然と深く結びついて成立しています。人間による自然へのインパクトが強力になっている現在、自然と環境のマネジメントが不可欠になっているのは、このことによります。

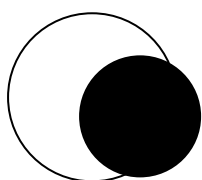
本研究部では、人間と野生動物の共存、自然と調和した地域づくり、都市の再生などに関する資料収集・調査・研究を行い、未来の人と自然のあり方を探求します。

■自然・環境再生研究部

植生・植物に関する保全生態学や保全生物学の研究を行っています。現在、さまざまな要因によって自然が破壊され、里山や二次草原などの植生やフジバカマ、ヘイケイヌワラビ、カザグルマなどの植物が危機的な状況にいたっています。

本研究部では、そのような状況にある植生や植物の保全・復元・創出活動を積極的に進めています。このような活動を通じて、県下の植生・植物の生態情報の収集や貴重種のジーンファーム（ジーンバンク機能を果たす圃場）での保管などの事業も展開しています。

平成 20 年度事業報告



ひとはくトピックス 2008

1

「ひとはく恐竜ラボ」オープン！

間近に見られる化石クリーニング

平成 18 年に丹波市山南町上滝の篠山川河川敷で大型草食恐竜の化石が発見され、その後第一次・第二次の発掘調査により、尾椎や肋骨、環椎、歯など多数の化石が確認された。これらの化石は、発掘時には岩石に覆われているため、エアチゼルなどの道具を使って覆っている岩石を削り、化石を露出させる必要がある。この作業は化石クリーニングと呼ばれ、非常に繊細で高度な技術を要する。このクリーニング作業を迅速かつ効率的に進めるため、新しく「ひとはく恐竜ラボ」が開設された。

平成 20 年 4 月 20 日、井戸知事をはじめ、第一発見者の村上茂氏や丹波市長、発掘の関係者ほか、多数の一般来館者の見守るなか、恐竜ラボはオープンした。ラボの広さは約 260 平方メートルあり、クリーニング作業をする部屋と化石の発掘経過を説明するパネルや化石レプリカ等を展示するホールとがある。



展示ホールとクリーニング室はガラスで仕切られており、ガラス越しに研究員らによるクリーニング作業を間近に見ることができる。施設は無料開放しており、博物館の開館日には自由に見学できるようになっている。毎週日曜日には研究員が発掘の様子やクリーニング作業を分かりやすく解説するなど普及事業にも努め、今年度のラボへの入館者数は 4 万人を超えた。

昨年度、丹波市山南町に恐竜ラボ山南ルームが先にオープンしている。今回の新しいラボ開設によってクリーニングがさらに効率的に進められるようになり、今後の恐竜研究の成果が大いに期待される。

2

G8 環境大臣会合開催記念シンポジウムを ひとはくで開催

4月26日に「アジアからの発信～人と自然の共生のみちをさぐる」とサブタイトルを付した標記シンポジウムをひとはくホロンピアホールにおいて、環境省との共催で開催しました。日本の里山に代表される持続的な資源利用と生物多様性保全を「SAYOYAMA」として国際発信することを目的として開催したもので、全国から400名の参加者をえて2題の基調講演（国連大学高等研究所いしかわ国際協力研究機構所長 **Alphonse Kambu** 氏とひとはくの服部保研究部長）と6件の事例報告（うち3件は国外から）がおこなわれました。なかでも服部研究部長による「日本の里山が人の営みとのかかわりのなかで生まれ（進化し）維持されてきたこと」を伝える講演、兵庫県豊かな森づくり課の浦杉圭作氏による「ひょうご方式による里山管理」の実例報告が参加者の強い関心をよびました。また井戸知事もかけつけ、国内外からの参加者に歓迎の熱いメッセージを届けました。

続いておこなわれたパネルディスカッション（座長：岩槻邦男館長）および翌27日午前開催の国際ワークショップでは、人は自然の一部であるというのがアジア共通の自然観であること、SATOYAMA 概念が生物多様性保全のみならず文化・社会・経済的にも大きな意味をもっていること、SATOYAMA は日本では奥山を、アジアではそれぞれの「聖なる地域」を背後に有していることが重要な意味をもつこと、これら異なった生態系間の関係を明らかにすることが重要課題であることなどが熱っぽく論議されました。27日午後には菊炭で有名な川西黒川の里山のエクスカーションがおこなわれ、国内外からの参加者が日本の伝統的な里山景観を堪能し、今後国際的な連携をとりながら生物多様性保全にとりくむ方向性を浦杉圭作氏が確認されました。



3

ファール大作戦！多彩な催しにより、 多数の来館者を迎えた

「ファール昆虫記」最終巻の刊行 100 周年を記念して、日本の自然史系博物館 5 館とフランス国立自然史博物館との共同により巡回展「ファールにまなぶ」が企画され、昨年から全国を巡回してきた。ひとはくは国内最後の会場として、平成 20 年 9 月 20 日から 11 月 30 日までこの巡回展を開催した。これに併せて兵庫県の地域展として、虫や自然を愛した兵庫ゆかりの偉人たちを紹介する「兵庫のナチュラリストたち」や、昆虫の不思議を遊びながら体験できる「昆虫不思議ラボ」、県民の観察・発見を公募展示する「ひょうごのファール・未来のファール」などを同時開催した。さらに、会期中に館内外で 250 以上のセミナー・イベント類を実施し、ひとはく全体がファール色となる「ひとはくファール大作戦！」として展開した。

期間中の総ビジター数は 74,409 人にのぼり、例年の同時期よりも 2 割程度増加した。なかでも学校団体が多く、全部で 132 校 11,930 人が来館した。その半数以上の児童生徒に対し、身近な生き物の観察やファール昆虫記に登場する動植物をテーマに、研究員が実物やスライドを使って楽しくわかりやすく話をする「ひとはく博士のファールトーク」を実施し、好評を得た。

今回、公募による参加型展示や、美術館や植物館という異分野の施設との共催展示など、通常の企画展とは異なる新しい展示形態を取り入れ、また「新たな人と自然の博物館基本計画」で示されたソフト先行事業の一環として、学校団体向けファールトーク、ふぁーぶる講談など多彩な演示プログラム、ふぁーぶるポイントカードなど、さまざまな新しい試みを実施して初の有料特別展示の来館者数確保に対処した。



4

篠山の哺乳類・恐竜化石、相次ぎ発見！

丹波市の恐竜化石を含む地層である篠山層群は、その名が示すように篠山の盆地に広く分布している。こうしたことから、篠山からの恐竜の化石発見に対する期待が丹波市の恐竜化石発見以後急速に高まったが、それは市内 2 か所からの化石発見という形で早くも現実のものとなった。2007 年 10 月に丹波市の恐竜化石発見者の一人である足立 洸氏により小型脊椎動物化石産地が発見され 2008 年 5 月に発掘が行われた。その結果、小型の恐竜やトカゲの化石と一緒に哺乳類の下あごの化石が発見された。この哺乳類化石は我々の祖先が恐竜全盛時代にどのような姿をしていたかを教えてくれる貴重な資料である。同年 7 月にはさらにもうひとつ恐竜化石産地が篠山市内に加わった。市立大山小学校の酒井教諭による総合学習の授業中に、実習場所である大山下の篠山川河床で子供たちが獣脚類の歯を発見したのである。児童による発見ということでさらに夢を与えてくれるニュースとなった。

写真 篠山市内の小型脊椎動物化石産地で発掘をする発見者の足立氏（右）と池田研究員（左）



5

恐竜化石第三次発掘で肉食恐竜の歯、 見つかる

2008 年 12 月から 200 年 3 月にかけて、恐竜化石の第三次発掘が丹波市山南町上滝の篠山川河床において行われた。この恐竜の化石は 2006 年に地元丹波市在住の村上茂・足立洸両氏によって発見されたものであり、2007 年および 2008 年の冬季に行われたこれまでの発掘で、首が長い大型の恐竜である竜脚類の尾、腰、胴体の骨が発見されている。第三次発掘では竜脚類の首や足の骨の発見が期待されたが、これらの発見は残念ながら次期発掘以降までお預けとなった。しかし、今回の発掘では竜脚類の歯が多数発見され、これまで不明であった特徴が明らかとなった。また、これまでの発掘では竜脚類以外の化石の発見が少なかったが、第三次発掘では他の種類の恐竜の歯が密集して埋まっている部分が発掘区画の一部に現れ、竜脚類と共存した動物相全体を知る手がかりが出てきた。この歯の密集部分は未発掘部分にも続いていると考えられ、様々な恐竜が今後発見される可能性がある。

写真： 第三次発掘で発見された獣脚類（肉食恐竜）の歯。長さ 5cm とこれまでで最大



6

「共生のひろば」の内容がますます充実。

発表数は 47 件、聴講者は 300 人に！

人と自然の博物館では毎年 2 月 11 日に、各地域でひとはくの研究員と連携して様々な活動を行っているグループや個人による日頃の研究・活動の成果を発表する場として、「共生のひろば」を開催している。今年で第 4 回を迎え、19 件の口頭発表と 27 件のポスター・作品が出展され、総勢 300 名の参加者が集まり互いの成果についての情報交換を行った。発表会後の茶話会で行われた表彰式では、例年の館長賞、名誉館長賞に加え、審査員特別賞と会場からの投票によって決まる会場注目大賞も授与され、受賞者は多くの参加者からの拍手を浴びていた(下表参照)。またポスター・作品については、本年度初の試みとして当館 2 階の企画展示室において 2 月 15 日から 4 月 5 日に実施した「共生のひろば展」にて展示し、2 月 11 日に訪れることができなかった多くの来館者にも情報発信する場を提供した。

第 4 回 共生のひろば 受賞者一覧

館長賞	口頭	マーキング調査で得られたミヤマアカネの周年経過と行動に関する知見	横田 靖 (ひとはく連携活動グループ あかねちゃんクラブ、池田・人と自然の会)
	口頭	さんぽは自然体験のはじまり！	西浦睦子・鈴木久代 (ひとはく連携活動グループ NPO 法人さんぽくらぶ)
	ポスター	ハヤブサの落とし物 (Part 4)	溝田浩美 (ひとはく地域研究員)
		課題研究報告「森から学ぶ～六甲山系のキノコたち」	藤井日菜子・濱田 諒・稲垣恵理・梅田侑希 ほか 第 2 学年 20 名 教諭 河合祐介・上林 泰 (兵庫県立御影高等学校)
名誉館長賞	口頭	ソーラーパネルと小型ポンプを用いた簡易魚道の設置～安価で簡便な自然再生の方法～	久加朋子・大澤剛士・石田裕子・佐々木宏展・前田知己・清水洋平 (ひとはく連携活動グループ 水辺のフィールドミュージアム研究会)
	口頭	「恐竜発掘ケーキをつくろう！～お菓子を通した学習プログラムの可能性を探る～」	有田寛之・高橋みどり (国立科学博物館)・佐藤大樹・川本麻代・小島綾子・古杉理沙子・鮫島裕子・古満れんげ (兵庫県立三田祥雲館高等学校)・辰巳萌佑子・三浦理紗 (大阪教育大学附属池田中学校)・松浦孝一 (ル・パティシエ・プチ・ムッシュ)
	ポスター	鳴く虫ワールド 2008	ひとはく連携活動グループ 鳴く虫研究会「きんひばり」
	ポスター	ミヤマアカネを卵から観察「血統書付き！あかねちゃん誕生」	浅倉景子 (ひとはく連携活動グループ あかねちゃんクラブ)
審査員特別賞	口頭	コンクリートの川にホテルを増やそう～池尻川ホテル再生計画～	山下駿・野澤眞崇・坊沙織・山本貴之・和田彬宏・佐藤飛鳥・土居恭子 (兵庫県立有馬高等学校科学部)
	口頭 ポスター	スクール ジーンファーム 地域の絶滅危惧種の保全と増殖	朴木彩乃・森元敏郎・顧問 田村 統 (兵庫県立大学附属高等学校 自然科学部 生物班)
	ポスター	木の実・草の実・野菜の種大集合	井上富雄・中島得三 (NPO 法人 人と自然の会 植物観察会)
会場注目大賞	口頭	コンクリートの川にホテルを増やそう～池尻川ホテル再生計画～	山下駿・野澤眞崇・坊沙織・山本貴之・和田彬宏・佐藤飛鳥・土居恭子 (兵庫県立有馬高等学校科学部)
	ポスター	ハヤブサの落とし物 (Part 4)	溝田浩美 (ひとはく地域研究員)
	ポスター	木の実・草の実・野菜の種大集合	井上富雄・中島得三 (NPO 法人 人と自然の会 植物観察会)

7

ひとはくで学んだ大学院第1期生が修了

ひとはくに大学院ができてちょうど2年、入学した8名の学生全員が無事に兵庫県立大学修士の学位（環境人間学）を取得して、社会にはばたき、あるいは職場にもどっていきました。彼らは、よその大学院とは一味違って、さまざまな分野領域の教員・研究員・地域研究員・連携グループの方々、そして市民とかかわりあいながら「人と自然の共生」を学び、行動することにより学位を授与されたものです。今後もひとはくと強い絆でむすばれ、社会で活躍していくに違いありません。彼らの修士論文タイトルは以下のものであり、ひとはくの教育研究の幅の広さと深さを示してくれています。「日本ジカ（*Cervus Nippon*）採食圧下にあるヒノキ人工林伐採跡地を広葉樹林に転換する方法の検討」、「水田におけるケリの繁殖戦略－田園鳥類の保全研究」、「遺伝子系統解析を用いた日本産イグサ科植物の分類学的再検討」、「兵庫県内小学校における環境学習の実態とその改善に関する研究」、「兵庫県南部、瀬戸内沿岸域における環境変動史の解明～海洋酸素同位体ステージ7の相対的食水準変動について～」、「多自然居住地域の限界集落における集落移転に関する研究」、「インドネシア・ジャカルタにおける屋外空間の利用実態とその役割－住宅に付随するテラスを中心として－」

ちなみに来年度は6名の修士1年生と8名の修士2年生がひとはくで学ぶ予定になっています。



8

生物多様性ひょうご戦略の策定に参画

兵庫県は、兵庫県下の生物多様性の保全と持続可能な利用を効果的に進め、生物とのよりよい関係を築くための指針である、「生物多様性ひょうご戦略」の策定作業を、平成 20 年度 4 月より自然環境課が中心となってすすめてきた。戦略の策定にあたっては、当館から岩槻邦男 館長、中瀬 勲 副館長、服部 保 自然・環境再生研究部・部長が策定委員として参画したほか、多くの研究員が策定委員会事務局や戦略の部分執筆にかかわり、平成 21 年 3 月に策定が完了した。

この戦略では、これまでの県の取組をふりかえり、今までに足りなかった県庁内部局間の連携や市民・NPOの活動への支援をスムーズに行えるよう、生態系レッドデータブックや外来生物ブラックリストなどの生物多様性に関する公開情報の充実をはかり、市民から行政まで生物多様性に関する事業の相談をすることのできる生物多様性アドバイザー制度をはじめとする様々な制度を整えることを目指している。平成 22 年度には第 10 回生物多様性条約締約国会議（COP 10）が日本で開催されることから、生物多様性に関する関心度も高まりつつあり、当館も今後はひょうご戦略の内容を踏まえた活動の実施が求められている。

9

「自然の再生と共生国際フォーラム in 淡路夢舞台

～フランス・アベロン県と兵庫県の地域づくり～」開催

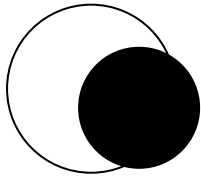
10/4（土）に、人と自然の博物館と（財）淡路花博記念事業協会の主催で、「自然の再生と共生国際フォーラム in 淡路夢舞台」を開催した。

フォーラム前日には、兵庫県の準姉妹県であるフランス・アベロン県からピエール・マリー・ブランケさん（アベロン県議会副議長）とヤスミン・ママさん（マイクロポリス昆虫博物館館長）が来日され、井戸敏三兵庫県知事を表敬訪問された。

フォーラム当日は約 500 名もの方々がお越しになり、熱心にフランスからのゲストお二人、井戸知事、作家の玉岡かおるさんの話を聞かれた。後半のパネルトークには俳優の山口崇さんにも出演いただき、民話研究家かつ淡路出身者としてこれからの淡路島へ提言をいただいた。フォーラム全体としては、生活に根ざした自然こそ大切にすべきで、地域にお住まいの方々の活躍によって環境も生活もより良くしていく必要があることなど議論された。

10/5（日）はフランスゲストのお二人を連れ、人と自然の博物館の「ひととはくフェアブル大作戦！」を案内した後、博物館のエントランスホール横に記念植樹をして「開催記念植樹の証」も交わした。植えたのは、兵庫県産貴重種のヘラノキ（*Tilia kiusiana*）。この仲間はフランスにも自生種がみられる。またこの樹は、大きく育ち花には虫が来てフェアブルに似合うものである。





平成 20 年度のタスクフォース事業報告

タスクフォース（組織群）について

従来の組織群とは別に平成 20 年度から導入した組織群である。各タスクフォースは、短期の課題を達成するために結成したものである。構成員は、リーダーおよびサブリーダー、その他であり、人員は、実情に応じて年度途中でも変更可能にしている。また、新たなタスクフォースを発足できるようにしている。

平成 20 年度は、9 つのタスクフォース（生物多様性、恐竜・化石、フェアブル展推進、マーケティング、グローバル・プログラム、環境学習推進、博物館ネットワーク構築、情報システム更新、フェスティバル）が結成された。

■ 生物多様性 タスクフォース

（１）「生物多様性ひょうご戦略」の策定への支援

兵庫県の進める「生物多様性ひょうご戦略」の策定（担当部局：農政環境部環境創造局 自然環境課）に対して全面的な協力を行った。「生物多様性ひょうご戦略」は、平成 21 年 3 月に策定された。

■ 恐竜・化石タスクフォース

（１）化石発掘の実施

1) 上久下地区第三次発掘の実施：L 字型 25 m²

・竜脚類の歯 6 点・肋骨 6 点・骨片多数、獣脚類の歯 10 点以上、鳥脚類の歯 20 点以上、その他小動物の骨片を発掘

・化石発掘状況から、予想以上に化石が拡散して埋蔵されていることが判明

2) 篠山市での小型脊椎動物化石の発掘

・哺乳類・有鱗類・小型鳥盤類を含む化石多数

（２）化石クリーニング作業の進展

・ひとはく恐竜ラボの開設・供用開始（4/20）：ひとはく恐竜ラボと山南ルームの合計ビジター数=68,656 人

・合計 27 部位（尾椎 18 点、血道弓 9 点）のクリーニング完了

・第二次発掘産状レプリカの製作 1 点

（３）恐竜化石を活かした教育普及活動の充実

・丹波竜フェスティバル 2008(丹波市山南住民センター)の実施(5/3～5)：参加者数=4,339 人

・第二次発掘速報展（ひとはく）の実施（4/20～6/1）

・ようこそ恐竜ラボへ！（大阪自然史博物館）の出展（4/26～5/18）

・環境フェア in KOBE への出展（5/23～26）

・臨時展示「篠山市の小型脊椎動物化石速報展」の実施（6/15～29）

・ひとはくセミナー「兵庫の恐竜」の実施（7/11） 50 名

・臨時展示「丹波の恐竜化石～夏休み期間特別展示」の実施（7/20～8/31）

- ・丹波市主催「丹波竜サマーキッズスクール」での展示・体験教室の実施協力（8/7～10）
- ・ひとはく恐竜ラボでの研究員による解説実演（毎週日曜日）
- ・ひとはくフェスティバルで恐竜〇×クイズなど実施
- ・NHK 神戸放送局ほか主催「自然のたからもの～丹波竜&コウノトリに会おう！」（大丸ミュージアム）共催展示の実施（1/7～12） ビジター数＝10,106 人

（４）関係した丹波市等地元との協議会など

- ・丹波恐竜化石発掘等連絡調整協議会
- ・丹波恐竜化石発掘等連絡調整部会
- ・恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくりプロジェクト（ワーキング）
- ・篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会

（５）三田炭獣を活かした教育普及活動

- ・三田市内中学生（トライやるウィーク）による化石公園の整備（6/13）
- ・三田市小学校理科部会との連携による、三田化石公園を使った研究授業「キッズコース 大地のつくり」（小学 6 年）の実施（1/21,22,28）

■ ファーブル展推進 タスクフォース

（１）展示方式の新展開

- ・巡回展「ファーブルにまなぶ」、兵庫地域展、ソフト展開をあわせて「ひとはくファーブル大作戦！」をホロンピアホールからエントランスまで、館全体をつかって展示展開
- ・大人向けの展示部分（ファーブルにまなぶ展・兵庫のナチュラリスト）と子ども向けのハンズオン展示部分（企画展示室昆虫不思議ラボ）を設置し、幅広い観覧者層に対応
- ・参加型展示の実施： a) 出展を一般募集した参加型展示「未来のファーブル」を実施：出展数 328 点、出展者の居住地＝6 府県、35 市郡にわたった、b) 県下小学校にチョウの塗り絵を配布し、小学生 100 人のチョウの塗り絵を展示した
- ・国立科博、北九州博、琵琶湖博、北大博、フランス国立博物館（巡回展部分）や宝塚市手塚治虫館、伊丹市昆虫館、京都大学博物館、千葉県立中央博（地域展部分）との共同展示制作の実施
- ・館外での演展示の実施： 県立奇跡の星の植物館とのコラボ展 2 回；県立美術館との共催展示 1 回；有馬富士フェスティバル 2 回；フローラ 88 で演展示 2 回；中兵庫信金ウッディタウン支店で演展示 1 回 ほか

（２）新広報システムの実施

- ・新規団体誘致（ファーブルトークの実施、わくわくオーケストラの中学校への PR）や既来館者への PR 強化（夏期教職員セミナー受講教員への PR、来館実績のある子供会への PR、神戸地区の全児童へのプログラム配布）
- ・ふぁーぶるポイントカード： 来館時スタンプ収集者にプレゼント進呈
- ・神戸新聞社 110 周年事業との共催等マスコミ対応の強化（新聞記事 4 2 件、テレビ放映 2 回等）

（３）演示プログラムの充実

- ・イベント・セミナー：既存のプログラム以外に 25 件を実施
- ・ファーブルトーク：87 回、5,935 人の児童生徒等にミニレクチャーを実施
- ・兵庫地域展共催館による「生き虫」を使ったイベントなど、人博のメニューにはないセミナー

ーを実施

（４）国際シンポジウムの実施：フランス・アヴェロン県との国際交流事業の実現

- ・財団法人淡路花博記念事業協会と共催で、10/4 に国際フォーラムを開催
- ・当日の参加者は約 500 人、事前イベント「子ども灘山探検隊」に 56 人、当日の「灘山ツアー」に 40 人と全体を通して盛況であった
- ・兵庫県の準姉妹県であるフランス・アヴェロン県からピエール・マリー・ブランケ氏（アヴェロン県議会副議長）とヤスミン・ママ氏（ミクロポリス昆虫博物館館長）が来日し、井戸敏三兵庫県知事への表敬訪問、当日のフォーラム、終了後のレセプションと知事会食、翌日の博物館視察と記念植樹に出席

（５）入館者数等

期間中のビジター数＝74,409 人、 観覧者数＝36,654 人

（うち有料入館者＝10,654 人、うち学校団体数（人数）＝132 校（11,930 人））

■ マーケティング タスクフォース

（１）「ひとく手帖 2009」の広告協賛での印刷

広告協賛いただいた団体等の数は、56 団体で、広告協賛費は 128 万円となった。

■ グローバル・プログラム タスクフォース

（１）国際シンポジウムの実施

1) 2008 年 4 月 25－26 日 G 8 環境大臣会合記念シンポジウム 於：人と自然の博物館

（２）外国との連携

1) マレーシア・サバ州

<ボルネオ ジャングルスクール>

・2008 年 7 月 25 日－8 月 1 日 ボルネオジャングルスクール（サバ大学熱帯生物学保全研究所との連携事業） 於：マレーシア・サバ州

<JICA 関係>

・2008 年 12 月 7 日 JICA カウンターパート研修：マレーシア・サバ州 BBEC 関係者 於：人と自然の博物館

・2009 年 2 月 10－15 日、3 月 3－4 日 JICA カウンターパート研修：インドネシア国立生物学研究センター研究員ほか 於：人と自然の博物館

・2009 年 2 月 10 日－3 月 5 日 JICA 事業「生物学研究センター標本管理体制及び生物多様性保全のための研究機能向上プロジェクト」 カウンターパート研修受け入れ 於：人と自然の博物館他

<共同調査>

・2008 年 11 月 9 日－20 日 ショウガ科植物にユニークな性表現 *flexistylis* の調査 於：マレーシア・サバ州

2) フランス・アヴェロン県他

<国際フォーラム>

・2008 年 10 月 4－5 日 自然の再生と共生国際フォーラム：フランス・アヴェロン県副議長、ミクロポリス館長 於：淡路夢舞台国際会議場、人と自然の博物館

<共同展示>

・『昆虫記』刊行 100 年記念日仏共同企画「ファーブルにまなぶ」 於：人と自然の博物館

3) 中国・雲南省

<共同調査>

- ・2008年6月15日－6月28日 科研費による海外調査 於：中国・雲南省

■ 環境学習推進 タスクフォース

(1) 学校との連携授業の実施・教材開発とその活用

- 1) 小学校（高砂市など）、中学校（県立大附属など）、高校（三田祥雲館、有馬高校、クラーク記念国際高校など）との連携
- 2) 化石公園を生かした教材開発（三田市教育委員会 理科部会）
- 3) 教職員セミナー（丹波）の内容をもとに教材開発（篠山市中学 理科部会）

■ 博物館ネットワーク構築 タスクフォース

(1) 他館との連携事業の実施

NPO西日本自然史系博物館ネットワーク（4件）、サイエンスミュージアムネット、自然史博物館における標本情報発信に関する研究会、佐用昆虫館（4件）、展示への協力（2件）の合計12件と連携事業を行った。

(2) ひととはく主催事業への博物館等の参画推進

「丹波竜フェスティバル」に6館、「ひととはくフェスティバル」に10館の参画があった。

■ 情報システム更新 タスクフォース

(1) 博物館の情報システムの更新推進

更新にあたっては、現行システムの課題を抽出して、その課題が解消するよう対策を検討・実施した。

- ・ひととはく資料データベースのホームページ公開
- ・ランニングコスト削減(18年度予算に対し概ね25%削減)
- ・迷惑メール除去システムの導入
- ・大型ディスプレイの活用による展示システム等の充実

■ フェスティバル タスクフォース

(1) ビジター数 22,250人（前年から約7,000人増）。

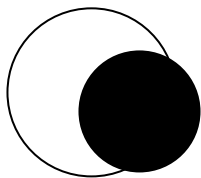
(2) 後援・協賛団体 7団体。

(3) 他団体・グループなどの参画

ミュージアムワールドに30団体、ステージに吹奏楽部が5校とチアリーディングが1校、まんぷく屋台（飲食系）に7団体の参画があった。参画総数43団体。

(4) ひととはくワールド（ひととはくによるパフォーマンス）の実施

ひととはくの館員による「恐竜〇×クイズ」、「虫放天 ふたたび!」、「ひととはく採れ取れビンゴ（植物編）」、「にがお絵師『ちんげんさい』」など。



平成 20 年度事業報告

人と自然の博物館では、その活動内容をよりわかりやすくかつ明確にするために、平成 14 年度から「中期目標」と「措置」を設けている。中期目標は、いわば博物館の行動の指針となる大項目であり、これが全部で 9 項目設けられており、それぞれに達成を目指すべき目標値（指標）が設定されている。そして、この中期目標の各項目の下位項目として「措置」が設定されている。措置では、中期目標の達成と博物館活動の活性化に資する具体的な項目について、その行動の方針と、具体的な数値目標が設定されている。

次ページ以降の図表および解説は、中期目標の各項目に即して、平成 20 年度の博物館の活動内容とその自己評価、および平成 21 年度の事業方針を整理したものである。また、中期目標を支える措置の項目については、それぞれについての目標値・実績・達成度（%）を示した。

なお、平成 19 年度に中期目標と指標、および措置について、平成 14 年度から平成 18 年度の活動成果をふまえて、さらに社会のニーズへの対応を考慮して修正を行った。平成 20 年度は、平成 19 年度の実績や達成状況、博物館の将来構想を吟味したうえで中期目標と措置の最終案を設定し、それに従って事業を進めた。

1 研究

研究・
シンクタンク
推進室

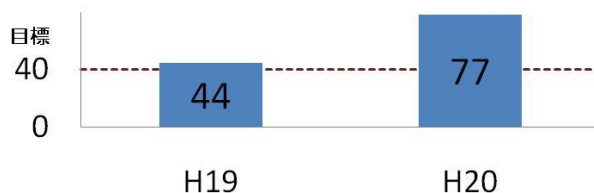
兵庫から世界を対象に自然・環境に関する調査研究を行い、その成果を新しいプログラムやコンテンツ開発等の事業にフィードバックさせます。

1-1 学術論文数

学会等の査読を経て採用された学術論文数

中期目標：40本/年

平成20年度：77本(193%)

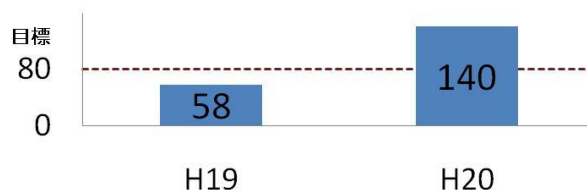


1-2 一般向け著書数(総説・その他)

自費出版を除く一般向け著書、雑誌・新聞等の執筆数

中期目標：80本/年

平成20年度：140本(175%)



平成20年度の実績について

全ての博物館活動の基礎となる「自然・環境」また「人と自然の共生」に関する研究を進め、その成果を学会誌等に研究員あたり最低年間1報発表し、さらに一般県民にそのエッセンスを易しく解説する一般向け著書にも積極的に投稿することを目標に掲げました。

平成20年度の実績状況と自己評価

学術論文また一般向け著書の公表数は、いずれも目標値を大きく上回りました。特に一般向け著書に関しては昨年度の3倍近い140件の公表となりました。目標値を引き上げるべきなのかもしれません。ただ学術論文・一般向け著書数は、研究員による偏りが見受けられ、最低限の目標が個々の全ての研究員において達成されたわけではありませんでした。

平成21年度の実績に向けて

最低限の学術論文また一般向け著書の公表が、博物館の総体としても、また個々の全ての研究員においても達成されるよう、研究助成金の獲得にむけての勉強会の開催、また学術論文のダウンロード環境の整備に取り組みます。個人研究・部門研究の推進はもちろんのこと、研究部横断的な課題に取り組む、新たな「総合共同研究」の立ち上げも目標とします。

2 資料

研究・
シンクタンク
推進室

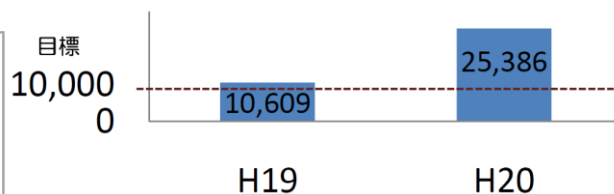
質の高い特色ある資料の収集を行い、学術利用のみならず「演示」への利用を積極的に推進します。

2-1 資料の登録点数

「ひとはく資料データベース」への年間登録件数

中期目標：10,000点/年

平成20年度：25,386点(254%)

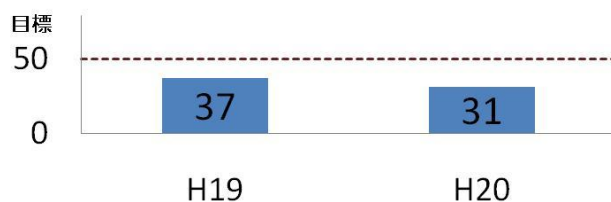


2-2 資料の利活用件数

資料の館外利用件数(貸出資料件数・館外展示件数)とマルチメディアデータ等の提供件数の合計

中期目標：50件/年

平成20年度：31件(62%)



平成20年度の取組みについて

博物館情報機器のシステム更新にあわせ、収蔵資料および環境情報の収集・保存・利活用のシステム整備を行いました。研究員自らの資料収集、藤本コレクションなど県内外の自然史資料の受贈手続きを積極的に推し進めました。これらの資料や情報は利活用されて初めてその意義を発揮することから、登録件数だけでなく公開件数やその利活用の件数もその目標にあげました。

平成20年度の達成状況と自己評価

収蔵資料の登録点数は目標を大きく上回り、植物・昆虫標本を主として新たに2万5千点の登録を行いました。登録資料は、地球規模生物多様性情報機構 (Global Biodiversity Information Facility, GBIF) により、全世界からの閲覧が可能となりました。ただ、博物館資料の貸し出し件数・館外展示・情報の貸し出し件数などの「利活用件数」、すなわち学術利用以外の普及教育用の「演示」への活用は低調のままでした。

平成21年度の取組に向けて

資料の収集・受贈・整理登録について分野に偏ることなく継続する。博物館資料・環境情報の利活用件数を増やすため、情報のインターネットによる公開や、県民や専門家にとって魅力的かつ重要なコレクションの充実を図ります。一方で、演示をはじめとする環境学習などに有用な教材となる「資料」の整備を進めます。また地域住民や行政にとって有用な資料・情報が博物館に存在することの「広報」や「貸し出す仕組み」を整備します。

3 生涯学習の支援

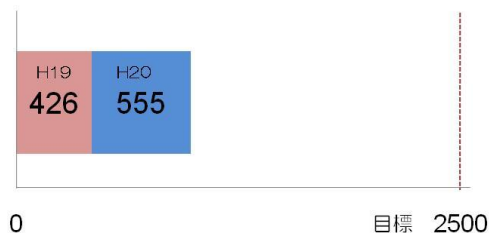
生涯学習課

「演示」手法を最大限に活用し、未体験者の来館と団体利用者の個人再来館を促し、参加者数・参加者層を拡大します。

3-1 ビジター数(総利用者数)

本館ビジター数、共催事業参加者数、館外展示観覧者数の合計

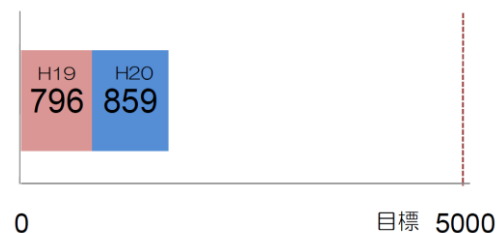
中期目標：2,500 千人/5 年
平成 20 年度：555 千人



3-2 来館団体数

来館幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校、大学、一般団体数の合計

中期目標：5,000 団体/5 年
平成 20 年度：859 団体



平成 20 年度の取組みについて

4 月の「ひとはく恐竜ラボ」オープン、9～11 月の「ファールにまなぶ」展などによる集客増に加えて、館内でのオープンセミナーの開催回数を増やしました。団体向けには特注セミナーを積極的に広報して、年間 527 講座(前年度 329 講座、前年度比 160%)を開催しました。とくに「ファールにまなぶ」展の期間中には「ファールトーク」と称して多数の団体向けに特注セミナーを実施しました。

平成 20 年度の達成状況と自己評価

ビジター数は 55 万人を超え、前年度の 42.6 万人を大きく上回りました。本館ビジター数も増えましたが、館外での共催事業の積極的な展開、丹波の恐竜化石関連の諸施設でのビジター増が効果を上げています。来館団体は、前年度に比べて一般団体が 487 団体から 551 団体に(113%)、学校団体が 309 団体から 318 団体に(103%)それぞれ増えています。博物館での企画展や「丹波の恐竜化石」の効果が現れたと分析しています。

平成 21 年度の取組に向けて

「丹波の恐竜を知ろう」「竜と獣の道」「初夏の鳴く虫と巡回展」「コウノトリのいる風景」などの企画展を広く広報して来館者増に努めます。さらに、館外でのイベント・セミナーも充実させてビジター増につなげます。年間を通じて、「ひとはく新聞」「ひとはくレター」のほか、報道向けの広報や他施設との連携を深めることで広範囲にひとはくの活動を紹介していきます。

また、「ひとはく手帖」に各研究員の特注セミナー一覧を分野別に掲載することで、わかりやすく紹介してビジター数確保、団体数の確保に努めます。

3 生涯学習の支援

生涯学習
推進室

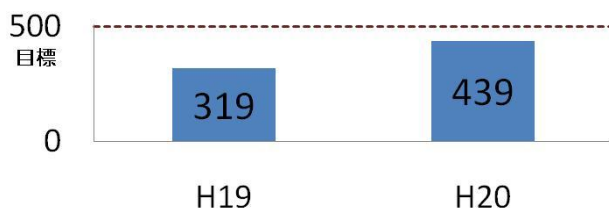
段階的・連続的な学習プログラムを提供し、地域研究員・連携活動グループを育成します。これらの「担い手」や他団体との連携を促進し、博物館事業の拡大を図ります。

3-3 地域研究員・連携活動グループ登録者数

地域研究員と連携活動グループ登録者数の合計

中期目標：500人(H23時点)

平成20年度：439人(88%)

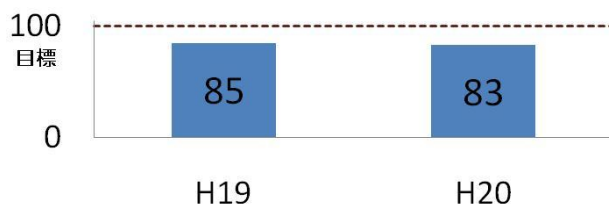


3-4 他団体との連携プログラム数

共催事業、協力事業、後援事業、館外展示件数の合計(地域研究員・連携活動グループによるものを含む)

中期目標：100件/年

平成20年度：83件(83%)



平成20年度の取組みについて

共生博物館地域研究員養成事業として第4回「共生のひろば」を開催するにあたり、従来の発表会に加えてポスター・作品展示を企画展示室で行う「共生のひろば展」を約二か月間実施し、市民による調査・研究・活動の成果の発表の機会を拡充しました。また、「共生のひろば」を神戸大学との連携によるJST助成事業「地域科学技術理解増進活動推進事業『地域ネットワーク支援』」の一環として開催し、外部資金の導入を図りました。

平成20年度の達成状況と自己評価

「共生のひろば」発表会には、発表者と聴講者を合わせて300名の参加があり盛況でした。「共生のひろば展」は、長期にわたって作品展示ができ、出展者に好評でした。新規登録は地域研究員4件、連携活動グループ2件とやや低調でしたが、他団体との連携プログラム数は共催44件、協力26件、後援4件、館外展示10件で、このうちひとく連携活動グループとの協働プログラムは10件と、充実しつつあります。

平成21年度の取組に向けて

地域研究員養成事業は、昨年度に引き続き「共生のひろば」発表会および「共生のひろば展」を、内容のさらなる充実を図りながら実施します。また、COP10の開催に合わせて、JSTの『地域ネットワーク支援』事業を活用しながら、生物多様性に関する県民・市民ネットワークの形成に向けた活動を進めます。県民・市民グループの活動のさらなる活性化と、グループ間の交流の円滑化を図ります。

4 シンクタンク活動の支援

研究・
シンクタンク
推進室

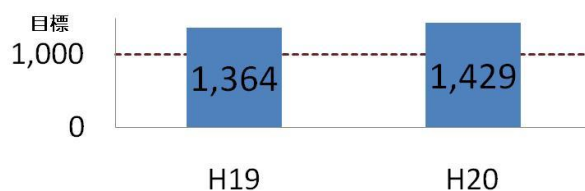
自然・環境に関する県政課題に対して、適切な助言や提言等を行います。また、企業や行政団体等のニーズに応え、先駆的な調査研究を積極的に受託します。

4-1 県政・市町行政に対する貢献度

国・県・市町関連の委員会及びプロジェクト参画数

中期目標：1,000 件/年

平成 20 年度：1,429 件(143%)

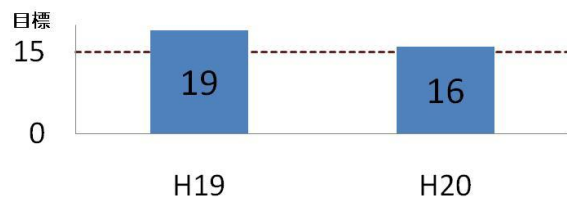


4-2 受託研究件数

調査研究受託契約件数

中期目標：15 件/年

平成 20 年度：16 件(107%)



平成 20 年度の取組みについて

県また国関連部局の委員会・審議会等への学識経験者としての参画を進めました。関連部局・施設、また企業とともに地域の問題を解決する受託研究の目標獲得件数を 15 件に設定しました。

平成 20 年度の達成状況と自己評価

博物館研究員の県政関連の委員会・審議会等への学識経験者としての参画数は 341 件にのぼり、それに関連して博物館に来訪する関係者は昨年度を上まわり 1429 名に達しました。博物館の研究をはじめとする各種の事業が行政施策に生かされ得る、第一段階は達成していると考えられます。受託研究に関しても目標値を超えて 16 件を達成しました。

平成 21 年度の取組に向けて

博物館の各種の事業が行政施策また県民の活動に生かされ得る第一段階は達成していますが、実際に県政また県民グループの活動がそのプランに沿って具体化されているかを検証する必要があります。外来種問題対応のシステムの確立、生物多様性兵庫戦略の地域での具体的な活動を進めます。またこの目標達成のための財政基盤の確保として、受託研究の獲得を進めます。

5

マーケティング・マネジメント

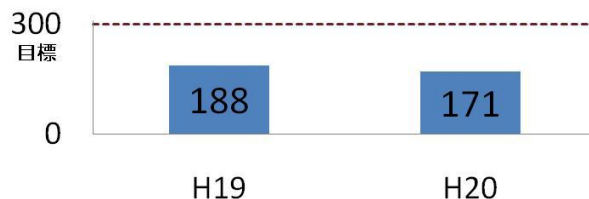
企画調整室

情報化社会に対応した情報提供を拡大し、広く県民の博物館事業への理解を醸成するとともに、博物館を活用する気運を高めます。

5-1 ホームページアクセス件数

ホームページに対するアクセス件数

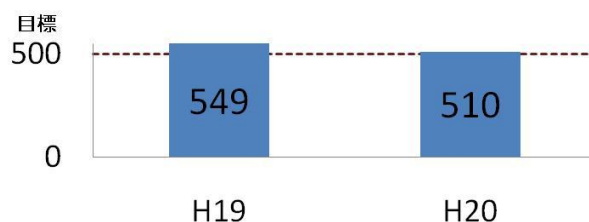
中期目標：300 千件/年
平成 20 年度：171 千件(57%)



5-2 メディア等出演件数

新聞・雑誌等記事掲載件数、テレビ・ラジオ等への出演件数の合計

中期目標：500 回/年
平成 20 年度：510 回(102%)



平成 20 年度の取組みについて

「恐竜化石」、「ファールにまなぶ展」、「生物多様性」のそれぞれの関連事業によって、メディアへ取り上げていただく機会が増えました。またホームページの更新回数の増やすこと等によって、皆さんに博物館の存在を知っていただくよう(知名度の向上)に努力しました。(なお知名度については、具体的な調査等は実施できませんでした。)

平成 20 年度の達成状況と自己評価

「恐竜化石」に関連した新事実の発表や展示会や、「ファールにまなぶ展」、「生物多様性」の関連した展示やイベント、シンポジウムなどが新聞に掲載されたり、テレビで報道されるなど、メディア等への出演件数は目標値に達したものの、前年の件数には及びませんでした。しかし前年度と同様に知名度は確実に上がっていると思われます。一方でホームページのアクセス件数が上がらなかったのは、更新件数(変化)が少なかったためと思われます。年度末にはホームページのリニューアルを行ったので、次年度たくさんの方に見ていただくことを期待しています。

平成 21 年度の取組に向けて

引き続き、「恐竜化石」に関する事業を展開することで、知名度の向上をはかりたいと考えています。昨年度末にホームページのリニューアルを行い、より見やすいページにしました。特にトップページでは、「ひとはくブログ」(館員からの情報)が目立つように工夫し、また館員の更新がし易くなるようにシステムを変更しました。これを期に、館報などの情報も一般の方に読み易いものにするように編集する予定です。また、「ひとはくブログ」などにおいてカテゴリーを増やすこと(内容の充実)も検討したいと考えています。

※二酸化炭素排出量について

二酸化炭素排出量は下記の換算式に基づいて算出し、前年度分との比較を行っています。

二酸化炭素排出量 = $0.36 \times \text{電気使用量 (kwh)} + 0.36 \times \text{水道使用量 (m3)} + 2.29 \times \text{ガス使用量 (m3)}$

5

マーケティング・マネジメント

企画調整室

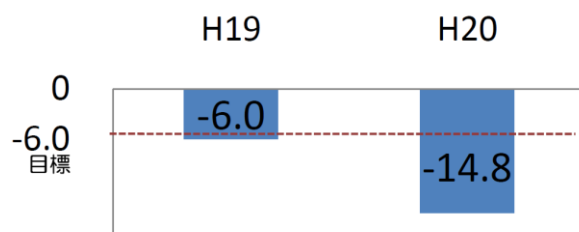
効率的で健全な博物館運営を目指します。

5-3 二酸化炭素排出量の削減

対平成 18 年度比削減率

年度目標：-6%(H18 年度比)

平成 20 年度：-14.8%

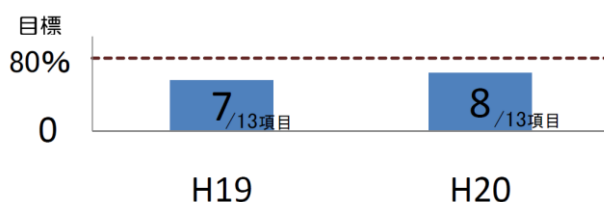


5-4 中期目標の達成度

中期目標の総指標数のうち達成した指標数の割合

年度目標：80%

平成 20 年度：62%



平成 20 年度の取組みについて

第 2 期中期目標の暫定版の「目標値の設定」を見直して正式版の中期目標を確定させました。たとえば「資料の利活用件数(年間 50 件)」、「ビジター数(総利用者数:5 年間で 250 万人)」などの目標値を引き上げたり、一方で「一般向け著書数(年間 80 本)」の目標値を引き下げるなど数値の見直しとともに指標の整理・統合を行いました。

平成 20 年度の達成状況と自己評価

電気、水道、ガスの使用量から算出する二酸化炭素排出量は、かなりの削減ができました。しかし、中期目標の総指標数のうち達成した指標数の割合(達成度)は 62%であり、年度目標の 80%には到達できませんでした。中でも「資料の館外利用件数」や「来館団体数」、「他団体との連携プログラム数」、「ホームページアクセス件数」などは前年度よりも低調であったため、特に対策が必要だと考えています。(なお外部評価委員会による評価点検については実施することはできませんでした。)

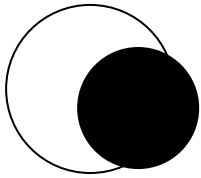
平成 21 年度の取組に向けて

目標値の達成だけでなく、新たな「兵庫県立人と自然の博物館」の基本構想や基本計画を踏まえて、ルーチン化している事業の内容・意義等を見直して行きたいと考えています。

※新たな「兵庫県立人と自然の博物館」の基本構想や基本計画について

ひとはくでは、「今後博物館は、どのようにあるべきか?」ということを有識者の方々と一緒に委員会を開いて検討しています。平成 17~18 年度には「基本構想」として、平成 19 年度には「基本計画」として検討し、それぞれ報告書に取りまとめています。

資料および個人別成果



博物館概要等に関連する資料

○主な収蔵資料

1) 主な購入資料

[化石]

オフサルモサウルス
ドイツ・メッスル産化石一式
ポプロフォネウス
アマリカマストドン全身骨格
ヒプセロサウルス卵化石
ユーステノブレトン
ケニア産人類・哺乳類化石レプリカ一式

[地質・岩石・鉱物]

兵庫県産鉱物
石鉄隕石
隕鉄

[動物]

オオヒクイドリ剥製
鳥類剥製
甲殻類剥製
軟体動物含浸標本
貝類含浸標本
鳥類生態写真
魚類生態写真

[昆虫]

タマバエ科他標本 (ママエフコレクション 8,500 点)
ノミ・チョウ類標本 (阪口コレクション 50,000 点)
チョウ類標本 (宮脇コレクション 6,060 点)
(台湾・中国産 1,300 点)
チョウ類他標本 (小林コレクション 11,000 点)
チョウ・甲虫類標本 (江田コレクション 272,600 点)
シロチョウ科標本 (熊谷コレクション 2,581 点)
フタオチョウ類標本 (佐藤コレクション 1,766 点)
甲虫類標本 (泉コレクション 2,400 点)
(高橋コレクション 7,248 点)
ハナムグリ類標本 (億田コレクション 3,000 点)

[植物]

兵庫県産木材樹幹
外国産木材樹幹

屋久杉輪切り(年輪)標本
種子標本(種子コレクション)
特殊材

[映像資料]

兵庫の自然シリーズビデオ本
生物系ビデオ本
地球大紀行再編集ビデオ本

2) 主な寄贈資料

[化石]

神戸層群産植物化石 4,627 点(堀冶三郎氏)
神戸層群産植物化石 2,656 点(高岡得太郎氏)
日本産中生代貝類化石 890 点(市川浩一郎氏)
高知県唐ノ浜層群産鮮新世化石 251 点(仙頭鷹雄氏)
備北・勝田層群産中新世化石 187 点(岸本眞五氏)
岩手県一関地域産中新世貝類化石 80 点(林広樹氏)
長野県富草層群産中新世貝類化石 49 点(小関正嗣氏)

[地質・岩石・鉱物]

生野鉱山鉱石 7 点(シルバー生野)

[動物]

貝類標本 10,000 点(菊池典男氏)
鳥類標本 87 点(中田富士雄氏)
鳥類標本 620 点(西堀静江氏)
鳥類標本 130 点(柴田嘉三氏)
鳥類標本 15,000 点(小林登美子氏)

[昆虫]

ハエ類等標本 10,300 点(田中梓氏)
チョウ類等標本 14,000 点(柴田篤弘氏)
チョウ類等標本 5,700 点(山本廣一氏)
チョウ類等標本 11,000 点(小林登美子氏)
カリバチ類タイプ標本 367 点(常木三澄子氏)
ハバチ類標本 14,000 点(猪股光子氏)
ゴミムシ類標本 5,700 点(大倉孝子氏)

[植物]

蘚苔・地衣類標本 25,000 点(中西田鶴子氏)
シダ類標本 4,000 点(稲田政子氏)
高等植物標本 20,000 点(細見末雄氏)

○情報システム

当館は、従来の自然史博物館の機能に加えていくつかの新しい考え方を持っている。その中で重要な考え方の一つは、利用者に対する自然科学に関する情報発信基地としての機能である。

この機能を実現するためには、博物館自身が自然環境情報を収集・管理し、そうした情報を効果的に活用して館内外へ情報の提供を行える体制づくりが必要である。そのため、博物館情報システムを利用して、博物館の利用者に対して博物館の持つ情報と機能の提供を行う。

なお、博物館の情報システムは以下の7つのサブシステムで構成されている。

1) システム構成



① 収蔵品管理システム ～ひとはくデータベース～

100万点を超える収蔵品を管理するシステムで、収蔵品データベース、マルチメディアデータベース、資料データベースの3つのデータベースから成り立ち、これらをあわせて、「ひとはくデータベース」と呼んでいる。

博物館の収蔵品（標本の管理単位）の属性データ及び静止画像・音・動画等のデータや収蔵品以外の各種画像や資料データをデータベース上で管理するシステムである。データベースへの登録や検索は、館員の端末からWebブラウザを利用して行う。



② 展示情報システム

博物館で保有する豊富な情報を一般来館者が興味を抱くような形で提供することを目的とするシステムである。

ひとはくデータベースと連携し、文字情報だけでなく、静止画像、音、動画など、データベースに蓄えられているさまざまな情報を有機的に組み合わせるマルチメディアリンク機能を有し、館内各所に設置した情報端末に表示するものである。

なお、情報端末に掲載する情報は職員や研究員の各端末からWebブラウザで操作でき、展示情報の更新のスピードアップを実現している。



③ 普及広報システム

平成8年6月25日に館内に独自サーバを設置し、インターネット発信を開始した。現在の発信内容は、博物館の紹介・交通案内・展示解説・イベント情報などの基本情報の提供に加え、資料データベースの公開、館員の活動内容を紹介するミュージアムブログなど、内容の充実を図っている。



④ 地理情報システム (GIS)

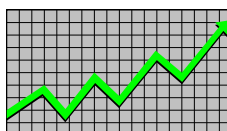
収蔵品、画像等のデータを地図上に投影することで、自然の理解、自然環境調査や研究成果の発信及び環境教育を促進するための優れたツールである。

博物館の展示システム、資料データベース、ホームページと連携して利用でき、各種自然環境情報が閲覧可能なマップサーバとして機能している。



⑤ 研究支援システム

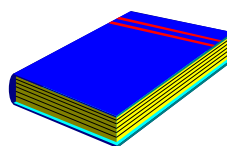
館内LANを利用して、各種データの解析、映像編集、作図等が行えるようになっている。顕微鏡の精細な映像や博物館で作成したビデオ映像などをモニター等により来館者に提供する等、研究内容の効果的な発表や来館者の理解度の向上に役立てている。



⑥ 運営支援システム

各種イベント、セミナー受講受付、団体受付に関し、館員の端末からWebブラウザを利用して、情報を一元的に把握できる館内情報表示システムを構築している。

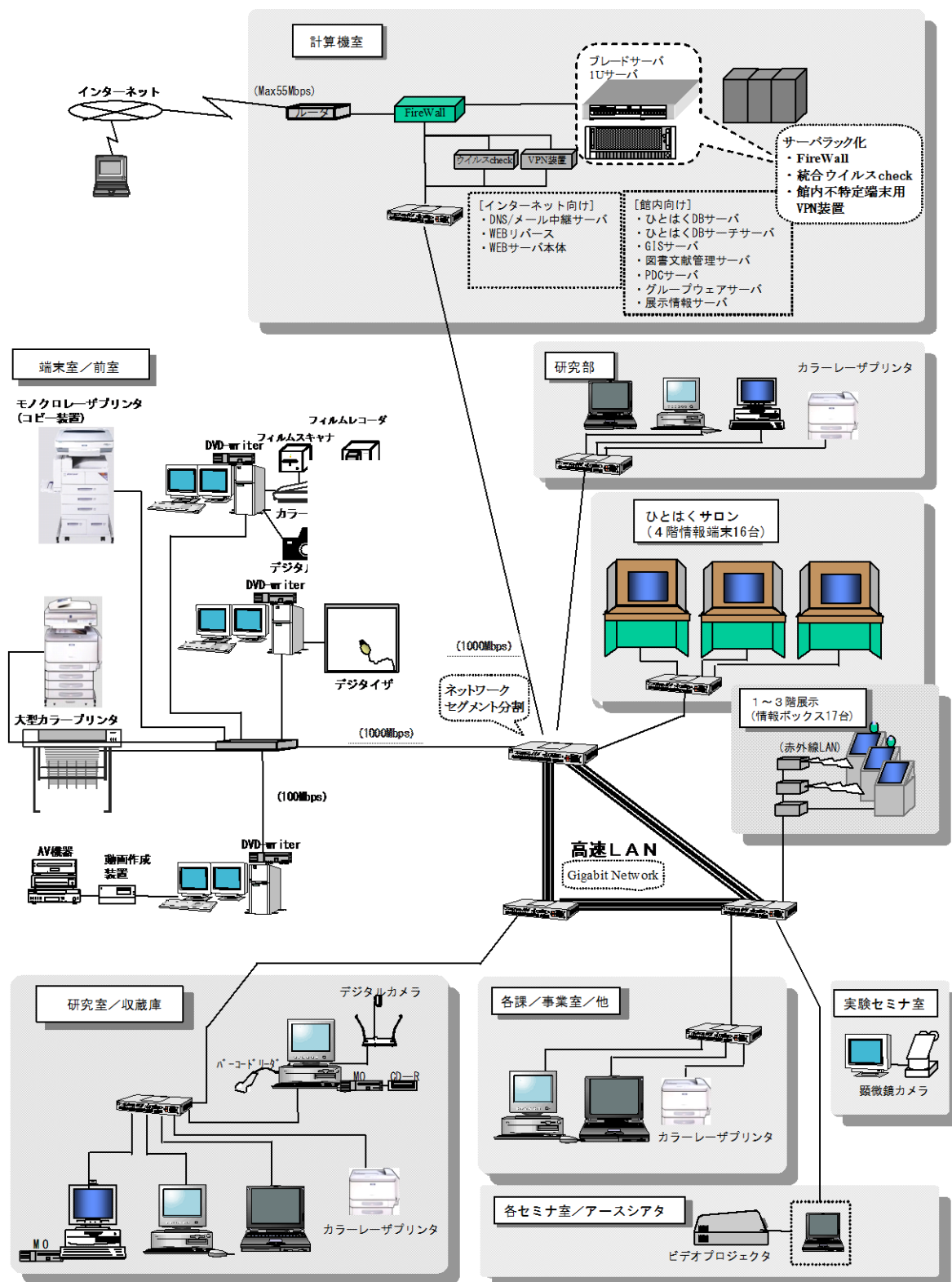
このシステムにより、情報の共有化・統一化が可能となり、確認作業等が短時間で確実に行われ、来館者へのサービスが向上するとともに、事務の効率化、省力化が図られている。



⑦ 図書文献管理システム

博物館の図書室、レファレンス図書、研究室等で所蔵する10万点を超える図書・文献等を管理するシステム。館内の端末から利用できるほか、レファレンス図書については、インターネットからも利用できる。

2) システム構成



* サーバ11台、クライアントパソコン88台、プリンタ等13台

〇条例等

兵庫県立人と自然の博物館
設置及び管理に関する条例

(平成4年3月27日)
条例第25号

(沿革)
平成7年7月18日条例第24号改正 平成15年3月17日条例第7号改正
平成16年3月26日条例第7号改正 平成18年9月28日条例第53号改正
平成19年3月16日条例第9号改正

(設置)
第1条 自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然との調和した環境の創造に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）を置く。

(位置)
第2条 博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目とする。
(業務)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。
(1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
(2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
(3) 博物館資料に関する研究等のために博物館の施設を利用させること。
(4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
(5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
(6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
(7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
(8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
(9) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な業務
2 教育委員会は、博物館の施設を、その目的を達成するために支障のない限り、その目的以外の目的のために利用させることができる。

(職員)
第4条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。
(観覧料)

第5条 博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納めなければならない。
2 博物館資料を特別に展示している場合における観覧料は、前項の規定にかかわらず、別表第2に定める額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。
3 教育委員会は、博物館資料を特別に展示している場合における観覧料について、前項に規定する額により難いと認めるときは、同項の規定にかかわらず、当該観覧料の額を展示の内容等に応じて定めることができる。一部改正〔平成19年条例9号〕

(特別観覧料)
第6条 博物館に展示し、又は保管している博物館資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、1点1回につき、3,000円の範囲内で教育委員会規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。
(入館の拒否)

第7条 教育委員会は、博物館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒否することができる。
(1) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれがある者又はそのおそれのある物品、動物その他これらに類するものを携帯する者
(2) 施設、設備又は展示品を損傷するおそれがあると認められる者
(遵守事項等)

第8条 博物館に入館した者は、次に掲げる事項を守らなければならない。
(1) 展示品（教育委員会規則で定める物を除く。以下同じ。）に触れないこと。
(2) 展示品の近くでインキ等を使用しないこと。
(3) 許可を受けないで展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと。
(4) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
(5) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をしないこと。
2 教育委員会は、博物館に入館した者が、前項の規定に違反したとき、又は博物館の管理上必要な指示に従わないときは、その者に対して、退館を命ずることができる。

(施設の利用)
第9条 別表第3に掲げる博物館の施設を利用しようとする者は、教育委員

会の許可を受け、同表に定める使用料を納めなければならない。
2 教育委員会は、前項の利用の許可を受けた者が博物館の管理上支障がある行為をするおそれがあると認めるとき、又は当該施設を他人に転貸したと認めるときは、同項の利用の許可を取り消し、又は当該施設の利用を制限し、若しくは停止することができる。一部改正〔平成19年条例9号〕
(原状回復の義務等)

第10条 博物館を利用する者は、その責めに帰すべき理由によりその施設、設備、博物館資料又は植栽物を滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、又はこれに要する費用を負担しなければならない。
(観覧料等の免除)

第11条 教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、第5条の観覧料、第6条の特別観覧料及び第9条第1項の使用料の全部又は一部を免除することができる。
(観覧料等の不還付)

第12条 既に納めた観覧料、特別観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。
(博物館協議会)

第13条 博物館に、博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定により、兵庫県立人と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織する。
3 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、委員は、再任されることができる。
(補則)

第14条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理並びに協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則
(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。
ただし、第3条第1項第7号、第5条、第6条、第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）及び第12条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。（委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正）
2 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和35年兵庫県条例第24号）の一部を次のように改正する。
第1条に次の1号を加える。
(77) 人と自然の博物館協議会
別表第1に次のように加える。

人と自然の博物館協議会	会 長	日 額	12,400円
	副会長	日 額	10,400円
	委 員	日 額	10,000円

別表第2に次のように加える。

人と自然の博物館協議会の委員	職員旅費条例中8級の職務にある者相当額
----------------	---------------------

附 則（平成7年7月18日条例第24号）
(施行期日)

1 この条例は、平成7年8月1日から施行する。
(経過措置)
2 この条例の施行の日前に第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。
3 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則（平成15年3月17日条例第7号抄）
(施行期日)

1 この条例は、平成15年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成16年3月26日条例第7号抄）
(施行期日)

1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成18年9月28日条例第53号）
この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年3月16日条例第9号抄）
(施行期日)

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。（後略）

別表第1（第5条関係）			
区分	観覧料(1人につき)		備 考
	個人	団体	
大人	200 円	150 円	1.「学生」とは、大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。 2.「小人」とは、中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童をいう。 3.「団体」とは、20 人以上の場合をいう。 4.県内に住所を有し、又は県内の学校に在学する小人が利用する場合は、無料とする。
学生	150 円	100 円	
小人	100 円	70 円	

別表第2（第5条関係）			
区分	特別展示観覧料（1人につき）		備 考
	個人	団体	
大人	2,000 円	1,600 円	1.「学生」とは、大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。 2.「小人」とは、中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童をいう。 3.「団体」とは、20 人以上の場合をいう。 4.県内に住所を有し、又は県内の学校に在学する小人が利用する場合は、無料とする。
学生	1,500 円	1,200 円	
小人	1,000 円	800 円	

別表第3（第9条関係）				
区分	使用料			備 考
	開館時から12時まで	13時から開館時まで	開館時から閉館時まで	
ホール	5,500 円	7,000 円	12,500 円	1 平日に利用する場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。 2 「平日」とは、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日以外の日をいう。
附属設備	別に教育委員会規則で定める額			

兵庫県立人と自然の博物館管理規則

〔沿革〕

平成4年10月26日教育委員会規則第19号改正

平成15年3月25日教育委員会規則第7号改正

平成16年3月26日教育委員会規則第14号改正

平成19年3月30日教育委員会規則第11号改正

（趣旨）

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例（平成4年兵庫県条例第25号。以下「条例」という。）第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第2条 博物館の開館時間は、9時から17時までとする。

2 博物館の観覧時間は、10時から17時までとする。ただし、16時30分以降は、入館させないものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間又は観覧時間を変更することができる。

（休館日）

第3条 博物館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。

（1）月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日（当該翌日が同法に規定する祝日に当たるときは、その翌々日）とする。

（2）1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日までの日

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

（観覧料の納付）

第4条 条例第5条の規定により博物館に展示されている博物館資料を観

覧しようとする者は、観覧料を納めて観覧券の交付を受けなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合には、あらかじめ観覧券の交付を受け、観覧を終了した後に納付することができる。

2 観覧券の発売時間は、10時から16時30分までとする。ただし、観覧時間を変更した場合には、観覧時間の開始時刻から終了時刻の30分前までとする。

（特別展示観覧料）

第5条 条例第5条第2項に規定する特別展示の場合の観覧料は、教育委員会が定める。

（特別観覧の許可等）

第6条 条例第6条の規定により特別観覧をしようとする者は、特別観覧許可申請書（様式第1号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の特別観覧許可申請書の提出があった場合において、特別観覧の許可を決定したときは、特別観覧許可書を申請者に交付するものとする。

3 条例第6条に規定する教育委員会規則で定める特別観覧料の額は、別表第1のとおりとする。

（展示品の利用）

第7条 条例第8条第1項第1号に規定する教育委員会規則で定める物は、レファレンスルームに展示する博物館資料とする。

（施設の利用の許可）

第8条 条例第9条第1項の規定により博物館の施設を利用しようとする者は、当該施設を利用しようとする日の5日前までに、兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書（様式第2号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の利用許可申請書の提出があった場合において、利用の許可を決定したときは、兵庫県立人と自然の博物館利用許可書を申請者に交付するものとする。

（使用料の額）

第9条 条例別表第3の規定により教育委員会規則で定める額は、別表第2に定めるとおりとする。

（特別観覧料及び使用料の納付）

第10条 特別観覧許可書及び兵庫県立人と自然の博物館利用許可書の交付を受けた者は、直ちに、特別観覧料及び使用料を納付しなければならない。

（観覧料等の免除）

第11条 条例第11条の規定により教育委員会が観覧料（特別展示観覧料を含む。）、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）の全部又は一部を免除することができる場合及びその場合における免除の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

（1）県内に居住する65歳以上の者が、その身分を証する書面を提示して観覧するとき。 観覧料（特別展示観覧料を含む。）の2分の1に相当する額

（2）教育委員会が特別の理由があると認めたとき。 観覧料等に相当する額のうち教育委員会が必要と認める額（観覧料等の還付）

第12条 条例第12条ただし書の規定により教育委員会が観覧料等の全部又は一部を返還することができる場合及びその場合における返還する額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

（1）観覧料等を納めた者が、その責めに帰することができない理由により観覧、特別観覧又は施設の利用ができなくなったとき。 観覧料等に相当する額

（2）使用料を納めた者が、次に掲げる期日までに施設の利用の取消しを申し出た場合において、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるとき。

ア 利用の日の7日前までのとき。 当該使用料の全額

イ 利用の日の3日前までのとき（アに該当する場合を除く。）。 当該使用料の2分の1に相当する額

2 条例第12条ただし書の規定により観覧料等の返還を受けようとする者は、兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書（様式第3号）を教育委員会に提出しなければならない。

（寄託又は寄贈）

第13条 博物館に博物館資料の寄託又は寄贈をしようとする者は、教育委員会に申し出て、その承認を受けなければならない。

（権限の委任）

第14条 教育委員会は、条例及びこの規則の規定により教育委員会の権限に属する事務を教育長に委任する。

2 教育長は、前項の事務の一部を館長に委任することができる。

（補則）

第15条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関して必要な事項

は、教育長が定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項及び第3項(観覧時間に係る部分に限る。)、第4条から第6条まで、第9条(特別観覧許可書及び特別観覧料に係る部分に限る。)、第10条(観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。))並びに第11条(観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。)の規定は、平成4年10月10日から施行する。

附 則 (平成4年10月26日教育委員会規則第19号)

この規則は、平成4年11月1日から施行する。

附 則 (平成15年3月25日教育委員会規則第7号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成16年3月26日教育委員会規則第14号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年3月30日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

別表第1 (第6条関係)

区 分	特別観覧料 (1点1回につき)		
熟 覧	150 円		
模写・模造	2,000 円		
撮 影		学術研究を目的とする場合	学術研究以外を目的とする場合
	単色	150 円	1,000 円
	原色	300 円	2,000 円

- 備考 1 博物館資料で、一式、一組等で一資料とするものは、それらを1点とする。
- 2 普通個別の博物館資料は、各個を1点とする。
- 3 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

別紙第2 (第9条関係)

1 ホールを平日に利用する場合の使用料

利用時間	9時から12時まで	13時から17時まで	9時から17時まで
金 額	4,400 円	5,600 円	10,000 円

2 附属設備の使用料

附属設備	金額
持込み電気器具用コンセント	1キロワットにつき 250 円
持込み電気器具用コンセント (録音器具を持込む場合)	持込み器具1式につき 2,000 円
持込み電気器具用コンセント (録画器具を持込む場合)	持込み器具1式につき 3,000 円
持込み電気器具用コンセント (ミキシングセットを持込む場合)	持込み器具1式につき 5,000 円

備考 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の1キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の1キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に1キロワットに満たない端数があるときは、これを1キロワットとする。

様式第1号		特別観覧許可申請書		年 月 日	
兵庫県教育委員会様					
住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)					
氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)					
電話		— — 番			
次のとおり申請します。					
品 目	点 数	所 有 者	備 考		
観 覧 希 望 日 時	年 月 日 時から 時まで				
研 究 の 方 法	熟 覧	模 写	模 造	撮 影	
研 究 の 目 的					

様式第2号		兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書		年 月 日	
兵庫県教育委員会様					
住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)					
氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)					
電話		— — 番			
次のとおり申請します。					
利 用 目 的					
利 用 室 名					
附 属 設 備 の 名 称					
期 間	年 月 日 時から (日 時間) 時まで				
利 用 者 数					
※ 使 用 料	円				
※ 備 考					
(注) ※印の欄は、申請者において記入しないでください。					

様式第3号		兵庫県立人と自然の博物館観覧料等運付請求書		年 月 日	
兵庫県教育委員会様					
住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)					
氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)					
電話		— — 番			
許可の年月日及び番号	年 月 日 第 号				
運 送 請 求 の 内 容			※ 運付金の内訳		
利 用 等 の 日 時	年 月 日 時から 時まで (日 時間)				
既 納 付 額	円				
運送を受けようとする理由					
※ 運 付 率	パーセント				
※ 運 付 額	円				
(注) 1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。 2 領収書等納付したことを証する書類を添付してください。					

兵庫県立人と自然の博物館協議会(平成4年3月27日教育委員会規則第9号)の組織及び運営に関する規則(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号)第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に關して必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(補則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に關して必要な事項は、会長が兵庫県立人と自然の博物館長と協議して定める。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

兵庫県立人と自然の博物館の 管理に関する規程

(平成4年3月31日)
教育長訓令第2号

(趣旨)

第1条 この訓令は、兵庫県立人と自然の博物館管理規則(平成4年兵庫県教育委員会規則第8号。以下「規則」という。)第15条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(権限の委任)

第2条 教育長は、規則第14条第1項の規定により委任された事務のうち、規則第5条及び第11条第2号に規定する事務以外の事務を館長に委任する。

附 則

この訓令は、平成4年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月30日教育長訓令第4号)

この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

兵庫県立人と自然の博物館の 管理に関する規程(抜粋)

(平成4年3月31日)
教育長訓令第2号

(沿革)

昭和59年2月28日教育委員会規則第5号、4月1日第6号、61年4月1日第10号、9月9日第14号、62年4月1日第6号、63年4月1日第5号、5月6日第11号、平成元年4月1日第4号、4年3月31日第11号、6年3月31日第3号、7年5月22日第10号、8年8月5日第9号、9年3月31日第6号、11年3月25日第4号、12年3月29日第8号、13年3月30日第3号、14年3月29日第11号、15年3月25日第4号、16年3月25日第5号、9月10日第17号、11月19日第18号、17年2月22日第5号、3月30日第6号、9月30日第14号、18年3月31日第5号、12月26日第14号、平成19年3月30日第5号

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、兵庫県教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務を処理するための組織について必要な事項を定め、もって教育行政事務の適正かつ能率的な遂行を図ることを目的とする。

(機関の分類)

第2条 前条の組織を構成する機関を分けて、本庁、地方機関、県立学校、教育機関及び附属機関とする。

(機関の定義)

第3条

4 教育機関とは、法第30条の規定により、法律又は条例の定めるところにより設置されたもので、県立学校以外のものをいう。

5 附属機関とは、地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定により教育委員会の附属機関として設けられた審議会、委員等をいう。

(行政機能の發揮)

第4条 各機関は、相互の連絡を密にし、すべて一体となつて教育行政機能の發揮に努めなければならない。

(規定の範囲)

第5条 各機関の設置、内部組織、事務分掌及び職制は、法令又は条例に定めがあるものを除き、この規則で定めるものとする。

2 法令又は条例の規定により設置された機関の名称、位置、所管区域及び職制についても必要な事項については、この規則に掲げるものとする。

(組織の特例)

第6条 教育長は、臨時又は特別の事務で、この規則で定める組織により処理することが不適当なものについては、本部、室、委員会等を設置し、又は職員を指定し、若しくは所要の地に駐在させて、処理させることができる。

第5章 教育機関

第10節 県立人と自然の博物館

(位置)

第70条の2 兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号)第1条の規定により設置された県立人と自然の博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目である。

(業務)

第70条の3 県立人と自然の博物館においては、次に掲げる業務をつかさどる。

(1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、

写真、フィルム、テープ等の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。

(2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。

(3) 博物館資料に関する研究等のために県立人と自然の博物館の施設を利用させること。

(4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。

(5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。

(6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。

(7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。

(8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。

(9) 前各号に掲げるもののほか、県立人と自然の博物館の目的を達成するために必要な業務

(組織)

第70条の4 県立人と自然の博物館に、次の1部、3課及び3研究部を置く。

事業推進部

総務課

情報管理課

生涯学習課

自然・環境評価研究部

自然・環境マネジメント研究部

自然・環境再生研究部

(事業推進部の事務)

第70条の5 事業推進部においては、第70条の8に定める事務のほか、次に掲げる事務をつかさどる。

(1) 博物館資料の展示及び普及教育に関すること。

(2) 大学、他の研究機関との相互協力に関すること。

(3) 自然、生命及び環境に関する学術研究集会、研究会等の開催、国内外の大学等との共同研究及び研究成果の公表等に関すること。

(4) 自然、生命及び環境に関する調査研究成果の提言に関すること。

(5) その他県立人と自然の博物館の目的を達成するための調査研究に関すること。

(総務課の事務)

第70条の6 総務課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

(1) 公印の保管に関すること。

(2) 文書の收受、発送、保存等に関すること。

(3) 職員の進退及び服務に関すること。

(4) 給料その他の諸給与に関すること。

(5) 児童手当に関すること。

(6) 会計経理に関すること。

(7) 県立人と自然の博物館の管理に関すること。

(8) 人と自然の博物館協議会に関すること。

(9) 県立人と自然の博物館の業務の企画及び総合調整に関すること。

(10) 前各号に掲げるもののほか、他課及び研究部の所掌に属しないこと。

(情報管理課の事務)

第70条の7 情報管理課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

(1) 県立人と自然の博物館における情報管理システムの整備に関すること。

(2) 自然、生命及び環境に関する情報の管理に関すること。

(3) 文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料の整理及び保管に関すること。

(4) 情報機器の管理に関すること。

(5) 情報機器の利用に関する指導及び助言に関すること。

(生涯学習課の事務)

第70条の8 生涯学習課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

(1) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。

(2) 県立人と自然の博物館の広報に関すること。

(3) 他の博物館等との相互協力に関すること。

(4) 自然、生命及び環境に関する研究団体等に関すること。

(5) 県立人と自然の博物館の利用許可に関すること。

(6) 県立人と自然の博物館の利用に係る生涯学習活動及び学校教育活動の支援に関すること。

(自然・環境評価研究部の事務)

第70条の9 自然・環境評価研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

(1) 地形学、地質学、岩石学、古生物学、形態学、種生物学、進化生物学、生物地理学、系統分類学、指標生物学等自然・環境評価研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属す

るものを除く。)

- (2) 自然・環境評価研究の分野の調査研究に関すること。
(自然・環境マネジメント研究部の事務)

第70条の10 自然・環境マネジメント研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 群集生態学、個体群生態学、行動学、動物社会学、生態系生態学、都市工学、建築学、造園学、環境工学、住居学等自然・環境マネジメント研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境マネジメント研究の分野の調査研究に関すること。
(自然・環境再生研究部の事務)

第70条の11 自然・環境再生研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 植物社会学、応用生態学、資源植物学、環境教育学、保全植物学等自然・環境再生研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境再生研究の分野の調査研究に関すること。
- (3) 貴重な野生植物の種及び群落の保全に関すること。

第6章 附属機関

第71条 法令並びに附属機関設置条例(昭和36年兵庫県条例第20号)第2条及び附則第4項の規定により設置された附属機関の名称、担任事務及び庶務をつかさどる課及び室は、次のとおりである。

名 称	担 任 専 務	担当課
人と自然の博物館協議会	博物館法第20条第1項の規定による博物館の運営に関する諮問及び博物館の事業計画等についての館長に対する意見に関する事務	社会教育課

(組織)

第72条 前条の附属機関の組織に関しては、法令又は条例に定めるもののほか、別に教育委員会規則で定めるところによる。

第7章 職制

第3節 教育機関の職制

(教育機関の長)

第79条

3 県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、館長を置く。

5 所長、校長、館長及び園長は、上司の命を受け、教育機関の事務(県立嬉野台生涯教育センターの所長にあつては、県立婦人研修館の事務を含む。)を統括し、所属の職員を指揮監督する。

6 県立特別支援教育センター、県立但馬やまびこの郷(さと)及び県立嬉野台生涯教育センターの所長並びに第2項から第4項までに規定する職は、非常勤とすることができる。

(館長及び副館長)

第79条の2 県立嬉野台生涯教育センターに、館長を置き、県立美術館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、副館長を置くことがある。

- 2 館長は、所長の命を受け、県立婦人研修館の事務を掌理する。
- 3 副館長は、館長の命を受け、所属の職員を指揮監督するとともに、館長の職務を補佐する。
(副所長等)

第79条の3

4 県立図書館、県立嬉野台生涯教育センター、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、次長を置く。

6 副所長、副校長、次長及び副園長は、所長、校長、館長(県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。)又は園長の職務を補佐し、教育機関の所掌する事務を整理し、所属の職員の担任する事務を監督する。
(部長等)

第79条の4 前3条に定めるもののほか、次の表の左欄に掲げる職を、

職 名	組 織	職 務
部長	県立教育研修所、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館の部並びに県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園の研究部	上司の命を受け、部又は研究部の事務を掌理し、又は処理する。
課長	課	上司の命を受け、課の事務を処理する。
学芸員	県立美術館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
研究員	県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

それぞれ同表の中欄に掲げる教育機関の組織に置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(所長補佐等)

第80条

2 前4条及び前項に定めるもののほか、県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、館長補佐を置くことがある。

4 所長補佐及び館長補佐は、所長、校長、館長又は園長及び副所長、副校長、次長又は副園長の職務を補佐する。
(主任指導主事等)

第80条の2 前5条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職 名	職 務
主幹	上司の命を受け、教育機関の事務のうち、困難の度が高い事務を掌理し、又は処理する。
主任指導主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任社会教育主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任調査専門員	上司の命を受け、埋蔵文化財の調査に関する特殊の専門的事務を処理する。
指導主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
社会教育主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
課長補佐	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主査	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主任	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
付	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(主任研究員)

第80条の4 前7条に定めるもののほか、必要に応じ、県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職 名	職 務
主任研究員	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(その他の職)

第80条の6 前9条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、別表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(補職)

第80条の7 第79条から第80条の5までに規定する職は、事務職員等のうちから、前条に規定する職は、事務員又は技術員のうちから、教育委員会が命ずる。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項に規定するもののほか、補職についての特例を定めることがある。

(職務代理)

第81条 所長、校長、館長(県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。以下この条において同じ。)若しくは園長に事故があるとき、又は所長、校長若しくは館長が欠けたときは、副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長を置く場合にあつては副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長、(副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長があわせて2人以上置かれている教育機関にあつては、所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長)が、その他の教育機関にあつては所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した職員が、その職務を代理する。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

職 名	職 務
自動車運転員	上司の命を受け、乗用、作業用諸自動車の運転業務に従事する。
操機員	上司の命を受け、起重機、揚水装置等の操作及び保守業務に従事する。
機関員	上司の命を受け、ボイラー操作業務に従事する。

電話交換員	上司の命を受け、構内電話交換設備の操作業務に従事する。
試験研究技術員	上司の命を受け、動物飼育作業の試験研究又は指導業務の補助に従事する。
主任保安員又は保安員	上司の命を受け、庁舎、施設等の警備及び保全業務に従事する。
用務員	上司の命を受け、庁舎等の清掃、使送等の雑作業に従事する。
文書事務員	上司の命を受け、文書の使送、整理等の業務に従事する。

兵庫県立人と自然の博物館
美術品等取得基金条例

(昭和46年3月25日)
(条例第16号)

〔沿革〕
平成11年10月8日条例第43号、14年3月27日第32号改正、15年3月17日第37号改正、平成17年3月28日第15号改正、平成19年2月28日第2号改正、3月16日第25号改正

〔設置〕
第1条 兵庫県立美術館の美術品及び美術館資料、兵庫県立歴史博物館、兵庫県立人と自然の博物館及び兵庫県立考古博物館の博物館資料並びに兵庫陶芸美術館の陶芸美術品等（以下「美術品等」という。）を円滑に取得するため、美術品等取得基金（以下「基金」という。）を設置する。一部改正〔平成14年条例32号・15年37号・17年15号・19年25号〕

（基金の額）
第2条 基金の額は、5,000万円とする。
2 基金から生ずる収入は、基金に積み立てるものとする。
3 必要があると認めるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積み立てることができる。
4 前2項の場合において、基金の額は、積立額相当額を増加した額とする。

（運用）
第3条 知事は、基金をもつて美術品等を取得することができる。一部改正〔平成15年条例37号〕
（管理）

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他確実有利な方法により保管するものとする。一部改正〔平成19年条例2号〕
（繰替運用等）

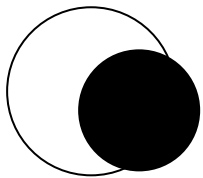
第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は歳入歳出予算の定めるところにより、その歳入に繰り入れて運用することができる。
2 知事は、基金の有利かつ効率的な運用のためその他の財政上の必要があると認めるときは、第2条の規定にかかわらず、基金の全部又は一部を県債管理基金に積み立てることができる。一部改正〔平成11年条例43号・19年2号〕

（補則）
第6条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関して必要な事項は、規則で定める。

附 則
この条例は、昭和46年4月1日から施行する。
附 則（平成11年10月8日条例第43号）
この条例は、公布の日から施行する。
附 則（平成14年3月27日条例第32号抄）
（施行期日）
1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。（後略）
附 則（平成15年3月17日条例第37号）
この条例は、平成15年4月1日から施行する。
附 則（平成17年3月28日条例第15号）
この条例は、兵庫陶芸美術館の設置及び管理に関する条例（平成17年兵庫県条例第14号）の施行の日から施行する。
附 則（平成19年2月28日条例第2号）
この条例は、公布の日から施行する。
附 則（平成19年3月16日条例第25号）
この条例は、平成19年4月1日から施行する。

○博物館協議会委員名簿

区 分	役 職	氏 名
学校教育関係者	三田市立つつじが丘小学校長	井川 信也
〃	前 神戸市立岩岡中学校長	館 章
〃	県立兵庫高等学校長	坂田 正人
社会教育関係者	県立歴史博物館長	端 信行
〃	兵庫県社会教育委員 (中部学院大学教授)	寺見 陽子
〃	兵庫県社会教育委員専門部会専門委員 (ライフデザイン研究所FLAP代表)	岩木 啓子
学識経験者	大阪市立自然史博物館長	山西 良平
〃	大阪府立大学大学院教授	上甫木 昭春
〃	JT生命誌研究館館長	中村 桂子
〃	兵庫県立大学副学長	鈴木 胖
〃	三田市長	竹内 英昭
〃	元 阪南大学教授	貴多野 乃武次
〃	辻本智子デザイン研究所代表取締役 淡路夢舞台温室プロデューサー	辻本 智子
公募委員		天川 佳美
公募委員		楓 るみ子



個人別成果報告に関する資料

No. 0

● 館長

岩槻 邦男 Kunio IWATSUKI

館長

1934 年兵庫県生 京都大学大学院理学研究科博士課程終了。理学博士。

東京大学名誉教授、放送大学客員教授

所属学協会：(社)日本植物学会(評議員、元会長ら)，(社)日本植物園協会(顧問、元会長ら)，日本植物分類学会(元会長ら)，日本シダ学会，生き物文化誌学会(編集委員)，熱帯生態学会，植物形態学会，日本地衣学会，国際植物園連合(直前会長)，国際植物分類学連合(元理事ら)，国際植物形態学会(評議員)，アメリカ植物分類学会(名誉会員)，国際シダ学連合，インドシダ学会(名誉会員)，アメリカシダ学会，イギリスシダ学会，その他

<研究開発>

1 調査研究

■論文・著書

著書

岩槻邦男，(2006)『植物の利用 30 講』(図説生物学 30 講シリーズ植物 2)。朝倉書店。

岩槻邦男，(2006)希少種の保護と生息地保全。村井俊治編『人とわがわい(上)』，366-384。

Koike, F., Clout, M. N., Kawamichi, M., de Poorter, M. & Iwatsuki, K. (eds.) (2007) Assessment and Control of Biological Invasion Risks. Biodiversity Network Japan, 1906.

審査付き論文

Hennequin, S., A. Ebihara, M. Ito, K. Iwatsuki, and J.-Y. Dubuisson. (2006) New insights into the phylogeny of the genus *Hymenophyllum* s.l. (Hymenophyllaceae): Revealing the polyphyly of *Mecodium*. Syst. Bot. 31, 271-284.

Ebihara, A., Dubuisson, J.-Y., Iwatsuki, K., Hennequin, S. & Ito, M. (2006) A Taxonomic Revision of Hymenophyllaceae. Blumea 51, 221-280.

Hennequin, S., A. Ebihara, M. Ito, K. Iwatsuki & J.-Y. Dubuisson. (2006) Phylogenetic systematics and evolution of the genus *Hymenophyllum* (Hymenophyllaceae: Pteridophyta). Fern Gaz. 17 (5), 247-257.

Iwatsuki, K. 2006. Spherophylon, the concept of life at the level higher than individual. Proc. Jap. Acad. B. 82, 289-296.

Ebihara, A., Dubuisson, J.-Y., Iwatsuki, K., and Ito, M. 2007. Systematics of *Trichomanes* (Hymenophyllaceae: Pteridophyta), progress and future interests. Fern Gaz. in press.

講演集，著書分担等

Iwatsuki, K. (2006) Sacred forests connected with the temple shrines of Japan. Conserving Cultural and Biological Diversity: the Role of Sacred Natural Sites and Cultural Landscapes, 90-92. UNESCO-MAB

Iwatsuki, K. (2006) Alien species and wild flora. In Koike, F. & al. (eds.): Assessment and Control of Biological Invasion Risks, 2-3. Biodiv. NW Japan.

■その他著作(一部)

著作

岩槻邦男 シルクロードの植物たち 27-50 朝日週間百科『シルクロード紀行』27 号-50 号

岩槻邦男，(2006)生物多様性を生きる 6，ロゴスドン，66，54-57.

岩槻邦男，(2006)生物多様性を生きる 7，ロゴスドン，67，46-49.

岩槻邦男，(2006)生物多様性を生きる 8，ロゴスドン，68，44-47.

岩槻邦男，(2007)生物多様性を生きる 9，ロゴスドン，69，46-49.

岩槻邦男，(2006)7月の植物。プラント，No.106，3.

岩槻邦男，(2006)日本の絶滅危惧植物 87-88，プラント，No.106，59-60.

岩槻邦男，(2006)9月の植物，プラント，No.107，3.

岩槻邦男，(2006)ワラビ。プラント，No.107，4-6.

岩槻邦男，(2006)11月の植物，プラント，108，3.

岩槻邦男，(2006)日本の絶滅危惧植物 89-92，プラント，No.107，60-63.

岩槻邦男，(2006)植物と共に生きる，プラント，No.108，4-9.

岩槻邦男，(2006)日本の絶滅危惧植物 93-100，プラント，No.108，47-54.

岩槻邦男，(2006)生物多様性の持続的な利用ー人と自然の共生。農業と経済，臨時増刊，72(14)，13-22.

岩槻邦男，師を語る：科学のための科学。学術月報，59(12)，54-55.

岩槻邦男，(2006)100年後の森。日経サイエンス，36(12)，3.

岩槻邦男，(2006)植物園の魅力。都市公園，175，2-4. 刊行によせて，はじめに等

岩槻邦男，(2006)名前を通じて植物にしたしむ。緑・花文化の知識認定試験 公式問題集平成18年度版，6-7.

■研究発表

国際会議など

Iwatsuki, K., (2006) Harmonious Co-existence between Man and Nature. Beijing Symposium on Biodiversity, Beijing.

Iwatsuki, K., (2006) Biodiversity and Mankind for

harmonious co-existence between nature and mankind- .
Professor Wu Cheng-yi' s 90 years memorial symposium,
Kunming.

Iwatsuki, K. , (2006) GBIF, its history, present status, and
future prospect GBIF International Workshop, Tokyo.

■学会役員など

(社) 日本植物園協会, 顧問.
自然史学会連合, 顧問.
アメリカ植物分類学会, 名誉会員.
インドシダ学会, 名誉会員.
インドネシア学術機構 (LIPI), 科学顧問.
マレーシア植物誌委員会, 評議員.
国際植物形態学会, 評議員.
Indian Fern Journal (印), 編集顧問.
Journal of Japanese Botany (日), 編集委員.
ビオヒストリー (生き物文化誌学会), 編集委員.
など.

■助成を受けた研究

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析- 中国と日本を
対比して. 日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 B
海外), 研究代表者 (金額 832 万円/1532 万円)
「Flora of Japan IIa 巻」. 日本学術振興会科学研究費補助
金 (出版助成), 研究代表者. (金額 240 万円)
生物圏保存地域における生物多様性の回復予測. 文部科学省
科学研究費補助金 (特別研究促進費), 研究分担者 (80 万
円/640 万円)

■海外調査

2006. 8 中華人民共和国福建省
2006. 12 中華人民共和国雲南省

＜事業推進＞

1. 生涯学習事業

■セミナー

県関係講演等

岩槻邦男, 2006. 8, 「ジャングルスクールに学ぶ- 学んだも
のをどう生かすか」. ジャングルスクール解団式, 三田市.
岩槻邦男, 2006. 9, 「外来生物と人の生活- 現実をどうとら
え、それにどう対応するか」. 企画展シンポジウム「どうす
る兵庫の外来生物」, 人と自然の博物館, 三田市.
岩槻邦男, 2007. 2, 植物からの警告- 人と自然の調和ある
共存に向けて. 一白会, 神戸市.
岩槻邦男, 2007. 2, 「生物多様性の持続的利用」. 関西学院大
学講義, 三田市.
岩槻邦男, 2007. 3, 人と自然を生かした町づくり- 自然と
共生する日本列島を. 香美町村岡公民館, 香美町.

館外講演等

岩槻邦男, 2006. 4, 「植物多様性の研究- 現状と展望」. 奈良
植物研究会創立 30 周年記念大会, 近畿大学, 奈良市.
岩槻邦男, 2006. 4, 「人と自然の共生を考える」. グリーンセ
イバー, アドバンス講義, 環境工科専門学校, 東京都.
岩槻邦男, 2006. 5, 「生物多様性の調査研究- その現状と展
望」. 兵庫生物学会創立 60 周年記念大会, 明石市.
岩槻邦男, 2006. 6, 「生命の寿命を考える- 生き物にとって

生きるとは-」. 奥野総合法律事務所研修会, 熱海.

岩槻邦男, 2006. 6, 「生物多様性と日本人のこころ」. 日本法
律家協会近畿支部総会, 大阪市.

岩槻邦男, 2006. 9, 「ヒトとこころ」. パネリスト, コスモス
フォーラム IX, 大阪市.

岩槻邦男, 2006. 11, 「博物館は今- 地域博物館に期待する
もの」. 新潟に博物館をつくる準備委員会, 新潟市.

岩槻邦男, 2006. 12, 「生物多様性を俯瞰する- 生物多様性
の現状とこれから」. 京都大学集中講義, 京都大学, 京都市.

岩槻邦男, 2006. 12, 「写真によるシダ植物研究者紹介 2」. 日
本シダの会 12 月例会, 東京都.

岩槻邦男, 2007. 1, パネリスト, IUCN シンポジウム, 東京都.

岩槻邦男, 2007. 3, 「地域博物館がやるべきこと、やっている
こと」. 日本学術会議中国・四国地区講演会, 広島市.

非常勤講師など

放送大学 客員教授として, 授業担当 (2 科目の主任講師、1
科目の分担講師), 大学院生の指導 (10 人以上の客員指導
教員; 修士号取得 2 名).

京都大学大学院, 関西学院大学の授業担当.

■地域研究員養成事業

成果発表

2007. 2, 共生のひろば コメンテーター.

2 シンクタンク事業

■行政等支援 (委員会, 学会役員など)

政府機関等委員

日本ユネスコ国内委員会, 委員 (自然科学小委員会委員長、
MAB 分科会主査).

中央環境審議会, 委員 (野生生物部会長, 世界自然遺産候補
地検討委員会委員長ら). (-2007. 1)

文化学術審議会, 専門委員.

(独) 理化学研究所相談役

(独) 国立科学博物館, 評議員, アドバイザー.

(独) 国立科学博物館筑波実験植物園運営委員会, 副会長.

(国) 自然科学研究機構国立遺伝学研究所, アドバイザー.

(国) 自然科学研究機構国立遺伝学研究所生物資源委員会,
幹事.

(独) 科学技術振興機構 GBIF 技術専門委員会, 委員長.

日本学術会議第 20 期, 連携会員.

JICA 地球環境部森林・自然環境グループ国内支援委員会, 委
員長.

国際機構等

国際植物園連合 (IABG), 直前会長.

国際植物情報機構地球植物誌編集委員会 (IOPIS-SP), 委員.
法人等役員

国際生物学賞委員会, 委員.

国際生物学賞委員会選考専門委員会, 委員.

コスモス国際賞委員会, 委員.

日本国際賞審査委員会第 2 部, 会長.

みどりの学術賞選考委員 (委員長代理).

(財) WWF- ジャパン, 常任理事.

(財) WWF- ジャパン自然保護委員会, 委員長.

(財) 藤原ナチュラルヒストリー振興財団, 理事.
(財) 松下幸之助花博記念財団, 理事.
(財) 日本自然保護協会, 評議員.
(財) 国際生態学センター, 評議員.
(財) 国際花と緑の博覧会記念協会, 参与, コスモスフォーラム実行委員長.
(財) 公園緑地管理財団: 緑・花試験実行委員会, 副会長.
(財) 科学技術振興財団, 研究植物園助成選考委員.
(財) 昭和聖徳記念財団, 研究助成選考委員.
(NPO) 聚, グリーンセイバー実行委員長.
(NPO) ベルデ, 理事.
生物多様性 Japan, 代表.
兵庫県生涯教育審議会, 委員.
(財) ひょうご科学技術協会, 理事.

3. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 8 シダ植物標本の採集. 中華人民共和国福建省.
2006. 12 シダ植物標本の採集. 中華人民共和国雲南省.

■整理同定

1990 年代収集のベトナム産シダ植物の同定, 配架.
2006 年収集の中国産シダ植物の同定, 配架.

4. 特別プロジェクト

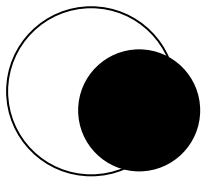
サバ・プロジェクト

ジャングルスクールの企画に参加し, JICA の受け入れ研究者
に対応, サバ大学学長・研究所長の来日時に対応するなど,
さまざまな機会に博物館とサバ大学の協力に貢献した.

GBIF・科学系博物館情報ネットワーク推進・プロジェクト
国内技術専門委員会委員長として参画.

ファール展ひょうご・プロジェクト

ファール展 5 館共同事業実行委員として参画.



個人別成果報告に関する資料

No. 1

● 自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ／
埋蔵自然遺産研究グループ

小林 文夫, Fumio KOBAYASHI

地域環境地質研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授

兵庫県立大学大学院 環境人間科学研究科 共生博物館門 兼任

昭和23年新潟県生. 東京教育大学大学院理学研究科博士課程修

了. 理学博士. 日本地質学会, 日本古生物学会等所属, The

Cushman Foundation for Foraminiferal Research, The

Paleontological Research 所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース (普及教育活動担当, 発掘担当,
地質調査担当)

■研究開発部門

研究開発部門調整担当, 旧地球科学研究部研究担当, 「人と自
然」第19号編集担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 中・古生代基盤岩の地質構造発達史
2. 後期古生代・中生代有孔虫化石群集解析
3. 「小林文夫コレクション」の世界

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科
学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸にした学習コンテンツの
探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎Kobayashi, F. (2008) Late Paleozoic and Mesozoic
foraminifers contained in the limestone fragments of
the Kamade Breccia of the Upper Cretaceous Aioi Group
from Kamade, northeastern part of Aioi, Hyogo, Japan.
Paleontological Research, Vol.12, No. 3, 237-253.

◎Kobayashi, F. (2008) Carboniferous and Permian
foraminifers from limestone fragments contained in the
Upper Cretaceous Hiromine Formation in north of Himeji,
Hyogo, Japan. Paleontological Research, Vol. 12, No. 4,
411-418.

Kobayashi, F. and Altiner, D. (2008) Fusulinoidean faunas
from the Upper Carboniferous and Lower Permian platform
limestone in the Hadim area, central Taurides, Turkey.
Rivista Italiana di Paleontologia e Stratigrafia. Vol.
114, No. 2, 191-232.

◎小林文夫・後藤篤 (2008) 兵庫県丹波市上滝一下滝地域の下

部白亜系篠山層群下部層の層序と含礫層の結晶片岩礫の
K-Ar 年代. 地質学雑誌, 第114巻, 第11号, 577-586.

椎野勇太・鈴木雄太郎・小林文夫 (2008) 南部北上山地上八
瀬地域の中中部ベルム系細尾層から産出したフズリナ化石と
その意義. 地質学雑誌, 第114巻, 第4号, 200-205.

Kobayashi, F. (2008) *Acervoschwagerina endoi* Hanzawa from
the Uokaneyama Limestone, Mino Terrane, central Japan.
Humans and Nature, No. 19, 19-26.

Kobayashi, F. (2008) Late Early Permian (Kungurian)
fusulines from Kamiishizu, south of Sekigahara, Gifu
Prefecture, Japan. Humans and Nature, No. 19, 27-33.

■その他著作

Kobayashi, F. (2008) Lithology and foraminifers of
Triassic limestones in the Maizuru Terrane of the Yakuno
area, Kyoto Prefecture, Japan. Humans and Nature, No.
19, 61-65.

■研究発表

◎小林文夫・足立洸 (2008.7) 篠山層下部層の石灰岩礫と石灰
岩礫の供給源. 日本地質学会 2008 年関西支部例会. 人と自
然の博物館.

◎先山 徹・藤本真里・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林
文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋晃・
嶽山洋志 (2008), 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取
り組み ~地学教育・まちづくりへの適応~. 日本地質学
会近畿・西日本・四国三支部合同例会.

◎先山 徹・高橋 晃・藤本 真理・三枝春生・嶽山 洋志・佐藤
裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚
志・小林 文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘におけ
る生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第115
年学術大会.

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小
林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎
次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノ
サウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会 2008
年年会.

■学会役員など

日本地質学会, 代議員.

日本地質学会, 関西支部行務委員.

Micropaleontology, レフェリー.

Journal of Foraminiferal Research, レフェリー.

Rivista Italiana di Paleontologia e Stratigrafia, レフ
ェリー.

地質学雑誌, レフェリー.

■助成を受けた研究

有孔虫化石の群集解析によるベルム系・三畳系石灰岩の起源
と搬入・定置過程. 日本学術振興会科学研究費基盤研究(C),
研究代表者 (金額130万円/340万円).

■海外調査

2008. 8-9. イタリアドロミテ地方, スイス中央アルプス, フランスジュラ山地

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-2009. 3 石灰岩・石灰岩礫岩岩石薄片の作成 (1500 枚). 岐阜県赤坂石灰岩, 滋賀県霊仙山, 山口県秋吉石灰岩, 東京都西多摩郡奥多摩町・桧原村, イタリアドロミテ地方ペルム系・三畳系, フランスジュラ山地ジュラ系・白亜系, ジュネーブ南方サレーブ山地白亜系など (小林文夫コレクション).

2008. 4-2009. 3 石灰岩薄片写真資料 (1300 点: 小林文夫コレクション)

2008. 8-9. ドロミテ地方ペルム三畳系境界層 (hypostratotype, parastratotype) 地質資料, ジュラ山地・サレーブ山地ジュラ系・白亜系地質資料, ベルナルールオーベルアルペン地質資料.

2008. 1-6 篠山層地質資料, 丹波市・篠山市.

2009. 1-2 篠山層群産恐竜化石の発掘, 丹波市.

■整理同定担当資料

小林文夫コレクション (中・古生代石灰岩岩石薄片).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

小林文夫, 2008. 9, 「サンゴの薄片をつくろう」, 博物館. (8 名)

小林文夫, 2008. 10. 「コノドント化石の抽出・観察」, 博物館. (11 名)

小林文夫, 2009. 1. 「六甲山地の地形・活断層・上昇過程」, クラーク記念国際高校芦屋キャンパス. (120 名)

小林文夫, 2008. 5. 「篠山層群と恐竜化石」, 博物館. (特注セミナー, 神戸大理学部学生・教員 29 名)

小林文夫, 2008. 4. 「薄くしてみる岩石・化石」, 博物館. (オープンセミナー 2 回, 75 名)

館外講演

小林文夫, 2008. 5, 「教科書的でない川, 武庫川」, 講師, フレミラ宝塚 (26 名)

小林文夫, 2008. 6, 「教科書的でない川, 武庫川」, 武庫川流域環境講演会講師, 阪神北県民局 (40 名).

小林文夫, 2008. 7, 「恐竜がいた大地ができるまで」, 兵庫県立大学公開講座講師, 丹波の森公苑 (40 名).

小林文夫, 2008. 7, 「篠山川流域の地形・地質野外観察」, 兵庫県立大学公開講座講師, 丹波の森公苑 (40 名).

小林文夫, 2008. 11, 「化石を通してみる地球の生い立ち」, 豊中市蜚池公民館秋の講座講師, 豊中市蜚池公民館 (22 名).

小林文夫, 2008. 11, 「北摂地域の地質と化石」, 豊中市蜚池公民館秋の講座講師, 豊中市蜚池公民館 (22 名).

兵庫県立大学・大学院教育

地域地質論

非常勤講師

2008. 5. 「地形のデザイン」, 神戸芸術工科大学, 分担.

2008. 10-11. 「大量絶滅と生物の進化」, 関西学院大学, 分担.

講師派遣

小林文夫, 2008. 10, 「篠山川河床の地層観察」, 理科おもしろ推進事業特別講師, (丹波市立上久下小学校児童 25 名プラス丹波市立小学校教員 15 名).

■研修生等の受け入れ

卒論生等

2006. 8-2009. 3 ジュネーブ大学 Faculte des Sciences, Section des Sciences de la Terre PHD student Jerome Chablais, 日本の古生代・中生代テクトニクス, 同三畳系地質・三畳紀有孔虫化石.

2007. 1-2009. 3 東京大学理学研究科博士課程 椎野勇太, 南部北上のテクトニクス; ペルム紀フズリナ生層序・古生物地理.

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計 1 件)

2005. 12- 「玄武洞ミュージアム」登録博物館審査, 審査員, 兵庫県教育委員会.

相談・指導助言

来訪者 5 件, 10 名. 電話・FAX 相談 10 件.

■学会開催等支援

2008. 6 日本地質学会関西支部例会開催 人と自然の博物館, 40 名.

佐藤 裕司, Hiroshi SATO

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授

兵庫県立大学大学院 環境人間学研究科 共生博物館門 兼任

昭和32年大阪府生まれ。神戸大学大学院理学研究科修士課程修了。学術博士（神戸大学）。日本第四紀学会、日本陸水学会、日本藻類学会、日本珪藻学会、日本環境教育学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

生涯学習推進室 室長

■タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース 分担者

■研究開発部門

研究部長代理、研究部門会計担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 完新世の相対的海水準変動に関する研究
2. 兵庫県における人類紀の環境変遷史に関する研究
3. 淡水産および汽水産藻類の多様性と保全に関する研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質を軸とした地域コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎佐藤裕司 (2008) 瀬戸内海東部, 播磨灘沿岸域における完新世海水準変動の復元. 第四紀研究, 47: 247-259.

■その他著作

◎佐藤裕司・松原尚志・清水一文・藤原清尚 (2008) 日笠山貝塚 (兵庫県高砂市) から採取された貝類遺骸の¹⁴C年代. 人と自然, 19: 67-70.

◎兵頭政幸・加藤茂弘・松下まり子・佐藤裕司 (2008) シンポジウム「瀬戸内海の変遷—自然, 環境, 人」の趣旨. 第四紀研究, 47: 21-222.

◎佐藤裕司 (2009) 環境適合型社会に向けて. 兵庫県北播磨県民局県民生活部環境課発行, 北はりまエコニュース・ハリー通信, 5: 4.

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

◎谷川晃一郎・加藤茂弘・佐藤裕司・久保純子 (2008) 兵庫県円山川下流域における沖積層層序と堆積環境. 日本地球惑星科学連合2008年大会, 幕張メッセ国際会議場 (5月).

◎狩谷千恵・兵頭政幸・佐藤裕司 (2008) 海洋酸欠司立体ステージ11初期に起こった一時的な海面低下現象. 日本地球惑星科学連合2008年大会, 幕張メッセ国際会議場 (5月).

◎伴 芙美香・佐藤裕司・加藤茂弘 (2008) 瀬戸内海東部沿岸域の海洋酸欠司立体ステージ (MIS) 7における相対的海水準変動. 日本第四紀学会2008年大会, 東京大学, 東京 (8月).

◎先山 徹・藤本真里・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋晃・嶽山洋志 (2008) 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み—地学教育・まちづくりへの適応—. 日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会.

◎先山 徹・高橋 晃・藤本 真理・三枝春生・嶽山 洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚志・小林 文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第115年学術大会.

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会2008年年会.

■学会役員など

2008.4-2009.3, 日本珪藻学会編集委員
論文査読, 日本珪藻学会 (8月)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.4-2009.3 現生淡水藻類の標本採集. 丹波市・上郡町など.
2008.11-2009.3 篠山層群恐竜化石の発掘. 丹波市.

■整理司定担当資料

第四紀古環境資料, 淡水産藻類標本

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

田中哲夫・佐藤裕司, 2008.4.26, 27, 5.10, 11, 「ため池をさぐる」, (全4回, のべ56名)

佐藤裕司, 2008.8.18, 教職員セミナー「地球史から読み解く温暖化問題」, (40名)

田中哲夫・佐藤裕司, 2008.10.1, 8, 高校連携セミナー「身近な環境を調査しよう—ビオトープ池を調べる—」, キリンビール (株) 神戸工場, (のべ22名)

佐藤裕司, 2009.2.27, 特注セミナー「地球温暖化と海面上昇」, 明石市立高齢者大学あかまが丘, (101名)

オープンセミナー

変わった生きもの観察「マリモとそのなかま」, 2008.5.6. (73名)

変わった生きもの観察「イシクラゲの正体」, 2008.7.13. (51名)

変わった生きもの観察「不死身?の小動物 クマムシをさがそう」, 2008.10.11. (45名)

変わった生きもの観察「希少な藻類 カワモズク」, 2009.3.22. (58名)

館内講演

2008.6.11, いきいき学舎・プレミア専門コース「宝塚の自然・環境コース「宝塚周辺に探る氷河時代の環境変動」プレミア宝塚」 (26名)

2008.7.19, 姫路赤十字病院地域医療連携交流会「地球温暖化と海面上昇」ホテル日航姫路 (140名)

2008.11.20, 兵庫県立大学公開講座「微生物が語る水惑星の環境史」, 兵庫県立大学本部 (23名)

2008.12.20, 六甲山魅力再発見市民セミナー「瀬戸内海の自然史と六甲山」六甲山YMCA 里見ホール. (29名)

2009.3.1, 平成20年度環境適合型社会づくりを目指す事例発表会, 基調講演「環境適合型社会に向けて」, 事例発表コーディネーター, 加東市社公民館 (87名)

2009.3.17, 兵庫県阪神シニアカレッジ・マイスター教室「地球温暖化と海面上昇」兵庫県阪神シニアカレッジ学習室 (160名)

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学全学共通教育科目「共生生物学」(オムニバス形式, 代表)

兵庫県立大学環境人間学研究科共生博物部門・学務担当
大学院担当授業科目「陸・水圏自然史特別演習」

非常勤講師

2008.9-2009.3, 環境教育, 関西学院大学

ラジオ・テレビ等出演

2008.10.10, 「カンテンコケムシ, 神戸の池で発見」神戸新聞

■3) ミニキャラバン事業

2008.5.22, 環境フェア in KOBE 設営

2008.9.23, 兵庫県自治学会デモンストラレーションコーナー (65名)

■連携事業

成果発表

2009. 2. 11, 共生の広場 「安室川の淡水産紅藻チスジノリを復活させる試み (part III)」, 上郡町立上郡中学校科学部 (指導・協働)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 3, 山南中学校 2 名

学校団体対応

2008. 6. 10, 尼崎市立成良中学校 (69 名) 講義「地球史から読み解く温暖化問題」

2008. 9. 21, 愛媛県立松山南高校 (14 名) 講義「地球温暖化と海面上昇」

2009. 2. 19, 西宮市立甲陽園小学校 (139 名) 講義「地球温暖化と海面上昇, どうすればいいの?」

2009. 3. 3, 東条町立東条東小学校 (41 名) 実習「川の微生物」

講師派遣

2008. 6. 11, 「宝塚周辺に探る氷河時代の環境変動」, 講師, フレミラ宝塚 (26 名).

2008. 7. 19, 「地球温暖化と海面上昇」, 講師, 姫路赤十字病院 地域医療連携交流会 (140 名)

■研修生等の受入

卒論生等

2008. 4. 1-2009. 3. 31, 大学院生 2 名 (神戸大学大学院理学研究科博士課程前期および後期課程), 卒論生 2 名 (神戸大学理学部)

■フェスティバル等

2008. 11 ひとくはくフェスティバル, 「深田公園本部」.

■展示

企画展

2009. 2 共生のひろば展 (分担者)

2. シンクタンク事業

■受託研究

「キリンビール神戸工場内のレフュジア・ビオトープ創出に関する研究」分担者, キリンビール株式会社神戸工場. (70 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 2 回, 5 名.

■行政等支援

委員会等 (計 2 件)

2008. 4-2009. 3, 安室川自然再生検討会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所

2008. 4-2009. 3, 安室川自然再生検討会・技術部会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所

相談・指導助言

来訪者 16 件, 27 名. 電話・FAX 相談 5 件, メール相談 16 件.

先山 徹, Tohru SAKIYAMA

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 准教

授.

昭和 29 年岐阜県生. 広島大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本地質学会, 日本鉱物科学会, 地学団体研究会, 日本地学教育学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

博物館ネットワーク構築タスクフォース リーダー
恐竜・化石タスクフォース サブリーダー, 活用担当
環境学習推進タスクフォース メンバー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 花崗岩の形成とマグマ混合の研究
2. 遺跡石材の岩石学と産地同定に関する研究
3. 兵庫の地質とその科学教育への活用に関する研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 代表者.

■その他著作

◎先山 徹・高橋 晃・藤本真理・三枝春生・嶽山洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚志・小林文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第 115 年学術大会講演要旨, 528.

◎先山 徹 (2009) ひとくはくが実施した「地質の日」イベント. 地質ニュース, No. 654, 40 - 43.

◎先山 徹 (2009) 第 6 章自然科学分析—第一節 石棺・葺石の分析. 時光寺古墳発掘調査報告書, 高砂市教育委員会, 95 - 96.

■研究発表

◎先山 徹 (2008) 兵庫県下とその近辺の白亜紀〜古第三紀深成岩類の岩相と帯磁率. 2008 年度日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会.

◎先山 徹・藤本真理・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋 晃・嶽山洋志 (2008) 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み〜地学教育・まちづくりへの適用〜. 2008 年度日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会.

◎先山 徹・高橋 晃・藤本 真理・三枝春生・嶽山 洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚志・小林 文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第 115 年学術大会.

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会 2008 年年会.

■学会役員など

日本地質学会，生涯教育委員。
地学団体研究会，「地球科学」常任エディター。

■助成を受けた研究

加古川小野線道路改築事業にともなう生痕化石露頭の保存と
学校教材化に関する研究。受託研究，研究代表者（金額 170
万円／170 万円）。

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-2009. 3 歴史的石造物の石材に関する資料。芦屋市，
高砂市，大和高田市，京都市。

■整理同定担当資料

岩石・鉱物（花崗岩類，大身谷鉱山鉱石）。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

先山 徹・加藤茂弘，2008. 5，「春の石めぐりハイキングー二
上山ー」，奈良県香芝市。（36 名）

先山 徹・加藤茂弘，2008. 5～2009. 2，「石ころクラブ」博物
館・丹波市・篠山市・宍粟市。（全 10 回，161 名）

先山 徹，2008. 7，「石を知ろうー鉱物の見分け方入門」博物
館（23 名）

先山 徹，2008. 8，「石を知ろうー岩石の見分け方入門」博物
館（25 名）

先山 徹，2008. 8，「夏季教職員セミナー 石の観察と見分け
方」博物館（41 名）

先山 徹，2008. 8，「夏季教職員セミナー 地震教材をつくら
う」博物館（15 名）

先山 徹，2008. 10，「石を通して地域を知るー恐竜がいた頃
の日本」博物館（8 名）

先山 徹，2008. 11，「石を通して地域を知るー千種たたらと
岩石」博物館（18 名）

先山 徹，2008. 12，「石を通して地球を知るー大陸移動とプ
レート」博物館（16 名）

先山 徹，2009. 3，「石を通して地球を知るー地球と大気の歴
史」博物館（21 名）

加藤茂弘・先山 徹，2008. 9，「秋の石めぐりハイキングー京
都府夜久野町ー」，京都府福知山市。（17 名）

先山 徹，2008. 7，「石を見分けよう」石ころ調査隊，博物館
（8 名）

先山 徹，2008. 8，「特注セミナー 恐竜がいたころの日本」
兵庫県立姫路飾西高等学校，博物館（38 名）

◎先山 徹，2008. 6，「オープンセミナー 偏光シートで遊ぼ
う」博物館（52 名）

◎先山 徹，2008. 8，「オープンセミナー 蛍石をひからせよ
う」（269 名）

◎先山 徹，2008. 11，「オープンセミナー 液状化実験を体験
しよう」（90 名）

館外講演

先山 徹，2008. 6，「恐竜がいた頃の日本」，出石中学校環境
学習，出石中学校（344 名）

先山 徹，2008. 7，「恐竜が見た火山」，兵庫県立大学特別講
座，丹波の森公苑（40 名）

先山 徹，2008. 9，「甲山地質観察」，六甲山自然案内人の会，
西宮市甲山周辺（20 名）

先山 徹，2008. 10，「丹波竜と周辺の地層」，丹波市ボランテ
ィアガイドセミナー，丹波市上久下（50 名）

先山 徹，2008. 10，「多田銀山と地質案内」，猪名川町観光ボ
ランティア養成講座，猪名川町（27 名）

先山 徹，2008. 10，「宝塚の地質と岩石」，宝塚市いきいき学
舎，宝塚市（30 名）

先山 徹，2008. 10，「箕谷の地質」，石ころ探検隊，神戸市北
区谷上（9 名）

先山 徹，2008. 10，「六甲花崗岩と瀬戸内の花崗岩」，石造物
研究会，博物館（18 名）

先山 徹，2008. 10，「恐竜発掘ケーキで科学しよう」，博物館
（7 名）

先山 徹，2008. 11，「恐竜発掘ケーキで科学しよう」，博物館
（7 名）

先山 徹，2008. 11，「恐竜発掘ケーキで科学しよう」，神戸市
住吉〜御影（6 名）

先山 徹，2008. 11，「恐竜発掘ケーキで科学しよう」，県立祥
雲館高校（7 名）

先山 徹，2008. 12，「南極大陸の自然」，人と自然の会新人研
修会，博物館（40 名）

先山 徹，2008. 12，「谷上の地質」，石ころ探検隊，神戸市北
区（3 名）

◎先山 徹，2009. 1，「グラリンで耐震・免震のしくみを知ろう」，
北淡活断層シンポジウム 2009，北淡震災記念公園（50 名）。

先山 徹，2009. 2，「恐竜ラボと発掘現場案内」，芦屋サンピ
ース，博物館・丹波市（19 名）。

先山 徹，2009. 3，「恐竜の発掘と恐竜がいたころの日本」，
兵庫県立図書館，兵庫県立図書館（24 名）。

先山 徹，2009. 3，「但馬の火山の成り立ち」，但馬海岸ジオ
パークボランティアガイド講座，豊岡市（72 名）。

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生（分担）

非常勤講師

2008. 4-2008. 9. 「自然とデザイン」，神戸芸術工科大学。

■連携事業

共催事業

2008. 5，丹波竜フェスティバル 2008，丹波県民局・丹波市・
人と自然の博物館（シンポジウム開催，展示，イベントの
実施）

2008. 6，2008 年度日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合
同例会公開講演会。

2009. 1，公開授業『大地をさぐる』，三田市立狭間小学校

2009. 1，三田市小学校理科担当者会及び三田市教育研究グル
ープ理科部会の合同授業研修会，三田市教育研究グループ
理科部会

協力事業

2008. 3～6，ようこそ恐竜ラボへ ～化石の謎をときあかす～，
大阪市自然史博物館（展示貸出）

2008. 7～9，びっくり！どっきり！大化石展，島根県立三瓶自

然館（展示貸出）

■学校教育支援

学校団体対応

2008. 8, 兵庫県立姫路飾西高等学校, 講師（38 名）

講師派遣

2008. 6, 「出石中学校環境学習」, 出石中学校全校生徒（344 名）

2008. 4～2009. 3 「県立大付属中学プロジェクト学習」, 兵庫県立大学付属中学校 2 学年（5 名）

■研修生等の受入

博物館実習

2002. 8. 8～8. 21, 新潟大学理学部学生 1 名, 神戸学院大学人文学部学生 1 名.

■展示

2009. 2. 7～2009. 3. 31, 常設展, 恐竜展示コーナー（責任者）.

2. シンクタンク事業

■受託研究

加古川小野線道路改築事業にともなう生痕化石露頭の保存と学校教材化に関する研究（研究代表者）. 兵庫県東播磨県民局.（170 万円）

■行政等支援

委員会等（計 5 件）

2008. 4－. 六甲山自然保護センター, コーディネーター, 兵庫県神戸県民局.

2008. 4－. 大坂城東六甲採石場調査委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.

2008. 4－. 玄武洞公園整備検討委員会, 委員, 豊岡市.

2008. 12－. 文化財調査専門部会, 委員, 高砂市

2009. 1－. 山陰海岸ジオパーク推進協議会専門部会兵庫分会, 分会長, 兵庫県但馬県民局.

相談・指導助言

来訪者 8 件, 電話・FAX 相談 5 件, メール相談 5 件.

2008. 4 加古川露頭サンドパイプの保存と活用, 指導助言, 兵庫県東播磨県民局.

2008. 10 文化財の活用について, 指導助言, 高砂市.

2009. 1 石造物石材調査, 指導助言, 大和郡山市.

■学会開催等支援

2008. 6 2008 年度日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会. 人と自然の博物館, 50 名.

加藤 茂弘, Shigehiro KATO

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

昭和 35 年岐阜県生. 東京大学大学院理学系研究科博士課程単位取得後退学. 理学修士. 日本地理学会, 日本活断層学会, 日本地質学会, 日本第四紀学会, 日本人類学会, 日本地形学連合等所属.

＜事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事＞

■事業推進部門

研究シンクタンク推進室 副室長, 研究推進担当責任者

■タスクフォース システム更新タスクフォース

システム更新タスクフォース メンバー（研究部研究・資料担当）

■研究開発部門

研究推進担当, 総合共同研究・部門研究の推進と調整, 中期目標及び月例報告にかかる研究・資料データの取りまとめ, 館報データの取りまとめ

＜研究開発＞

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 火山灰層序に基づく第四紀古環境変動に関する研究
2. 近畿地方の活断層と地殻変動に関する研究
3. 地震断層の保存と活用に関する研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎加藤茂弘・岡田篤正・寒川 旭（2008）大阪湾と六甲山, 淡路島周辺の活断層と第四紀における大阪・播磨灘堆積盆地の形成過程. 第四紀研究, 47, 233-246.

◎加藤茂弘（2009）4. 新生界 4.2.4 明石・播磨地域. 日本地質学会（編）, 「日本地方地質誌 5 近畿地方」, 232-236, 朝倉書店, 東京.

◎Kitaba, I., Iwabe, C., Hyodo, M., Katoh, S. and Matsushita, M.（2009）High-resolution climate stratigraphy across the Matuyama-Brunhes transition from palynological data of Osaka Bay sediments in southwestern Japan. Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology, 272, 115-123.

■その他著作

加藤茂弘（2008）能登半島地震 1 周年シンポジウム「活断層・地震と共生する未来に向けて」を開催. 日本活断層学会ホームページ.

http://danso.env.nagoya-u.ac.jp/jsafr/pdfs/oto_sym_p3.pdf

◎加藤茂弘（2009）北淡活断層シンポジウム 2009「親子で体験！地震と防災」開催報告. 日本活断層学会ホームページ.

<http://danso.env.nagoya-u.ac.jp/jsafr/pdfs/Hokudan2009report.pdf>

◎兵頭政幸・加藤茂弘・松下まり子・佐藤裕司（2008）シンポジウム「瀬戸内海の変遷－自然, 環境, 人」の趣旨. 第四紀研究, 47, 221-22.

■ブログへの情報提供

1 件

■研究発表

◎加藤茂弘・小滝篤夫・木谷幹一・檀原 徹・植村善博（2008）近畿三角帯の北西周辺地域における中期更新世以降の地殻変動. 日本活断層学会 2008 年度秋季学術大会, 東京大学山上会館, 東京都.

- ◎加藤茂弘・客野尚志・川東丈純（2009）台湾 921 地震教育園の完成と将来の課題．北淡活断層シンポジウム 2009，淡路市北淡震災記念公園セミナーハウス，淡路市．
- ◎小滝篤夫・加藤茂弘・木谷幹一・牧野州明・三宅康幸（2008）京都府，神吉盆地の 70m ボーリングコアに含まれる大山起源の中期更新世テフラ．日本地質学会第 115 年学術大会，秋田大学，秋田市．
- ◎谷川晃一郎・加藤茂弘・佐藤裕司・久保純子（2008）兵庫県 円山川下流域における沖積層層序と堆積環境．日本地球惑星科学連合 2008 年大会，幕張メッセ国際会議場，千葉市．
- ◎北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・松下まり子（2008）マツヤマブリュンヌ地磁気逆転期における植生変化と気候変動に関する予察的研究．日本地球惑星科学連合 2008 年大会，幕張メッセ国際会議場，千葉市．
- ◎北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・松下まり子（2008）大阪湾堆積物の花粉分析によるマツヤマブリュンヌ地磁気逆転期の高精度気候層序．日本第四紀学会 2008 年大会，東京大学山上会館，東京都．
- ◎北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・松下まり子（2008）マツヤマブリュンヌ地磁気逆転トランジションにおける寒冷化イベント．地球電磁気・地球惑星圏学会（SGEPSS）第 124 回総会・講演会，仙台市戦災復興記念館，仙台市．
- ◎伴 芙美香・佐藤裕司・加藤茂弘（2008）瀬戸内海東部沿岸域の海洋酸素同位体ステージ（MIS）7 における相対的海水準変動．日本第四紀学会 2008 年大会，東京大学山上会館，東京都．
- ◎三島稔明・兵頭政幸・松下まり子・加藤茂弘（2008）大阪湾 1700m コアによる Gauss-Matuyama 境界前後の地磁気変動復元．地球電磁気・地球惑星圏学会（SGEPSS）第 124 回総会・講演会，仙台市戦災復興記念館，仙台市．
- ◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次（2008）兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について．日本古生物学会 2008 年年会，東北大学，仙台市．

■学会役員など

- 日本活断層学会，理事．
日本活断層学会，行事委員会副委員長．
日本活断層学会，普及教育専門委員会委員長．
日本活断層学会，能登半島地震 1 周年シンポジウム実行委員会委員．

■助成を受けた研究

- 近畿三角帯とその周辺地域の中期更新世テクニクスと地形発達．文部科学省科学研究費基盤研究(C)，研究代表者（金額 240 万円／総額 340 万円）．
第四紀黎明期の地磁気攪乱—気候とのリンク．文部科学省科学研究費基盤研究(B)，研究分担者（金額 40 万円）．
要注意の長大活断層を対象とした活動域区分・活動履歴の高精度化．文部科学省科学研究費基盤研究(B)，連携研究者（金額 150 万円）

■海外調査

- 2008.10 台湾（台中市および台北市）
2008.10-11 中国（平涼・西安・北京近郊）

2. 資料収集・整理

■資料収集

- 2008.4-2009.3 中期更新世の段丘堆積物や火山灰の収集．加古川市，加西市，加東市，宍粟市，丹波市，京都府福知山市・綾部市など．
2009.2 篠山層群産恐竜化石．丹波市上滝．

■整理同定担当資料

- 第四紀堆積物（火山灰，ボーリングコア等，活断層はざとり標本等）．

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 加藤茂弘，2008.6，「火山灰を調べる」，人と自然の博物館．（9 名）
加藤茂弘，2008.8，「兵庫県下の活断層と近未来の大地震」，人と自然の博物館．（42 名）
加藤茂弘・先山 徹，2008.9，「秋の石めぐりハイキング—京都府夜久野町—」，夜久野町田倉山周辺．（17 名）
◎加藤茂弘，2008.11，ペーパークラフトで学ぶ火山のしくみ．人と自然の博物館．（52 名）
◎加藤茂弘，2008.12，ペーパークラフトで学ぶ断層と地震．人と自然の博物館．（10 名）
先山 徹・加藤茂弘，2008.5-2009.2，「石ころクラブ」，人と自然の博物館．（全 8 回，150 名）
先山 徹・加藤茂弘，2008.5，「春の石めぐりハイキング—二上山—」，二上山．（36 名）
加藤茂弘，2008.7-8，「ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール'08」，ひとはく連携活動グループ run ♪ run ♪ plaza 主催，兵庫県立人と自然の博物館・ハチ北高原．（全 7 回，224 名）

館外講演

- 加藤茂弘，2008.7，「山崎断層と近未来の大地震」，神崎郡中学校理科部会研修会，講師，兵庫県立人と自然の博物館（7 名）．
加藤茂弘，2008.10，「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」，阪神シニアカレッジ 4 年生，講師，宝塚ソリオ（170 名）．
加藤茂弘，2008.11，「宝塚の活断層と大地震の長期予測」，いきいき学舎・フレミラ 専門コース（環境・自然コース），講師，フレミラ宝塚（29 名）．
加藤茂弘，2009.1，「氷河と氷河地形からわかる気候変動と地球温暖化」，丹波の森 O B 大学（生活環境コース），講師，丹波の森公苑（27 名）．
加藤茂弘，2009.1，「兵庫県の活断層と近未来の大地震」，阪神シニアカレッジ O B 会，講師，宝塚ソリオ（195 名）．
加藤茂弘，2009.1，「兵庫県の活断層と近未来の大地震」，阪神シニアカレッジ 3 年生，講師，宝塚ソリオ（150 名）．
◎加藤茂弘，2009.1，「動く活断層ペーパークラフトを作ろう」，「青赤メガネで立体視：大阪湾周辺の地形と活断層」，北淡活断層シンポジウム 2009「親子で体験！地震と防災」，北

淡活断層シンポジウム実行委員会，淡路市北淡震災記念公園セミナーハウス（80名）。

兵庫県立大学・大学院教育

アドバイザー（伴 芙美香）

■ミニキャラバン事業

2008.9，2008年度兵庫県県政学会（分担者）。兵庫県県政学会，兵庫県立大学学園都市キャンパス。

2008.10，ひょうごフローラフェスタ（分担者），ひょうごフローラフェスタ実行委員会，淡路夢舞台。

■連携事業

連携グループ等

南淡路地学の会（副担当）

東中国クマ集会（副担当）

共催事業

2007.7-8，ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール'08，ひとはく連携活動グループ

run♪ run♪ plaza，兵庫県立人と自然の博物館・ハチ北高原（セミナー講師）

2009.1 北淡活断層シンポジウム2009「親子で体験！地震と防災」，北淡活断層シンポジウム実行委員会，淡路市北淡震災記念公園セミナーハウス（委員及びイベント講師）

協力事業

2009.9-12，第37回特別展「地震展2008」，大阪自然史博物館（展示品の貸出および展示内容に関する助言）

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008.6.11，上野台中学校1名，藍中学校1名，けやき台中学校1名，ボーリングコア整理など

学校団体対応

2008.4，「くらやみで光る鉱物や岩石を見てみよう」，大阪府立泉北高等学校1年生。（16名）

2008.12，「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」，大阪府立豊中高等学校サイエンス・セミナー。（33名）

2009.2，「六甲山地と三田盆地周辺の地形と地質」，兵庫県立舞子高等学校環境防災科1年生。（40名）

講師派遣

2008.6，「近未来の南海地震を考える」，「グラリンで学ぶ耐震と免震」講師，兵庫県立舞子高等学校環境防災科1年生（40名）。

■研修生等の受入

博物館実習

2008.8.19-8.20，新潟大学理学部学生1名，神戸学院大学人文学部学生1名。

卒論生等

2008.4.1-2009.3.31，伴 芙美香（兵庫県立大学院環境人間学研究科修士課程2年），兵庫県南部，瀬戸内海沿岸域における環境変動史の解明～海洋酸素同位体ステージ7の相対的海水準変動について～。

2008.4.1-2009.3.31，北場育子（神戸大学大学院理学研究科修士課程2年），大阪湾堆積物の花粉分析によるマツヤマープリユンス地磁気逆転期の高精度気候層序。

2008.4.1-2009.3.31，谷川晃一朗（神戸大学大学院理学研究科博士課程後期），兵庫県円山川下流域における完新世海面

変動に関する研究。

■フェスティバル等

2008.10，淡路フローラフェスティバル（分担者）。兵庫県淡路県民局，淡路島国営明石海峡公園。

■展示

企画展

2008.9-10 ひょうごのファープル（輝安鉦の産状標本展示）

ミニ企画等

2009.2.15-4.5，臨時展示「共生のひろば展」（研究員展示分担者）。

2008.5，3F 常設展示震災コーナー，ビデオブースの修理。

2009.3，3F 常設展示震災コーナー，野島断層動く地形模型の修理。

2. シンクタンク事業

■受託研究

「加古川小野線道路改築事業にともなう生痕化石露頭の保存と学校教材化に関する研究」（研究分担者）。東播磨県民局。（170万円）

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内，6回，19名。

■行政等支援

委員会等（計2件）

2008.4-2009.3. 野島断層活用委員会，委員，淡路市教育委員会。

2008.10-2009.3. 北淡活断層シンポジウム実行委員会，委員・事務局幹事，淡路市教育委員会。

相談・指導助言

来訪者17件，40名。電話・FAX相談30件，メール相談50件。

2008.5-2009.3 加古川市神野町高位段丘層の保存と活用についての指導・助言，兵庫県加古川土木事務所。

2008.5-8 北淡震災記念公園への「神戸の壁」移設についての指導・助言及び現地指導，淡路市教育委員会。

2008.12 野島断層保存館およびメモリアルハウス内の断層の修復・保存についての指導・助言及び現地での保存処理作業，淡路市教育委員会。

2009.1-3 野島断層保存館内の噴霧装置の修繕と維持管理についての指導・助言，（株）高環境エンジニアリング。

2009.3 ボーリングコアの理科教育への活用についての指導・助言，兵庫県立六甲高等学校。

■学会開催等支援

2008.5 能登半島地震1周年シンポジウム「活断層・地震と共生する未来に向けて」開催。石川県七尾市サンビーム日向ヶ丘，170名。

2009.1 北淡活断層シンポジウム2009 親子で体験！地震と防災。淡路市北淡震災記念公園セミナーハウス，360名。

古谷 裕, Hiroshi FURUTANI

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 准教授.

1952 年島根県生. 名古屋大学大学院理学研究科博士課程単位取得満了. 理学博士. 日本地質学会, 日本古生物学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

恐竜タスクフォース, 環境学習推進タスクフォースメンバー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 古生代放散虫化石の研究
2. 兵庫県内の中・古生層の研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究代表者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎三枝春生・田中里志・池田忠広・松原尚志・古谷裕・半田久美子 (2008), 下部白亜系篠山層群からの竜脚類およびその他脊椎動物化石の産出. 化石研究会会誌, Vol. 41, 2-12.

■その他著作

古谷 裕 (2008) ますます盛り上がった共生のひろば「ミューゼ」, 84 号, 20-21, アム・プロモーション, 東京.

古谷 裕 (2009) 第三次発掘調査, 途中経過! 「ひとはく新聞」3 月 14 日号

■研究発表

竹村静夫・竹村厚司・菅森義晃・古谷 裕 (2008), 岡山県東部, 超丹波帯上月層の緑色岩- チャートシークエンスの岩相と放散虫化石, 日本地質学会第 115 年学術大会.

◎先山 徹・藤本真里・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋晃・嶽山洋志 (2008), 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み ~地学教育・まちづくりへの適応~. 日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会.

◎先山 徹・高橋 晃・藤本 真理・三枝春生・嶽山 洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚志・小林 文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第 115 年学術大会.

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会 2008 年年会.

■助成を受けた研究

加古川小野線道路改築事業にともなう生痕化石露頭の保存と学校教材化に関する研究. 受託研究, 研究分担者 (金額 170 万円/170 万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 5 篠山層群産化石資料, 篠山市.

2008. 5 紡錘虫化石資料, 滋賀県.

2008. 6 北但層群産化石資料. 養父市.

2008. 8 丹波帯岩石. 篠山市, 丹波市.

2008. 11 紡錘虫化石資料, 滋賀県.

2009. 1-3 恐竜化石. 丹波市.

2009. 2 超丹波帯, 丹波帯岩石資料, 姫路市, 福崎町.

2009. 3 神戸層群産化石, 神戸市

■受贈担当資料

2009. 2 岐阜県金生山, 岡山県成羽産化石資料, 13 点.

■整理同定担当資料

化石 (微化石, 無脊椎動物化石).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

古谷 裕, 2008. 7. 「顕微鏡で見る化石」, ひとはく (1 回, 20 名)

古谷 裕, 2008. 8. 「地層の見方・調べ方 in 淡路」, 南あわじ市 (1 回, 13 名)

古谷 裕, 2008. 8. 「地層の見方・調べ方 in 丹波」, 篠山市, 丹波市 (1 回, 27 名)

古谷 裕, 2008. 10. 「川西と猪名川で中・古生代の地層を見る」川西市, 猪名川町 (1 回, 17 名)

◎古谷 裕, 2008. 10-2009. 3. 「顕微鏡で見る化石」, ひとはく (6 回, 50 名)

◎古谷 裕, 2008. 10-2009. 3. 「顕微鏡で見る化石」, 丹波市 (6 回, 50 名)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2008. 4-2009. 3. 丹波地域「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」

展示作成

丹波竜フェスティバル 2008 分担者

■ミニキャラバン事業

2002. 11, ふれあいフェスティバル (分担者), ふれあいフェスティバル実行委員会, 淡路市.

■連携事業

連携グループ等

篠山層群をしらべる会 (顧問; 主担当)

共催事業

2008. 4-5, 「~民俗学のふるさと・銀の馬車道ふれあい事業~ 「歴民に化石がやってくる!」~第 2 弾 中生代. 神埼郡歴史民俗資料館, (主担当).

2008. 12-2009. 1, 化石展「和泉層群の世界」, 主催: 南あわじ市教育委員会, 南あわじ地学の会, 南あわじ市ショッピン

グブラザパーティ（主担当）

協力事業

2008. 5, 「恐竜と太古の海の生きもの」展, 海遊館, (資料貸出)
2008. 5, ゴールデンウィーク恐竜フェスティバル, 丹波の森ショッピングタウン, (資料貸出)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 11, 上野台中学校 1 名, 藍中学校 1 名, けやき台中学校 1 名.

学校団体対応

2009. 4, 「顕微鏡で見る化石」, 講師, 京都府立桃山高等学校, 20 名.
2008. 8, 「放散虫化石を調べる」, 講師, 兵庫県立飾西高等学校, 20 名.
2008. 10, 「地層・化石を調べる」, 講師, 三田市立すずかけ台小学校 6 年生, 106 名.
2008. 11, 「化石の“虫”, 三葉虫と放散虫 (昆虫ではありません)」加西市立善防中学校, 講師, 75 名.
2008. 12, 「地層・化石を調べる」, 講師, 三田市立あかしあ台小学校, 6 年生, 107 名.
2008. 12, 「いろいろな地層と化石」, 講師, 西宮市立平木小学校, 6 年生, 40 名.
2008. 12, 「顕微鏡で見る化石」, 大阪府立豊中高等学校 20 名.

講師派遣

2008. 6, 「太古の兵庫を探る 中生代ジュラ紀以前の川西」, 川西市生涯学習センター講師,
2008. 7, 「丹波地域の地層と化石」, 講師, 兵庫県立篠山鳳鳴高等学校, 1 年生 (名).
2008. 8, 「地層の見方・調べ方 in 丹波」, 講師, 多可郡理科教員研修会,
2008. 8, 「地層の見方・調べ方 in 丹波」, 講師, 岸和田市理科教員研修会,
2008. 11, 「砥堀小学校周辺の地層」, 講師, 姫路市立砥堀小学校, 6 年生 (48 名).
2008. 12, 「篠山層群の化石」, 講師, 多可町立松井小学校, 6 年生
2009. 1, 「宝塚で見られる地層と化石」, 講師, いきいき学舎・フレミラ, (26 人).
2009. 2, 「山田小学校周辺の地層」, 講師, 姫路市立山田小学校, 6 年生 (27 人)

■展示

企画展

2008. 4 丹波の恐竜化石第二次発掘調査～速報展～ 分担者
2009. 2 共生のひろば展に出展

2. シンクタンク事業

■受託研究

- 加古川小野線道路改築事業にともなう生痕化石露頭の保存と学校教材化に関する研究 (研究分担者). 東播磨県民局. (170 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 4 回, 29 名.

相談・指導助言

来訪者 10 件, 15 名. 電話・FAX 相談 10 件.

三枝 春生, Haruo SAEGUSA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門 准教授.
昭和 33 年東京都生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了.
理学博士. 日本古生物学会, 日本地質学会, 日本人類学会, Society of Vertebrate Paleontology, 化石研究会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

恐竜タスクフォース, サブリーダー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 後期新生代の長鼻類の系統進化に関する研究
2. 恐竜を中心とした兵庫県産の脊椎動物化石

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.
部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

- Saegusa, H. (2008) Dwarf *Stegolophodon* from the Miocene of Japan: passengers on sinking boats. *Quaternary International*, 182(1): 49-62 .
Markov, G., and Saegusa, H. (2008) On the validity of *Stegoloxodon* Kretzoi, 1950 (Mammalia: Proboscidea). *Zootaxa* 1861: 55-56.
◎三枝春生・田中里志・池田忠広・松原尚志・古谷 裕・半田久美子 (2008) 下部白亜系篠山層群からの竜脚類およびその他脊椎動物化石の産出について. 化石研究会会誌, 41(1):2- 12
Hanta, R., Ratanasthien, B., Kunimatsu, Y., Saegusa, H., Nakaya, H., Nagaoka, S. and Jintasakul, P. (2008) A new species of Bothriodontinae, *Merycopotamus thachangensis* (Cetartiodactyla, Anthracotheriidae) from the late Miocene of Nakhon Ratchasima, northeastern Thailand. *Journal of Vertebrate Paleontology*, 2008, 28(4):1182- 1188
Saegusa, H. and Gilbert, W. H. (2008) Chapter 9 Elephantidae. In (W. Henry Gilbert and Berhane Asfaw eds). *Homo erectus* in Africa: *Pleistocene Evidence from the Middle Awash, Ethiopia*. The Middle Awash Series 1, 193-226. University of California Press, Berkeley.

■その他著作

- ◎Saegusa, H., Ikeda, T., Kusuhashi, N., Tanaka, S., Matsubara, T. (2008) A titanoform sauropod (Dinosauria: Saurischia) and microvertebrates from the lower Cretaceous of Hyogo Prefecture, SW Japan. *Journal of Vertebrate Paleontology*, 28 (3, supplement) : 135A.

- ◎三枝春生 (2008) 表紙および裏表紙説明, 化石, 84

■研究発表

- ◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会 2008 年年会, 東北大学, 仙台市.

- ◎先山 徹・藤本真里・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋晃・嶽山洋志 (2008) 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み～地学教育・まちづくりへの適用～. 2008 年度日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会.

- ◎先山 徹・高橋 晃・藤本 真理・三枝春生・嶽山 洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚志・小林 文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第 115 年学術大会.

- ◎Saegusa, H., Ikeda, T., Kusuhashi, N., Tanaka, S., Matsubara, T. (2008) A titanoform sauropod (Dinosauria: Saurischia) and microvertebrates from the lower Cretaceous of Hyogo Prefecture, SW Japan. 68th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Cleveland, USA.

- ◎三枝春生・田中里志 (2008) 下部白亜系篠山層群およびの脊椎動物化石群と堆積相. 化石研究会 130 回例会, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市.

- ◎田中里志・三枝春生 (2008) 古第三系神戸層群の脊椎動物化石群と堆積相. 化石研究会 130 回例会, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市.

Zin-Maung-Maung-Thein, Takai, M., Uno, H., Naoko Egi, N., Tsubamoto, T., Nishimura, T.D., Saegusa, H., Thang-Htike⁵, Ito, T. (2009) Paleoenvironmental Analysis of the Late Neogene Chaingzauk Fauna of Myanmar Using Stable Isotope of Tooth Enamel. 日本古生物学会 第 158 回例会, 琉球大学・沖縄県立博物館.

- ◎Saegusa, H. and Tomida, Y. (2009) Titaniform sauropods from Japan. 大恐竜展～知られざる南半球の支配者～開催記念特別シンポジウム, 国立科学博物館新宿分館

■学会役員など

化石研究会, 編集委員.

Paleontological Research 査読

■助成を受けた研究

篠山層群産恐竜化石の研究. 文部科学省科学研究費基盤研究 (B), 研究代表者 (金額 470 万円/1481 万円).

■海外調査

2008. 10 アメリカ合衆国・クリーヴランド

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 5-11 篠山層群産の小型脊椎動物化石の収集. 丹波市・篠山市.

2009. 1-3 丹波市産恐竜化石の発掘, 丹波市.

■整理同定担当資料

脊椎動物化石 (哺乳類, 恐竜類).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎三枝春生, 2008. 4-9, 「実演, 解説! 化石工房」, 博物館 恐竜ラボ (全 6 回, 120 名)

◎三枝春生, 2008. 4-9, 「実演, 解説! 化石工房」, 博物館 恐竜ラボ (全 6 回, 100 名)

三枝春生, 2008. 5. 5, 「丹波の恐竜化石第二次発掘報告会」, 博物館, (41 名)

三枝春生, 2008. 6. 21, 「丹波の恐竜」, 山南町自治会長会, 博物館, (40 名)

三枝春生, 2008. 6. 29, 「丹波の恐竜化石」, 日本地質学会関西支部, 博物館, (40 名)

三枝春生, 2008. 7. 10, 「兵庫の恐竜と中生代哺乳類化石」, 兵庫県立大学附属高校, 博物館, (166 名)

三枝春生, 2008. 7. 11, 「兵庫の恐竜」, 兵庫県立有馬高校との連携セミナー, 博物館, (50 名)

三枝春生, 2008. 7. 19, 「カエル骨格作成教室—生物の構造を探る」, 博物館, (9 名)

三枝春生, 2008. 9. 14, 「丹波の恐竜化石」, 西宮自然保護協会, 博物館, (24 名)

三枝春生, 2008. 10. 11, 「中生代の動物たち 1」, 山南住民センター, (5 名)

三枝春生, 2008. 10. 23, 「丹波の恐竜化石ラボレク」, 下滝百寿会, 博物館, (20 名)

三枝春生, 2008. 11. 8, 「丹波の恐竜化石」, 県立事務職員協会 東播磨支部, 博物館, (27 名)

館外講演

三枝春生, 2008. 5. 4 「第二次発掘調査状況報告」, 恐竜を活かしたまちづくりシンポジウム, 丹波竜フェスティバル 2008 実行委員会, 丹波市立やまなみホール (340 名).

三枝春生, 2008. 5. 18, 「恐竜研究ってこんなに面白い! —丹波の恐竜化石発掘最新報告」, 恐竜ラボ展大阪実行委員会, 大阪自然史博物館, (80 名)

三枝春生, 2008. 6. 16, 「ひょうごの恐竜」, 垂水文化講座, 講師, 井植記念会館 (150 名).

三枝春生, 2008. 6. 18, 「兵庫の太古を探访する 恐竜時代の兵庫」, オープン講座, 講師, 川西市生涯学習センター (166 名).

三枝春生, 2008. 6. 21, 「丹波の恐竜化石発掘」, 楠歯会学術講演会, 講師, 神戸大学医学部口腔外科同門会楠歯会, 神戸大学医学部 (40 名).

三枝春生, 2008. 6. 25, 「兵庫の太古を探访する 哺乳類全盛

時代の兵庫」，オープン講座，講師，川西市生涯学習センター（166名）。

三枝春生，2008.7.12，「丹波竜の発掘」，兵庫県保健所検査技師会，講師，県立新たんば荘（30名）。

三枝春生，2008.7.26，「丹波竜—その発掘・研究の最前線—」，恐竜ミュージアム2008（沖縄タイムス社・沖縄文化の杜主催），講師，沖縄県立博物館（20名）。

三枝春生，2008.7.31，「丹波の恐竜と中生代の世界」，丹波の森大学，講師，丹波の森公苑（100名）。

三枝春生・池田忠広，2008.8.1，第51回兵小理夏季実験実技講習会，講師，兵庫県小学校教育研究会理科部会，山南住民センター内丹波竜化石工房（150名）。

三枝春生，2008.8.2，「丹波の恐竜とその仲間たち」，兵庫県立大学公開講座，講師，丹波の森公苑（40名）。

三枝春生，2008.8.9，「篠山層群の恐竜と中生代哺乳類」，恐竜クラブ創立20周年記念講演会，講師，恐竜クラブ，アルカディア市谷（50名）。

三枝春生，2008.8.20，基調講演「篠山層群の恐竜と哺乳類」，篠山化石フォーラム，講師・公開ディスカッションコーディネーター，篠山市民センター（200名）。

三枝春生，2008.8.21，「丹波の恐竜」，神戸市老眼大学，講師，神戸文化ホール（2400名）。

三枝春生，2008.9.15，「丹波の恐竜と中生代哺乳類」，兵庫県阪神シニアカレッジ，講師，ソリオ2内シニアカレッジ学習室（100名）。

三枝春生，2008.9.17，「丹波の恐竜と中生代哺乳類」，兵庫県阪神シニアカレッジ，講師，ソリオ2内シニアカレッジ学習室（100名）。

三枝春生，2008.9.19，「丹波の恐竜と中生代哺乳類」，兵庫県阪神シニアカレッジ，講師，ソリオ2内シニアカレッジ学習室（100名）。

三枝春生，2008.9.20，「丹波の恐竜化石と中生代の世界」，兵庫県整形外科医会35周年記念講演会，講師，兵庫県整形外科医会，ホテルオークラ神戸（150名）。

三枝春生，2008.10.2，「丹波の恐竜と中生代哺乳類」，兵庫県小学校長会研究大会，丹波大会，講師，市島公民館（300名）。

三枝春生，2008.11.6，「丹波の恐竜と中生代哺乳類」，丹波市やまなみ大学，講師，やまなみホール（440名）。

三枝春生，2008.11.15，「丹波の恐竜と中生代哺乳類」，自然史学会連合講演会，講師，千葉県立中央博物館（102名）。

三枝春生，2008.12.26，理数系教員指導力向上研修「中生代の古生物」，講師，滋賀県教育センター，人と自然の博物館・丹波市発掘現場（28名）。

兵庫県立大学・大学院教育

2008.7-8，平成20年度兵庫県立大学特別公開講座「丹波の恐竜をめぐる」，代表教員，第五回「丹波の恐竜とその仲間たち」（2008.8.2）担当講師，丹波の森公苑（40名）

ラジオ・テレビ等出演

2008.8.22，「関西ラジオワイド」，NHK大阪

2009.3.14，「週刊こどもニュース」，NHK総合

■連携事業

連携グループ

篠山層群をしらべる会（主担当）

共催事業

2008.8「化石発見市民フォーラム」篠山市・人と自然の博物館・篠山層群をしらべる会共催，篠山市民センター（講師・展示制作）。

2009.1「自然のたからもの～丹波竜&コウノトリに会おう～」展，人と自然の博物館・NK神戸共催 神戸丸（展示制作 監修）

協力事業

2008.9「関西の恐竜時代」伊賀文化都市協会・上野歴史民俗資料館（展示制作協力）。

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008.6.13，藍，上野台，けやき台中学校3名。

学校団体対応

2008.7.10 県立大学附属高校1年生159名。講演「兵庫の恐竜」

■展示

ミニ企画等

2008.5，臨時展示「丹波の恐竜化石速報展」（分担者）。

2008.4—現在，新常設展示「丹波の恐竜化石」（分担者）。

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等（計1件）

2008.11—2009.3. 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会委員，篠山市。

相談・指導助言

2008.6 朝日放送「探偵！ナイトスクープ」。

■学会開催等支援

2008.11 化石研究会130回例会。28名。

半田 久美子，Kumiko HANDA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

昭和45年栃木県生。大阪市立大学理学研究科前期博士課程修了。理学修士。日本植生史学会，日本花粉学会，日本第四紀学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

生涯学習推進室 演習フロアサービスグループ 企画展補助等

■タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース 発掘担当，山南化石工房クリーニングスタッフ支援担当，炭獣の教育支援担当

フェアブル展推進タスクフォース ひょうごフローラフェスタ担当，ひょうごのナチュラリスト担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 新生代における植生・植物相の変遷史
2. 花粉の形態分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

- ◎三枝春生・田中里志・池田忠広・松原尚志・古谷 裕・半田久美子 (2008) 下部白亜系篠山層群からの竜脚類およびその他脊椎動物化石の産出について. 化石研究会会誌, 41(1):2-12

■その他著作

- ◎半田久美子 (2009) 木材化石図鑑: 神戸層群の珪化木. ひとはく図鑑, ひとはく新聞(3月14日).

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

- ◎半田久美子・寺田和雄 (2008) 神戸層群の木材化石フロラ (予報). 日本植生史学会第23回大会, パルセ飯坂, 福島市.
- ◎先山 徹・藤本真里・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋晃・嶽山洋志 (2008) 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み〜地学教育・まちづくりへの適用〜. 2008年度日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会.
- ◎先山 徹・高橋 晃・藤本 真理・三枝春生・嶽山 洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚志・小林 文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第115年学術大会.
- ◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会 2008年年会.

■学会役員など

日本植生史学会, 編集書記.

2. 資料収集・整理

■資料収集

- 2008.4-2009.3 神戸層群産珪化木. 神戸市, 小野市, 西宮市, 東条町, 三木市.
- 2009.1-3 篠山層群産恐竜化石発掘. 丹波市.
- 2009.3 篠山層群産植物化石. 篠山市.

■整理同定担当資料

植物化石.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

半田久美子, 2008.4「花粉の観察1 春の花」, 人と自然の博

物館. (1回, 6名)

半田久美子, 2008.5「花粉の観察2 ハチミツ」, 人と自然の博物館. (1回, 4名)

半田久美子, 2008.7「ボルネオジャングルスクール」, マレーシア. (18名)

半田久美子, 2008.8「花を解剖しよう」, 博物館. (1回, 16名)

◎半田久美子, 2008.4-2008.9「実演, 解説! 化石工房」, 人と自然の博物館. (5回, 120人)

◎半田久美子, 2008.4-2008.9「実演, 解説! 丹波竜化石工房」, 山南住民センター. (8回, 150人)

半田久美子, 2008.12「ハチミツに含まれる花粉の観察」, 人と自然の博物館. (1回, 8名)

館外講演

半田久美子, 2008.6「東条湖の植物化石」, 講師, 小野カブスカウト, 人と自然の博物館. (17名)

半田久美子, 2008.7「花粉の観察 ハチミツ編」, 講師, 六甲みつばち王国, 人と自然の博物館. (9名)

半田久美子, 2008.10「丹波の恐竜化石」, 講師, 一水会, 人と自然の博物館. (32名)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

展示作成

2008.10-11. 学校キャラバン 神戸層群の植物化石と堀治三朗

セミナー担当

2008.5.5 展示解説ツアー, 丹波竜フェスティバル. (講師)

■ミニキャラバン事業

2008.10, ひょうごフローラフェスタ (主担当), ひょうごフローラフェスタ実行委員会, 淡路夢舞台.

■連携事業

共催事業

2008.6, 展示「地球46億年の旅」, 南あわじ地学の会, 南あわじ市教育委員会 (展示物貸出)

2008.7-8, 「植物化石の魅力を探る!」展, 小野市教育委員会 (展示制作, 資料貸出)

トライやるウィーク

2008.6.3-6.6, 山南中学校2名.

2008.6.10-6.13, 上野台中学校1名, 藍中学校1名, けやき台中学校1名

学校団体対応

2008.4, 兵庫県立大学附属中学校1年生 (40名).

2008.7, 兵庫県立大学附属高校1年生 (20名).

2008.11, 兵庫県立大学附属中学校1年生 (20名).

2008.11, 加東市立米田小学校6年生 (18名)

2009.1, 三田市立狭間小学校6年生 (3回, 120名)

講師派遣

2008.10, 「丹波の恐竜化石」, 講師, 加東市立東条中学校1年生 (70名).

■研修生等の受入

卒論生等

2008.4.1-2009.3.31, 仁木 佐知恵 (神戸女学院大学 人間科学部 環境・バイオサイエンス学科4年), 岡田山キャンパスにおけるセイヨウミツバチの花資源利用.

■フェスティバル等

2008. 11 ひととはくフェスティバル, 「ブラスバンド」(責任者).

■展示

企画展

2008. 9. 20 - 2008. 11. 30, 企画展「ひととはくファール大作戦」(分担者).

2009. 2. 15 - 2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者)

ミニ企画等

2009. 2. 7 - 2009. 3. 31, トピックス展「この珪化木は広葉樹? 針葉樹?」(責任者).

2. シンクタンク事業

相談・指導助言

来訪者 20 件, 30 名. 電話・FAX 相談 10 件, メール相談 1 件.

松原 尚志, Takashi MATSUBARA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ/研究・シンクタンク推進室

主任研究員

昭和43年宮城県生. 東北大学大学院理学研究科単位取得後退学.
学術博士(理学). 日本古生物学会, 日本地質学会, 日本貝類学会
等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

研究・シンクタンク推進室

■タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース 発掘調査, 展示企画, グッズ作成担当

■研究開発部門

資料担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 新生界の層序学に関する研究
2. 新生代の化石貝類に関する研究
3. 下部白亜系篠山層群に関する研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

Matsubara, T. (2009) The availability of “*Semifusus Swainson, 1840*”. *Venus*, vol. 67, no. 3, p. 207-208.

松原尚志・佐々木猛智・伊藤泰弘・天野和孝 (2009) 東京大学総合研究博物館所蔵の新生代軟体動物タイプ標本図説. 2. エゾボラ属. ちりばたん, vol. 39, no. 2, p. 88-95.

佐々木猛智・松原尚志・伊藤泰弘・天野和孝 (2008) 東京大

学総合研究博物館所蔵の新生代軟体動物タイプ標本図説.

1. *Acmaea* 属として記載されたカサガイ類 4 種. ちりばたん, vol. 39, no. 1, p. 35-41.

Yamaguchi, T., Matsubara, T., Suzuki, S. and Tanaka, H. (2008) Paleogene ostracodes from Kurashiki City, Okayama Prefecture, southwestern Japan. *Paleontological Research*, vol. 12, p. 355-369.

◎三枝春生・田中里志・池田忠広・松原尚志・古谷 裕・半田久美子, 2008: 下部白亜系篠山層群から竜脚類およびその他脊椎動物化石の産出. 化石研究会会誌, vol. 41, no. 1, p. 2-12.

■その他著作

松原尚志 (2008) A 班 男鹿半島の火山岩相: 始新世〜前期中新世火山岩と戸賀火山. 参加者の感想. 日本地質学会 News, vol. 11, no. 11, p. 6-7.

松原尚志 (2009) 書評: Evceev, G. A. & Yakovlev, Yu. M.: *Dvustvorchatie mollyuski dalnevostochnikh morey* (エヴセーヴ・ヤコヴレフ: 極東海域の二枚貝類). 120 p. “Policon”. Vladivostok, 2006 年. ISBN 5-902956-01-03, ロシア語. ちりばたん, vol. 39, no. 2, p. 119-120.

松原尚志・小守一男 (2008) 岩手県二戸地域の下部中新統四ツ役層からの *Vicarya* (腹足綱) の発見とその意義. 日本地質学会第115年学術大会講演要旨, p. 117.

◎佐藤裕司・松原尚志・清水一文・藤原清尚 (2008) 日笠山貝塚(兵庫県高砂市)から採取された貝類遺骸の ^{14}C 年代. 人と自然, no. 19, 67-70.

◎先山 徹・高橋 晃・藤本真里・三枝春生・池田忠広・嶽山洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・客野尚志・小林文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第115年学術大会講演要旨, p. 267.

■研究発表

◎松原尚志 (2008) 矢部長克博士の肉声テープの発見について. 日本古生物学会2008年年会, 東北大学, 仙台市.

松原尚志・小守一男 (2008) 岩手県二戸地域の下部中新統四ツ役層からの *Vicarya* (腹足綱) の発見とその意義. 日本地質学会第115年学術大会, 秋田大学, 秋田市.

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤勉・先山 徹・古谷 裕・三上貞次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会2008年年会, 東北大学, 仙台市.

◎Saegusa, H., Ikeda, T., Kusuhashi, N., Tanaka, S. and Matsubara, T. (2008) A titanosauriform sauropod (Dinosauria: Saurischia) and microvertebrates from the Lower Cretaceous of Hyogo Prefecture, SW Japan. 68th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Cleveland Museum of Natural History and Case Western Reserve University, Cleveland, Ohio, USA.
山野井 徹・斎藤喜和子・松原尚志・小守一男 (2008) 岩手県門ノ沢層からマングローブ花粉化石の発見. 日本古生物学会2008年年会, 東北大学, 仙台市.

◎先山 徹・藤本真里・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋晃・嶽山洋志 (2008) 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み〜地学教育・まちづくりへの適用〜. 2008年度

日本地質学会近畿・西日本・四国三支部合同例会。

◎先山 徹・高橋 晃・藤本 真理・三枝春生・嶽山 洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・池田忠広・客野 尚志・小林 文夫（2008）兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援。日本地質学会第115年学術大会。

◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次（2008）兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について。日本古生物学会 2008 年年会。

■学会役員など

日本貝類学会，編集委員。

■助成を受けた研究

篠山層群産恐竜化石に関する研究。文部科学省科学研究費基盤研究(B)，研究分担者（金額 10 万円／1098.4 万円）。

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.9 北但層群産貝類化石（長岡桂介氏コレクション）。

2009.12 中新世貝類化石，岡山県。

2009.1-3 篠山層群産恐竜化石。

■受贈担当資料

2008.4 豊岡市竹野海岸産貝類化石（小林恭子氏）。1 点。

2008.4 青森県下北半島産貝類化石。57 点。

■整理同定担当資料

中生代～新生代貝類化石（二枚貝綱，腹足綱，掘足綱）

森下 晶博士寄贈地質文献資料

池辺展生博士寄贈地質文献等資料

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

松原尚志，2008.5，「化石のレプリカをつくろう!!」，博物館。（全1回，15名）。

松原尚志，2008.10，「貝化石でさぐる過去の地球温暖化」，クラーク高等学校，芦屋。（全1回×4クラス，121名）

松原尚志，2008.11，「小さな化石の観察講座」，博物館。（全1回，5名）。

松原尚志，2008.4-10，「実演・解説!!化石工房」，ひとはく恐竜ラボ。（全7回，199名）

松原尚志，2008.4-10，「実演・解説!!丹波竜化石工房」，丹波竜化石工房，丹波市。（全6回，202名）

館外講演

池田忠広・松原尚志，2008.8，丹波竜サマーキッズスクール「丹波竜発掘体験」。指導者，丹波市恐竜を活かしたまちづくり課，丹波市山南支所，丹波市（全2回，20名）。

池田忠広・松原尚志，2008.8，丹波竜サマーキッズスクール「化石のクリーニング体験」。指導者，丹波市恐竜を活かしたまちづくり課，丹波市山南支所，丹波市（全2回，20名）。

■キャラバン事業および地域研究員養成事業

セミナー担当

2008.5 丹波竜フェスティバル 2008 丹波竜化石工房展示解説ツアー（講師）（全2回，45名）

■研修生等の受入

博物館実習

2009.8，新潟大学理学部学生1名，琉球大学理学部学生1名。

卒論生等

■フェスティバル等

2009.11 ひとはくフェスティバル，記録写真担当。

■展示

企画展

2008.9.20-11.30，「ひとはくファール大作戦，ひょうごのナチュラリスト」（分担者）。

特別展示

2008.7.20-8.31，臨時展示「丹波の恐竜化石～夏休み期間特別展示～」（責任者）。

ミニ企画展等

2008.4.20～6.1，臨時展示「丹波の恐竜化石第二次発掘調査～速報展～」（分担者）

2008.4.20～，「ひとはく恐竜ラボ」展示作成（責任者）。

2009.2.15-4.5，「共生のひろば展」「私が発見した化石貝類の新種」展示パネル作成。

2. シンクタンク事業

■行政等支援

相談・指導助言

電話・FAX 相談 2 件，メール相談 8 件。

■学会開催等支援

2008.12. 岡山市周辺の第三系の層序・年代および見学旅行コースに関する助言。専門家招聘。日本地質学会第116年学術大会岡山大会実行委員会。

池田 忠広，Tadahiro IKEDA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ

研究員

昭和53年埼玉県生。鹿児島大学大学院理工学研究科博士課程修了。理学博士。日本古生物学会，日本爬虫両棲類学会，Society of Vertebrate Paleontology 所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

生涯学習推進室 連携・担い手M 所属

■タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース 発掘担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 下部白亜系篠山層群産有鱗類化石の分類学的研究
2. 日本および琉球列島産蛇類椎骨化石の分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.

部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

- ◎三枝春生・田中里志・池田忠広・松原尚志・古谷裕・半田久美子 (2008) 下部白亜系篠山層群からの竜脚類およびその他脊椎動物化石の産出. 化石研究会会誌, Vol. 41 (1), 2-12.

■その他著作

- ◎Ikeda, T., Otsuka, H. and Ota, H. (2008) The Late Pleistocene snake fauna (Reptilia: Squamata) of the Ryukyu archipelago, Southwest Japan, with special reference to the formation process of the extant snake fauna of this region. Journal of Vertebrate Paleontology, 28 (3, supplement): 95A
- ◎Saegusa, H., Ikeda, T., Kusuhashi, N., Tanaka, S., Matsubara, T. (2008) A titanoform sauropod (Dinosauria: Saurischia) and microvertebrates from the lower Cretaceous of Hyogo Prefecture, SW Japan. Journal of Vertebrate Paleontology, 28 (3, supplement): 135A.

■研究発表

- ◎池田忠広・大塚裕之 (2008) 琉球列島, 沖縄島産前期更新世へビ類椎骨化石の分類学的研究. 日本古生物学会 2008 年年会, 東北大学.
- ◎Ikeda, T., Otsuka, H. and Ota, H. (2008) The Late Pleistocene snake fauna (Reptilia: Squamata) of the Ryukyu archipelago, Southwest Japan, with special reference to the formation process of the extant snake fauna of this region. Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Cleveland Museum of Natural History and Case Western Reserve University, Cleveland, Ohio, USA.
- ◎Saegusa, H., Ikeda, T., Kusuhashi, N., Tanaka, S. and Matsubara, T. A titanosauriform sauropod (Dinosauria: Saurischia) and microvertebrates from the Lower Cretaceous of Hyogo Prefecture, SW Japan. 68th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Cleveland Museum of Natural History and Case Western Reserve University, Cleveland, Ohio, USA.
- ◎三枝春生・池田忠広・松原尚志・半田久美子・佐藤裕司・小林文夫・田中里志・加藤茂弘・先山 徹・古谷 裕・三上禎次 (2008) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出したティタノサウルス形類の追加標本について. 日本古生物学会 2008 年年会, 東北大学
- ◎先山 徹・藤本真里・古谷 裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋 晃・嶽山洋志 (2008) 丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み～地学教育・まちづくりへの適応～. 日本地質学会 2008 年度近畿支部総会・合同例会, 兵庫県立人と自然の博物館.
- ◎先山 徹・高橋 晃・藤本真里・三枝春生・池田忠広・嶽山洋志・佐藤裕司・古谷 裕・松原尚志・半田久美子・客野尚志・小林文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第 115 年学術大会, 秋田大学.

■助成を受けた研究

篠山層群産恐竜化石の研究. 文部科学省科学研究費基盤研究 (B), 研究分担者.

■海外調査

2008. 10 米国 ユタ州 デンバー, デンバー自然科学博物館

2. 資料収集・整理

■資料収集

2009. 5 下部白亜系篠山層群産小型脊椎動物化石の発掘. 篠山市, 兵庫県.

2009. 1-3 下部白亜系篠山層群産恐竜化石の発掘. 丹波市, 兵庫県.

■整理同定担当資料

小型脊椎動物化石

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

池田忠広, 2008. 7, 「カエル骨格作成教室」, 博物館 (全 2 回, 9 名)

池田忠広, 2008. 10, 「中生代の動物たち 2」, 博物館 (全 1 回, 4 名)

池田忠広, 2008. 11, 「ヘビの世界」, 博物館 (全 1 回, 11 名)

◎池田忠広, 2008. 4-9, 「実演, 解説! 化石工房」, 博物館 恐竜ラボ (全 6 回, 120 名)

◎池田忠広, 2008. 4-9, 「実演, 解説! 丹波竜化石工房」, 丹波市 丹波竜化石工房 (全 7 回, 128 名)

池田忠広, 2008. 6-8, 「恐竜ラボ解説」, 博物館 恐竜ラボ (全 6 回, 201 名)

池田忠広, 2008. 6-8, 「丹波竜化石工房での恐竜解説」, 丹波市 丹波竜化石工房 (全 1 回, 25 名)

池田忠広, 2008. 7, 「篠山層群産恐竜化石について」, 博物館 (全 1 回, 22 名)

池田忠広, 2008. 7, 「丹波の恐竜化石と周辺の環境」, 博物館 (全 1 回, 38 名)

池田忠広, 2008. 8, 「有鱗類の化石」, 博物館 (全 1 回, 13 名)

館外講演

池田忠広, 2008. 5, 「篠山層群から発掘された恐竜化石」, 兵庫県生物学会第 62 回大会, 講師, 篠山市四季の森生涯学習センター (40 名)

三枝春生・池田忠広, 2008. 7, 「ラボ・現場解説」, 兵庫県小学校教育研究会理科部会 第 51 回夏期実験実技講習会, 講師, 丹波市山南町 山南住民センター (150 名)

池田忠広, 2008. 8, 「恐竜の生きていた世界～丹波の恐竜化石発見」, 夏の特別公開講座, 講師, 神戸新聞文化センター, ミント神戸 (30 名)

ラジオ・テレビ等出演

2008. 4. 17, 「関西ラジオワイド」, NHK ラジオ

2008. 4. 23, 「BRANDNEW KOBE」, FM 神戸

2008. 6. 27, 「ニュース番組」, 読売テレビ

2008. 9. 20, 「ウィークエンド関西」, NHK 総合

2008. 6. 27, 「大阪ほんわかテレビ」, 読売テレビ

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

篠山層群をしらべる会 (アドバイザー)

展示作成

2008. 10-11. 学校キャラバン 神戸層群の植物化石と堀
治三朗

セミナー担当

2008. 5. 5 展示解説ツアー, 丹波竜フェスティバル. (講師)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 6, 丹波市山南中学校 2 名.

2008. 6. 11, 13 三田市立上野台中学 1 名, 三田市立けやき
台中学校 1 名, 田市立藍中学校 1 名.

2008. 11. 20, 篠山市立篠山中学校 3 名.

■展示

企画展

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者)

2. シンクタンク事業

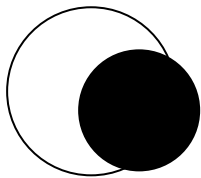
■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 1 件, 0 名. 電話・FAX 相談 4 件, メール相談 0 件.

■学会開催等支援

2008. 11 化石研究会 130 回例会. 28 名.



個人別成果報告に関する資料

No. 2

● 自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ／

昆虫共生系研究グループ

高橋 晃, Akira TAKAHASHI

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ

研究部長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 教授。

昭和29年岐阜県生。大阪大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学。理学博士。日本植物学会、日本植物分類学会、植生史学会、ヒマラヤ植物研究会、国際材解剖学会等所属。

＜事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事＞

■タスクフォース

・恐竜・化石タスクフォース／タスクフォースリーダー

恐竜ラボ開設事務、恐竜化石第三次発掘に向けた館内外の連絡調整、次年度予算案の企画立案・折衝、発掘成果の展示・普及教育等事業推進の統括

・フェアブル展タスクフォース／タスクフォースリーダー

巡回展「フェアブルにまなぶ」、兵庫県地域展、自然の再生と共生国際フォーラム、コラボ展、セミナー・イベント類など各種事業の準備事務と開催運営の統括

・グローバルプログラムタスクフォース

ジャングル体験スクール運営補助、フランスアベロン県との国際交流、JICA カウンターパート研修受入講師

■研究開発会議

研究部における諸事業推進の統括

＜研究開発＞

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 熱帯産樹種の生長解析・木材解剖学
2. 兵庫県産植物の分類・地理学的研究
3. 植物を素材にした自然史教育の研究

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」、研究分担者。

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」、研究代表者。

■その他著作

◎福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃（編）（2008）兵庫県産維管束植物 10. 人と自然（19），161-222。（編集およびイネ科分担執筆）

■研究発表

千川慶史・布施静香・高野温子・高橋晃・田村実（2009）日本産イグサ科植物の分類学的再検討（予報）。日本植物分類学会第8回大会，宮城県民会館，仙台市。

■助成を受けた研究

自然史系博物館の連携研究員養成法の研究，科学研究費・基

盤研究（C），研究分担者。（分担金10万円／総額120万円）

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-11 種子植物，宍粟市・氷ノ山・香美町の山間部

■受贈担当資料

2008. 4. 1 村瀬忠義コレクション 2008，52 点。
2008. 5. 30 材鑑証拠標本（2008 佐賀），146 点。
2008. 8. 20 材鑑証拠標本（2008 木曽），216 点。
2008. 10. 3 鳴橋コレクション 2008，225 点。
2008. 11. 12 材鑑証拠標本（2008 滋賀），154 点。
2009. 1. 8 小林禧樹コレクション 2008，27 点。

■整理同定担当資料

種子植物、材鑑標本

＜事業推進＞

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

高橋 晃・布施静香・福田知子・山本伸子，2008. 4-12 植物リサーチクラブ専修科（全4回），博物館。（36名）

高橋 晃・布施静香・福田知子，2008. 4 植物園をあるくー春の植物を覚えよう，大阪市立大学理学部附属植物園。（24名）

高橋 晃・福田知子，2008. 5 植物リサーチクラブ①春の西播磨と氷ノ山，赤西溪谷～氷ノ山。（39名）

高橋 晃・長谷川太一・レモンリーフ，2008. 9 植物画を描こう（全2回），博物館。（28名）

福田知子・布施静香・高橋 晃，2008. 6 植物リサーチクラブ②染色体の観察，博物館。（9名）

◎布施静香・高橋 晃・福田知子，2008. 6 野草のお茶を楽しもう，オープンセミナー，博物館。（152名）

高橋 晃・福田知子，2008. 8 園児自然観察指導者講習，博物館。（16名）

高橋 晃・福田知子，2008. 8 植物標本の作り方，教職員セミナー，博物館。（20名）

◎高橋 晃，2008. 8 木と遊ぼう，オープンセミナー，博物館。（85名）

◎高橋 晃・高野温子，2008. 10 野草のお茶を楽しもう，オープンセミナー，博物館。（85名）

◎橋本佳明・高橋 晃・山本伸子，2008. 11 収蔵庫ツアー，オープンセミナー，博物館。（46名）

高橋 晃・高野温子・山本伸子，2009. 2-3 植物リサーチクラブ③標本の調べ方，博物館。（27名）

◎高橋 晃・山本伸子，2009. 3 収蔵庫ツアー，オープンセミ

ナー、博物館。(31名)

館外講演など

高橋 晃, 2008.4 六甲山二つ池環境調査, 講師, 六甲山環境整備協議会。(10名)

高橋 晃, 2008.11 樹木の生長と木材の構造, 講師, 大阪市立大学。(37名)

兵庫県立大学・大学院教育

2008.4-2009.2 特別研究, (主任)

2008.7 多様性生物学特別演習(集中), (主任)

2008.9 共生生物学(集中), (分担)

非常勤講師など

2008.4-7 系統分類学, 関西学院大学理工学部。

2008.12 博物館学, 香川大学教育学部

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

2008.6-10 但馬, ハチ北地区

セミナー担当

2008.6 但馬地域 ハチ北自然観察会「初夏の植物」, ハチ北観光協会。(11名)

2008.10 但馬地域 ハチ北自然観察会「秋の植物」, ハチ北観光協会。(9名)

■ミニキャラバン事業

2008.11 丹波の森フェスティバル, 丹波市柏原町。(分担者)

■連携事業

連携グループ等

GREEN GRASS(主担当, 植物画研究会運営支援)

成果発表

2009.2 第4回共生のひろば, 花粉を観る, 福岡忠彦(指導)

2009.2 第4回共生のひろば, ミスジナガハグサ, 西野雅満(指導)

2009.2 第4回共生のひろば, 装飾花をもつ花たちーすばらしきパートナーー, 西野真美(指導)

2009.2 第4回共生のひろば, ミズワラビの発生・生長について, 林 美嗣(指導)

2009.2 第4回共生のひろば, 高山植物, 伊東吉夫(指導)

協力事業

六甲山市民講座, 六甲山自然保護センターを活用する会(アドバイザー)

■学校教育支援

学校団体対応

2008.5 「山の植物について」, 開明中学校1年生。(285名)

2008.10 「熱帯のいきもの」, 赤穂東中学校1年生。(53名)

2008.10 「熱帯のいきもの」, 関西大倉中学校3年生。(50名)

講師派遣

2008.4-2009.3 「植物のなかま分け」, 兵庫県立大学附属中学校。(3名)

■研修生等の受入

研修生

2008.12 JICA カウンターパート研修, マレーシア・サバ州 BBEC 関係者 1名

2009.2-3 JICA カウンターパート研修, インドネシア国立生

物学研究センター研究員ほか3名。

■展示

ミニ企画等

2008.12-2009.1 干支展「ネズミさんありがとう、ウシさんようこそ」(分担者)

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 5回, 80人

■行政等支援

委員会等

2008.4- 環境庁版レッドデータブック兵庫県主任調査員, 環境庁。

2008.4- 希少野生動植物種保存推進員, 環境庁。

2008.4-2009.3 六甲山環境整備協議会, アドバイザー, 六甲山自然保護センターを活用する会。

視察対応

2008.4 北九州市立自然史博物館・副館長 1件

相談・指導助言

来訪・電話・メール・手紙等による相談 11件

2008.6 植えてはいけないケシの鑑定, 宝塚健康福祉事務所

2008.7 メリケンカルカヤの分布調査, 大阪産業大学学生

2008.7 製品に混入した異物(葉)の鑑定調査, (株)マンダム

2008.12-2009.1 ササ属植物同定相談, (株)三幸バイオ研究所

秋山 弘之, Hiroyuki AKIYAMA

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ

主任研究員

姫路工業大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 助教授。

昭和31年大阪府生。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。日本植物分類学会、日本蘚苔類学会、米国植物分類学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■研究開発部門

研究紀要担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 東南アジア産蘚類の分類学的・植物地理学的研究
2. 半数体植物における種分化のあり方に関する研究
3. タイ国インタノン山蘚類相の研究

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者。

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者。

■論文・著書

- ◎西村直樹・道盛正樹・川合啓二・大石善隆・秋山弘之(2008)
兵庫県丹波地域の蘚苔類. 人と自然, No. 19, 115-134.
- Miwa, H., I. J. Odrzykoski, A. Matusi, M. Hasegawa, H. Akiyama, Y. Jia, R. Sabirov, H. Takahashi, D. E. Boufford & N. Murakami (2009) Adaptive evolution of rbcL in Conocephalum (Hepaticae, bryophytes). Gene (in press, preprint in WEB site).
- 秋山弘之・山口富美夫(2008) 無性芽を有するヘチマゴケ属(ハリガネゴケ科, 蘚類)の研究 1. 日本産キヘチマゴケとその近縁種の再検討. 蘚苔類研究 9巻9号, 279-290.
- 秋山弘之(2008) 日本の貴重なコケの森「船越山池の谷瑠璃寺境内・参道および鬼の河原」. 蘚苔類研究 9巻8号, 275-276.
- 秋山弘之(2008) ナンジャモンジャゴケの遺伝的多様性. 蘚苔類研究 9巻10号, 333.

■ブログへの情報提供

ひとはく: ブログ3件 BBS: 34件

■研究発表

- 秋山弘之(2008) ナンジャモンジャゴケの遺伝的多様性. 日本蘚苔類学会, 秋田市
- 秋山弘之・高城邦之・山口省吾(2008) アクアリウムに登場したあたらしい苔たち. 日本蘚苔類学会, 秋田市
- 黒沢高秀・大森威宏・秋山弘之・薄葉満(2009) 尾瀬国立公園の指定植物の選定. 東北大学, 仙台市.

■学会役員など

- 日本植物分類学会 編集委員.
- 日本蘚苔類学会 庶務幹事, 編集委員.

■助成を受けた研究

- 屋久島蘚苔類相の現状把握と保全への基礎調査. 文部科学省科学研究費基盤研究(C)(一般), 研究代表者(金額340万円/80万円).

■海外調査

- 2008.3 シンガポール, タイ国チェンマイ県
- 2008.12-2009.1 タイ国チェンマイ県

2. 資料収集・整理

■資料収集

- 2008.4-2009.3 蘚苔類 三田市, 宝塚市, 神戸市, 篠山市
- 2008.3 蘚苔類 シンガポール, タイ国チェンマイ県
- 2008.12-2009.1 蘚苔類 タイ国チェンマイ県

■整理同定担当資料

植物(蘚苔類, 菌類).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 秋山弘之, 2008.6 「とっとこ倶楽部 梅雨のキノコ探検隊1」 神戸市(全1回, 15名)
- 秋山弘之, 2008.7 「とっとこ倶楽部 苔の観察」 神戸市(全1回, 15名)
- 秋山弘之, 2008.11 「とっとこ倶楽部 秋のキノコ1」 三

田市(全1回, 15名)

秋山弘之, 2008.11 「とっとこ倶楽部 秋のキノコ2」 神戸市(全1回, 15名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生(分担)

兵庫県立大学附属中学校

プロジェクト学習(分担)

■連携事業

- 2008.10, リバグレイス猪名川 「コケのはなし」(21名)
- 2008.11, リバグレイス猪名川 「キノコのはなし」(18名)
- 2008.11, シニア自然大学キノコ観察会(18名)

■学校教育支援

学校団体対応

- 2008.10, 兵庫県立大学附属中学校1年生(25名).
- 2008.8, 西宮市総合教育センター教職員研修(25名)

■展示

企画展

- 2008.2.23-2009.8.20, 企画展「クリプトガミックボタニー 隠花植物の不思議な世界」(責任者).

ミニ企画等

- 2009.2.8-5.31, 臨時展示「六甲山のキノコ展」(分担者).

○自然・環境評価研究部 昆虫共生系研究グループ

橋本佳明 HASHIMOTO, Yoshiaki

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門 准教授.
昭和31年大阪府生. 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程
修了, 学術博士, 昆虫学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■日仏共同企画「ファーブルにまなぶ」展プロジェクト

人博ファーブルタスクホース, 人博企画調整, 全国企画運営
会議委員, 展示制作WG委員担当

■人博共生生物学事業サブプロジェクト

企画調整担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

- 膜翅目昆虫(アリ類等)の系統分類学的研究
- 熱帯雨林生物多様性に関する研究
- 昆虫を素材にした環境教育システムの研究
- 共生生物学

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による, 環境学習支援
および地域振興に関する研究」・但馬地域, 研究分担者.
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

■その他著作

橋本佳明 (2008) 「ファールにまなぶ展の紹介」 31-34.
昆虫と自然 43 巻
橋本佳明 (2008) 「海外の博物館 マレーシア国立サバ大
学熱帯生物学・保全研究所」 30-32. 昆虫と自然 43 巻
橋本佳明 (2008) 「昆虫たちのコスモスへファールに
まなぶ展紹介」 神戸新聞社
橋本佳明 (2008) 「ファールにまなぶ展の紹介」 朝日小
学生新聞
橋本佳明 (2008) 「ファールにまなぶ展から上ー昆虫記
の翻訳」 神戸新聞社
橋本佳明 (2008) 「ファールにまなぶ展から中ー昆虫記
は回想録」 神戸新聞社
橋本佳明 (2008) 「ファールにまなぶ展から下ー昆虫記
の先見性」 神戸新聞社

■研究発表

橋本佳明 (2008) 系統的制約と機能的適応 アリ類の外骨格
-筋肉系の機能形 日本昆虫学会 香川大学

■学会役員など

DIPWA Network for Establishment of Ant Reference
Collections (ANeT) 評議委員.
Insectes sociaux レフェリー
Asian myrmecology レフェリー
Japanese Journal of Entomology レフェリー

■助成を受けた研究

アリ類の種多様性はアリグモ類の種多様性の鋳型となってい
るか 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者(金
額 130 万円/487 万円).
地球規模生物多様性情報機構(G B I F)の促進における生物
多様性データベース作成課題 「鱗翅目データベース」 独
立行政法人 科学技術振興機構, 研究分担者

■海外調査

2008. 8 マレーシア・サラワク州
2009. 2 マレーシア・サラワク州

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 8 マレーシア・サラワク州 アリ類の採集
2009. 2 マレーシア・サラワク州アリ類の採集

■整理同定担当資料

佐藤コレクション 4000 点
トゲアリ・タイプ標本 40 点

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

橋本佳明. 2008. 9 「ファール昆虫記を読み解く」 (10 名)
橋本佳明. 2008. 10 「日本のファールから学ぶ、ハチの観察
法」 (40 名)
橋本佳明. 2008. 11 「ファール入門～昆虫のデザイン、人の
デザイン～」 (10 名)
橋本佳明. 2008. 11 「ファールにまなぶ～昆虫学入門」 高
校連携セミナー (64 名)

橋本佳明. 2008. 9 「ファール昆虫記を読み解く」 大阪シニ
ア大学 博物館 (100 名)
橋本佳明. 2008. 9 「ファール・ギャラリートーク」 博物
館 (60 名)
橋本佳明. 2008. 10 「ファール・ギャラリートーク」 博物
館 (60 名)
橋本佳明. 2008. 10 「ファール・ギャラリートーク」 博物
館 (60 名)
橋本佳明. 2008. 11 「ファール・ギャラリートーク」 三木
の会 博物館 (50 名)
橋本佳明・高橋晃・布施静香, 2008. 11 「生物系収蔵庫ツア
ー」 博物館. (40 名)
高橋晃・布施静香・橋本佳明, 2009. 3 「生物系収蔵庫ツア
ー」 博物館. (40 名)

館外講演

橋本佳明, 2008. 7. ファール展共催事業「日仏友好百五
十周年記念国際シンポジウム」, 講師, 滋賀県立琵琶湖博
物館 (100 名)
橋本佳明, 2008. 8. ファール展共催事業「アリの行列実演」,
講師, 伊丹市昆虫館 (80 名)
橋本佳明, 2008. 8. ファール昆虫記を読み解く 講師, 大阪
よみうり文化センター (150 名)

非常勤講師など

2007. 5. 「アリとハチのデザイン」 神戸芸術工科大学 80
名

■キャラバン事業

担当

2008. 7 淡路島 「花と虫の物語ー 南米の昆虫たち」
2008. 11 淡路島 「日本の伝統文化ー虫愛ずる日本人」

■学校教育支援

学校団体対応

2008. 8 あゆみ会 ファール・トーク (64 名)
2008. 10 宝塚小学校 ファール・トーク (143 名)
2008. 10 仁川小学校 ファール・トーク (140 名)
2008. 10 城崎中学校 ファール・トーク (40 名)
2008. 10 池田市立石橋小学校 ファール・トーク (78 名)
2008. 10 黒田庄中学校 ファール・トーク (95 名)
2008. 10 人丸小学校 ファール・トーク (100 名)
2008. 10 阪神特別支援学校 ファール・トーク (43 名)
2008. 10 附属池田小学校 ファール・トーク (89 名)
2008. 10 茨木市立大池小学校 ファール・トーク (137 名)
2008. 10 陵北小学校 ファール・トーク (77 名)
2008. 10 日吉西中学校 ファール・トーク (74 名)
2008. 10 山崎南中学校 ファール・トーク (58 名)
2008. 10 矢野川中学校 ファール・トーク (40 名)
2008. 10 関西大倉中学校 ファール・トーク (135 名)
2008. 10 北条小学校 ファール・トーク (77 名)
2008. 10 稲美北中学校 ファール・トーク (170 名)
2008. 10 豊富小学校 ファール・トーク (111 名)
2008. 11 塩屋中学校 ファール・トーク (108 名)
2008. 11 大久保小学校 ファール・トーク (108 名)
2008. 11 三田市立あかしあ台小学校 ファール・トーク (84
名)

2008.11 尼崎市立七松小学校 ファーブル・トーク (90 名)
2008.11 国際クラーク高校 ファーブルにまなぶ〜昆虫学入門 (64 名)

講師派遣

橋本佳明, 2008. 7. ファーブル展連携事業「環境体験事業 昆虫学習」, 講師, 明石市立朝霧小学校 (79 名)

■展示

企画展

2008. 9. 20 - 2008. 11. 30, ファーブルにまなぶ展 (責任者)
2008. 9. 20 - 2008. 11. 30, ファーブルにまなぶ展・昆虫不思議ラボ (責任者)

沢田佳久 SAWAA, Yoshihisa

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門 助手

昭和 34 年京都府生 九州大学大学院農学研究科修了、農学博士、
日本昆虫学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

ファーブルタスクフォース 事務局運営, 報告書作成担当

■研究開発部門

甲虫, 半翅類担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. オトシブミ, チョッキリの多様性

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援
および地域振興に関する研究」

■研究発表

沢田佳久 (2008) マメヤハズの飛行特性. 日本昆虫学会第 68
回大会, 香川大学, 高松市.

沢田佳久 (2008) マメヤハズの飼育. 昆虫学会近畿支部大会,
兵庫県博, 三田市.

沢田佳久 (2008) ユアサハナゾウムシの奇妙な営繭. 昆虫学
会近畿支部大会, 兵庫県博, 三田市.

■学会役員など

日本昆虫学会, 電子化推進委員.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-2009. 3 各種昆虫類. 三田市等

2008. 6 ヒメクロオトシブミ色彩型間交雑帯での採集. 福井
県

2008. 7-11 ファーブル展関連資料の収集. 奈良県等

■受贈担当資料

ジャコウアゲハ休眠研究証拠標本 (室谷コレクション) 一式

甲虫標本 (松本コレクション) 15 箱

アサギマダラ移動被食証拠標本 (前田コレクション) 一式
シロテンハナムグリ早期出現証拠標本 (和泉コレクション),
1 点

■整理同定担当資料

昆虫 (鞘翅目, 半翅目).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

沢田佳久, 2008. 6, 「もいちど始める昆虫採集」, 博物館. (5
名)

沢田佳久, 2008. 5, 「深田公園オトシブミ観察会」, 博物館.

沢田佳久, 2008. 7, 「小さな虫の標本作り」, 博物館. (20 名)

沢田佳久, 2008. 8, 「土の中のむし」, 博物館. (20 名)

沢田佳久, 2008. 9, 「虫の体を調べよう」, 博物館. (10 組)

沢田佳久, 2008. 10, 「とび出せ立体写真!」, 博物館.

沢田佳久, 2008. 11, 「立体写真撮影入門」, 博物館. (10 名)

沢田佳久, 2008. 11, 「青赤立体写真実習」, 博物館. (10 名)

沢田佳久, 2009. 2, 「ゾウムシ学序論」, 博物館. (5 名)

館外講演

沢田佳久, 2008. 7, 「北摂の甲虫たち」, いきいき学舎・フレ
ミラ. (35 名)

沢田佳久, 2008. 10, 「昆虫標本のはなし」, クラーク記念国際
高校.

■キャラバン事業

展示調整

2008. 8 田園空間博物館 (甲虫)

■ミニキャラバン事業

展示調整

2008. 10 学校キャラバン (甲虫)

展示作成

2008. 8 地域キャラバン (象鼻箱)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 3 - 6. 6, 3 名.

学校団体対応

2008. 9-11, ファーブルトーク. (24 校)

■展示

ミニ企画等

2008. 6, DPF シアター「ヒメマイトトンボ」.

2008. 7-8, DPF シアター「101 匹ハムちゃん大行進」.

2008. 11-12, DPF シアター「赤いトンボとあかとんぼ」.

2009. 2-3, DPF シアター「深田公園のユアサハナゾウムシ」.

2008. 12-09. 1, 年末・年始特別展示, 展示物.

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 数回, 数名.

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 10 件程度, 電話・FAX・メール相談等, 計 30 件程度.

八木 剛, YAGI, Tsuyoshi

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

主任研究員

昭和43年大阪府生. 神戸大学大学院農学研究科修士課程修了.
農学修士. 日本昆虫学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■マーケティング・マネジメント部門

企画調整室

■タスクフォース

フェアブル展タスクフォース

■研究開発会議

研究担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 昆虫分布の解釈に関する研究
2. 兵庫県の昆虫相の特性に関する研究

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援
および地域振興に関する研究」, 研究代表者.

■論文・著書

藤井優恵・三好百合子・足立 勲・八木 剛 (2008) ミヤマ
アカネ・リサーチプロジェクトを活用した環境教育の実践
と効果—宝塚市の3小学校と博物館が連携した4年間の取
り組み事例—. 人と自然, 19: 101-114.

■その他著作

八木 剛・石田弘明・山下治子 (2009) イタリアの自然史系
ミュージアム【1】ミラノ市立自然史博物館 (Museo Civico
di Storia Naturale di Milano) の教育プログラムを担う
ADM. Musee, 87: 14-17.

■ブログへの情報提供

15件

■研究発表

安岡拓郎・八木 剛・前藤 薫・竹田真木生 (2008) ヒメボ
タルの発光時刻の地理的変異と気象条件による影響. 日本
昆虫学会第68回大会, 香川大学

安岡拓郎・八木 剛・前藤 薫・竹田真木生 (2008) ヒメボ
タルの発光時刻の地理的変異と気候との関係. 日本昆虫学
会近畿支部2008年度大会・日本鱗翅学会近畿支部第137
回例会 合同大会, 兵庫県立人と自然の博物館

■学会役員など

日本昆虫学会, 近畿支部幹事.

■助成を受けた研究

博物館での「演示」の実施による環境学習効果の研究. 科学
研究費補助金基盤研究 (C). 研究代表者 (200万円/350
万円).

■海外調査

2008.8-9. イタリア

2. 資料収集・整理

■資料収集

2007.5-2007.10 ヒメボタル等. 京都市, 三田市, 宝塚市,
佐用町, 香美町, 奈良県, 岐阜県, 長野県

■整理同定担当資料

昆虫 (双翅目, 蛾類, トンボ類, 直翅類).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

八木 剛. 2008.4-2009.2. 「ユース昆虫研究室」. 国営明石海
峡公園 (神戸地区)・船越山 (佐用町)・博物館 (全13回).

八木 剛. 2008.6. 「六甲山系ヒメボタル分布調査プロジェク
ト」. 兵庫県立六甲山自然保護センター

八木 剛. 2008.6.9. 「身近な環境を調査しよう〜トンボとり
ペナントレース」. 博物館 (全2回)

八木 剛. 2008.4.5. 「むしの観察とお絵かき」. 博物館 (全
2回)

八木 剛. 2008.8. 「夏季教職員セミナー: 校区の昆虫を調べ
よう〜実習編〜」. 宝塚市立教育総合センター.

八木 剛. 2008.8. 「夏季教職員セミナー: 校区の昆虫を調べ
よう〜理論編〜」. 宝塚市立教育総合センター.

館外講演

八木 剛. 2008.9.10. 「ビオトープ」NPO法人シニア自然大学.
博物館 (全3回, 63, 69, 51名)

八木 剛. 2009.1 「ヒメボタルについて」島本町水と緑の会 (40
名)

非常勤講師

2007.5. 「自然とデザイン」. 神戸芸術工科大学

ラジオ・テレビ等出演

2008.4.20 「サイエンス・ZERO」, NHK 教育

2008.6.10 「三上きみやの情報朝市」, ラジオ関西

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

セミナー担当

2008.7. 森のホテルとのすてきな出会い 但馬地域 (ハチ北
高原)

■ミニキャラバン事業

2008.11. 丹波の森フェスティバル (主担当). 丹波の森公苑

■連携事業

連携グループ等

NPO 法人人と自然の会 (アドバイザー: 主)

run ♪ run ♪ plaza (アドバイザー: 主)

テネラル (アドバイザー: 主)

あかねちゃんクラブ (アドバイザー: 主)

きんひばり (アドバイザー: 副)

さんぽクラブ (アドバイザー: 副)

地域研究員: 吉田浩史 (アドバイザー: 主)

成果発表

2008.2 共生の広場「マーケティング調査で得られたミヤマアカ
ネの周年経過と行動に関する知見」横田 靖, あかねちゃん

んクラブ（指導・助言）

2008.2 共生の広場「ミヤマアカネを卵から観察ー血統書付き・あかねちゃん誕生！ー」浅倉景子，あかねちゃんクラブ（指導・助言）

2008.2 共生の広場「生物多様性に富んだ三木山森林公園をめざした昆虫調査」大塚剛二ほか，三木山森林公園昆虫調査グループ（指導・助言）

2008.2 共生の広場「キイロモモトハバチの縄張り行動について」森本健太郎，テネラル（指導・助言）

2008.2 共生の広場「あいの昆虫 2008」中野彰人ほか，ユース昆虫研究室（指導・助言）

2008.2 共生の広場「佐用町昆虫館の出発に向けてー廃止された小さな昆虫館を再生させる取り組みー」NPO 法人こどもとむしの会（協働）

共催事業

2008.4-2009.3「ドリームスタジオ」（全12回），「花工房」（全12回），「古代体験」ほか，NPO 法人人と自然の会，博物館

2008.7-8「ひととく博士と行くハチ北高原サマースクール」. run♪ run♪ plaza, 博物館・ハチ北高原（全5回）

2008.4,5.「かわいい春をみつけよう」. run♪ run♪ plaza, 深田公園（全2回）

2008.6.「かわいい春をみつけようスペシャル 今年ホテルを見に行こう！」. run♪ run♪ plaza. 三田市波豆川（38名）

2008.6.「昆虫アドベンチャー（1泊2日）」. run♪ run♪ plaza, 三田市波豆川

2008.7.「パパといっしょの昆虫アドベンチャー」. run♪ run♪ plaza, 明石公園

2008.8. 第4回みやまかね祭，あかねちゃんクラブ，宝塚ゴルフクラブ（227名）

2008.9. こども灘山探検隊，淡路市灘山緑地（共催：淡路花博記念事業協会）

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008.6 1日

学校団体対応

2008.5. 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」宝塚市立西山小学校4年生（88名）.

2008.6 「ホテルについて」加東市黒谷地域活動協議会（43名）

2008.7 「平成20年度初任者研修（阪神北地区第3回校外研修）「学校教育と博物館～博物館利用のすすめ～」博物館（134名）

2008.8 「昆虫博士とあそぼうートンボとりペナントレースーみこころ幼稚園親子学級，深田公園・博物館（146名）

2008.9. 「ファールトーク」高砂市立新井小学校6年生（67名）

2008.10. 「ファールトーク」宍粟市立繁盛小学校（46名）

2008.10. 「ファールトーク」市島町立瀬加小学校（20名）

2008.10. 「ファールトーク」猪名川町立白金小学校（84名）

2008.10. 「ファールトーク」宝塚市立宝塚小学校（76名）

2008.10. 「ファールトーク」宝塚市立仁川小学校（68名）

2008.10. 「ファールトーク」西脇市立西脇南中学校（77名、76名）

2008.10. 「ファールトーク」明石市立人丸小学校（58名）

2008.10. 「ファールトーク」大阪教育大学附属池田小学校（44名）

2008.10. 「ファールトーク」西宮市立上ヶ原南小学校（83名）

2008.10. 「ファールトーク」茨木市立春日小学校（111名）

2008.10. 「ファールトーク」小林聖心女子学院小学校（91名）

2008.10. 「ファールトーク」小野市立小野中学校（105名）

2008.10. 「ファールトーク」神戸市立鈴蘭台中学校（107名）

2008.10. 「ファールトーク」神戸市立塩屋中学校（51名）

2008.10. 「ファールトーク」猪名川町立猪名川中学校（76名）

2008.10. 「ファールトーク」姫路市立広畑第二小学校（51名）

2008.10. 「博物館の概要」神戸大学農学部（36名）

2008.11. 「研究員の仕事・博物館の概要」大阪府立北野高校（43、45名）

2008.11. 「ファール展示解説」関西学院大学（12名）

2008.11. 「ファールトーク」神戸市立多聞南小学校（63名）

2008.12. 「クロマダラソテツシジミについて」加古川南高校（6名）

2009.2 「博物館の概要」神戸大学博物館学（39名）

講師派遣

2008.6 「ホテルのタベ」，ガーデン・カフェ・レストラン・アリス（西宮市）（名）

2008.7 「ふなこし山姫螢のタベ」，NPO 法人こどもとむしの会設立準備会（佐用町）

2008.7 「トンボと自然環境」「いきいき学舎・フレミラ（専門コース）」，宝塚市立老人福祉センター（20名）

2008.7 宝塚市立西山小学校4年生「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」（80名）.

2008.7 三田市立三輪小学校5年生「三田の昆虫」

2008.9 「宝塚の鳴く虫たち」「いきいき学舎・フレミラ（専門コース）」，宝塚市立老人福祉センター（20名）

2008.9 「トンボとホテルのふれあい活動」阪神南地域ビジョン委員会，西宮市市民会館（名）

2009.1 「校庭の昆虫」明石市立朝霧小学校3年生

2009.2 「環境学習（ホテルについて）」淡路市立生田小学校3,4年生（11名）

■フェスティバル等

2008.11 ひととくフェスティバル，虫放天（責任者）.

■展示

企画展

2008.9-11 ひととくファール大作戦！（分担者）

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 5 回, 50 名.

■行政等支援

委員会等 (計2件)

- 2008. 4- ささやまの森公園運営協議会, 委員.
- 2008. 4- ヒメボタル保全検討会委員, 国土交通省京都国道事務所

相談・指導助言

- 2008. 7. 兵庫県篠山土木事務所
- 2008. 8. 兵庫県柏原土木事務所
- 2008. 8. 新川ヒメボタルの会
- 2008. 8. 柏崎市立博物館
- 2008. 10 日本科学未来館
- 2009. 1 猪名川上流広域ゴミ処理施設組合
- 2009. 2 JR 西日本福知山支社
- 2009. 2 NPO 法人野生生物を調査研究する会
- 2009. 3 兵庫県学校厚生会
- 2009. 3 神戸市須磨区役所まちづくり課

■学会開催等支援

- 2008. 12 日本昆虫学会近畿支部大会・日本昆虫学会近畿支部例会合同大会 (昆虫学公開研究発表会) 開催. 101 名
- 2009. 2 兵庫トンボ研究会総会開催. 15 名
- 2009. 3 第1回 関西・中国地区のチョウ類の保全を考える集い. 日本蝶類保全協会. 55 名.

高野 温子, Atsuko TAKANO

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ/研究・シンクタンク推進グループ

主任研究員

昭和46年大阪府生. 大阪市立大学理学研究科後期博士課程修了. 理学博士.

日本植物学会, 日本植物分類学会, 米国植物分類学会他所属

<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

■タスクフォース

グローバル・プログラムタスクフォース (JICA 研修生3名の研修スケジュール作成とアレンジ、マレーシアにおける植物調査)

情報システム更新タスクフォース (館収蔵植物標本データのHP 公開に向けた整備)

生物多様性タスクフォース (生物多様性ひょうご戦略の用語解説記述 (一部)、戦略検討会議のオブザーバー)

■研究開発部門/資料データバンク整備活用マネージャー

博物館資料の受け入れ・貸し出しに関すること
小薫蒸

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

- 1. ショウガ科植物の分類学的研究

2. 兵庫県産植物の分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」研究分担者
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」研究分担者.

■論文・著書

Avelinah Julius, M. Suleiman, A. Takano. 2008. Preliminary molecular phylogeny of Bornean Plagiostachys (Zingiberaceae) based on DNA sequence data of internal transcribed spacer (ITS). Journal of Tropical Biology and Conservation 4: 67-80.

■その他著作

- ◎藤本義昭・布施静香・黒崎史平・高橋晃・高野温子. 2008. イネ科. 福岡誠行・黒崎史平・高橋晃編: 兵庫県産維管束植物 10. 人と自然 No. 19. 161-214.
- ◎黒崎史平・岡村はた・高野温子. 2008. タケ科. 福岡誠行・黒崎史平・高橋晃編: 兵庫県産維管束植物 10. 人と自然 No. 19. 214-217.

■研究発表

千川慶史・布施静香・高野温子・高橋 晃・田村 実. 2009. 日本産イグサ科の分子系統と分類学的再検討 (予報). 日本植物分類学会第8回大会, 東北大学, 仙台市.

■学会役員など

Acta Phytotaxonomica et Geobotanica レフェリー

■助成を受けた研究

雌しべが動いて性が変わる: フレキシスタイリーの起源と進化に関する研究. 文部科学省科学研究費若手研究 (B), 研究代表者 (金額100万円/310万円)

■海外調査

2008. 11. マレーシア・サバ州

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 12 篠山市

■受贈担当資料

2008. 10 兵庫・大阪府産植物標本 (江村伸一コレクション). 15 点.

■整理同定担当資料

植物 (イネ科、タケ科)

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

◎高橋 晃・高野温子. 2008. 10, 「野草のお茶をたのしもう」. 博物館. (85 名)

館外講演

高野温子. 2009. 3. 「東南アジアのショウガ科植物」. 明石市立男女共同参画センター. (30 名)

兵庫県立大学・大学院教育

特別セミナー (指導補助)

■学校教育支援

学校団体対応

2009. 2, 明石市立野の池中学校2年生 (80名).

■研修生等の受入

2009. 2. 10-3. 5 生物学研究センター標本管理体制及び生物多様性保全のための研究機能向上プロジェクト・カウンターパート研修 インドネシア国立生物学研究センター研究員3名

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内 2回. 38名.

■行政等支援

委員会等 1件

2008. 4- ため池生物多様性保全計画検討会委員. いなみ野ため池ミュージアム運営協議会

相談・指導助言

来訪者4件, 7名, 電話1件, メール相談2件

自然・環境環境評価研究部

森林多様性研究グループ/研究・シンクタンク推進室
研究員

布施 静香, Shizuka FUSE

昭和51年奈良県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 博士(理学). 日本植物学会, 日本植物分類学会, 種生物学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

なし

2. タスクフォース 情報システム更新タスクフォース システム検討メンバー

3. 研究開発部門

研究・シンクタンク推進室/資料データベース整備活用マネージャー: 資料データベース整備活用業務の総轄, 収蔵庫入庫に関する説明会開催, 標本燻蒸.

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究(個人研究)

1. 日本と韓国で多様化した温帯性単子葉植物の分子生物地理
2. 隔離分布する植物の種の認識に関する研究
3. 兵庫県産植物の分類学的研究
4. 日本産イグサ科植物の分子系統

2) 共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

3) 論文・著書

なし

4) その他著作

◎高橋晃・高野温子・福田知子・布施静香・佐藤順子・原麻砂

美・中井康子編(2008) 藤本義昭コレクションー台湾産植物標本目録・植物学関連文献目録一. (社)兵庫県自然保護協会, 神戸.
◎藤本義昭, 布施静香, 黒崎史平, 高橋晃, 高野温子 (2008) イネ科. (福岡誠行・黒崎史平・高橋晃(編): 兵庫県産維管束植物10). 人と自然 19: 161-217.

布施静香(2008) 2008年度日本植物分類学会講演会のお知らせ. 日本植物分類学会ニュースレター, 30: 7.

布施静香(2008) 2008年度日本植物分類学会講演会のご案内.

日本植物分類学会ニュースレター, 31: 12-14.

布施静香(2009) 2008年度日本植物分類学会講演会の報告. 日本植物分類学会ニュースレター, 32: x.

5) ブログへの情報提供

2件

6) 研究発表

千川慶史・布施静香・高野温子・高橋晃・田村実 (2009) 日本産イグサ科の分子系統と分類学的再検討(予報), 日本植物分類学会第8回大会. 東京エレクトロンホール宮城, 仙台.

7) 学会役員など

日本植物分類学会, 講演会担当委員.

種子植物談話会, 事務局・世話人.

ANNALES BOTANICI FENNICI, 査読.

8) 助成を受けた研究

隔離分布する植物を用いた生活史レベルでの種の認識に関する研究. 植物研究助成(新技術開発財団). 研究代表者(131万円/総額251万円).

双子葉植物から単子葉植物への進化の道すじの推定—単子葉植物の起源を探る 第一段階—, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C). 研究分担者(5万円/総額156万円).

9) 海外調査

なし

10) 賞罰

なし

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2008. 6 冬虫夏草. 西宮市.

2008. 8 種子植物. 奈良県.

2) 受贈担当資料

2008. 剣山県民の森資料館 植物標本 80点

3) 整理同定担当資料

種子植物

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

高橋晃・布施静香・福田知子・高野温子, 2008. 4-「植物リサーチクラブ専修科講座」, 博物館. (全4回)

高橋晃・福田知子・布施静香, 2008. 4, 「植物園を歩く一春の植物を覚えよう」 大阪市立大学理学部附属植物園, (26名).
布施静香, 2008. 5-6, 「高校連携セミナー: 標本資料を理解する」 (全2回/85名)

福田知子・高橋晃・布施静香, 2008. 6, 「植物リサーチクラブ②

染色体をみよう」, 博物館, (9 名)

◎布施静香・福田知子・高橋晃, 2008. 6, 「野草のお茶をたのしもう」, 博物館, (152 名)

◎布施静香, 2008. 6, 「植物クイズに挑戦!」, 博物館, (15 名)
布施静香, 2008. 7, 「企画展示「クリプトガミックボタニー」ギャラリートーク」, 博物館 (7 名).

館外講演

なし

兵庫県立大学・大学院教育

大学院生特別研究指導補助.

非常勤講師

2008. 5 「花が咲く植物のデザイン」, 神戸芸術工科大学.

2008. 6 「生物学実験 I」. 大阪府立大学.

ラジオ・テレビ等出演

なし

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

なし

3) ミニキャラバン事業

なし

4) 連携事業

なし

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

なし

学校団体対応

2008. 4, 景観園芸基礎演習 (収蔵庫説明), 淡路景観園芸学校 (20 名).

2008. 4, CD ケースを使った種子標本の制作, 大阪府立泉北高校 (16 名).

2008. 4, DNA 抽出実験, 宝塚北高校 1 年 (20 名)

2008. 6, 企画展示クリプトガミックボタニー講習会, 大阪府立大学 (21 名)

講師派遣

なし

遠隔授業

なし

6) 研修生等の受入

なし

卒論生等

2007. 4. 1-2009. 3. 31, 千川慶史 (兵庫県立大学大学院環境人間学研究科前期博士課程), 日本産イグサ科の分子系統と分類学的再検討.

7) フェスティバル等

なし

8) 展示

企画展

2008. 2. 23-2008. 8. 20, 企画展「クリプトガミックボタニー 隠花植物の不思議な世界」(分担者).

ミニ企画等

2008. 6. 24-7. 18, ミニ企画展「野草のお茶をたのしもう」(責任者).

2. シンクタンク事業

1) 受託研究

なし

2) 自然環境情報調査

なし

3) 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内, 14 回, 93 名.

4) 行政等支援

委員会等 (計 1 件)

2005. 4-. 環境省版レッドデータブック兵庫県調査員. 環境省.

相談・指導助言

来訪者 3 件, 5 名. 電話・FAX 相談 2 件, メール相談 5 件.

2008. 5 神戸市環境局.

5) 学会開催等支援

なし

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ

研究員

福田 知子, Tomoko FUKUDA

昭和 40 年愛知県生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

なし

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究 (個人研究)

1. ミヤマシキミの生物地理・分類

2) 共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

3) 論文・著書

福田知子 (2008) 「カムチャツカの花 アバチャ山の植物を中心に」 NPO 法人カムチャツカ研究会

Fukuda T. (2008) Plant list during the expedition of Kamchatka in 2007. Human and Nature, 19: 147-160.

4) その他著作

5) ブログへの情報提供

1 件

6) 研究発表

9) 海外調査

2008. 8 ロシア・カムチャツカ州

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

3) 整理同定担当資料

種子植物

<事業推進>

1. 生涯学習事業

1) セミナー

館主催セミナー

高橋 晃・布施静香・福田知子・山本伸子, 2008. 4-12 植物リサーチクラブ専修科 (全4回), 博物館. (36名)

高橋 晃・布施静香・福田知子, 2008. 4 植物園をあるくー春の植物を覚えよう, 大阪市立大学理学部附属植物園. (24名)

高橋 晃・福田知子, 2008. 5 植物リサーチクラブ①春の西播磨と氷ノ山, 赤西溪谷〜氷ノ山. (39名)

福田知子・布施静香・高橋 晃, 2008. 6 植物リサーチクラブ②染色体の観察, 博物館. (9名)

◎布施静香・高橋 晃・福田知子, 2008. 6 野草のお茶を楽しもう, オープンセミナー, 博物館. (152名)

高橋 晃・福田知子, 2008. 8 園児自然観察指導者講習, 博物館. (16名)

高橋 晃・福田知子, 2008. 8 植物標本の作り方, 教職員セミナー, 博物館. (20名)

非常勤講師

2008. 4-9. 「分子でわかる生物学」, 大谷大学 (京都市).

2) キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

なし

副担当

2008. 6 但馬, ハチ北地区

展示作成

リサーチプロジェクト

なし

セミナー担当

2008. 6 但馬地域「ハチ北自然案内人養成講座ー初夏の植物」, 講師, ハチ北観光協会. (11名)

3) ミニキャラバン事業

なし

4) 連携事業

連携グループ等

成果発表

共催事業

協力事業

5) 学校教育支援

トライやるウィーク

なし

学校団体対応

2008. 4 「DNA 抽出」, 宝塚北高校. (42人)

2008. 8 「生物地理学」, 観音寺第一高校. (41名)

2008. 8 「DNA 抽出」, 柏原高校. (25名)

講師派遣

遠隔授業

6) 研修生等の受入

博物館研修

2008. 8 JICA 研修員に標本庫の説明

卒論生等

7) フェスティバル等

8) 展示

企画展

ミニ企画等

2. シンクタンク事業

1) 受託研究

2) 自然環境情報調査

3) 収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫 8回, 46人

4) 行政等支援

委員会等

相談・指導助言

5) 学会開催等支援

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ/□□□室

研究員

山本 伸子, Nobuko YAMAMOTO

昭和56年岡山県生. 岡山理科大学大学院総合情報研究科修士課程修了. 日本植物学会, 植物地理・分類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

なし

<研究開発>

1. 調査研究

1) 特別課題研究 (個人研究)

系統分類学的研究

2) 共同研究

3) 論文・著書

小林禧樹・池田 博・渡辺邦秋・山本伸子・邑田 仁 2008. 中国地方におけるナガバナムシグサ群 (サトイモ科) の地理的分布ー広島県内でみられるヒガンナムシグサとタカハシテンナンショウの棲み分けー. 分類 8(2): 149-156.

矢野興一・山本伸子・池田 博・任 炯卓・孫 炫徳・星野卓二 2008. 韓国のスゲ属植物 I. 莎草研究 (13): 55-60.

池田 博・山本伸子・狩山俊悟・小林禧樹・星野卓二 2008. 岡

山県で50年ぶりに採集されたクロタマガヤツリ(カヤツリグサ科). 莎草研究(13): 1-7.

4) その他著作

山本伸子(2008)岡山県西部石灰岩地域(阿哲地域)に特産する絶滅危惧種ナガバヤクシソウ(*Paraixeris yoshinoi* (Makino) Nakai)の分布と保全に関する研究. 財団法人八雲環境科学振興財団研究レポート集, No. 9, 54-60.

5) ブログへの情報提供

2件

6) 研究発表

山本伸子(2008)岡山県西部石灰岩地域(阿哲地域)に特産する絶滅危惧種ナガバヤクシソウ(*Paraixeris yoshinoi* (Makino) Nakai)の分布と保全に関する研究. 財団法人八雲環境科学振興財団平成20年度研究発表会(平成19年度環境研究助成報告), 岡山大学, 岡山市.

7) 学会役員など

なし

8) 助成を受けた研究

なし

9) 海外調査

2008. 7-8 ネパール・マナスル地域

10) 賞罰

なし

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

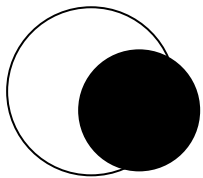
2008. 9-12, 種子植物, 姫路市, 篠山市.

2) 受贈担当資料

なし

3) 整理同定担当資料

・種子植物.



個人別成果報告に関する資料

No. 3

● 自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ／
動物共生研究グループ

江崎 保男, Yasuo EZAKI

自然・環境マネジメント研究部／流域生態研究グループ
研究部長／研究系次長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 教授。
昭和26年大阪府生。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。
理学博士。日本鳥学会、応用生態工学会、日本生態学会、イギリス鳥学会、アメリカ鳥学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

グローバルプログラムタスクフォース リーダー

■研究開発部門

研究次長、館内研究者の指揮・総括

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

- ダム水源地を含む流域生態系保全に関する研究
- 人と陸域生物群集の相互作用に関する研究

■共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」、研究分担者。

部門研究「生態学的にみた共生の現実と未来」、研究代表者。

■論文・著書

◎江崎保男・彦根宏道・遠藤菜緒子 2008. 兵庫県三田市の市街地残存林でのミゾゴイの繁殖。山階鳥類学雑誌 40:56-58
江崎保男（分担執筆）川の百科事典（「コウノトリ」など21項目；高橋 裕 編）2008. 丸善株式会社、東京

■その他著作

江崎保男 2008. 中村登流の適応空間—独自のハビタット概念にもとづく群集解析論。山階鳥類学雑誌 39:127-128

中村浩志・江崎保男 2008. 「賞に関する要望書」への回等書。

日本鳥学会誌 57:44-46

江崎保男（編） 2008. 地球温暖化と生物多様性。第4回環境人間学フォーラム報告書(24pp)。

江崎保男。2008. 世の中すべてバランスである。(株)建設環境研究所、東京。

◎江崎保男。2008. 書評：野生復帰されるコウノトリとの共生を考える—「強い共生」から「地域のもの」へ。応用生態工学 11:229。

◎江崎保男。2008. G8 環境大臣会合開催記念シンポジウムの開催。兵庫県立大学学報 2008. No. 6:6。

江崎保男。2009. 生物群集からみた河川。河川レビュー No. 144:20-25。

■研究発表

脇坂英弥・中川宗孝・伊藤雅信・江崎保男(2008) カラスと

水田の湿り具合がケリの密度に与える影響」日本鳥学会 2008 年度大会、立教大学、東京。

◎遠藤菜緒子・江崎保男(2007)「コロニー形成時の行動からサギコロニーの形成プロセスと機能を探る」日本鳥学会 2008 年度大会、立教大学、東京

風間美穂・江崎保男 (2008)「開放水面に営巣するカイツブリ—人為がもたらす営巣場所の変化」日本鳥学会 2008 年度大会、立教大学、東京

■学会役員など

日本鳥学会、副会長。

日本鳥学会、評議員。

応用生態工学会、幹事長

日本鳥学会員近畿地区懇談会、世話人。

(財)姫路工業大学後援財団評議員

■助成を受けた研究

人と軋轢を生じているカワウ・サギ類との共生を果たす戦略の基礎研究。平成 20 年度兵庫県立大学特別教育研究助成金。研究代表者（金額 80 万円）

水源地域におけるダムと周辺森林相互作用の生態学的研究。ダム水源地環境整備センター。研究代表者（金額 60 万円）

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-2009. 3 鳥類死体の収集。県内各地。

■整理同定担当資料

鳥類

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

江崎保男。2008. 8 教職員セミナー「生態系ってなに？」。博物館。(全1回、38名)

◎江崎保男。2008. 8 ひととはくセミナー「都市の生態系」。博物館。(全1回、11名)

◎江崎保男。2008. 10 ひととはくオープンセミナー「自然ってなんだろう？」。博物館。(全1回、4名)

館外講演

2008. 2 「地域から温暖化対策を考える」、パネルディスカッション座長、第4回環境人間学フォーラム、兵庫県立大学 (55名)

2008. 4 「アジアからの発信人と自然の共生のみちをさぐる」、シンポジウム進行、G8 環境大臣会合開催記念シンポジウム、人と自然の博物館 (400名)

2008. 4 「アジアからの発信人と自然の共生のみちをさぐる」、ワークショップパネリスト、G8 環境大臣会合開催記念シンポジウム、人と自然の博物館 (20名)

2008.7 「緊急課題の地球環境問題ー生物多様性の保全に向けて」、講師、宮水学園選択講座環境コース (50 名)

2008.7. 「世の中すべてバランスである」招待講演講師、(株)建設環境研究所平成 20 年全社会議、東京 (200 名).

2008.11 「都市の自然、そして生態系」、講師、尼崎市高齢者生きがい促進協会シニアウォーキング入門教室 (100 名)

2008.9 「森にうかぶ人造湖、ダムをどうとらえるか？」基調講演講師、第 11 回水源地生態研究セミナー (200 名)

2008.9 「第 11 回水源地生態研究セミナーパネルディスカッション」、パネリスト、第 11 回水源地生態研究セミナー (200 名)

2008.9 「公開シンポジウム自然再生の課題と展望」、パネリスト、ELR2008 福岡、福岡大学 (200 名)

2008.11 「環境人間学の目指すところ」パネリスト、環境人間学部開設 10 周年記念シンポジウム、兵庫県立大学 (200 名)

2008.11 「宇宙と化石と環境をつなげるー歴史的存在としての人と自然の共生ー」、講師、兵庫県立大学公開講座 (26 名)

2008.11 「川から生態系保全を発想する」講師、第 10 回ダム水源地環境整備センター技術研究発表会特別講演 (150 名)

2009.1 「森と川と鳥と」講師、リバグレス猪名川講演会、猪名川町 (23 名)

2009.1 「人と自然の共生とはどういうことか？」講師、まちの寺子屋師範塾、兵庫県立大学 (25 名)

2009.2 「生態系とはなにか？人と自然の共生とは？」講師、シニア自然大学、大阪 (200 名)

兵庫県立大学での実績

自然・環境科学研究所 所長・教授
 環境人間学研究科 教授
 兵庫県立大学 生涯学習推進委員会 委員
 同 発明審査会 委員
 同 将来計画委員会 委員
 同 附属学校委員会 委員
 同 本部移転検討委員会 委員
 生態学特別演習 (大学院講義)
 特別ゼミナールⅠ (大学院指導)
 特別ゼミナールⅡ (大学院指導)
 特別研究 (大学院指導)
 共生博物学 (学部講義)

大学院生の指導

2008.4-2009.3 脇坂英弥 (環境人間学研究科博士前期課程 2 年)「水田におけるケリの繁殖戦略ー田園鳥類の保全研究」

2008.4-2009.3 風間美穂 (環境人間学研究科博士前期課程 1 年)「都市近郊のため池で繁殖するカイツブリ・バンなどの鳥類と、環境要因に関する研究」

2008.4-2009.3 前畑晃也 (環境人間学研究科博士前期課程 1 年)「兵庫県におけるカワウ *Phalacrocorax carbo* の分布域の変化とその要因」

2008.10-2009.3 前田 了 (環境人間学研究科博士前期課程 1 年)「コウノトリ (*Ciconia boyciana*) の幼鳥の独立過程」

2008.10-2009.3 佐藤 直 (環境人間学研究科博士前期課程 1 年)「コウノトリの餌動物分布をもちいた環境評価」

平成 21 年度大学院環境人間学研究科博士前期課程 (A 日程) 専門科目の出題および採点委員
 同 口述試験 面接委員
 平成 21 年度大学院環境人間学研究科博士前期課程 (B 日程) 専門科目の出題および採点委員
 同 口述試験 面接委員

非常勤講師

2008.10-2009.3. 「生態学」、淡路景観園芸学校.

■連携事業等

成果発表 (地域研究員養成事業)

2009.2 共生のひろば「ハヤブサの落とし物 (Part4)」溝田浩美 (指導)

2009.2 共生のひろば「冬の水田の湿り具合がケリの営巣密度に与える影響」脇坂英弥 (指導)

■学校教育支援

学校団体対応等

2008.4.22 ひとくを代表しての終わりのあいさつ、兵庫県立大学附属中学校 (40 名)
 ボルネオジャングルスクール
 2008.7.25-8.1 副校長
 2008.8.24 講演「熱帯林と宮崎駿の世界」、ボルネオジャングル体験スクール終了式

■フェスティバル等

2008.11 ひとくフェスティバル、「館内支援」.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「平成 19 年度 G8 環境大臣会合開催記念シンポジウム (仮称) 広報業務」環境省. (95 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 2 回, 8 名.

2008.12.28 西海 功 (国立科学博物館) トラツグミの計測

■行政等支援

委員会等 (計 14 件)

2006.12- コウノトリ保護・増殖 (野生化) 対策会議, 委員, 兵庫県.

2008.8- 水源地生態研究会, 委員長, (財)ダム水源地環境整備センター

2004.4- 河川水辺の国勢調査 (河川版) スクリーニング委員会, 委員, リバーフロント整備センター

2004.4- 河川水辺の国勢調査 (ダム湖版) スクリーニング委員会, 委員, ダム水源地環境整備センター

2004.4- 川上ダム自然環境保全委員会, 委員, 水資源開発機構

2004.4- 川上ダム希少猛禽類保全委員会, 委員長, 水資源開発機構

2004.4- 安威川ダム自然環境保全対策検討委員会, 委員, 大

阪府

2004. 10- 畑川ダム環境保全検討委員会, 委員, 京都府
2006. 2- 生態系保全検討委員会, 委員, 兵庫県環境局.
2006. 2- 渡良瀬遊水地湿地保全・再生検討委員会, 委員, リバーフロント整備センター
2006. 11- 利根川水系河川整備計画有識者会議, 委員, 国土交通省関東地方整備局
2007. 11- 近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会, 委員, 国土交通省
2008. 8- 与布土ダム環境保全検討委員会, 委員, 兵庫県
2008. 4. 1- 独立行政法人国立科学博物館外部評価委員会, 委員, 独立行政法人国立科学博物館

相談・指導助言

- 来訪者 50 件, 220 名. 電話・FAX 相談 10 件, メール相談 10 件.
2006. 6- 長谷ダムにおける「ダム水辺の生物調査」兵庫県
2007. 6. 金出地ダム「鳥類モニタリング」兵庫県
2007. 7- 平成 19 年度緑のふるさと林道建設事業 (奥寄線) 調査業務に係る指導助言. 京都府
2007. 8- 「緑のふるさと林道建設事業 (奥寄線)」京都府
2007. 8- 「丹住谷川通常砂防事業」京都府
2008. 3- 「上流武庫川自然を活かした治水対策」兵庫県丹波県民局篠山土木事務所

その他

- 兵庫県職員採用選考試験にかかわる専門試験作成委員、兵庫県人事委員会
- 兵庫県職員採用選考試験にかかわる業績審査委員、兵庫県人事委員会
- 兵庫県職員採用選考試験にかかわる面接委員、兵庫県人事委員会

田中 哲夫, Tetsuo TANAKA

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 准教授.
昭和 23 年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了.
理学博士. 日本生態学会, 日本魚類学会, 兵庫県県政学会, 魚類自然史研究会, 関西自然保護機構, 兵庫陸水生物研究会, ひょうご水辺ネットワーク等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

- 環境学習推進タスクフォース
- 情報システム更新タスクフォース

■研究開発部門

- 研究・シンクタンク推進室室長, 研究部会計担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 魚類の個体群動態と生産に関する研究
2. 外来生物の侵入と水域生態系の応答に関する研究
3. 河川改修が魚類群集に及ぼす影響に関する研究
4. 淡水魚の分布と環境情報の解析

■共同研究

- 総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」分担者
- 部門研究「生態学的にみた共生の現実と未来」分担者

■論文・著書

- ◎田中哲夫 (2008) 地球温暖化と淡水魚の盛衰. 岩槻邦男・堂本暁子 (編), 「温暖化と生物多様性」, 113-121, 築地書館, 東京.

■その他著作

- 田中哲夫・佐藤裕司・永吉照人・今西将行・谷本卓弥 (2009) 「キリンビール神戸工場レフュジアビオトープに関する研究 VII」. レフュジアビオトープ研究会.
- 田中哲夫 (2008) 「ため池の自然」. Ban Cu1, No. 68, 32-35.
- 田中哲夫・佐藤裕司 (2008) 「キリンビール神戸工場ビオトープの試み」. 人博コラム, ひとく新聞 (6 月 30 日).
- 田中哲夫 (監修) (2008) 「さんだのさかな」. 三田市有馬富士学習センター.
- 田中哲夫 (監修) (2008) 「生きている猪名川」. 325, NP0 法人野生生物を調査研究する会.

■ブログへの情報提供

1 件

■研究発表

- 田中哲夫・藤田茂宏・谷本卓也・山科ゆみ子・三浦靖弘 (2008) ため池におけるカワバタモロコの増殖速度と個体群動態. 2008 年度日本魚類学会シンポジウム「カワバタモロコとは?—その実態と保全」, 愛媛大学, 松山市.
- 田中哲夫・藤田茂宏・谷本卓也・山科ゆみ子・三浦靖弘 (2009) カワバタモロコの初期増殖速度と個体群動態. 日本生態学会, 岩手県立大学, 盛岡市.

■学会役員など

- 生態学会, 保全生態学研究, 編集委員.

■助成を受けた研究

- 治水と希少水生生物の保全は両立するか. 文部科学省科学研究費基盤研究 (C), 研究代表者 (金額 130 万円/480 万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-12 兵庫県産水生生物.
2008. 4-12 遡上障害河川横断工作物の映像.

■受贈担当資料

2009. 2 丹羽コレクション (兵庫県産水生生物). 500 点.

■整理同定担当資料

- 淡水魚および水生生物全般.

＜事業推進＞

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

田中哲夫, 2008. 4-2008. 5, 「ため池を探る」, 博物館・三田市香下ため池群. (全4回, 49名)

◎田中哲夫, 2008. 8, 「川魚の生活」, 博物館・常設展示「生物の生活」前. (全2回, 32名)

館外講演

田中哲夫, 2008. 5, 「キリンビオトープ観察会」, 講師, キリン神戸工場, 神戸市 (20名).

田中哲夫, 2008. 5, 「猪名川の河川環境」, リバグレス猪名川, 講師, 猪名川町 (21名).

田中哲夫, 2008. 6, 「猪名川の水生動物観察」, リバグレス猪名川, 講師, 猪名川町 (22名).

田中哲夫, 2008. 7, 「企画展解説」, リバグレス猪名川, 講師, 博物館 (23名).

田中哲夫, 2008. 7, 「生物多様性と多自然川づくり」, 第一回河川講習会, 講師, 県土整備部河川計画室, 神戸市 (81名).

田中哲夫, 2008. 12, 「ひとはく地域研究員・連携プログラム」, ひょうごサイエンスフォーラム2008, ひょうごサイエンス・クロスオーバーネット, 講師, 神戸大学, 神戸市 (35名).

非常勤講師

2008. 6, 「流れと生物」, 神戸芸術工科大学「自然とデザイン」, 神戸市 (80名).

2008. 11, 「治水と河川環境」, 関西学院大学「環境学習」, 三田市 (150名).

2008. 11, 「武庫川の淡水魚」, 神戸大学「生物学野外実習」, 篠山市 (30名).

2008. 11, 「外来生物と環境」, 関西学院大学「環境学習」, 三田市 (150名).

2008. 11, 「武庫川の淡水魚」, 神戸大学「生物学野外実習」, 篠山市 (30名).

■キャラバン事業および地域研究員養成事業

主担当

谷本卓弥 (ひとはく地域研究員; 主アドバイザー)

琢磨千恵子 (ひとはく地域研究員; 主アドバイザー)

法西浩 (ひとはく地域研究員; 主アドバイザー)

副担当

水辺のフィールドミュージアム (ひとはく連携活動グループ; 副アドバイザー)

山東の自然に親しむ会 (ひとはく連携活動グループ; 副アドバイザー)

NPO 里山レンジャー (ひとはく連携活動グループ; 副アドバイザー)

森本静子 (ひとはく地域研究員; 副アドバイザー)

キャラバン「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」分担者

成果発表

2009. 2 共生の広場 「西宮市・宝塚市におけるクロマダラ

ソテツシジミの研究」, 法西浩 (川ガキクラブ、ひとはく地域研究員主アドバイザー)

2009. 2 共生の広場 「ビオトープで遊ぼう」, 藤田茂宏 (協働)

2009. 2 共生の広場 「ホトケドジョウを守る会の活動」, 山科ゆみ子 (協働)

■ミニキャラバン事業

2008. 5, 有馬富士フェスティバル (分担者), 三田自然学習センター, 有馬富士公園.

■連携事業

共催事業

2008. 5-2009. 2, リバグレス猪名川, 猪名川町生涯学習センター (セミナー企画・分担実施)

■学校教育支援

学校団体対応

2008. 9-11, 三田祥雲館高校連携講座「ビオトープ池を調べる」担当.

2008. 4-2009. 31, 兵庫県立大学附属中学「角亀川の水生生物と環境」担当.

2008. 10, ブラックバスの驚異, 神戸市立狩場台小学校, (74名).

2009. 2, 淡河川の淡水魚とオオクチバス, 淡河小学校3年生 (15名).

講師派遣

2008. 6, 「武庫川上流の魚」, 定置網実習講師, 篠山産業高校丹南分校総合学習, 高校1年生 (16名).

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 13-8. 20, 高知大学理学部学生1名, 筑波大学生物学群学生1名.

■展示

ミニ企画等

2008. 5. 23-2008. 5. 26, 「希少淡水生物のレフュジアビオトープ・キリンビール神戸工場との生物多様性保全への取り組み」環境フェア in KOBE, 神戸市立中央体育館, 神戸.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「キリンビール神戸工場におけるレフュジアビオトープに関する研究」. 代表者, キリンビール神戸工場. (70万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

液浸収蔵庫の案内, 3回, 8名.

■行政等支援

委員会等 (計9件)

2008. 4-2009. 3. 環境影響評価審査会, 委員, 兵庫県環境影響評価室.

2008. 4-2008. 9. 水族館のあり方検討会, 委員, 姫路市立水族館, 姫路市教育委員会.

2008. 6-2009. 3. 揖保川水系「ひょうごの川・自然環境調査」, アドバイザー, 兵庫県西播磨県民局.

2008. 6-2009. 3. 岸田川水系「ひょうごの川・自然環境調査」,

アドバイザー、兵庫県但馬県民局。

2008.4-2009.3. 大滝ダム運用環境調査委員会、委員長、国土交通省近畿地方整備局。

2008.4-2009.3. 猪名川自然環境委員会、委員、国土交通省近畿地方整備局、猪名川河川事務所。

2008.4-2009.3. 尼崎市環境審議会、委員、尼崎市環境局。

2008.4-2009.3. 県立宝塚西谷の森公園運営協議会、委員、宝塚市。

2008.10-2009.3. 円山川水系自然再生推進委員会、委員、国土交通省近畿地方整備局、兵庫県但馬県民局。

相談・指導助言

来訪者 30 件、100 名。電話・FAX 相談 30 件、メール相談 20 件。

三橋 弘宗, Hiromune MITSUHASHI

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ／研究・シンクタンク推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 講師。

昭和 45 年京都府生。京都大学大学院理学研究科修士課程修了。

理学修士。日本生態学会、アメリカベントス学会等所属。

＜事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事＞

■タスクフォース

生物多様性タスクフォース

博物館ネットワーク構築タスクフォース

情報システム更新タスクフォース

■研究開発部門

総合共同研究担当

兵庫県立大学自己評価委員 大学認証評価報告書作成担当、第 2 期中期目標とりまとめ担当

兵庫県立大学自然・環境科学研究所 自己評価委員会、委員長 教員評価システムの構築担当

＜研究開発＞

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 河川生態系における生物群集と物質循環に関する研究
2. 自然環境情報の活用と整備に関する研究

■共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」、研究代表者。

部門研究「生態学的にみた共生の現実と未来」、研究分担者。

■論文・著書

◎荒木田葉月・三橋弘宗（2008）大都市圏におけるヒバリの繁殖適地と経年変化からみた存続可能性の評価。保全生態学研究, 13, 225-235。

◎瀧健太郎・関基・堀江史生・杉野伸義・大沢剛士・三橋弘宗

（2008）兵庫県安室川における希少藻類チスジノリの生育適地の推定。河川技術論文集, 第 14 巻, 403-408。

◎久加朋子・大澤剛士・石田裕子・佐々木宏展・前田知己・三橋弘宗（2008）太陽光発電と小型揚水ポンプを用いた簡易魚道内の水位維持の試み—設置方法と効果の紹介—。人と自然, No. 19, 95-100。

◎Sakata, H., S. Hamasaki, H. Mitsuhashi (2008). The management of sika deer populations in Hyogo prefecture, Japan. Sika Deer, 437-452, Springer, NewYork.

■その他著作

◎畑田彩・鈴木まほろ・三橋弘宗（2008）博物館と生態学：まとめ ～連載「博物館と生態学」を振り返って～。日本生態学会誌, 58, 57-61。

◎三橋弘宗（2009）学校のすぐ横の東条川にあって、ほかの川で減っているもの、いのち輝け東条川。加東市立東条東小学校。

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス円山川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス矢田川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス岸田川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス竹田川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス猪名川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス武庫川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス加古川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス明石川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス夢前水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス市川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス揖保川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス千種川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス洲本川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県（2009）ひょうごの川自然環境アトラス三原川水系編（執筆・監修）

◎兵庫県立大学自然・環境科学研究所（2009）任期制に関する教員評価のガイドライン（執筆）

■ブログへの情報提供

8 件

■研究発表

三橋弘宗・荒木田葉月・竹村紫苑・鎌田磨人（2008）内湾度を定量化する方法。第 12 回応用生態工学会，福岡大学，福

岡市.

荒木田葉月・三橋弘宗・鎌田磨人(2008)内湾度からみたシギ・チドリ類の渡来地の評価. 第12回応用生態工学会, 福岡大学, 福岡市.

竹村紫苑・荒木田葉月・三橋弘宗・鎌田磨人(2008)内湾度を用いたマングローブ林の潜在的生育地の推定. 第12回応用生態工学会, 福岡大学, 福岡市.

清水洋平・久加朋子・大澤剛士・佐々木宏展・前田知己・三橋弘宗・石田裕子(2008)簡易魚道における効果的な堰板設置の検討. 第12回応用生態工学会, 福岡大学, 福岡市.

丹羽英之・三橋弘宗(2008)流域スケールでの環境類型区分と指標群落の抽出. 第12回応用生態工学会, 福岡大学, 福岡市.

大澤剛士・三橋弘宗・丹羽英之・丑丸敦史(2008)河畔植生における希少種ホットスポットはどこにある?—地形から広域的なポテンシャルを探る—. 第12回応用生態工学会, 福岡大学, 福岡市.

田口勇輝・三橋弘宗・柄本武良・夏原由博(2009)兵庫県におけるオオサンショウウオの分布推定—モデルを用いた生息地分断化の評価—. 第56回日本生態学会, 岩手県立大学, 盛岡市.

宮崎祐子・三橋弘宗・大澤剛士(2009)竹林拡大のリスク評価. 第56回日本生態学会, 岩手県立大学, 盛岡市(ポスター賞受賞).

大澤剛士・三橋弘宗・丑丸敦史(2009)裸地が多様性に貢献する?—河川の合流が生み出す群集ダイナミクス—. 第56回日本生態学会, 岩手県立大学, 盛岡市.

■学会役員など

日本生態学会, 編集委員・編集幹事.

日本生態学会, 法人化委員.

関西淡水動物談話会, 世話役.

NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク, 事務局担当.

■助成を受けた研究

コウノトリはなぜ豊岡盆地で生き残れたのか?—標本と歴史資料が語る生態系のしくみ—. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者(金額120万円/400万円).

■賞罰

第56回日本生態学会(岩手県立大学) ポスター賞優秀賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.5-2009.3 総合共同研究芦屋川の生態系に関する資料の収集. 芦屋市

2008.6-2009.3 自然再生事業に関連した資料収集. 上郡町, 豊岡市, 丹波市.

2008.4-2009.3 各種底生動物類. 三田市, 神戸市, 豊岡市, 篠山市.

■受贈担当資料

2008.4 兵庫の川自然環境調査標本(県土整備部河川計画室). 3,000点.

2008.4 円山川水系自然再生計画に関わる調査標本. 2,000

点

■整理同定担当資料

昆虫(毛翅目, カゲロウ目, トンボ目, カワゲラ目, 脈翅目, 甲虫目, 双翅目など水生昆虫).

魚類, 両生類, 爬虫類, 貝類, 甲殻類など無脊椎動物全般.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎三橋弘宗, 2008.5, 「芦屋川の水生生物と水環境」, 芦屋川. (全2回, 90名)

◎三橋弘宗, 2008.5, 「川の水生昆虫観察会(芦屋川編)」, 芦屋川. (全1回, 30名)

◎三橋弘宗, 2008.6, 「封入標本をつくろう(特注セミナー)」, 博物館. (全1回, 35名)

◎三橋弘宗, 2008.8, 「水生昆虫の調べ方(野外編)」, 神戸市北区. (全2回, 40名)

◎三橋弘宗, 2008.8, 「ソーラーパネルと自然再生」, 博物館. (全1回, 50名)

◎三橋弘宗, 2008.11, 「封入標本をつくろう」, 博物館. (全1回, 40名)

◎三橋弘宗, 2009.3, 「水生昆虫をじっくり見よう」, 博物館. (全1回, 100名)

館外講演

三橋弘宗, 2008.4, 「市民活動と環境保全」, 大阪産業大学特別講義, 大阪産業大学(150名).

三橋弘宗, 2008.5, 「封入標本の作製講座」, 学芸員向け技術講習会, NPO西日本自然史系博物館ネットワーク, 多賀町立博物館(20名).

三橋弘宗, 2008.5, 「GIS講習会」, 学芸員向け技術講習会, NPO西日本自然史系博物館ネットワーク, 奈良教育大学(30名).

三橋弘宗, 2008.6, 「河川生態系管理における数値目標の設定」, 九州大学工学部特別ゼミ, 九州大学(30名).

三橋弘宗, 2008.6, 「池尻川のホタル観察会」, 武庫川上流ルネサンス懇談会, 三田土木事務所(90名).

三橋弘宗, 2008.6, 「モリアオガエルを観察しよう」, 有馬富士公園湿地観察会, 有馬富士公園パークセンター(15名).

三橋弘宗, 2008.7, 「自然史資料の整備と生物多様性保全への活用」, 特別ゼミナール, 山階鳥類研究所(30名).

三橋弘宗, 2008.8, 「青垣生き物観察会」, 青垣生きものふれあいの里, 丹波市(50名).

三橋弘宗, 2008.8, 「生息適地モデルの総説」, 数理生態学ゼミナール, ダム水源地センター(50名).

三橋弘宗, 2008.9, 「河川生態系管理における数値目標の設定」, 水環境学会シンポジウム, 関西大学(90名).

三橋弘宗, 2008.9, 「安室川の水生生物観察会(山の里なんでも探検隊)」, 県土整備部上郡土木事務所(100名).

三橋弘宗, 2008.10, 「簡単に効果あり! ニュータウンの自然再生の方法教えます」, 花王コミュニティー・ミュージアム

プログラム, 株式会社花王 (60 名).

三橋弘宗, 2008. 10, 「地域生態系の保全と自然史博物館」, 現代 GP 「里山の修復活動を通じた環境理解教育の実践」特別講義, 近畿大学 (150 名).

三橋弘宗, 2008. 11, 「「里」の生物多様性ローカルスポット」, 金沢大学里山プロジェクトシンポジウム「SATOYAMA の生物多様性保全～海・川・山のつながりを活かした人のいとなみ～」, 金沢大学 (200 名).

三橋弘宗, 2008. 11, 「プロバイダー情報とコレクション管理」, 自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会, 神奈川県立生命の星地球博物館 (小田原市).

三橋弘宗, 2008. 12, 「ソーラーパネルと自然再生」, 奈良県教員研修, きつづ光科学館ふおとん, (京都府木津町).

三橋弘宗, 2009. 2, 「カスミサンショウウオを観察しよう」, 有馬富士公園湿地観察会, 有馬富士公園パークセンター (15 名).

三橋弘宗, 2009. 2, 「生物多様性情報の整備: 位置情報取得と分布図作成」, 学芸員向け技術講習会, 滋賀県立琵琶湖博物館 (20 名).

三橋弘宗, 2009. 3, 「土と田んぼの美味しい関係 (コーディネーター)」, 豊岡市生息地保全協議会講演会, 豊岡市 (20 名).

兵庫県立大学・大学院教育

トビケラ目カクツツトビケラ科の生活史戦略, 渡辺昌造, M2 (修士論文指導)

兵庫県立大学自然・環境科学研究所自己評価委員会, 委員長
兵庫県立大学自己評価委員会, 委員

ラジオ・テレビ等出演

2008. 4, 「変わる科学ミュージアム: サイエンスゼロ」, NHK

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2008. 4 阪神南地区 テーマ「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」

セミナー担当

2008. 7 阪神南地域 芦屋川探検隊「水生生物観察会」(講師・企画運営)

2008. 8 阪神南地域 宮川の水生生物観察会(講師・企画運営)

2008. 11 阪神南地域 芦屋川探検隊「夜のモクズガニ観察」(講師・企画運営)

2008. 11 阪神南地域 芦屋川グリーンマップづくり(協力)

成果発表

2009. 2 共生の広場 「芦屋川探検隊が地域にもたらすものとは」, NPO 法人さんびいす (指導・協働)

2009. 3 第 2 回近畿「子どもの水辺」交流会, NPO 法人さんびいす (協力)

■ミニキャラバン事業

2008. 5, 有馬富士フェスティバル (分担者), ありまふじフェスティバル実行委員会, 有馬富士公園.

■連携事業

連携グループ等

NPO 法人さんびいす (主担当)

里山レンジャー (主担当)

水辺のフィールドミュージアム (主担当)

琢磨千恵子 (ひとはく地域研究員; 副アドバイザー)

東山真也 (ひとはく地域研究員; 副アドバイザー)

森本静子 (ひとはく地域研究員; 主アドバイザー)

成果発表

2009. 2 共生の広場 「芦屋川探検隊が地域にもたらすものとは」, NPO 法人さんびいす (指導・協働)

2009. 2 共生の広場 「コンクリートの川にホテルを増やそう～池尻川ホテル再生計画～」, 有馬高校科学部 (指導・協働)

2009. 2 共生の広場 「自然の恵み～森から学ぶ「修法ヶ原のきのこたち」」, 御影高校 (指導・協働)

2009. 2 共生の広場 「ソーラーパネルと小型ポンプを用いた簡易魚道の設置～安価で簡便な自然再生の方法～」, 水辺のフィールドミュージアム研究会 (指導・協働)

2009. 2 共生の広場 「カスミサンショウウオのお家づくり」, NPO 里山レンジャ (指導・協働)

協力事業

2008. 9, JICA-GIS 研修「GIS (地理情報システム) による天然資源・農業生産の管理」, 国際協力機構(JICA)・名古屋大学農学国際教育協力研究センター (ICCAE)

■学校教育支援

学校団体対応

2008. 6 大阪府立大学 (50 名).

2008. 9 県立御影高校 (30 名).

2009. 11 明石市立大久保小学校 (80 名).

2009. 2 川西市立川西北小学校 (90 名).

2009. 3 加東市立東条東小学校 (25 名).

講師派遣

2008. 7 「水生生物観察会」, 講師, 東条東小学校 3～4 年生 (40 名).

2008. 7 「神戸市理科教員研修会: 水生昆虫の観察と検索」, 講師, 神戸市北区 (25 名).

2008. 6 「水辺のいきもの観察会」, 講師, 後川小学校 4～6 年生 (20 名).

2008. 9 「樹脂を用いた標本作製技術」, 講師, 御影高校 2 年生 (20 名).

2008. 9 「樹脂を用いた標本作製技術」, 講師, 御影高校 2 年生 (20 名).

2008. 11 「樹脂を用いた標本作製技術」, 講師, 御影高校 2 年生 (20 名).

2008. 10 「博物館連携プログラム」, 県立大付属中学校 2 年生 (5 名).

2008. 12 「水生生物の観察会」, 講師, 東条東小学校 3～4 年生 (40 名).

2009. 2 「三木にすむ水生生物について」, 講師, 三木市立みなぎ台小学校 (120 名).

■研修生等の受入

卒論生等

2008. 4. 1～2008. 3. 31, 大澤剛士 (神戸大学大学院人間発達環

境学研究科博士課程2年), 河川生態系における生物多様性の維持機構。

2008. 4. 1-2008. 3. 31, 辻真理奈(神戸大学発達科学部4年), 阪神間におけるカエル類の生息適地評価。

2008. 4. 1-2008. 3. 31, 荒木田葉月(徳島大学大学院研究科博士課程2年), 日本列島における干潟の形成要因からみた鳥類の生息地評価。

2008. 4. 1-2008. 3. 31, 清水洋平(摂南大学工学部4年), 水田魚道の水理特性のための水路実験に関する研究。

■フェスティバル等

2008. 11 ひとくフェスティバル, 「会場担当」(分担者)。

■展示

企画展

2008. 2. 23-2008. 8. 20, 企画展「クリプトガミック・ボタニー ～隠花植物の不思議な世界～」(担当者)。

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者)。

ミニ企画等

2009. 2. 10-5. 31, 「六甲山のキノコ展～リアルな森の妖精たち～」(責任者)。

2. シンクタンク事業

■受託研究

「兵庫の川自然環境調査に関する分任業務」。県土整備部河川計画室。(450万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 10回, 20名。

■行政等支援

委員会等 (計19件)

2008. 4-。豊岡市戸島湿地基本計画検討委員会, 委員長, 豊岡市。

2008. 4-。出石川加陽地区湿地再生パートナー協議会, 委員, 国土交通省豊岡河川国道事務所。

2008. 4-。円山川水系自然再生推進検討委員会, 委員, 国土交通省・兵庫県。

2008. 4-。円山川水系自然再生推進検討委員会技術部会, 委員, 国土交通省・兵庫県。

2008. 4-。安室川自然再生検討委員会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所。

2008. 4-。安室川自然再生検討委員会技術部会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所。

2008. 4-。有馬富士公園湿地管理検討会, 会員, 兵庫県三田土木事務所。

2008. 4-。武庫川上流ルネッサンス懇談会, 委員, 兵庫県三田土木事務所。

2008. 4・G B I F技術専門委員会, 委員, 独立行政法人科学技術振興機構。

2008. 4. 科学系博物館情報ネットワーク検討委員会, 委員, 国立科学博物館。

2008. 4-。ため池生物多様性保全計画(生物多様性保全推進支援事業: 環境省), 委員, いなみ野ため池ミュージアム運営協議会(東播磨県民局)。

2008. 4-。豊岡コウノトリ生息地保全対策事業(生物多様性保全推進支援事業: 環境省), 委員, 豊岡市・

2008. 6-2009. 3. 揖保川水系「ひょうごの川・自然環境調査」, アドバイザー, 兵庫県西播磨県民局。

2008. 6-2009. 3. 岸田川水系「ひょうごの川・自然環境調査」, アドバイザー, 兵庫県但馬県民局。

2008. 7-。「源流の里」環境保全活動委託事業, 委員長, 丹波県民局。

2008. 7-。守りたい神戸の生きもの百選選定委員, 委員, 神戸市環境局。

2008. 8. 丸山湿原エコミュージアム推進協議会, 委員, 阪神北県民局。

2008. 8-。武庫川水系に生息・生育する生物およびその生活環境の持続に係る専門検討委員会, 座長, 兵庫県県土整備部。

2009. 3. 高橋川河川整備計画, ヒアリング対象者, 神戸土木事務所。

相談・指導助言

来訪者85件, 120名。電話・FAX相談40件, メール相談35件。

大谷 剛, Takeshi OHTANI

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ／生涯学習推進室／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 教授。

昭和22年福島県生。北海道大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学。理学博士。日本昆虫学会, 日本生態学会, 日本動物行動学会, 国際社会性昆虫学会, 兵庫県生物学会, 日本直翅類学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

生涯学習推進室 演習フロアサービス

■タスクフォース

環境学習推進タスクフォース リーダー

ファール展推進タスクフォース

■研究開発部門

資料担当, 資料審査会座長

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

- ミツバチ類の収穫ダンスに関する基礎的研究
- 1個体追跡法に基づく動物の行動研究
- 動物の歩行肢に関する考察

■共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学

の実践」, 研究分担者.

■論文・著書

大谷 剛(2008) 招集バチによる影響を受けたミツバチ働きバチの尻振ダンス招集効率(英文), 人と自然, No. 19, 71-88.
大谷 剛(監修・訳 2009) ケン・プレストン・マフハム著「世界チョウ図鑑 500 種」, 株式会社ネコ・パブリッシング, 527pp.

■その他著作

大谷 剛 (2008) 深田公園鳴く虫地図. ひとく新聞 (2008 年 9 月 30 日)

■研究発表

大谷 剛(2008) ミツバチはダンス情報を使えるのだろうか. 筑波大学共生生物学研究室セミナー(2008. 5. 8).
大谷 剛(2008) ミツバチはなぜ収穫ダンスをするのだろうか. 兵庫県立大学人間環境学部環境生物学セミナー (2008. 5. 28).
大谷 剛(2008) ミツバチの収穫ダンス: 定説にあわない例ー2007 年のデータから. 東京工業大学ダーウィンセミナー 第 2 回(2008. 6. 19).
大谷 剛(2008) ミツバチ収穫ダンスの生理的側面, 日本昆虫学会近畿支部 2008 年度大会・日本鱗翅学会近畿支部例会合同大会. 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市 (2008. 12. 13).

■学会役員など

兵庫県生物学会, 編集委員.

■助成を受けた研究

ミツバチの尻振りダンスは擬似飛行ではないだろうか. 文部科学省科学研究費萌芽研究, 研究代表者(金額 50 万円/210 万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 3-7 ゲンジボタル幼虫上陸数観察・成虫飛来数. 神戸市北区道場町.

■受贈担当資料

2009. 2 コガタスズメバチ巢の標本. 1 点.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎大谷 剛, 2008. 4-8, 「愛蜂家養成講座・初級」, 博物館. (全 4 回, 20+17+17+14=68 名)
◎大谷 剛, 2008. 5. 24, 「家族で蜂蜜しばり(1)」, 博物館. (全 1 回, 49 名)
◎大谷 剛, 2008. 6~2007. 9, 「初級鳴く虫インストラクター養成講座」, 博物館・深田公園. (全 3 回, 22+20+15=57 名)
◎大谷 剛, 2008. 6. 28, 「家族で蜂蜜しばり(2)」, 博物館. (全 1 回, 45 名)
◎大谷 剛・沢田佳久, 2008. 8 (土・日・月), 「昆虫標本づくり実演コーナー2008」, 博物館. (全 14 回, 373 名)

◎大谷 剛, 2008. 8. 1; 8. 8, 「家族でつくる昆虫標本(全 2 回)」, 博物館. (全 2 回, 49+46=95 名)
◎大谷 剛, 2008. 8. 12 ; 8. 19, 「昆虫標本をつくってみませんか?」(教職員セミナー), 博物館. (全 2 回, 13+9=22 名)
大谷 剛, 2008. 8. 20, 「あなたのハチの知識は正しいですか?」(教職員セミナー), 博物館. (全 1 回, 40 名)
◎大谷 剛, 2008. 8-2007. 10, 「上級鳴く虫インストラクター養成講座」, 道場町日下部・博物館. (全 4 回, 7+4+4+5=20 名)
◎大谷 剛, 2007. 9-2008. 1, 「愛蜂家養成講座・上級」, 博物館. (全 4 回, 14+10+11+13=48 名)
◎「さんびばり」・大谷 剛, 2008. 10. 4, 「親と子の鳴く虫の夕べ, 鳴く虫 5 種類覚えよう」, 神戸市北区道場町日下部ふれあい会館. (全 1 回, 16 名)
大谷 剛, 2009. 1. 15, 「昆虫の触角はどこにあるのか?」, クラーク記念国際高校芦屋キャンパス. (全 1 回, 102 名)
◎大谷 剛, 2009. 3. 1, 「ホタル幼虫の上陸観察」(3 年目), 博物館・神戸市北区道場町. (全 1 回, 3 名)

館内特注セミナー

◎大谷 剛, 2008. 6. 15, 「ハチミツしばり体験」, NPO シニア自然大学「つちのご探検隊」, 博物館横養蜂場 (22 名).
◎大谷 剛, 2008. 6. 27, 「ミツバチのからだ観察」, 尼崎市立成文小学校 (46 名).
◎大谷 剛, 2008. 7. 14, 「ハチミツしばり体験」, 博物館職員グループ, 博物館横養蜂場 (18 名).
大谷 剛, 2008. 9. 26, 「ミツバチのからだ観察」, 高砂市立荒井小学校 3 年生 (131 名).

館外講演

◎大谷 剛, 2008. 4. 10, 「ホタルの幼虫上陸観察会」, 講師, NPO 法人「さんぽくらぶ」, 神戸市北区道場町塩田八幡宮駐車場 (71 名).
◎大谷 剛, 2008. 6. 6, 「ホタルの観察会」, 講師, NPO 法人「さんぽくらぶ」, 神戸市北区道場町川北集会所・塩田八幡宮周辺(57 名).
◎大谷 剛, 2008. 6. 8, 「大谷先生と歩く武庫川大曲ホタル観察会」, 講師, 「ゆりのきフィールドウォーカー」, 三田市藍本武庫川大曲周辺 13 名).
◎大谷 剛, 2008. 6. 21, 「鳴く虫を聞き分けるコツ、初夏の鳴く虫観察会」, 講師, リバグレス猪名川(2008 猪名川町生涯学習カレッジ)、猪名川町生涯学習センター(23 名).
◎大谷 剛, 2008. 7. 21, たかつき子ども自然体験学校「昆虫標本づくり」, 講師, NPO 法人たかつき, 大阪府衛生会地域交流支援センター (42 名).
◎大谷 剛, 2008. 7. 12, 「昆虫採集と標本の作り」, 講師, NPO 法人北はりま田園空間博物館, 道の駅北はりまエコミュージアム (43 名).
大谷 剛, 2008. 7. 15, ウォーキング講習会「身近な昆虫(1)ー直翅目(バッタ目)の昆虫たちー」, 尼崎市高齢者生きがい促進協会, 尼崎市立老人福祉センター講義室 (60 名).
◎大谷 剛, 2008. 7. 27, 「昆虫標本の作り方、仕上げ、同定」, 講師, NPO 法人北はりま田園空間博物館, 道の駅北はりまエコミュージアム (43 名).

- ◎大谷 剛, 2008. 8. 24, たかつき子ども自然体験学校「昆虫標本づくり、仕上げ、標本箱へ」, 講師, NPO 法人たかつき, 大阪府衛生会地域交流支援センター (31 名).
- ◎大谷 剛, 2008. 9. 22, 「イナゴを採って食べる(2 歳児と保護者)」, 講師, NPO 法人「さんぽくらぶ」, 神戸市北区道場町 (25 名).
- 大谷 剛, 2008. 9. 30, ウォーキング講習会「身近な昆虫(2)ーゴミムシ・ガ・ハチ・アブ・カメムシのトピックスー」, 尼崎市高齢者生きがい促進協会, 尼崎市立老人福祉センター講義室 (54 名).
- ◎大谷 剛, 2008. 10. 1, 「イナゴを採って食べる(3 歳児と参加希望の保護者)」, 講師, NPO 法人「さんぽくらぶ」, 神戸市北区道場町 (17 名).
- 大谷 剛, 2008. 11. 12, 「毒をもつ虫とのつきあい方」(いきいき学舎フレミラ 環境・自然コース), フレミラ宝塚 (26 名).
- 大谷 剛, 2008. 11. 16, 科学サロン「ハチの分業」, ラスタホール(伊丹市立生涯学習センター) (8 名).
- 大谷 剛, 2008. 11. 21, 「ミツバチの分業と暮らし」, 神戸女学院大学研究所 (70 名).
- 大谷 剛, 2009. 1. 28, おもしろ理科教室「ハンミョウ」, 講師, 神戸市立有野児童館 2 階集会室 (43 名).
- 大谷 剛, 2009. 3. 22, 天文ひとはく科楽セミナー「虫の音楽家コオロギとキリギリス」, 講師, 明石市立天文科学館 2 階天文ホール (33 名).

兵庫県立大学・大学院教育

昆虫行動論 (主任)

非常勤講師

2008. 5. 27, 昆虫野外観察, 神戸市シルバーカレッジ.
2008. 6. 18, 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

■ミニキャラバン事業

2008. 5, ありまふじフェスティバル 2008 春 (分担者), ありまふじフェスティバル 2008 春実行委員会, 県立有馬富士公園.

■連携事業

連携グループ等

- 鳴く虫研究会「きんひばり」(主担当)
NPO 法人「人と自然の会」みつばち研究会(主担当)
NPO 法人「さんぽくらぶ」(主担当)
アピス同好会 (主担当)

成果発表

2008. 2 共生の広場 「鳴く虫界のナマケモノ(?)、ヒサゴクサキリ (第一報)」, 「鳴く虫ワールド 2008」, 鳴く虫研究会「きんひばり」(指導・協働)
2008. 2 共生の広場 「手探りの活動開始ーハチに魅せられて」, アピス同好会 (指導・協働)
2008. 2 共生の広場 「さんぽは自然体験のはじまり!」, NPO 法人「さんぽくらぶ」(指導・協働)

共催事業

2008. 7, 「ファール少年少女昆虫教室」, 兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」(講演・体験指導)

2008. 7-8, NPO 法人たかつき子ども自然体験学校(講演・体験指導)
2008. 7. 12, 7. 27, 8. 2-8. 19, 昆虫採集・標本づくり指導, 昆虫標本・ビデオの展示, NPO 法人北はりま田園空間博物館(体験指導の実施, 標本・ビデオの貸出)
2008. 8. 8, ひとはくファール大作戦<みつばち編> in フローラ 88「お絵かき講談、みつばちクイズ初級編」(展示の実施, 8・8 イベント実施)
2008. 8-10, ひとはくファール大作戦 in 中兵庫信用金庫「鳴く虫写真パネル, 昆虫立体 3D 写真、ゴードン・スミスの紹介」(展示の実施, 8・22 イベント実施)
2008. 8-10, ひとはくファール大作戦 in 県立美術館「自然をきりとるー栗林慧氏の写真ー」(展示の実施, 9・15 イベント実施)
2009. 1. 28, おもしろ理科教室, 神戸市立有野児童館 (講演の実施)

協力事業

2008. 6, 「ゆりのきフィールドウォーカー」(講演・体験指導)
2008. 6, 兵庫県学校農業クラブ連盟リーダー講習会(講演・指導)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 10-6. 13, 三田市立上野台中学校 1 名, 三田市立狭間中学校 1 名, 三田市立藍中学校 1 名.

学校団体対応

2009. 9-11, 小・中学校対応ファールトーク (計 14 校 15 件 1183 名) .

講師派遣

2009. 6. 24 「自然学校での昆虫採集と標本づくり」, 講師, 神戸市立道場小学校 5 年生 (39 名).
2008. 7. 15 「昆虫標本づくり」, 講師, 神戸市立道場小学校 5 年生 (39 名).
2008. 12. 4 「さなぎのふしぎ」, 講師, 高砂市立荒井小学校 3 年生 (131 名).

■展示

ミニ企画等

2009. 2. 12-4. 4, 臨時展示「研究員トピックス展」(分担者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

- 生物系収蔵庫等の案内, 1 回, 3 名.

■行政等支援

相談・指導助言

- 来訪者 5 件, 8 名. 電話・FAX 相談 23 件, メール相談 8 件.

■学会開催等支援

2008. 12 日本昆虫学会近畿支部 2008 年度大会・日本鱗翅学会近畿支部例会合同大会 (会場係). 80 名.

三谷 雅純, Masazumi MITANI

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ／生涯学習推進室／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 准教授。
昭和29年香川県生。京都大学大学院動物学研究科博士後期課程修了。理学博士。日本霊長類学会, International Primatological Society, 日本生態学会, 日本熱帯生態学会, 日本アフリカ学会, 日本哺乳類学会, 兵庫県政学会所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

■事業推進部門

生涯学習推進室 広報・出版支援グループ

■研究開発部門

研究・紀要担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 熱帯林の霊長類の生態と保全
2. 身体障害者／障害児の社会教育のあり方
3. GIS を利用した哺乳類の空間分布

■共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」, 研究分担者。

■論文・著書

三谷雅純（2008）類人猿保護政策と地域住民―カメルーンからガボン、コンゴ共和国の事例から―。池谷和信・武内進一・佐藤廉也（編）朝倉世界地理講座12 アフリカⅡ, pp. 496-509, 朝倉書店, 東京。

- ◎三谷雅純（2008）障害のある子どもたちとの社会教育活動：障害の種類に応じた野外活動やテキスト作りを中心にして。人と自然, No. 19: 51-60。

■その他著作

- ◎三谷雅純（2008）伝えたい「ユニバーサル・ミュージアム」。霊長類の窓①, 毎日新聞（4月8日）。
- ◎三谷雅純（2008）見えるようになった脳の活動。霊長類の窓②, 毎日新聞（4月15日）。
- ◎三谷雅純（2008）理解しにくい人もいて当然。霊長類の窓③, 毎日新聞（4月22日）。
- ◎三谷雅純（2008）〈こころのハンディキャップ〉と付き合う。霊長類学の窓④, 毎日新聞（5月13日）。
- ◎三谷雅純（2008）世界にはいろんなヒトがいる。霊長類学の窓⑤, 毎日新聞（5月20日）。
- ◎三谷雅純（2008）価値観の異なる出会い。霊長類学の窓⑥, 毎日新聞（5月27日）。
- ◎三谷雅純（2008）出口の見えない日本社会。霊長類学の窓⑦, 毎日新聞（6月3日）。
- ◎三谷雅純（2008）いじめられているあなたへ。霊長類学の窓⑧, 毎日新聞（6月10日）。
- ◎三谷雅純（2008）狩猟、農耕の時代には支障なく。霊長類学

の窓⑨, 毎日新聞（6月17日）。

- ◎三谷雅純（2008）色の見え方、異なるのが自然。霊長類学の窓⑩, 毎日新聞（7月1日）。

- ◎三谷雅純（2008）肢体の障害と夏の暑さ。霊長類学の窓⑪, 毎日新聞（7月8日）。

- ◎三谷雅純（2008）障害のある人は疲れやすい。霊長類学の窓⑫, 毎日新聞（7月15日）。

三谷雅純（2008）障害者のインドネシア調査行。霊長類学の窓⑬, 毎日新聞（7月29日）。

三谷雅純（2008）インドネシアのマレーグマ。くまいるクラブ8号（7月）

三谷雅純（2008）最大の功労者は「話し好き」／スマトラ島の広域調査。霊長類学の窓⑭, 毎日新聞（8月5日）。

三谷雅純（2008）イスラムのインドネシア。霊長類の窓⑮, 毎日新聞（8月19日）。

三谷雅純（2008）スマトラ島おおうグローバル化。霊長類の窓⑯, 毎日新聞（8月26日）。

三谷雅純（2008）消えゆく『我が家の畑』。霊長類の窓⑰, 毎日新聞（9月1日）。

三谷雅純（2008）病気より怖いのはトラウマ。霊長類の窓⑱, 毎日新聞（9月9日）。

三谷雅純（2008）津波の後のパンガンダラン。霊長類の窓⑲, 毎日新聞（9月23日）。

三谷雅純（2008）残ったルトン、減ったカニクイザル。霊長類の窓⑳, 毎日新聞（9月30日）。

- ◎三谷雅純（2008）左手だけの野外調査。霊長類の窓21, 毎日新聞（10月7日）

- ◎三谷雅純（2008）『子殺し』行動を読み解く。霊長類の窓22, 毎日新聞（10月21日）。

- ◎三谷雅純（2008）続・『子殺し』行動を読み解く。霊長類の窓23, 毎日新聞（10月28日）。

- ◎三谷雅純（2008）いくつかの『愛情』と子どもの立場。霊長類学の窓24, 毎日新聞（11月11日）。

三谷雅純（2008）『わたし』は何者だろうか？ 霊長類学の窓25, 毎日新聞（11月18日）。

三谷雅純（2008）インドネシア あたたかい南の島から①。ひとはくレター（11月26日）

三谷雅純（2008）子どもは〈みんなの宝〉。霊長類学の窓26, 毎日新聞（12月2日）。

三谷雅純（2008）人の手でゴリラを育てる。霊長類学の窓27, 毎日新聞（12月9日）。

三谷雅純（2008）人からゴリラにうつったポリオ。霊長類学の窓28, 毎日新聞（12月16日）。

三谷雅純（2009）動物園の木々は〈わが森〉。霊長類学の窓29, 毎日新聞（1月20日）。

三谷雅純（2009）ゴリラを返して森を再生する。霊長類学の窓30, 毎日新聞（1月27日）。

三谷雅純（2009）自然に依存し、自然と争う。霊長類学の窓31, 毎日新聞（2月3日）。

三谷雅純（2009）貧困と欲望と復讐の紛争。霊長類学の窓32, 毎日新聞（2月10日）

三谷雅純 (2009) 若い狩人モゲッサ・マルセル. 霊長類学の窓 33, 毎日新聞 (2月18日)
三谷雅純 (2009) 森の動物と〈恵みの肉〉. 霊長類学の窓 34, 毎日新聞 (2月24日).
三谷雅純 (2009) インドネシア あたたかい南の島から②, ひととはくレター (2月27日).
三谷雅純 (2009) 塩と脂と笑顔がごちそう. 霊長類学の窓 35, 毎日新聞 (3月10日).
三谷雅純 (2009) 植物分類学者のムサンボテさん／能力の差と財力の差. 霊長類学の窓 36, 毎日新聞 (3月17日).
三谷雅純 (2009) アフリカの教育事情. 霊長類学の窓 37, 毎日新聞 (3月24日).

■研究発表

三谷雅純・Gurmaya, J. K. ・Noviar, E. ・渡邊邦夫 (2008) 1997-98年エル・ニーニョで減ったシルバールトンの個体群密度はどのような刺激で補償されたか？ジャワ島パンガンダランの例から. 日本霊長類学会大会, 明治学院大学, 東京都.
渡邊邦夫・三谷雅純・Rizaldi ・Santi, K. N. (2008) スマトラ島中部におけるほ乳類26種生息状況モニタリングの試み. 野生生物保護学会, 長崎国際大学, 佐世保市.

Kunio Watanabe, Masazumi Mitani, Bambang Suryobroto, Islamul Hadi, Kanthi A. Widayati, Erri N. Megantara, Kunkun J. Gurmaya, Made Wedana, I Wayan Dirgayusa, Asep R. Pernama, & Edy Brotoisworo (2009) Population trends of *Trachipithecus auratus* and *Macaca fascicularis* in the Pangandaran Nature Reserve, Indonesia. Conference of the Association for Tropical Biology and Conservation, Asia-Pacific Chapter, Chiang Mai, Thailand.

■学会役員など

Ecological Research, reviewer
霊長類研究, 査読者
人と自然/ Nature and Human Activities, reviewer

■助成を受けた研究

アジア産旧世界ザルの道具使用等社会行動に関する研究とその保全. 文部科学省科学研究費 基盤研究(B) (海外学術調査) 研究分担者 (500千円/1,900千円)
東西日本で比較したニホンザル各種パラメータの人為的な影響による変容. 平成20年度京都大学共同利用研究, 研究代表者 (126千円/126千円)

■海外調査

2008. 8-9 インドネシア (ジャワ・スマトラ)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-2009. 3 ユニバーサル・ミュージアムに関する資料

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

三谷雅純, 2008. 6, オープンセミナー「チンパンジー、アイの描いた絵について」, 博物館. (30名)
三谷雅純, 2008. 8, 夏期教職員セミナー「体の不自由な子どもたちとの野外活動入門」, 博物館. (7名)
三谷雅純, 2008. 11, 「ゴリラが生きる世界 オスとメス、『子殺し』の行動学」, 博物館. (8名)
三谷雅純, 2008. 12, 「むすぶ、ひらく、ユニバーサルなこと」, 博物館. (10名)

館外講演

三谷雅純, 2009. 1, 「障がいのある人たちとの野外活動入門」, よみうり文化センター. (30名)
三谷雅純, 2009. 1, 「霊長類に学ぶ性差と役割 メスとオスと女と男」, アンダス☆フリット. (30名)
三谷雅純, 2009. 2, 「霊長類に学ぶ性差と役割 女性霊長類学者」, アンダス☆フリット. (30名)

非常勤講師

2008. 4-2009. 3, 「セミナー アフリカ中央部の自然と文化」, 市民団体「アフリカ中央部の自然と文化」
2008. 6, 「自然とデザイン ユニバーサル・ミュージアムとデザイン」, 神戸芸術工科大学.

■地域研究員養成事業

連携グループ等

東中国クマ集会 (協働)

■学校教育支援

学校団体対応等

2008. 4, 大阪府立泉北高等学校. (40名)
2008. 7, 兵庫県立大学附属高等学校. (20名)
2008. 8, 柏原高等学校. (40名)
2008. 9, 愛媛県立松山南高校. (30名)
2008. 12, 兵庫県立有馬高等学校. (40名)

■フェスティバル等

2008. 4 ひととはく恐竜ラボの開所式典, 記録担当.
2008. 9 ひととはくフェアブル大作戦！開催記念式典, 記録担当.
2008. 11 ひととはくフェスティバル, 記録担当.
2009. 2 共生のひろば2008, 記録担当.

■展示

企画展

共生のひろば展: 研究員の研究課題

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2008. 4-2009. 3 Primate Specialist Group, member, The World Conservation Union (IUCN).
2008. 4-2009. 3 Species Survival Commission, member, The World Conservation Union (IUCN).
2008. 4- 関西テレビ青少年育成事業団, 理事, 関西テレビ青少年育成事業団.

相談・指導助言

来訪者10件, 30名. 電話相談10件, メール30件.

2008. 4- 失語症者の発話機能補填について
2008. 4- 青少年のキャンプを中心とした野外活動について
2008. 4- 脳梗塞者に無理のない野外活動について
2008. 6- 発達障害者の人権擁護について
2008. 10 種の多様性と森林づくりについて

遠藤 菜緒子, Naoko ENDO

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ／企画調整室／生涯学習推進室

研究員

昭和48年宮城県生. 立教大学大学院理学研究科博士課程後期課程修了. 理学博士. 日本鳥学会, 日本生態学会, Waterbirds Society (アメリカ)所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■マーケティング・マネジメント部門 企画調整室

事業推進担当, 事業推進会議進行・事務局, ホームページ運営推進, ミュージアムショップ窓口, 兵庫デスティネーションキャンペーン対応

■事業推進部門 生涯学習推進室

演示フロアサービスグループ, 展示設営補助

■タスクフォース

情報システム更新タスクフォース 研究部内の調整, 公開資料データベース整備へのアドバイス

■研究開発会議

共同研究担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. カワウおよびサギ類の集団繁殖地に係る研究
2. ひとはくりサーチプロジェクト「カワウ」

■共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」, 研究分担者.

部門研究「生態学的にみた共生の現実と未来」, 研究分担者.

■論文・著書

◎江崎保男・彦根宏道・遠藤菜緒子(2008) 兵庫県三田市の市街地残存林でのミゾゴイの繁殖. 山階鳥類学雑誌, 40, 56-58.

■その他著作

遠藤菜緒子(2008) 研究者適応放散の時代. 生物科学, 60(1), 49-50.

■ブログへの情報提供

8件

■研究発表

遠藤菜緒子・江崎保男(2008) コロニー形成時の行動からサギコロニーの形成プロセスと機能を探る. 日本鳥学会 2008 年度大会, 立教大学, 東京都.

遠藤菜緒子(2008) How do herons and egrets form a heronry? Dominique G. Homberger 教授招待セミナー, 奈良女子大, 奈良市.

■助成を受けた研究

人と軋轢を生じているカワウ・サギ類との共生を果たす戦略の基礎研究. 平成20年度兵庫県立大学特別教育研究助成金, 研究分担者.

2. 資料収集・整理

1) 資料収集

2008. 4-2009. 3 兵庫県のカワウ・サギ集団繁殖地の写真データの収集. 県内各地.

■整理同定担当資料

陸生脊椎動物(哺乳類, 鳥類)

小林コレクション鳥類標本データ s-net (日本ネットワーク経由) 登録 15,382 点

資料登録 12 点

公開資料データベース整備(動物)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎遠藤菜緒子, 2008. 5, 「はじめてのバードウォッチング」, 有馬富士公園. (全2回28名)

◎遠藤菜緒子, 2008. 12, 「干支展ネズミさんありがとう。展示案内」, 博物館. (2名)

◎遠藤菜緒子, 2009. 1, 「干支展ウシさんようこそ! 展示案内」, 博物館. (4名)

◎遠藤菜緒子, 2009. 2, 「ふかたん冬の鳥」, 博物館. (12名)

館外講演

遠藤菜緒子, 2008. 8, 「ゴイサギのすんでいる世界」, 日本野鳥の会兵庫県支部室内例会, 講師, 日本野鳥の会兵庫県支部事務所. (25名)

遠藤菜緒子, 2008. 10, 「兵庫県のカワウの状況」, 平成20年度カワウ広域管理対策講座, 講師, 兵庫県中央労働センター. (40名)

澤邊久美子・遠藤菜緒子, 2009. 1, 「森の湿地を利用する鳥とほにゅう類!」, 有馬富士公園湿地観察会, 講師, 有馬富士公園パークセンター. (10名)

非常勤講師

2008. 10-2009. 2 「生物学野外実習」, 神戸大学. (19名)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

2009. 2 阪神南地区「'08 芦屋探検隊 恐竜のバス遠足」. 企画, 博物館～丹波の恐竜化石発掘現場.

■ミニキャラバン事業

2008. 5, 有馬富士フェスティバル'08 春(責任者), 有馬富士フェスティバル実行委員会, 有馬富士公園.

■学校教育支援

学校団体対応

2008. 4, 神戸中華同文学学校 5~6 年生 (147 名).
2008. 10, 加古川エメラルド少年団, 加西市立九会小学校 3 年生 (100 名)・

講師派遣

2009. 2, 「コハクチョウの観察」, 講師, 加西市富合小学校 3 年生 (47 名).

■展示

ミニ企画等

2008. 12. 7-2009. 1. 12, ミニ企画展「干支展ネズミさんありがとう。&ウシさんようこそ!」(責任者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 10 回, 16 名.
液浸収蔵庫の案内, 2 回, 3 名.

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 3 件, 3 名. 電話・FAX 相談 29 件, メール相談 2 件.
2008. 10 平成 20 年度カワウ広域管理対策講座, 講師, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課.

田口 勇輝, Yuki TAGUCHI

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ/企画調整室

研究員

昭和 56 年大阪府生. 大阪府立大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了. 農学修士. 日本爬虫両棲類学会, 日本生態学会, 応用生態工学会, オオサンショウウオの会, 日本ハンザキ研究所, 京都大学大学院地球環境学舎博士課程等所属.

＜事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事＞

■マーケティング・マネジメント部門 企画調整室

中期目標担当, 中期目標の取りまとめ, 月例報告会の取りまとめ

＜研究開発＞

1. 調査研究

■共同研究

総合共同研究「芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践」, 研究分担者.

■論文・著書

田口勇輝 (2009) オオサンショウウオの季節的な移動—流水に棲む両生類による繁殖移動の可能性—. 日本生態学会誌 59, 117-128

田口勇輝・夏原由博 (2009) オオサンショウウオが遡上可能な堰の条件. 保全生態学研究 14, (印刷中)

■その他著作

田口勇輝・大沼弘一・川上徳子・福岡誠一 (2008) オオサン

ショウウオの潜在的な生息適地モデルの構築と保護計画への適用. プロ・ナトゥーラ・ファンズ第 17 期助成成果報告書, 119-130.

◎田口勇輝・三橋弘宗・夏原由博 (2008) オオサンショウウオの遡上を助ける小さな工事. 爬虫両生類学会報第 2008 巻 1 号, 38-39. (学会大会講演要旨).

田口勇輝 (2009) 個体確認調査. 瀬戸市特別天然記念物オオサンショウウオ生息調査報告書, 22-36, 瀬戸市

田口勇輝 (2009) 爬虫類. 生物多様性ひょうご戦略, 45-46, 兵庫県

■ブログへの情報提供

38 件

■研究発表

田口勇輝 (2008) オオサンショウウオは移動性の動物か, 第 5 回 オオサンショウウオの会 (全国集会), 生野マインホール, 兵庫県朝来市. (口頭)

田口勇輝・夏原由博・三橋弘宗 (2008) オオサンショウウオは定住性をもつか. 日本爬虫両生類学会第 47 回大会, 栃木県総合教育センター, 栃木県宇都宮市. (口頭)

◎田口勇輝・三橋弘宗・夏原由博 (2009) 兵庫県におけるオオサンショウウオの分布推定モデルを用いた生息地分断化の評価. 日本生態学会第 55 回盛岡大会, 岩手県立大学・盛岡市民文化ホール, 盛岡市.

2. 資料収集・整理

■整理同定担当資料

両生類 (有尾目, 無尾目), 爬虫類 (トカゲ亜目, ヘビ亜目).

＜事業推進＞

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

田口勇輝, 2008. 8, 教職員セミナー「子どもに人気のあるカエルとヘビを知ろう!」, 博物館. (15 名)

田口勇輝, 2008. 10, 「篠山川の生き物」, 篠山鳳鳴高校. (50 名).

田口勇輝, 2008. 11, フェアブルトーク「フェアブルも知らないオオサンショウウオの不思議」, 姫路市立書写中学校. (100 名)

館外講演

田口勇輝, 2008. 7, 「両生類と爬虫類」, (社) 大阪自然環境保全協会「第 6 回自然環境市民講座」, 講師, 大阪市立中央青年センター (30 名).

田口勇輝, 2008. 7, 「キッピー山の学校 (キッズ研究員)」観察会, 講師, 三田市有馬富士自然学習センター, 三田市 (30 名).

田口勇輝, 2008. 8, 「オオサンショウウオ、カエルツボカビ症」, (社) 大阪自然環境保全協会「おもしろ学習会」, 講師, 大阪自然環境保全協会 (5 名).

田口勇輝, 2008. 12, とよおか子ども野生復帰大作戦「オオサンショウウオの世界」, 講師, 日本・モンゴル民族博物館 (20

名).

田口勇輝, 2009. 2, 第3回丸山湿原セミナー, 講師, 丸山湿原エコミュージアム推進協議会 (20名).

ラジオ・テレビ等出演

2008. 10, 「オオサンショウウオ 34箇所で姿消した?」, 朝日新聞

■学校教育支援

学校団体対応

液浸収蔵庫の案内, 兵庫県立淡路園芸学校1年生, 20名.

講師派遣

2008. 6, 「生きもの共生の日」ワークショップ, 講師, 豊岡市立高橋小学校, 豊岡市 (60名).

2008. 7, 「出石川の環境調査」, 講師, 豊岡市立高橋小学校, 豊岡市 (20名).

2009. 9, 「オオサンショウウオの生態, すむ環境」, 講師, 篠山市立後川小学校, (25名).

■展示

ミニ企画等

2008. 6. 3-9. 19, トピックス展「兵庫県のオオサンショウウオ」(分担者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

液浸収蔵庫の案内, 1回, 20名.

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2006. 4- 瀬戸市オオサンショウウオ調査委員会, 委員, 瀬戸市交流活力部文化課.

2007. 7- 武庫川ルネッサンス懇談会, 委員, 兵庫県三田土木事務所.

2008. 8- 丸山湿原エコミュージアム推進協議会, 委員, 阪神北県民局 (丸山湿原エコミュージアム推進協議会).

相談・指導助言

来訪者1件, 1名. 電話・FAX相談0件, メール相談16件.

2008. 10, 瀬戸市オオサンショウウオ調査, 委員, 瀬戸市交流活力部文化課.

2008. 11, 瀬戸市オオサンショウウオ調査, 委員, 瀬戸市交流活力部文化課.

2008. 12, 第3回丸山湿原セミナー, 講師, (株) ネイチャースケープ.

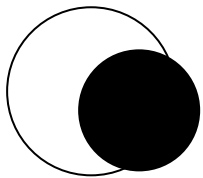
2008. 12, 瀬戸市オオサンショウウオ調査, 委員, 瀬戸市交流活力部文化課.

2009. 1, 第3回丸山湿原セミナー, 講師, (株) ネイチャースケープ.

2009. 2, 瀬戸市オオサンショウウオ調査, 委員, 瀬戸市交流活力部文化課.

2009. 2, 第3回丸山湿原セミナー, 講師, (株) ネイチャースケープ.

2009. 3, 瀬戸市オオサンショウウオ調査, 委員, 瀬戸市交流活力部文化課.



個人別成果報告に関する資料

No. 4

● 自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ／
コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ

中瀬 勲, Isao NAKASE

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ／事業推進部

副館長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 教授

昭和23年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。日本造園学会、日本都市計画学会、環境情報科学センター等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

事業推進部長

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 多自然居住地域でのまちづくりに関する実践的研究
2. ランドスケープ計画・設計論

■共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」, 研究代表者。

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究—兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究代表者。

■論文・著書

◎藤本真里・赤澤宏樹・鳴海邦碩・中瀬勲(2008)兵庫県立有馬富士公園における住民グループの主体的活動とその継続の要因に関する研究, ランドスケープ研究, Vol. 71(5), 811-816.

Isao NAKAE, Takashi KYAKUNO(2008)Regional Planning with a Focus on Biodiversity: Challenge of a Local Natural History Museum, Conserving nature-A Japanese perspective-, Biodiversity Network Japan, 42-47.

中瀬勲・橋本佳延(2008)「生物多様性ひょうご戦略構想」, 生物多様性を考える・生物多様性条約COP10に向けて, 生物多様性ジャパン, 22-28.

中瀬勲・嶽山洋志・李樹華(2008)「日本阪神淡路大地震後城緑地重建の思路と計画設計」, 中国園林, Vol. 24/153 200809, 22-29.

嶽山洋志・中瀬勲(2008)「プレーパークにおける持続的な活動形態に関する研究—有馬富士公園あそびの王国での一考察—」, 環境情報科学論文集, 22, 411-416.

中瀬勲(2009)「種の保存とランドスケープ, ランドスケープ研究 72(4), 399-402.

■その他著作

中瀬勲(2008)「公園マネジメントと指定管理者との間に横た

わる地域性の課題」, 平成20年度日本造園学会全国大会分科会講演集, 77-78.

中瀬勲(2008)「拠点施設の整備と地域振興」, 巻頭言, 国立公園 666, 2-3.

中瀬勲(2008)「鼎談: 環境重視社会における造園界の責任と役割」, 淡路環境緑化新聞平成20年8月1日.

大阪自然史講演会記録集

中瀬勲(2008)「60周年記念公演の開催おめでとうございます」, 絆.

中瀬勲(2008)「庭の楽しみ」, 人と自然の博物館メールマガジン.

中瀬勲(2008)「マネジメントの時代」, 年報2007Vol. 5, (財)兵庫丹波の森協会.

中瀬勲(2008)「丹波の森構想20年を思う!」, 兵庫丹波の地域情報紙; 丹波の森No. 37(2008.9), (財)兵庫丹波の森協会.

中瀬勲(2008)「丹波の森20年の節目を迎えて」, 丹波OB大学ぬくもり.

中瀬勲(2008)「生物多様性を支える人々」, ハーモニー原稿, ひとく新聞200811.

中瀬勲(2009)「丹波の知恵を21世紀の地域づくりに展開」, 丹波OB大学大学院「2008年のまとめ」.

中瀬勲(2009)「神戸・六甲山から学ぶ公園づくりの知恵—再度公園等を事例にして, 名称再度山公園及び再度山永久植生保存地・外国人墓地保存管理計画報告書」, 神戸市.

◎木本一宏・赤澤宏樹・嶽山洋志・中瀬勲(2008)多自然居住地域での限界集落における集落移転に関する研究. 日本造園学会関西支部研究・事例報告発表要旨集, 日本造園学会関西支部, 39-40.

■研究発表

◎藤本真里・赤澤宏樹・鳴海邦碩・中瀬勲(2008)兵庫県立有馬富士公園における住民グループの主体的活動とその継続の要因に関する研究, 平成20年度日本造園学会全国大会, 北海道大学, 北海道.

◎中瀬勲(2008)「公園マネジメントと指定管理者との間に横たわる地域性の課題」, 平成20年度日本造園学会全国大会分科会, 北海道大学, 北海道.

■学会役員など

1995.6-(社)日本造園学会, 評議員.

1995.6-(社)日本造園学会, 校閲委員.

1996.4-2003.4(社)日本造園学会, 関西支部幹事.

2000.1-(社)日本造園学会, ランドスケープマネジメント研究委員会, 企画責任者.

2000.1-(社)日本造園学会, 景観計画・デザイン研究委員会, 委員.

2003.5-2005.5(社)日本造園学会, 常務理事, 副学会長.

2004.5-2006.4(社)日本造園学会, 関西支部監事.

2005.5-2007.4 (社) 日本造園学会, 理事, 学会長.
 2007.11-2009.11 (社) 日本造園学会, 19・20 年度代議員.
 1996- (社) 日本都市計画学会, 学術研究発表論文・一般研究論文審査部会, 委員.
 2001.10-2007.5 人間・植物関係学会, 理事, 副会長.
 1995.6- (社) 環境情報科学センター, 評議員.
 1995.7- (社) 環境情報科学センター, 環境情報科学論文集査読委員会, 委員.
 1995.9- 兵庫県政学会, 評議員.
 2005.11-2007.10 (社) 日本農学会, 評議員.
 2000- 任意団体「花みどり市民ネットワーク」, 代表.
 2001- NPO 法人「六甲山と市民のネットワーク」, 顧問.
 2001- NPO 法人「里と森のゼロエミッション倶楽部」, 顧問.
 2003- NPO 法人「尼崎男女共同参画ネットワーク」, 理事.
 2003- NPO 法人「農都共生ネットこうべ」, 顧問.
 2003- NPO 法人「西日本自然史系博物館ネットワーク」, 副理事長.
 2003- 任意団体「六甲楽学会」, 代表.
 2003- 任意団体「高槻市民環境会議」, 相談役.
 2003- 任意団体「国領区まちづくり活性化委員会」, アドバイザー.
 2005- NPO 法人「地域再生研究センター」, 理事.
 2008- 任意団体「兵庫オープンガーデンネットワーク」, 顧問.
 2008- 任意団体「朝来自然塾」, 相談役.
 2008- 任意団体「シューベルティアーゼたんば」実行委員会, アドバイザー.

■助成を受けた研究

対話型科学技術社会に求められる教師教育プログラムの開発と評価, 文部科学省科学研究費基盤研究(A), 研究分担者(金額 3934 万円).
 国営明石海峡公園神戸地区における参画団体群のソーシャルキャピタル形成と利用増進の可能性, 財団法人公園緑地管理財団公募研究, 研究分担者 (60 万円/60 万円).
 科学系博物館, 協力者.
 コベルコ環境創造基金, 代表者.

■海外調査

2008.6.18-24 成都市, 渡こうきょう市, 深川市
 2008.10.25-30 北京市

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

中瀬勲, 2008.8-2008.10, 「造園・景観学講座」, 兵庫県立大学神戸キャンパス (全 10 回, 200 名)
 藤本真里・中瀬勲・赤澤宏樹・嶽山洋志, 2008.9, 「ひとと公園・パークマネジメントゼミ」, 博物館・有馬富士公園・尼崎 21 世紀の森中央緑地・国営明石海峡公園神戸地区. (全 6 回, 120 名)

館外講演

中瀬勲, 2008.4, 「市民活動と環境保全」, 講師, 三木自然愛好会, 三木市 (50 人).
 中瀬勲, 2008.4.30 「地域(環境)学の進め」, 講師, 宝塚市社会福祉協議会, 30 人, 宝塚市.
 中瀬勲, 2008.5.4 「恐竜を活かしたまちづくりシンポジウム」, コーディネーター, 600 人, 丹波市.
 中瀬勲, 2008.5.10 「地球の環境問題を淡路で考える」, 講師, 2008 G8 環境大臣会合プレフォーラム in 淡路, 300 人, 洲本市.
 中瀬勲, 2008.5.17 「里山・里池をいかした地域づくり」, 講師, ため池インストラクター養成講座, 加古川市, 40 人.
 中瀬勲, 2008.5.18 「博物館連携のありかたについて」, 報告者, 国際博物館の日記念シンポジウム, 都市の魅力発信と博物館連携, 100 人, 大阪市.
 中瀬勲, 2008.5.21 「ひょうごの環境学習・教育実践発表会」, 講評, 兵庫県・兵庫県教育委員会, 300 人, 神戸市.
 中瀬勲, 2008.5.26 「公園マネジメント分科会」, パネラー, (社) 日本造園学会大会, 30 人, 札幌市.
 中瀬勲, 2008.5.31 「市民生活と環境」, 講師, 宝塚市民環境大学「環境学習リーダー入門講座」, 30 人, 宝塚市.
 中瀬勲, 2008.6.7 「プレイ・フォー・オールの世界」, 講師, 明舞幼稚園両親参観日講演会, 明石市, 300 人.
 中瀬勲, 2008.6.7 「災害時における植物の役割-私達は植物といかにかわるか」, 講師, 人間植物関係学会 2008 年大会公開講演会, 大津市, 250 人.
 中瀬勲, 2008.6.8 「兵庫県を中心とした行政との関わり」, 報告者, 鳴海邦碩先生ご退職記念シンポジウム, 150 人, 大阪市.
 中瀬勲, 2008.6.20 「日本阪神・淡路大震災後都市緑地の再建の考え方および計画設計の事例」, 講師, 中国災後都市防災/緑地再建計画設計国際検討会, 国立緑, 70 人, 成都市(中国).
 中瀬勲, 2008.6.22 「日本阪神・淡路大震災後都市緑地の再建の考え方および計画設計の事例」, 講師, 全国震後都市防災/計画設計高級検討会, 深川市城市管理局, 深川風景園林協会, 130 人, 深川市(中国).
 中瀬勲, 2008.6.22 「日本阪神・淡路大震災後都市緑地の再建の考え方および計画設計の事例」, 講師, 地震災後都市/緑地再建計画設計及び生態修復学術報告会, 中国農業大学, 北京市園林局, 150 人, 北京市(中国).
 中瀬勲, 2008.6.25 「市民生活と環境」, 講師, 平成 20 年度「いばらき環境市民大学」, 30 人, 茨木市.
 中瀬勲, 2008.6.28 「生物多様性兵庫戦略構想」, 講師, 地球温暖化と生物多様性を考える, 生物多様性ジャパン, 兵庫県立人と自然の博物館, 120 人, 神戸市.
 中瀬勲, 2008.7.3 「花と緑の環境づくりと私達の役割」, 園芸学科講師, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 50 人, 宝塚市.
 中瀬勲, 2008.7.12 「地域住民が主役となって花と緑のまちづくりを進めていく必要性について」, 講師, 平成 20 年度第 18 期生緑化リーダー講習会記念講演, 講師, (財) 大阪スポーツ・緑振興協会, 150 人, 大阪市.

中瀬勲, 2008. 8. 25 「生物多様性兵庫戦略について」, 講師, 平成 20 年度井戸端会第二例会, 人と自然の博物館 (特注セミナー), 20 人, 三田.

中瀬勲, 2008. 9. 6 「花・緑の環境づくりとコミュニティの役割」 講師, 平成 20 年度川西市コミュニティ協議会連合会活動研修会, 170 人, 川西市.

中瀬勲, 2008. 9. 10 「中国四川省現地報告; 緑地の保全復旧や公園緑地計画」, 講師, 神戸市防災技術者の会例会, 20 人, 神戸市.

中瀬勲, 2008. 9. 11 「幼児期に大切な自然体験」, 講師, 神戸市私立保育園連盟研修会, 100 人, 神戸市.

中瀬勲, 2008. 9. 15 「環境の世紀・三田のまちづくりを考える」, 講師, 消費生活プラザ三周年イベント, 50 人, 三田市.

中瀬勲, 2008. 9. 23 「庭の古今東西」, 講師, ひとくはくオープンセミナー, 10 人, ヒトと自然の博物館, 三田市.

中瀬勲, 2008. 9. 28 「公園の存在意義と指定管理者制度」, 講師, 人と自然の博物館パークマネジメントゼミ, 12 人, 三田市.

中瀬勲, 2008. 10. 4 「パネルトーク自然を活かした地域づくり」, ナビゲーター, 国際フォーラム in 淡路夢舞台, (財) 淡路花博記念事業海, 人と自然の博物館, 500 人, 淡路市.

中瀬勲, 2008. 10. 11 「三田市姉妹都市環境セミナー」, コーディネーター, 60 人, 三田市.

中瀬勲, 2008. 10. 18 「関西発の新たな都市計画と専門家の使命 part2」, パネラー, NPO 日本都市計画家協会関西支部, 40 人, 大阪市.

中瀬勲, 2008. 10. 26 「日本災後重建経験紹介」, 主旨報告講師, 北京大学第六届景觀設計学教育大会および 2008 中国景觀設計師大会, 400 人, 北京市 (中国).

中瀬勲, 2008. 10. 28 「日本阪神淡路大地震後城緑地重建の思路と計画設計」, 講師, 第 139 期清華大学研究生學術集會, 災後重建与公共安全, 300 人, 北京市 (中国).

中瀬勲, 2008. 10. 28 「日本阪神淡路大地震後城緑地重建の思路と計画設計」, 講師, 城市園林緑化工作座談会, 中国建設省住宅まちづくり局, 600 人, 北京市 (中国).

中瀬勲, 2008. 11. 8 「20 年後の丹波を考える」, コーディネーター, (財) 兵庫丹波の森協会設立 20 周年記念事業シンポジウム, 300 人, 丹波市.

中瀬勲, 2008. 11. 13 「造園 1, 造園 2」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, 60 人 (30 人*2), 神戸市.

中瀬勲, 2008. 11. 15 「過去の開発, これからの開発」, 講師, 自然保護レクチャー「開発から自然を守るには」, 関西自然保護機構設立 30 周年記念イベント, 60 人, 大阪市.

中瀬勲, 2008. 11. 22 「クリチーバのまちづくり」, 講師, 県立博物館連携イベント (兵庫県立美術館関連イベント), 80 人, 神戸市.

中瀬勲, 2008. 12. 13 「造園 3, 造園 4」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, 60 人 (30 人*2), 神戸市.

中瀬勲, 2008. 12. 14 「生物多様性兵庫戦略私論」, 講師, 西宮自然保護協会総会, 30 人, 西宮市.

中瀬勲, 2009. 1. 16 「県のビジョン」, 講師, 平成 20 年度職員

研修, 兵庫県自治研修所, 50 人, 神戸市.

中瀬勲, 2009. 1. 25 「兵庫県における環境学習・教育と森林」, 講師, ひょうご森のインストラクター会発足 10 周年記念フォーラム基調講演, ひょうご森のインストラクター会, (社) 兵庫県緑化推進協議会, 200 人, 三木市.

中瀬勲, 2009. 1. 25 「環境学習・教育においてグリーンサポーターに期待されること」, コーディネーター, ひょうご森のインストラクター会発足 10 周年記念パネルディスカッション, ひょうご森のインストラクター会, (社) 兵庫県緑化推進協議会, 200 人, 三木市.

中瀬勲, 2009. 2. 1 「M-1 グランプリ」, 審査 (講評) 委員長, NPO たんばぐみ, 200 人, 篠山市.

中瀬勲, 2009. 2. 6 「恐竜を活かしたまちづくり」, 講師, (社) 土木学会関西支部・兵庫県建設技術協会, 200 人, 神戸市.

中瀬勲, 2009. 2. 14 「持続可能な地域づくりへの展望」, 講師, 猪名川町公民館講座 (人博連携事業), 20 人, 猪名川町.

中瀬勲, 2009. 2. 16 「有馬富士公園のマネジメント」, 講師, 木津川右岸運動公園勉強会, 60 人, 城陽市.

中瀬勲, 2009. 3. 1 「生物多様性兵庫戦略について」, 講師, 加西炭フォーラム, リバークリーンエコ炭銀行, 加西市, 60 人.

中瀬勲, 2009. 3. 2 「多自然居住地域における安全・安心の実現方策」, 講師, (財) ひょうご震災記念研究機構研究調査本部安全安心なまちづくり政策研究群研究成果報告会, 40 人, 神戸市.

中瀬勲, 2009. 3. 7 「生物多様性と私たちとの関わり」, 講師, 第三回自然学習講座, とよなか市民環境会議, 30 人, 豊中市.

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学 (主任)

非常勤講師

2008. 4-2008. 7 「兵庫・地方及び広域計画論」, 兵庫県立淡路景観園芸学校.

2008. 10-2009. 3 「緑地計画」, 兵庫県立大学環境人間学部.

2008. 10-2009. 3 「ランドスケープデザイン論」, 国立大学法人名古屋工業大学.

■キャラバン事業

担当

西播磨地域

展示 (準備)

佐用町三河地域の古写真収集

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 10-6 月 13, 上野台, 狭間, 藍, 3 名.

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 9-8. 10, 8. 18-8. 23 関西学院大学, 鳥取大学, 京都府立大学, 3 名.

■フェスティバル等

2008. 11 ひとくはくフェスティバル, 実行副委員長.

■展示

ミニ企画展

2009. 2. 15 - 2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者).

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計 123 件)

1993. 3- (財) 丹波の森協会, 理事.
1994. 10- 姫路市環境審議会, 会長, 姫路市.
1996. 4- (財) 丹波の森協会, 丹波の森研究所, 所長.
1996. 7- 兵庫県立丹波の森公苑運営委員会, 委員, (財) 丹波の森公苑.
1997. 8- 阪神シニアカレッジ運営委員会, 委員, 兵庫県.
1997. 8- 「なぎさ海道」推進会議, 代表委員, (財) 大阪湾ベイエリア開発推進機構.
1997. 8- 建設省近畿地方建設局, 自然環境アドバイザー, (国土交通省) 建設省.
1997. 10- 兵庫県都市計画地方審議会, 委員, 兵庫県県土整備部 (まちづくり部).
1998. 8- 環境アドバイザー, (財) ひょうご環境創造協会.
1999. 4- (財) 都市緑化技術開発機構, 研究顧問.
1999. 6- (財) 姫路市緑化協会, 理事.
1999. 8- まちづくり専門家バンクへの登録 (第43号), 財団法人兵庫県都市整備協会, ひょうごまちづくりセンター.
1999. 9- まちづくり広域活動助成に関する選定委員会, 委員長, 財団法人兵庫県都市整備協会, ひょうごまちづくりセンター.
2000. 5- NPO法人森のゼロエミッションサポート倶楽部, 運営委員.
2000. 6- 里山保全アドバイザー, (社) 大阪自然環境保全協会.
2001. 5- (財) 兵庫県高齢者生きがい創造協会, 理事.
2001. 8- 関電公害防止協議会, 委員長, 兵庫県・姫路市・関西電力株式会社.
2001. 9- 丹波地域ビジョン委員会専門委員, 兵庫県丹波県民局.
2002. 3- (財) 日本グラウンドワーク協会, 評議員.
2002. 3- ささやまの森公園運営協議会, 委員, (財) 丹波の森協会.
2002. 5 兵庫県立有馬富士公園運営・計画協議会, 会長, 兵庫県県土整備部.
2002. 7- 長期ビジョン推進委員会, 副委員長, 兵庫県企画管理部 (県民政策部).
2002. 7- 尼崎 21 世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.
2002. 12- 兵庫県環境審議会, 委員, 兵庫県生活文化部 (県民政策部).
2003. 2- コミュニティ・ガーデン・ネットワーク, 理事, (財) 都市緑化基金.
2003. 6- (社) 日本公園緑地協会, 研究顧問.
2003. 8- いなみ野ため池ミュージアム推進委員会, 委員長, 兵庫県東播磨県民局.
2003. 10- 国営明石海峡公園神戸地区マネージメント検討委員会準備会, 委員長, 国土交通省.
2003. 10- 被災地空き地活用パイロット事業審査会, 委員, 兵庫県阪神・淡路大震災復興本部.
2003. 10- 兵庫県高大連携等推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.
2004. 6- (財) 日本グラウンドワーク協会東海・近畿・北陸ブロック会議, 委員, (財) 日本グラウンドワーク協会.
2004. 7- 島本町環境保全審議会, 会長, 島本町.
2004. 7- グリーンスクール審査委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.
2004. 12- 国営事業環境配慮アドバイザーグループ, アドバイザー, 近畿農政局.
2005. 1- 加古川市環境審議会委員, 加古川市.
2005. 1- 兵庫県立甲山森林公園管理運営協議会, 委員長, 兵庫県阪神南県民局.
2005. 4- 阪神北ビジョン委員会, アドバイザー, 兵庫県阪神北県民局.
2005. 5- ひょうご環境学校事業, アドバイザー, 兵庫県健康生活部.
2005. 5- 神戸市建設局指定管理者候補者選定委員会, 委員長, 神戸市.
2005. 6-2009. 3 (財) 淡路花博記念事業協会評議員, (財) 淡路花博記念事業協会.
2005. 6-2007. 6 公園緑地折下功労賞選考委員会, 委員, (財) 都市計画協会.
2005. 7-2009. 7 独立行政法人評価委員会日本万国博覧会記念機構分科会, 臨時委員, 財務省.
2005. 7- 大問寺整備委員会, 委員, 宗教法人大門寺.
2005. 7- 長期ビジョン推進委員会公募委員審査委員会, 委員, 兵庫県県民政策部.
2005. 8- 兵庫県立丹波の森公苑, 公苑長, (財) 丹波の森協会.
2005. 8- 丹波 OB 大学, 学長, 兵庫県立丹波の森公苑.
2005. 8- たんば共創の森, 塾長, 兵庫県立丹波の森公苑.
2005. 9- 平成 17 年度ひょうごガーデンマイスター認定委員会, 委員, (社) 兵庫みどり公社.
2005. 11- 登録ランドスケープアーキテクト (RLA) 資格認定試験検定委員会, 委員, RLA 資格制度総合管理委員会.
2005. 12- 六甲山系グリーンベルト整備事業景観アセスメント手法検討会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所.
2006. 2- 事業評価監視委員会, 常任委員, 西日本高速道路株式会社.
2006. 2- 特定外来生物対策委員長会議, 委員, 兵庫県健康生活部.
2006. 3- (財) 大阪市文化財協会, 理事.
2006. 4-2009. 3 (財) 公園緑地管理財団, 研究顧問.
2006. 4- (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, 参与.
2006. 4- (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構研究企画委員会, 委員.

2006. 4- 阪神南地域ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
2006. 5- 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯, 実行委員長, 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会実行委員会.
2006. 5- 丹波の森子ども環境塾『エコキッズクラブ』, 塾長, (財) 兵庫丹波の森協会.
2006. 5- 兵庫県立丹波並木道中央公園森の円卓会議, 会長, 兵庫県丹波県民局.
2006. 6- 兵庫県高大等連携推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.
2006. 6- コウノトリ自然博物館(仮称)構想検討委員会, 委員長, 兵庫県県民政策部.
2006. 7- 環境教育副読本編集委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.
2006. 7- 近畿農政局農村景観・自然環境保全再生パイロット事業審査委員会, 委員長, 農林水産省近畿農政局.
2006. 7- 兵庫県立国見の丘公園運営協議会, 会長, (財) 宍粟森林王国協会.
2006. 8- 兵庫楽農生活センター運営協議会, 顧問, (財) 兵庫みどり公社.
2006. 9- (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, 安全・安心研究所, 上級研究員.
2006. 9- 多自然居住地域における安全・安心に関する研究会, 会長, (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, 安全・安心研究所.
2006. 10- 内ヶ池整備に関する検討委員会, 委員長, 大阪府, 高槻市.
2006. 10- 丹波地域における集落活性化戦略調査委員会, 委員長, (財) 兵庫丹波の森協会.
2006. 10- ひょうごっこグリーンガーデン研究会, 会長, 兵庫県健康生活部.
2006. 11- CSR ネットワーク委員会, 委員長, 兵庫県産業労働部.
2006. 11- 三田市都市景観研究会, 会長, 三田市.
2007. 1- 丹波年輪の里運営協議会, 委員, 兵庫県立年丹波年輪の里.
2007. 1- 環境体験支援委員会, 副委員長, 兵庫県教育委員会.
2007. 1- ”神戸三田”国際公園都市・カルチャータウン地区センター事業提案協議審査委員会, 委員長, 兵庫県企業庁.
2007. 2- 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターひと未来館展示検討委員会, 副委員長, (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構.
2007. 3- 近畿圏広域地方計画学識者会議, 委員, 国土交通省.
2007. 4- 神戸市公園緑地審議会, 委員, 神戸市.
2007. 4- 神戸市公園緑地審議会運営部会, 部会長, 神戸市.
2007. 4- 兵庫県立淡路景観園芸学校有識者検討委員会, 委員長, 兵庫県立淡路景観園芸学校.
2007. 4- 機関誌「公園緑地」編集委員会, 委員, (財) 日本公園緑地協会.
2007. 4- 県民意識調査懇談会, 委員, 兵庫県県民政策部.
2007. 4- 新たな「人と自然の博物館基本計画」策定調査業務委託業者選定審査審査委員会, 委員, 兵庫県立人と自然の博物館.
2007. 6- 丹波市恐竜を活かしたまちづくり協議会, 委員, 丹波市.
2007. 6- 西播磨風景づくり支援センター, 登録, 兵庫県西播磨県民局.
2007. 6- 平成 19 年度助成事業審査委員会, 委員, 特定非営利法人しみん基金・こうべ.
2007. 7- 平成 19 年度環境体験丹波地域支援委員会, 委員長, 兵庫県教育委員会丹波教育事務所.
2007. 7- 丹波市今田町アドバイザー派遣.
2007. 7- 丹波恐竜化石にかかる事業連携推進会議, 会長, 県立人と自然の博物館, 丹波県民局, 丹波市.
2007. 8- 兵庫県地域景観計画策定委員会, 委員, 兵庫県県土整備部.
2007. 8- 平成 19 年度環境体験丹波地域支援委員会, 委員長, 兵庫県教育委員会丹波教育事務所.
2007. 9- 名勝再度公園及び再度山永久植生保存地・外国人墓地保存管理計画策定委員会, 委員長, 神戸市建設局・教育委員会.
2007. 9- 西播磨花の郷選定委員会, 委員長, 兵庫県西播磨県民局.
2007. 9- 企業の森づくり調査検討委員会, 委員長, 兵庫県丹波県民局.
2007. 10- 時代潮流研究会-持続可能な地域ユニット会議-, 委員, 兵庫県県民政策部.
2007. 12- 兵庫県立大学景観園芸専門職大学院(仮称)設置準備委員会, 委員長, 兵庫県立大学.)
2007. 12- 風景街道委員会, 委員長, 兵庫県丹波県民局・(財) 兵庫丹波の森協会.
2008. 1- 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会, 委員, 国土交通省豊岡河川国道事務所.
2008. 1- 恐竜を活かしたまちづくり計画調整会議, 委員, 丹波市.
2008. 1- 野生動物保護管理運営協議会, 副会長, 兵庫県農林水産部.
2008. 1- 野生動物保護管理運営協議会, WLM 推進部会, 部会長代行, 兵庫県農林水産部.
2008. 2- 加古川流域委員会設立準備会, 委員長, 国土交通省姫路河川国道事務所.
2008. 4- やしろの森公園運営協議会, 委員, やしろの森公園協会.
2008. 4- 県立淡路景観園芸学校教育研究部主任景観園芸専門員, 兵庫県.
2008. 5- 丹波の森構想評価・検証委員会, 委員長, 兵庫県丹波県民局・(財) 兵庫丹波の森協会.
2008. 6- 生物多様性ひょうご戦略(仮称)検討小委員会, 委員, 兵庫県環境局.

2008. 6- 恐竜を活かしたまちづくりプロジェクトチーム, 座長, 兵庫県丹波県民局.

2008. 6- 質の高い大学教育等推進事業委員会, 審査委員, 独立行政法人日本学術振興会.

2008. 6- 大阪駅北地区2期開発ビジョン企画委員会, 委員, (財) 大阪市都市工学情報センター.

2008. 6- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2008. 6- 農産漁村(ふるさと)地域力発掘支援モデル事業アドバイザー, 全国土地改良事業団体連合会.

2008. 7- 県立但馬ドーム指定管理者候補者選定委員会, 委員長, 兵庫県産業労働部.

2008. 10- 近畿圏広域地方計画学識者会議, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

2008. 10- 三木総合防災公園屋内テニスコートネーミングライツ選定委員会, 委員長, 兵庫県県土整備部.

2008. 10- 豊岡市の公の施設指定管理者選定審査委員会, 委員長, 豊岡市.

2008. 11- 神戸市新神戸ロープウェー再整備等事業者審査委員会, 委員長, 神戸市.

2008. 12- 朝来市生野鉾山の文化的景観調査委員会, 委員, 朝来市.

2008. 12- 丹波竜モニュメント制作コンペ選定委員会, 委員長, 丹波市.

2008. 12- 淡路を舞台とする花の祭典(淡路花博10周年記念事業)(仮称)企画委員会, 委員長, 兵庫県県土整備部.

2008. 12- 「尼崎の森中央緑地海辺エリア整備計画検討委員会」, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2009. 1- 「丹波の森大学」, 学長, (財) 兵庫丹波の森協会.

2009. 2- 「国営明石海峡公園神戸地区基本計画改定委員会」, 委員長, 国土交通省近畿地方整備局国営明石海峡公園事務所.

2009. 2- 県立三木防災公園運営協議会, 会長, 兵庫県北播磨県民局三木土木事務所.

相談・指導助言

来訪者 60 件, 100 名. 電話・FAX 相談 30 件, メール相談 60 件.

藤本 真里, Mari FUJIMOTO

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 助教.
昭和 36 年兵庫県生. 大阪市立大学生活科学部卒. 日本造園学会, 日本都市計画学会, 社会経済システム学会, 環境情報センター等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

■事業推進部

生涯学習推進室(連携・担い手担当)

■タスクフォース

フェスティバルタスクフォースリーダー

恐竜・化石タスクフォースサブリーダー 地域づくり担当

生物多様性タスクフォース 住民参加担当

■研究開発部門

研究促進・総合共同研究推進担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 住民参画型の公園運営に関する研究

2. 住民主導・行政支援型のまちづくり活動支援に関する研究

■共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究ー兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究分担者.

■その他著作

藤本真里(2008)ミツカンよかわビオトープ倶楽部と関係機関の連携. 株式会社ミツカングループ本社受託研究報告書.
藤本真里(2008)清流猪名川を取り戻そう町民運動の新展開. 猪名川町協定報告書.

藤本真里(2008)地域・企業・博物館が育むビオトープーミツカンよかわビオトープ倶楽部の実践. 私の住んでいる地域の魅力調査, (財) ひょうご経済研究所.

藤本真里(2008)パークマネジメントの人材養成に関する研究 その2. 兵庫県阪神北県民局受託研究報告書.

藤本真里(2008)公園運営を担う新たな公ー兵庫県立有馬富士公園における住民参画型公園運営. 日本都市計画学会関西支部だより, 日本都市計画学会関西支部.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 12-2009. 3 丹波市山南町上久下における地域資源写真収集. 丹波市.

2008. 6-2009. 3 佐用町三河地域における地域資源写真収集. 佐用町.

2009. 3 但馬地域(山陰海岸)における地域資源写真収集. 豊岡市他.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤本真里・赤澤宏樹・中瀬・勲・嶽山洋志, 2008. 10, ひとくパークマネジメントゼミ第1回「公園運営の現場から」, 博物館. (17 名)

藤本真里, 2008. 10, ひとくパークマネジメントゼミ第2回「公園運営の主役は住民」, 博物館. (17 名)

中瀬・勲・藤本真里・赤澤宏樹・嶽山洋志, 2008. 11, ひととはくパークマネジメントゼミ第6回「総括討論」, 博物館. (17名)

藤本真里, 2008. 11-12, 「有馬富士公園のしくみ」他, 講師およびセミナー全体の企画・運営, 有馬富士公園公開セミナー'08, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市. (15名)

藤本真里, 2008. 8-12, 「クイズ うんちく博物館」, 博物館. (全2回 43名)

藤本真里, 2008. 11, 「簡単料理教室 味で感じる三田」, 博物館. (21名)

藤本真里, 2009. 3, ありまふじフォーラム, 企画およびコーディネーター, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市. (名)

藤本真里, 2008. 7, 「CCクロ フォーラム」, 講師, CCクロ, 博物館. (10人)

藤本真里, 2009. 1, 「市民グループと指定管理者」, コーディネーター, ありまふじフォーラム事前勉強会, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市. (25人)

館外講演

藤本真里, 2008. 4, 「みんなで育てる公共施設 人と自然の博物館・有馬富士公園から」, 講師, 第12回実践まちづくり道場, 有限会社豊中駅前まちづくり会社, 大阪府豊中市. (15人).

藤本真里, 2008. 5, 「知る・出会う・わかりあう 宝塚のまちづくり」, 講師, 平成21年度 いきいき学舎・フレミラ専門コース「環境・自然コース」, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (30人).

藤本真里, 2008. 5, 「みんなで育てる公共施設」, 講師, 関西大学, 吹田市. (6人)

藤本真里, 2008. 7, 「NPO法人 人と自然の会とひととはく」, 講師, NPO法人 人と自然の会 新人研修, NPO法人 人と自然の会, 博物館. (11人)

藤本真里, 2008. 7, 「住民参画型運営の公園と指定管理者制度」, 講師, NPO日本都市計画家協会 関西支部, 大阪府大阪市. (8人)

藤本真里, 2008. 7, 「ひととはくのシンクタンク機能」, 講師, 阪神北ビジョン委員会, 兵庫県阪神北県民局, 宝塚市. (40人)

藤本真里, 2008. 9, 「清流猪名川をみんなの力で」, 講師, リバグレス猪名川, 猪名川町教育委員会, 猪名川町. (30人)

藤本真里, 2008. 11, 「住民参画型の公園運営」, 講師, 大阪市西淀川区未来わがまち会議, 大阪市西淀川区, 三田市. (30人)

藤本真里, 2009. 1, 「計画づくりのために 一協働のまちづくり(佐用町)ー」, 講師, 佐用町三河地域づくり協議会運営委員研修会, 佐用町南光支所, 佐用町. (40人)

藤本真里, 2009. 3, 「みんなで育てる公共施設 人と自然の博物館・有馬富士公園から」, 講師, 岐阜県立森林文化アカデミー, 三田市. (40人)

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学 (分担)

非常勤講師

2008. 7, 「人と自然の共生」, 兵庫県立大学.

2008. 6, 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

■キャラバン事業

担当

西播磨地域

展示(準備)

佐用町三河地域の古写真収集

セミナー

藤本真里, 2009. 1, 「計画づくりのために 一協働のまちづくり(佐用町)ー」, 講師, 佐用町三河地域づくり協議会運営委員研修会, 佐用町南光支所, 佐用町. (40人)

■ミニ・キャラバン

ふれあいフェスティバル(淡路)

■連携事業

連携グループ等

NPO法人人と自然の会(副担当)

共催事業

2008. 11-12, 有馬富士公園公開セミナー, 兵庫県阪神北県民局(企画・運営, 講師)

2008. 3, ありまふじフォーラム, 兵庫県阪神北県民局(企画・運営, コーディネーター)

■学校教育支援

2008. 9 高校連携セミナー「ひととはくとまちづくり」, 兵庫県立有馬高等学校.

トライやるウィーク

2008. 6. 10-6月13, 上野台, 狭間, 藍, 3名.

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 9-8. 10, 8. 18-8. 23 関西学院大学, 鳥取大学, 京都府立大学, 3名.

■フェスティバル等

2008. 11. 3, ひととはくフェスティバル 総括.

■展示

ミニ企画展

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」. 猪名川町. (30万円)

「ミツカンよかわビオトープ倶楽部と関係機関の連携」. 研究代表者, 株式会社ミツカングループ本社. (75万円)

「パークマネジメントの人材養成に関する研究 その2」. 研究代表者, 兵庫県阪神北県民局. (100万円)

■行政等支援

委員会等 (計23件)

2008. 8 協会施設の運営及び利用促進を図るための指導・助言, (財)兵庫県勤労福祉協会.

2006. 7- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北県民局.

1998. 4- 豊中市まちづくり専門家会議, 委員, 豊中

市.

2001. 8ー 阪神北地域ビジョン委員会, 専門委員, 阪神北県民局
2000. 11ー 千種川圏域清流づくり委員会, アドバイザー, 兵庫県西播磨県民局.
2005. 4ー 篠山チルドレンミュージアム運営委員会, 委員長, 篠山市.
2005. 6ー2009. 5 三木市都市計画審議会, 委員, 三木市.
2003. 4ー 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市.
2007. 6ー 兵庫県生涯学習審議会, 委員, 兵庫県.
2007. 7ー2008. 6 生涯学習プラザ企画運営委員会, 委員, 兵庫県神戸県民局.
2005. 9ー 財団法人しそ森林王国協会, 理事, 財団法人しそ森林王国協会.
2007. 9ー 公園等マネジメント委員会, 委員, (財)兵庫県園芸・公園協会.
2008. 2ー まちづくり憲章策定委員会, 委員, 三田市.
2008. 12ー 兵庫県内水面漁場管理委員会, 委員, 兵庫県.
2008. 8ー (仮称)市民活動・ボランティアセンター設置準備会議, 委員, 姫路市.
2007. 7ー 尼崎の森中央緑地 植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
2008. 6ー 姫路市提案型協働事業審査会, 委員, 姫路市.
2008. 8ー 尼崎市都市公園等指定管理者選定委員会, 委員長, 尼崎市.
2008. 8ー 道づくり地域づくりコンペ審査委員会, 委員, 兵庫県丹波県民局.
2008. 6ー 姫路市市民局市民センター等指定管理者選定委員会, 委員, 姫路市.
2009. 2 第5期阪神北地域ビジョン委員審査会委員, 兵庫県.
2009. 1ー 山陰海岸ジオパーク専門部会兵庫分会, 委員, 兵庫県但馬県民局.
2009. 1ー 高砂市歴史文化基本構想等策定委員会, 委員, 高砂市教育委員会.

相談・指導助言

電話・FAX相談150件, メール相談200件.

赤澤 宏樹, Hiroki AKAZAWA

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画部門 講師.

昭和45年大阪府生. 大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了. 農学博士. 日本造園学会, 日本都市計画学会, 環境情報科学センター, 人間・植物関係学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門 生涯学習推進室

広報・出版支援担当 ひとはく新聞編集担当

■タスクフォース

ファール展推進タスクフォース

国際シンポジウム担当サブリダー, 事務局運営, 報告書作成

生物多様性タスクフォース 景観部分担当

環境学習推進タスクフォース 環境計画担当

情報システム更新タスクフォース 環境計画担当

■研究開発部門

資料・データバンク整備活用担当, 自然・環境情報データ活用

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. コミュニティ・ランドスケープの形成に関する基礎的研究

2. 多自然居住地域におけるまちづくりに関する研究

■共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究ー兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究分担者.

■論文・著書

◎Mayumi Hayashi・Hiroki Akazawa (2008) Changes in the landscape of the city of Ashiya, Hyogo Prefecture as seen from the rivers flowing from the Rokko Mountains -Harmony between people and the natural landscape-, Journal of Landscape Architecture in Asia, Vol. 4

◎藤本真里・赤澤宏樹・鳴海邦碩・中瀬勲(2008)兵庫県立有馬富士公園における住民グループの主体的活動とその継続の要因に関する研究, ランドスケープ研究, Vol. 71(5), 811-816.

赤澤宏樹(2008)まちづくりとコミュニティ〜ランドスケープ研究の動向〜, ランドスケープ研究, 72(1), 57-61.

■その他著作

赤澤宏樹(2009)ARの◎◎◎, あいな里山公園情報, 国営明石海峡公園事務所, 神戸.

◎木本一宏・赤澤宏樹・嶽山洋志・中瀬勲(2008)多自然居住地域での限界集落における集落移転に関する研究. 日本造園学会関西支部研究・事例報告発表要旨集, 日本造園学会関西支部, 39-40.

赤澤宏樹(2008)牛乳パックでカメラを作ろう, サンピアだより, 兵庫県学校厚生会.

■研究発表

◎木本一宏・赤澤宏樹・嶽山洋志・中瀬勲(2008)多自然居住地域での限界集落における集落移転に関する研究. 日本造園学会関西支部大会, ドーンセンター, 大阪市.

赤澤宏樹(2008)公有地のNPOへの信託・暫定利用による緑地空間の創造ーNY/シカゴの事例からー, 日本造園学会関西支部大会, ドーンセンター, 大阪市.

◎藤本真里・赤澤宏樹・鳴海邦碩・中瀬勲(2008)兵庫県立有馬富士公園における住民グループの主体的活動とその継続の

要因に関する研究, 平成 20 年度日本造園学会全国大会, 北海道大学, 北海道.

■学会役員など

日本造園学会, 代議員.

日本造園学会, 平成 18・19 年度造園作品選集刊行委員.

日本造園学会, 論文校閲委員.

日本造園学会, ランドスケープ・マネジメント研究委員会 委員.

日本造園学会関西支部, 幹事.

日本造園学会関西支部大会実行委員会, 委員.

日本造園学会関西支部大会実行委員会作業部会, 委員.

日本造園学会関西支部・みどりの 5 団体合同設計競技事務局, 委員.

情報処理学会, 校閲委員.

環境情報科学センター, 校閲委員.

日本都市計画学会, 校閲委員.

■助成を受けた研究

米国・公園区を事例とした官民協働による地域マネジメント手法に関する研究. 文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者 (金額 110 万円/270 万円).

国営明石海峡公園神戸地区における参画団体群のソーシャルキャピタル形成と利用増進の可能性, 財団法人公園緑地管理財団公募研究, 研究代表者 (60 万円/60 万円).

■海外調査

2008.7 アメリカ・シカゴ市

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.4-2009.3 古写真の収集. 佐用町, 三田市など.

■整理同定担当資料

古写真 (佐用町, 三田市).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎赤澤宏樹, 2008.7, 「カメラをつくって撮影・現像まで (初級編)」, 博物館. (10 名)

◎赤澤宏樹, 2008.8, 「針穴 (ピンホール) カメラをつくって撮影・現像まで (中級編)」, 博物館. (7 名)

◎赤澤宏樹, 2009.3, 「里山でシイタケづくり」, 有馬富士公園. (31 名)

藤本真里・中瀬勲・赤澤宏樹・嶽山洋志, 2008.9, 「ひとはくパークマネジメントゼミ」, 博物館・有馬富士公園・尼崎 21 世紀の森中央緑地・国営明石海峡公園神戸地区. (全 6 回, 120 名)

館外講演

赤澤宏樹, 2008.9, 「21 世紀の森づくりと世界の現状」, 講師, 阪神南地域県民局, アミティホール (25 名)

赤澤宏樹, 2008.8, 「牛乳パックでカメラを作ろう」, 兵庫県学校厚生会「親子で楽しむ夏休み」, 講師, サンピア明石 (60

名).

赤澤宏樹, 2008.11, 「アメリカの公園とコミュニティガーデン」, 兵庫県阪神シニアカレッジ国際理解学科 (50 名)

赤澤宏樹, 2008.11, 「パークマネジメント事例学習ー国営明石海峡公園神戸地区のアクションリサーチからー」, 講師, 兵庫県三田土木事務所, 有馬富士公園 (25 名)

赤澤宏樹, 「アメリカの風景とライフスタイル」, 大阪大学コミュニケーションデザインセンター, アートエリア B 1 (10 名)

赤澤宏樹, 2003.2, 「国営明石海峡公園神戸地区アクションリサーチの成果と今後の活用」, 国営明石海峡公園管理事務所, 藍那公民館 (50 名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学 (分担)

非常勤講師

2005ー 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学, 分担.

2005ー 「中山間地域振興論」, 奈良県立大学.

2005ー 「農業と社会」, 奈良県立大学.

2006ー 「博物館事前実習」, 神戸大学, 分担.

■キャラバン事業

担当

西播磨地域

展示 (準備)

佐用町三河地域の古写真収集

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008.6.10ー6 月 13, 上野台, 狭間, 藍, 3 名.

講師派遣

2008.4-2009.3. 「総合的な学習の時間 (プロジェクト研究)」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校 2 年生 (5 名).

■研修生等の受入

博物館実習

2008.8.9ー8.10, 8.18-8.23 関西学院大学, 鳥取大学, 京都府立大学, 3 名.

■展示

ミニ企画等

2008.12.1ー2009.1.12, トピックス展示「タンスに眠る古写真ー暮らしの風景資料ー」(責任者).

2009.2.15ー2009.4.5, 企画展「共生のひろば展」(分担者).

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計 18 件)

2005.10ー 兵庫県立西武庫公園管理運営協議会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2003.10ー 西武庫公園ネットワーク, アドバイザー, 兵庫県阪神南県民局.

2003.8ー 尼崎 21 世紀の森づくり協議会森部会, アドバイザー, 兵庫県県土整備部.

2004.4ー 尼崎 21 世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.

2004. 4- 尼崎 21 世紀の森づくり協議会森部会鉄工団地小部会, アドバイザー, 兵庫県県土整備部.
2004. 12- 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市.
2005. 1- 国営明石海峡公園「神戸地区」マネジメントプラン検討委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
2005. 4- 国営明石海峡公園「神戸地区」マネジメントプラン検討委員会アクションリサーチ部会, 部会長, 国土交通省近畿地方整備局.
2005. 4- 国営明石海峡公園神戸地区アクションリサーチ, 担当長, 国土交通省近畿地方整備局.
2006. 8- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
2005. 2- 尼崎の森中央緑地植栽勉強会, コーディネーター, 兵庫県阪神南県民局.
2005. 4- 国営明石海峡公園フレンズ, 会長, 国営明石海峡公園事務所.
2006. 8- 西宮市都市景観アドバイザーグループ, 委員, 西宮市.
2006. 4- 芦屋市立総合公園運営計画協議会, 委員, ヘッズグループ (指定管理者)
2006. 8- 芦屋市史編纂委員会専門部会, 委員, 芦屋市教育委員会.
2007. 4- 阪神南地域ビジョン委員会, 委員, 阪神南県民局.
2007. 4- 阪神南地域ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会, 委員, 阪神南県民局.
2009. 3 第 5 回阪神南地域ビジョン委員審査委員会, 委員, 阪神南県民局.

相談・指導助言

来訪者 15 件, 電話・FAX 相談 30 件, メール相談 60 件.

■学会開催等支援

2008. 10 日本造園学会関西支部大会開催. 300 名.

嶽山 洋志, Hiroshi TAKEYAMA

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/生涯学習推進室

研究員

1976 年大阪府生. 大阪府立大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了. 日本造園学会, 日本都市計画学会, 環境情報科学センター, こども環境学会 所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

生涯学習推進室 広報・出版支援担当

■タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース

■研究開発部門

研究環境整備・研究紀要担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 子どもの環境学習および教材開発
2. 子どもの遊び場に関する研究
3. 多自然居住地域の担い手創出に関する研究

■共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究ー兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究分担者.

■論文・著書

◎嶽山洋志・中瀬勲 (2008) プレーパークにおける持続的な組織形態に関する研究ー有馬富士公園あそびの王国における一考察ー. 環境情報科学論文集 22. P411-416.

◎中瀬勲・嶽山洋志・李樹華 (2008) 日本阪神淡路大地震后都市緑地重建の思路と规划设计 (理論と実践). 中国科技核心期刊. Vol. 24/153. P22-29.

嶽山洋志・上甫木昭晴 (2009) 学校ビオトープの空間特性の評価. 5-27. 「検証! 学校ビオトープ」(阪神・都市ビオトープフォーラム編). 大阪公立大学共同出版会.

■その他著作

嶽山洋志 (2008) 都市公園におけるルールづくり, 第 42 回公園緑地講習会テキスト, P5-26.

嶽山洋志 (2008) 天王寺学びのもりの創造, 平成 20 年度近畿国立大学附属学校園 P T A 合同研修会テキスト, P 8-11.

先山徹・高橋 晃・藤本真里・三枝春生・池田忠広・嶽山洋志・佐藤裕司・古谷裕・松原尚志・半田久美子・客野尚志・小林文夫 (2008) 兵庫県丹波市での恐竜発掘における生涯学習と“まちづくり”への支援. 日本地質学会第 115 年学術大会講演要旨集. Vol. 2008, P528.

嶽山洋志・中瀬勲 (2008) 都市公園へのパークスキャンの導入に関する研究ーアメリカサンフランシスコにおける取り組みからの考察ー. 公園管理研究. Vol. 2. P106-111.

嶽山洋志 (2009) 自然環境シミュレーター「ビオトープ」をつくろう!ー活用編ー, PP16.

有田寛之・高橋みどり・先山徹・嶽山洋志 (2009) 恐竜発掘地層ケーキをつくろう!. 55-64. 「科学リテラシー涵養に資する科学系博物館の教育事業の開発・体系化と理論構築中間報告書」. 国立科学博物館.

嶽山洋志 (2009) 兵庫県における集落の現状ー但馬地域ー (118-126), アンケートを通じた危険や不安の把握 (180-185), 多自然居住地域の安全安心の実現方策ー集落意識データ (270-272). 「多自然居住地域における安全安心の実現方策」. 安全安心研究会.

嶽山洋志 (2009) 評価・検証「潤いと安らぎのある地域社会の実現」. 26-32. 「丹波の森構想評価・検証報告書」. 丹波の森構想評価・検証委員会.

■研究発表

嶽山洋志 (2008) 都市公園へのパークスキャンの導入に関する

る研究—アメリカサンフランシスコにおける取り組みからの考察—。第13回(財)公園緑地管理財団技術研究発表会。(財)公園緑地管理財団。

嶽山洋志(2008)プレーパークにおける持続的な組織形態に関する研究—有馬富士公園あそびの王国における—考察—。環境情報科学研究発表会。日本大学。

先山徹・藤本真里・古谷裕・半田久美子・池田忠広・小林文夫・客野尚志・松原尚志・三枝春生・佐藤裕司・高橋 晃・嶽山洋志(2008)丹波恐竜化石に対する博物館の総合的取り組み—地学教育・まちづくりへの適用—。日本地質学会2008年度近畿支部総会・合同例会。兵庫県。

■助成を受けた研究

自然環境シミュレーター『ビオトープ』をつくろう！(Ver-2.0)。子どもゆめ基金, 研究代表者(金額835万円/835万円)。

ビオトープ製作ゲームを用いたバーチャルな体験とリアルなビオトープでの体験学習との一体的学習プログラムの実践とその効果について。笹川科学研究助成, 研究代表者(金額33万円/33万円)。

博物館での「演示」の実施による環境学習効果の研究。文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者。

科学リテラシーの涵養に資する科学系博物館の教育事業の開発・体系化と理論構築。科学技術研究費補助金基盤研究(A), 研究協力者。

■海外調査

2008.6 中国・成都

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

嶽山洋志, 2008.8, 教職員セミナー「ビオトープをつくろう！」講師, 人と自然の博物館。(16名・全2回)

嶽山洋志, 2008.10, 「子どもと自然」講師, 人と自然の博物館。(10名)

嶽山洋志, 2008.11, 「公園の模型をつくろう！」講師, 人と自然の博物館。(20名)

館外講演

嶽山洋志, 2008.10, 「学びのものの可能性」講師, 大阪教育大学教育学部付附属天王寺中高等学校, 中講堂。(100名)

嶽山洋志, 2008.10, 「学校ビオトープの空間特性の評価」講師, 大阪府立大学現代G P シンポジウム, 大阪府立大学。(30名)

嶽山洋志, 2008.8~10, 「幼稚園教諭および保育士のための環境学習」講師, 有馬富士公園。(12名)

嶽山洋志, 2008.8~10, 「幼稚園教諭および保育士のための環境学習」講師, 明石公園。(30名)

嶽山洋志, 2008.11, 「恐竜発掘ケーキをつくろう！」講師, 人と自然の博物館。(7名)

嶽山洋志, 2008.11, 有馬富士公園公開セミナー「都市公園におけるプログラムデザインの手法」講師, 有馬富士公園。

(16名)

嶽山洋志, 2008.11, 第42回公園緑地講習会「都市公園におけるルールづくり」講師, 日本公園緑地協会。(100名)

嶽山洋志, 2008.12, インタープリター養成講座「プログラムづくりの基本」講師, 淡路島公園。(10名)

嶽山洋志, 2009.1, 「幼稚園教諭・保育士環境学習リーダー研修全体研修会」講師, 兵庫県立のじぎく会館。(30名)

嶽山洋志, 2009.2, 平成20年度近畿国立大学附属園PTA合同研修会基調講演「天王寺まなびののりの創造」講師, 都ホテル。(200名)

嶽山洋志, 2009.3, 「丹波の森構想検証フォーラム」パネラー, 丹波の森公苑。(70名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学(分担)

■展示

ミニ企画等

2008.12.1-2009.1.12, トピックス展示「タンスに眠る古写真—暮らしの風景資料—」(分担者)。

2009.2.15-2009.4.5, 企画展「共生のひろば展」(分担者)。

■キャラバン事業

担当

西播磨地域

展示(準備)

佐用町三河地域の古写真収集

セミナー

2008.7 西播磨地域 佐用キャンプ(講師・企画運営)

■地域研究員養成事業

成果発表

2009.2 共生の広場「恐竜発掘ケーキをつくろう!~お菓子を通した学習プログラムの可能性を探る~」, 有田寛之, 高橋みどり, 佐藤大樹, 川本麻代, 小嶋綾子, 古杉理沙子, 鮫島裕子, 古満れんげ, 辰巳萌佑子, 三浦理紗, 松浦考一。(指導・協働)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008.6.10-6月13, 上野台, 狭間, 藍, 3名(責任者)。

学校団体対応

2008.7.10, 兵庫県立大学附属高等学校166名。

■研修生等の受入

博物館実習

2008.8.9-8.10, 8.18-8.23 関西学院大学, 鳥取大学, 京都府立大学, 3名(責任者)。

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 1回, 20名。

■行政等支援

委員会等 (計8件)

2005.3-2009.3.21世紀文明研究委員会, 研究協力者, 阪神・淡路大震災記念協会。

2007.8-。公園等マネジメント委員会, 委員, (財)兵庫県園

芸・公園協会。

2007. 11－. 大阪教育大学附属天王寺中・高校ビオトープ改修会議，委員，大阪教育大学附属天王寺中高支援連合会。

2008. 4－. 丹波の森構想評価・検証委員会総括部会，委員，丹波の森協会。

2008. 4－. 丹波の森 20 年検証まちづくり部会，部会長，丹波の森協会。

2009. 1－. 都市緑化フェアおかやまキッズ緑のまちづくりフォーラム実行委員会，委員，日本造園学会。

2009. 2－. 舞子公園旧木下家住宅及び旧武藤山治邸利活用検討ワーキング部会，メンバー，兵庫県。

2009. 3－. 集落活性化戦略調査ワーキング部会，委員，丹波の森協会。

相談・指導助言

来訪者 20 件

田原 直樹, Naoki TAHARA

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ／企画調整室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 教授。

昭和 28 年福岡県生。大阪大学大学院工学研究科修士課程修了。工学博士。日本造園学会等所属。

＜事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事＞

■マーケティング・マネジメント部門

企画調整室 室長

■研究開発部門

部長代理

＜研究開発＞

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 歴史的緑の研究

2. 環境文化の考察

■共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」，研究分担者。

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究－兵庫県内の都市公園を事例として」，研究分担者。

■論文・著書

◎西阪 玲子，田原 直樹，上甫木 昭春（2008）都市公園における地域資源の存在状況と活用実態に関する研究。ランドスケープ研究，71(5)，41-44。

■研究発表

西阪 玲子，田原 直樹，上甫木 昭春（2008）都市公園における地域資源の存在状況と活用実態に関する研究。日本造

園学会，北海道大学，札幌市。

田原直樹（2008）大学博物館の現在。人間文化研究機構ミニシンポ，国立民族学博物館，吹田市。

田原直樹（2009）兵庫県の博物館事情。日本博物館学会近畿支部研究会，桃山学院大学梅田サテライト，大阪市。

■学会役員など

日本造園学会，校閲委員。

環境情報科学センター学会，校閲委員。

日本都市計画学会，校閲委員。

日本都市計画学会関西支部，幹事・国際交流委員。

日本建築学会，校閲委員。

日本土木学会，校閲委員。

■海外調査

2008. 9 中華人民共和国・香港・深圳

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 5-11 名所写真。伊丹市など。

＜事業推進＞

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

田原直樹，2008. 7-11，「博物館の建物を見るツアー」，博物館。（全 2 回，12 名）

田原直樹，2008. 4，「都市の歩き方・名所編 花の上町台地を歩く」，大阪市。（15 名）

田原直樹，2008. 4，「都市の歩き方・名所編 大阪市玉造・鶴橋界隈を歩く」，大阪市。（15 名）

田原直樹，2008. 4，「都市の歩き方・上級編 名所図会探検倶楽部」，博物館。（5 名）

田原直樹，2008. 10，「都市の歩き方・名所編 神戸市兵庫界隈を歩く」，神戸市。（15 名）

田原直樹，2008. 10，「都市の歩き方・街道編 大阪市八軒屋から熊野古道を歩く」，大阪市。（15 名）

館外講演

田原直樹，2008. 5，「摂津名所図会で解く西宮界隈の今・昔」，歴史探訪クラブ，講師，西宮市立夙川公民館（130 名）

田原直樹，2008. 8，「環境と共生する都市づくり・名所図会に見る二百年前の阪神地域」，現任神職研修会，講師，長田神社（30 名）

田原直樹，2008. 2，中播磨地域ビジョンフォーラム，コーディネータ，兵庫県中播磨県民局（100 名）。

田原直樹，2008. 11，「いなみ野学園 40 周年記念行事パネルディスカッション」，パネリスト，財団法人兵庫県高齢者生きがい創造協会，兵庫県いなみ野学園（200 名）

田原直樹，2008. 11，「まちづくりの事例」，兵庫県いなみ野学園大学院共通講座，講師，兵庫県いなみ野学園（90 名）

田原直樹，2009. 1，「環境と共生する都市をつくる」，まちな寺子屋，講師，兵庫県立大学・兵庫県少子対策本部，人と自然の博物館（20 名）

田原直樹, 2008. 2, 中播磨地域ビジョンフォーラム, パネリスト, 兵庫県中播磨県民局 (100 名).

田原直樹, 2009. 3, 「名所図会にみる江戸期から現在までの植生の変化」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, 姫路市立生涯学習大学校 (80 名)

田原直樹, 2009. 3, 「都市の緑と人とのかかわり」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, 姫路市立生涯学習大学校 (80 名)

田原直樹, 2009. 3, 「環境と共生するまちづくり」, 兵庫県いなみ野学園地域活動指導者養成講座, 講師, 西宮市立夙川公民館 (20 名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生生物学 (主任)

非常勤講師

2008. 4ー2009. 3. 「都市設計論及び演習」, 兵庫県立大学.

■キャラバン事業

担当

西播磨地域

展示 (準備)

佐用町三河地域の古写真収集

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 10ー6 月 13, 上野台, 狭間, 藍, 3 名.

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 9ー8. 10, 8. 18ー8. 23 関西学院大学, 鳥取大学, 京都府立大学, 3 名.

■展示

ミニ企画等

2009. 2. 15ー2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者).

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計 14 件)

2008. 4ー. 揖保川流域委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

2008. 4ー. 兵庫県土地収用事業認定審議会, 委員, 兵庫県.

2008. 4ー. 中播磨地域ビジョン委員会, 専門委員, 兵庫県中播磨県民局.

2008. 4ー. SSH 運営指導委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.

2008. 4ー. 姫路市都市計画審議会, 委員・会長代理, 姫路市.

2008. 4ー. 姫路市景観・広告物審議会, 委員, 姫路市.

2008. 4ー2009. 3. 姫路市総合計画審議会, 委員・分科会長, 姫路市.

2008. 4ー. 加西市都市計画審議会, 会長, 加西市.

2008. 4ー. 三田市環境保全審議会, 会長, 三田市.

2008. 4ー. 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会, 委員, 篠山市.

2008. 4ー. 西はりま天文台公園運営協議会, 委員, 佐用町.

2008. 4ー. 丹波 OB 大学運営委員会, 委員, (財) 丹波の森協会.

2008. 4ー. いなみ野学園大学院, 指導教官, (財) 兵庫県高齢者生きがい創造協会.

2008. 4ー. 兵庫県立大学景観園芸学校専門職大学院 (仮称) 設置準備委員会, 委員, 兵庫県立大学.

相談・指導助言

来訪者 10 件, 20 名. 電話・FAX 相談 2 件, メール相談 3 件.

山崎義人, Yoshito YAMAZAKI

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ/企画調整室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画部門 講師.

昭和 47 年神奈川県生. 早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程・修了. 博士(工学). 日本建築学会, 日本都市計画学会, 農村計画学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門 企画調整室

経営戦略担当, 事業推進担当

生涯学習推進室 広報支援担当

■研究開発部門

研究シンクタンク推進室 研究紀要担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 太平洋沿岸におけるペンタ塗り住宅の実態把握に関する研究
2. ジャワ島中部地震における居住地再建に関する研究
3. 欧州の Spatial Planning と City Region の計画理論に関する研究
4. 多自然居住地域におけるデータベース利用に関する研究
5. 小屋に着目した生業景観の保全に関する研究
6. 元気なむらをつくる技術と政策

■共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究ー兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究分担者.

■論文・著書

◎山崎義人 (2009) 地域を維持・継承する住まい方. 住民主体のまちづくり研究ネットワーク (編), 「住民主体の都市計画」, p224-p232, 学芸出版社.

山崎義人 (2009) まちづくりオーラル・ヒストリーー個々の口伝の人生史を積層させることから社会的文脈を出現させる試みー. 都市計画, No. 277, 35-40.

田中貴宏, 山崎義人, 山口秀文 (2009). 2006 年ジャワ島中部地震後の農村集落における集落復興 GIS データベース作成とその解析ープレンプタン集落を対象としてー, 日本建築学会技術報告集第 15 巻第 29 号, 233-237,

神吉紀世子, 山崎義人, 山本新平 (2008), 西伊豆沿岸漁村に

みる太平洋沿岸ペンキ塗り住宅群の成立時期に関する考察,
日本建築学会第3回住宅系研究論文集, p209-p214
依藤智子, 田原直樹, 客野尚志, 山崎義人 (2008), インドネ
シア・ジャカルタにおける屋外空間の利用実態について,
日本造園学会関西支部

Hidefumi Yamaguchi, Tsutomu Shigemura, Yoshito
Yamazaki, etc (2008), Process and The Support
Institutions for Housing Reconstruction in a Rural
Village After the 2006 Central Java Earthquake, 7th
International Symposium on Architectural Interchange
in Asia

HAYASHI Taizo, HOKUGO Akihiko, SHIGEMURA Tsutomu,
YAMAZAKI Yoshito, etc (2008), A Study on Residents'
Strategy for Housing Reconstruction after 2006 Central
Java Earthquake, The 21st EAROPH World Congress and
Mayors' Caucus

室崎千重, 重村力, 山崎義人 (2008), 一人暮らし高齢者の居
住継続を支える近隣環境に関する研究, 第631
号, p1907-p1914

◎田中貴宏, 山崎義人, 稲地秀介, 山下卓洋, 三笠友洋 (2008),
都市デザインシャレットを支援するGISのあり方に関する
実践研究, GIS-理論と応用, 地理情報システム学会
vol. 16-no. 1, p37-p47

■研究発表

田中貴宏, 山崎義人, 山口秀文 他 (2008) 2006年ジャワ島
中部地震における集落復興過程に関する研究 その1 -
プレンプタン集落における集落復興GISデータベースの作
成とその解析-, 日本建築学会近畿支部研究報告集・第48
号計画系

小野田俊夫, 北後明彦, 山口秀文, 山崎義人他 (2008) 2006
年ジャワ島中部地震における集落復興過程に関する研究
その2 -住宅再建に関するヒアリング調査-, 日本建築学
会近畿支部研究報告集・第48号計画系

山口秀文, 山崎義人, 田中貴宏 (2008) 2006年ジャワ島中部
地震における集落復興過程に関する研究 その3 -地震
前後の建物配置と住まい方, 公共施設・共同空間に着目し
て-, 日本建築学会近畿支部研究報告集・第48号計画系

◎中川和樹, 山崎寿一, 山崎義人 (2008) 都市内の漁村集落
の空間構成と街路パターン -神戸市西部沿岸地域を対象
として-, 日本建築学会近畿支部研究報告集第48号・計画
系

■学会役員など

日本建築学会農村計画委員会, 委員

日本建築学会技術報告集委員会, 委員

日本建築学会農村計画委員会農村居住小委員会, 幹事

日本建築学会農村計画委員会集落共生デザイン小委員会, 委
員

日本建築学会農村計画委員会ルーラルネットWG, 幹事

日本都市計画委員会近畿支部都市計画部会, 委員

日本都市計画委員会近畿支部国際交流委員会, 委員

■助成を受けた研究

口述集積型データベース(LUDS)を用いた自律型景観利用の促
進計画. 文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者(金
額60万円/730万円).

ジャワ島中部地震被災地における居住環境の復興に関する総
合的研究. 文部科学省科学研究費基盤研究(A), 研究分担者
(金額25万円/3,450万円)

小屋に着目した「生業景観」の保全に関する研究, 兵庫県立大
学特別教育研究助成金奨励研究, (

研究代表者), 研究代表者(金額70万円/70万円)

■海外調査

2008.8 中国・香港

2. 資料収集・整理

■資料収集

2009.1-3 企画展関連資料の収集(古写真など). 佐用町,
兵庫県

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館外講演

山崎義人, 2009.1, 「風とむら ~防風林から見えるもの~,
元気なむらをつくる技術と政策研究会, 神戸大学農学部(6
名).

山崎義人, 2008.10, 「商店街・中心市街地復興分科会」, コー
ディネーター, 震災被災地市民サミット, 中越復興市民会議,
えちご川口ホテルサンローラ(20名).

山崎義人, 2008.8, 「居住環境と地域社会の持続への足掛か
り」, 農村の新しいガバナンスが
創る国土, 日本建築学会大会農村計画部門研究協議会,
(100名).

山崎義人他, 2008.8. 「簡易な建築の自力建設を通じた体験学
習-引っ張ってドロー-」, アート臨海学校, 芸術と計画会
議, STUDIO Q2, (10名)

山崎義人, 2008.7. 「縮みゆく時代にモガク, 僕ら」, 大阪市
立大学都市計画研究会, キャンパスポート大阪(50名).

兵庫県立大学・大学院教育

環境文化演習(主任, 指導補助)

修士論文(指導補助)

2008.4.1-2009.3.31, 依藤智子(兵庫県立大学大学院環境人間
学研究科2年), インドネシア・

ジャカルタ郊外におけるテラスを中心にみた屋外空間の利用
実態に関する研究

非常勤講師

2008.7. 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

2008.10- 2009.3 早稲田大学理工学研究所, 客員講師

■キャラバン事業

担当

西播磨地域

展示(準備)

佐用町三河地域の古写真収集

■ミニキャラバン事業

2008. 5, 有馬富士フェスティバル (分担者), 有馬富士公園.

2008. 10, 有馬富士フェスティバル (分担者), 有馬富士公園

2008. 11, ふれあいフェスティバル (分担者), 淡路島

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 10-6 月 13, 上野台, 狭間, 藍, 3 名.

学校団体対応

2008. 11, 高校生 2 年生 (40 名). (ファーブルトーク)

2008. 11-, 兵庫県立大学附属中学プロジェクト学習中学 1 年生. (20 名)

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 9-8. 10, 8. 18-8. 23 関西学院大学, 鳥取大学, 京都府立大学, 3 名.

その他

2008. 4. 1-2009. 3. 31, 藤原圭祐 (神戸大学大学院工学研究科修士課程 2 年), ジャワ島中部

地震被災地に向けた竹造漆喰壁工法の実験建築に関する実践的研究

2008. 4. 1-2009. 3. 31, 木村美樹雄 (早稲田大学大学院理工学研究科修士課程 2 年), 中山間地域における企業による集落環境保全活動に関する研究

2008. 4. 1-2009. 3. 31, 山口泰人 (早稲田大学大学院理工学研究科修士課程 2 年), コミュニティ計画の策定過程における住民自治の萌芽に関する研究

2008. 4. 1-2009. 3. 31, 跡部嵩幸 (早稲田大学理工学部 4 年), 山梨県早川町における都市農村交流の運営上の課題に関する研究

2008. 4. 1-2009. 3. 31, 小野ちれか (早稲田大学理工学部 4 年), 地方都市の中心市街地における空き店舗対策としての屋台村の研究

2008. 4. 1-2009. 3. 31, 矢島拓弥 (早稲田大学理工学部 4 年), 都心部の街路における自転車利用者の注視特性に関する研究

■フェスティバル等

2008. 11 ひとばくフェスティバル, (会場設営/自動車誘導) (分担者).

■展示

企画展

2008. 3, 企画展「共生のひろば展」(分担者).

ミニ企画等

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者).

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計 1 件)

2008. 4-2009. 3. 恐竜化石等を活かしたまちづくりプロジェクト, ワーキンググループ, 委員

相談・指導助言

来訪者 3 件, 3 名. 電話・FAX 相談 2 件, メール相談 1 件.

客野 尚志, Takashi KYAKUNO

都市再生研究グループ/恐竜タスクフォース、マーケティングタスクフォース

主任研究員

昭和 46 年京都府生. 大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了. 博士(工学). 日本建築学会, 日本都市計画学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■恐竜タスクフォース, マーケティングタスクフォース

クリーニングラボ記念式典進行担当、ラボ空間計画諸調整、諸調整業務、事務局運営全般

■研究開発部門

会計担当、予算取りまとめ

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. GIS および人工衛星データを用いた都市環境評価に関する研究

2. 多自然居住地域の安心安全に関する研究

■共同研究

総合共同研究「兵庫県下の中山間地域を対象とした限界集落に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究-兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究分担者.

■論文・著書

©Takashi KYAKUNO (2008) Quantitative Representation of Distribution and Mixture of Urban Land Use Through Spatial Autocorrelation and Information Entropy. Journal of Asian Architecture and Building Engineering, 7 (2), 427-434.

■その他著作

■研究発表

■学会役員など

日本建築学会, 環境工学委員会空間利用データ小委員会・委員.

日本都市計画学会, 査読部会.

日本造園学会, 校閲委員.

日本土木学会景観・デザイン研究論文集, 査読委員.

■助成を受けた研究

フラクタルと自己相関による都市の空間解析とそれに基づく環境評価システムの構築. 文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者 (40 万円/210 万円)

■海外調査

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.10 景観資料. 丹波

＜事業推進＞

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

客野尚志, 2008. 8, 「太陽の力を測ってみよう!」, 博物館.
(13 名)

客野尚志, 2008. 8, 「太陽の力から考える都市と地球」, 博物館.
(17 名)

客野尚志, 2008. 8, 「都市のヒートアイランドー人工衛星から捉えた都市環境」, 博物館. (7 名)

客野尚志, 2008. 8, 「数字で考える地球環境問題 2008」, 博物館. (39 名)

客野尚志, 2008. 9, 「芦屋の景色の温度を測る」, クラーク記念国際高等学校. (120 名)

特注セミナー

客野尚志, 2008. 7, シニア自然大学花組 15 期, 「ヒートアイランド」, 博物館. (64 名).

客野尚志, 2008. 7, 阪神北教育事務所初任者教員研修, 「景色の温度を測る」, 博物館. (54 名).

客野尚志, 2008. 9, 名古屋大学農学国際教育協力研修センター, 「都市計画における GIS の活用」, 博物館. (11 名)

館外講演

客野尚志, 2008. 7 「この暑さどうなってるのー ヒートアイランド問題について考えるー」, 阪神シニアカレッジ, 講師, 宝塚市阪神シニアカレッジ会場(160 名)

客野尚志, 2008. 9 「環境の温度を測ってみよう」, 宝塚市環境リーダー入門講座, 講師, 宝塚市勤労福祉センター (30 名)

非常勤講師

2008. 4-2008. 9 「政策トピック L」, 関西学院大学

2009. 10-2009. 3 「政策課題研究 J」, 関西学院大学

■キャラバン事業

担当

西播磨地域

展示（準備）

佐用町三河地域の古写真収集

セミナー

2008. 7 西播磨地域 佐用キャンプ（講師）

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 10-6 月 13, 上野台, 狭間, 藍, 3 名（分担者）.

学校団体対応

2008. 5 堺塚山学院中学校, 景色の温度を測る(71 名).

2008. 5 海南市立第 2 中学校, 地球環境の今とこれから(53 名).

2008. 8 和歌山県立海南高等学校, 暑くなる都市～都市のヒートアイランド問題について(40 名).

2008. 11 明石市立衣川中学校, 都市の環境を考える(36 名).

2008. 11 神戸市立嵯台小学校, 景色の温度を測る(74 名).

2008. 11 三田市立富士小学校, 地球環境の今とこれから(79

名).

2008. 11 神戸市立多聞南小学校, 地球環境の今とこれから(24 名).

2009. 2 尼崎市立立花北小学校, 地球環境の今とこれから(75 名).

2009. 3 西宮市立東山台小学校, 景色の温度を測ろう(41 名).

講師派遣

2009. 1 三田市立富士小学校, 地球環境に関するコメント (79 名).

遠隔授業

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 9-8. 10, 8. 18-8. 23 関西学院大学, 鳥取大学, 京都府立大学, 3 名（分担者）.

■フェスティバル等

2008. 11 ひとはくフェスティバル, 「ステージ」(分担者).

■展示

ミニ企画等

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 3 回, 15 名.

■行政等支援

委員会等（計 4 件）

2007. 4- 多自然居住地域における安心・安全に関する研究会, 研究力者・事務局, (財) ひょうご 21 世紀震災記念機構 安心安全研究所.

2007. 8- 丹波集落活性化戦略調査委員会ワーキング部会, 部会長, (財) 丹波の森協会.

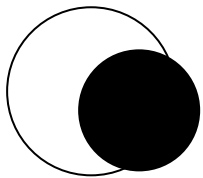
2008. 4-2009. 3 丹波の森構想 20 年検証評価検証委員会, 総括部会長, (財) 丹波の森協会.

2008. 4-2009. 3 丹波の森構想 20 年検証評価検証委員会, 共生社会部会長, (財) 丹波の森協会.

相談・指導助言

来訪者 10 件, 50 名. 電話・FAX 相談 20 件, メール相談 10 件.

2008. 4-2009. 3 丹波の森構想 20 年検証事業について, 指導, 財団法人丹波の森協会.



個人別成果報告に関する資料

No. 5

● 自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／

生物多様性保全研究グループ

服部 保, Tamotsu HATTORI

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／事業推進部門

研究部長／総合調整担当

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 教授。

昭和23年大阪府生。神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了。学術博士。日本生態学会、日本造園学会、植生学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

総合調整担当

■タスクフォース

生物多様性タスクフォース、マーケティングタスクフォース
リーダー

■研究開発部門

部門研究調整担当、会計担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 各種植生の保全・復元・創出に関する研究
2. 森づくりに関する総合的な研究
3. 里山、草原、照葉樹林の生物多様性保全に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」、研究代表者。

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」、研究代表者。

■論文・著書

服部 保・南山典子・松村俊和(2008)北限と上限の照葉樹林の種組成と種多様性の比較。植生学会誌, 25:25-35.

◎石田弘明・戸井可名子・武田義明・服部 保(2008)都市域の孤立化した夏緑二次林における緑化・園芸樹木の逸出状況とその特徴。保全生態学研究, 13:1-16.

◎石田弘明・服部 保・小舘誓治・黒田有寿茂・澤田佳宏・松村俊和・藤木大介(2008)ニホンジカの強度採食下に発達するイワヒメワラビ群落の生態的特性とその緑化への応用。保全生態学研究, 13:137-150.

◎橋本佳延・服部 保・岩切康二・田村和也・黒田有寿茂・澤田佳宏(2008)タケ類天狗巣病による西日本の竹林の衰退。保全生態学研究, 13:151-160.

栃本大介・服部 保・岩切康二・南山典子・澤田佳宏(2008)宮崎県綾町大森岳の照葉樹林における着生植物の種多様性および種組成。植生学会誌, 25:63-72.

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・服部 保(2009)布団籠工の

表層におけるシダ群落の成立とその要因について。ランドスケープ研究, 72(5):493-496.

服部 保(2008)里山の照葉樹林化による種多様性の低下。岩槻邦男＋堂本暁子(編),「温暖化と生物多様性」, 173-181, 築地書館。

◎服部 保・栃本大介(2008)六甲山におけるブナの衰退。岩槻邦男＋堂本暁子(編),「温暖化と生物多様性」, 196-206, 築地書館。

■その他著作

服部 保(2008)生物多様性保全からの植栽計画。環境科学ニュース, 21:1-3.

服部 保(2008)水と植生。水とともに, 2008・5:2.

服部 保(2008)何の葉で包む？あなたの地域のかしわもち。日本自然保護協会ニュース。

服部 保(2008)里山林の将来像。GEO CONSULTANT ANNUAL REPORT, 4:11-12.

◎石田弘明・服部 保(2009)猪名川上流域に分布する絶滅危惧種エドヒガン。pp. 4, 人と自然の博物館, 三田。

◎服部 保(2009)猪名川上流域の里山。ひょうご環境創造協会

服部 保(2009)照葉樹林の多様性。照葉樹林研究フォーラム要旨集, 2-5. てるは森の会。

■研究発表

服部 保・黒田有寿茂・澤田佳宏・南山典子・岩切康二・福井

聡・黒木秀一(2008)照葉人工林の自然性：どの程度まで発達するのか。植生学会第13回大会, 東京農工大学, 府中市。

石田弘明・服部 保・戸井可名子・武田義明(2008)2タイプの孤立林における林床生シダ植物の種数と樹林面積の関係。植生学会第13回大会, 東京農工大学, 府中市。

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・福井 聡・服部 保(2008)屋久島低地部におけるスギ人工林の種組成および多様性とその地域間差異。植生学会第13回大会, 東京農工大学, 府中市。

橋本佳延・岩槻邦男・服部 保・武田義明・黒田有寿茂・澤田佳宏・石田弘明(2008)中国雲南省南部菜陽河自然保護区における照葉樹林のシダ植物の多様性と地形との関係(予報)。植生学会第13回大会, 東京農工大学, 府中市。

黒田有寿茂・石田弘明・橋本佳延・武田義明・田村和也・岩切康二・武素功・岩槻邦男・服部 保(2009)中国雲南省菜陽河自然保護区における照葉樹林とカバノキ科二次林の種組成および種多様性の比較—シダ植物に着目して。第56回日本生態学会, 岩手大学, 盛岡市。

■学会役員など

植生学会 群集に関する検討ワーキング

日本生態学会近畿地区会, 運営委員

■助成を受けた研究

照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C), 研究代表者(金額

143 万円／373 万円)。

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析—中国と日本を対比して—。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B) 海外学術調査、研究分担者(金額 403 万円／1532 万円)。

■賞罰

植生学会 学会賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.4-2009.3 植物および植生景観の映像資料収集。神戸市、宝塚市、尼崎市、姫路市、伊丹市、三田市、川西市、大阪府、鹿児島県、宮崎県、沖縄県。

2008.4-2009.3 照葉樹林の映像資料収集。沖縄県(石垣島)、鹿児島県(種子島、奄美大島)、宮崎県。

■整理同定担当資料

植物および植生景観の映像資料収集、照葉樹林の映像資料収集。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

服部 保, 2008.4, 「博物館セミナー 植物と文化①本当のかしわもちとちまき」, 博物館。(13 名)

服部 保, 2008.5, 「オープンセミナー チガヤとちまき」, 博物館。(7 名)

服部 保, 2008.8, 「教職員セミナー 子どもに教える里地・里山」, 博物館。(56 名)

服部 保, 2008.9, 「博物館セミナー 植物と文化②秋の七種(ななくさ)」, 博物館。(42 名)

服部 保, 2008.4, 「環境大臣会合開催記念シンポジウム講演 日本の里山, そして里山とは」, 人と自然の共生のみちをさぐる, 博物館。(400 名)

服部 保, 2008.4, 「特注セミナー 里山の現状と里山管理の方向」, 新しい風プロジェクト, 博物館。(15 名)。

服部 保, 2008.6, 「特注セミナー 里山」, 武庫川女子大学附属高等学校, 博物館。(36 名)。

服部 保, 2008.7, 「特注セミナー 生物多様性に対する兵庫の取り組み」, 神戸市シルバーカレッジ 生活環境コース, 博物館。(80 名)。

服部 保, 2008.7, 「特注セミナー 里山と湿原の保全」, 宝塚市民環境大学, 博物館。(23 名)。

服部 保, 2008.7, 「特注セミナー 子供に教える里地・里山」, 神戸市立広陵小学校, 博物館。(26 名)。

服部 保, 2008.10, 「オープンセミナー 月見と七種」, 博物館。(15 名)

服部 保, 2008.11, 「特注セミナー 生物多様性とジーンファーム」, 環境プロジェクトあこう, 博物館。(24 名)。

服部 保・他, 2008.12, 「特注セミナー 北摂里山講座 北摂の里山概要」, 博物館。(150 名)。

服部 保・他, 2009.1, 「特注セミナー 北摂里山検定」, 博物館。

(137 名)。

服部 保, 2009.1, 「特注セミナー 尼崎に森を育てる」, 尼崎市立七松小学校, 博物館。(91 名)。

服部 保, 2009.2, 「特注セミナー 川西市の日本一の里山」, 川西市立明峰小学校, 博物館。(142 名)。

館外講演

服部 保, 2008.4, 「指導 川西市多田地区のエドヒガン調査」, 講師, 川西里山クラブ, (30 名)。

服部 保, 2008.4, 「講演 生物種の絶滅と生物多様性」, 講師, 人と植物コース①, 姫路市立生涯学習大学校, (60 名)。

服部 保, 2008.4, 「講演 森林のはたらき:照葉樹林と里山林の保全」, 講師, 神戸市シルバーカレッジ, (80 名)。

服部 保, 2008.4, 「講演 地球温暖化と森林ボランティア」, 講師, 森林ボランティアフォーラム, ひょうご森の倶楽部, (180 名)。

服部 保, 2008.5, 「講演 宝塚の里山を考える」, 講師, いきいき学舎・フレミラ(専門コース), 宝塚市立老人福祉センター, (40 名)。

服部 保, 2008.5, 「見学会 川西市黒川の里山」, 講師, 森林総合研究所関西支所, (15 名)。

服部 保, 2008.5, 「講演 都市山六甲」, 講師, 環境フォーラム IN“神戸”, 兵庫県神戸県民局, (280 名)。

服部 保, 2008.5, 「講演 植物種保全への取り組み①フジバカマ」, 講師, 人と植物コース②, 姫路市立生涯学習大学校, (60 名)。

服部 保, 2008.5, 「講演 西谷地区の豊かな自然(里山の自然)について」, 講師, 宝塚市立西谷小学校, (20 名)。

服部 保, 2008.5, 「講演 森の荒廃・地球温暖化と森林ボランティア」, 講師, 甲山森林・湿原サポーター養成講座, 甲山森林環境センター, (40 名)。

服部 保, 2008.5, 「講演 タマムシの飛ぶ森づくり」, 講師, 猪名川自然林サポータークラブ, (40 名)。

服部 保, 2008.6, 「講演 人と自然の博物館における植物種の保全」, 講師, 人と植物コース④, 姫路市立生涯学習大学校, (60 名)。

服部 保, 2008.6, 「講演 植物種保全への取り組み②外来種対策」, 講師, 人と植物コース③, 姫路市立生涯学習大学校, (60 名)。

服部 保, 2008.6, 「講義 神戸の都市山・六甲山」, 講師, 神戸学, 神戸市看護大学, (100 名)。

服部 保, 2008.6, 「講演 生物多様性に対する兵庫の取り組み」, 生物多様性を考える公開シンポジウム, 生物多様性 JAPAN, (135 名)。

服部 保, 2008.6, 「講演 植物群落とは何か(植生, 群落)」, 講師, 人と植物コース⑤, 姫路市立生涯学習大学校, (60 名)。

服部 保, 2008.7, 「講演 里山」, 講師, 森林ボランティア講座, ひょうご森の倶楽部, (102 名)。

服部 保, 2008.7, 「講演 王朝文学の植物たち」, 講師, 特別講座「王朝文化の輝き」, よみうり天満橋文化センター, (50 名)。

服部 保, 2008.7, 「講演 里山保全と観察」, 講師, 大阪シニア自然大学, (50 名)。

服部 保, 2008.7,「講演 里山の現状と課題」, 講師, 西宮市環境講演会, 西宮市, (130 名).

服部 保, 2008.7,「講演 都市山としての六甲～これからの植生を考える～」, 講師, 阪神大洪水から 70 年 六甲防災フォーラム, 六甲砂防事務所・他, (470 名).

服部 保, 2008.8,「実習 植生調査指導」, 講師, 兵庫みどり公社, (60 名).

服部 保, 2008.8,「講演 里山の現状とこれから」, 講師, 緑化環境部・桜台自治会の学習会, 中山台コミュニティ緑化環境対策部, (56 名).

服部 保, 2008.8,「講演 日本の植生①植生と環境条件」, 講師, 人と植物コース⑨, 姫路市立生涯学習大学校, (60 名).

服部 保, 2008.8,「パネルディスカッション 生物多様性」, 講師, 昆陽池フォーラム, 伊丹市, (180 名).

服部 保, 2008.9,「講演 日本の植生②照葉樹林」, 講師, 人と植物コース⑩, 姫路市立生涯学習大学校, (60 名).

服部 保, 2008.9,「講演 里山再生～里山保全の現状と将来」, 講師, 西播磨高齢者文化大学, 兵庫県西播磨県民局, (70 名).

服部 保, 2008.9,「実習 猪名川上流広域ごみ処理施設地区植生調査指導」, 講師, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合, (4 名).

服部 保, 2008.9,「講演 日本一の里山」, 講師, リバグレス猪名川, (40 名).

服部 保, 2008.9,「講演 森づくりの基礎講座」, 講師, アマフォレストの会, (40 名).

服部 保, 2008.9,「講演 エドヒガンと生物多様性」, 講師, NPO 法人川西再発見, (50 名).

服部 保, 2008.10,「講演 生物多様性と里山」, 講師, 兵庫県立三木東高等学校, (20 名).

服部 保, 2008.10,「講演 里山とは」, 講師, みのお森の学校, (30 名).

服部 保, 2008.10,「講演 石垣と植物」, 講師, 姫路市立城郭研究室市民セミナー, 姫路市立城郭研究室, (150 名).

服部 保, 2008.10,「講演 総合的流域管理に関する勉強会」, 講師, 総合的流域管理に関する勉強会, 国土交通省近畿地方整備局, (30 名).

服部 保, 2008.10,「実習 西宮社家郷山植生管理」, 講師, 生活協同組合コープこうべ, (10 名).

服部 保, 2008.10,「講演 兵庫県における温暖化の生態系への影響」, 講師, 平成 20 年度兵庫県地球温暖化防止活動推進員等研修会, 兵庫県地球温暖化防止活動推進センター, (50 名).

服部 保, 2008.10,「講演 ドングリからの森づくり」, 講師, 林野庁箕面森林環境保全ふれあいセンター, (150 名).

服部 保, 2008.10,「実習 箕面体験学習の森植生調査指導」, 講師, 林野庁箕面森林環境保全ふれあいセンター, (10 名).

服部 保, 2008.11,「実習 外来種を考える会」, 講師, 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会, (40 名).

服部 保, 2008.11,「講演 草原と湿原の保全」, 講師, 人と植物コース⑭, 姫路市立生涯学習大学校, (60 名).

服部 保, 2008.11,「講演 生物多様性と里山」, 講師, 兵庫県立福崎高等学校, (50 名).

服部 保, 2008.11,「講演 里山の意義と社家郷山」, 講師, 生活協同組合コープこうべ, (150 名).

服部 保, 2008.12,「講演 温暖化問題と生物多様性について」, 講師, 21 世紀文明研究セミナー, ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, (60 名).

服部 保, 2008.12,「講演 里山の大切さ, 里山の整備について」, 講師, 「ふれあいの里山」復活大作戦, 明石市, (30 名).

服部 保, 2008.12,「講演 里山の保全①雑木林」, 講師, 人と植物コース⑯, 姫路市立生涯学習大学校, (60 名).

服部 保, 2008.12,「講演 台場クスギとエドヒガン調査」, 講師, 里なび研修会 in 兵庫, 環境省, (55 名).

服部 保, 2009.1,「講演 照葉樹林の多様性」, 講師, 照葉樹林研究フォーラム, 照葉樹林研究フォーラム実行委員会, (80 名).

服部 保, 2009.1,「実習 有馬富士里山管理」, 講師, 緑の環境クラブ, (10 名).

服部 保, 2009.2,「講演 薪の利用が里山に与える影響(里山の変化)」, 講師, 薪のある暮らしセミナー, 兵庫県阪神北県民局, (50 名).

服部 保, 2009.2,「実習 里山管理講習会」, 講師, 緑の環境クラブ, (10 名).

服部 保, 2009.2,「講演 里山と生物多様性」, 講師, 森林動物研究センターシンポジウム, 森林動物研究センター, (120 名).

服部 保, 2009.2,「講演 生物多様性と里山」, 講師, 神戸市私立保育園連盟北ブロック研修会, 神戸市私立保育園連盟北ブロック加盟保育園, (100 名).

服部 保, 2009.3,「講演 植生と文化(万葉集・枕草子の植物群落)」, 講師, 人と植物コース⑳, 姫路市立生涯学習大学校, (60 名).

服部 保, 2009.3,「講演 能勢町(猪名川流域)の本物の里山について」, 講師, にほんの里 100 選記念シンポジウム, 大阪みどりのトラスト協会, (100 名).

兵庫県立大学・大学院教育

2008.5.28, 6.4, 11, 18 植生保全論(大学院)

2008.9.18, 19 共生生物学(分担講義)

ラジオ・テレビ等出演

2009.4.14, 「菊炭」, 朝日放送「NEWSゆう」

2009.3.6, 「里山」, 東海テレビ「スーパーニュース」

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

セミナー担当

2008.12 里なび研修会 in 兵庫(責任者)

■連携事業

共催事業

2008.12, 北摂里山講座, 阪神北県民局(企画・運営・セミナーの実施)

2008.12, 里なび研修会 in 兵庫, 環境省(企画・セミナーの実施)

2009.1, 北摂里山検定, 阪神北県民局(企画・運営)

2. シンクタンク事業

■受託研究

- 「平成20年度オグラコウホネ等管理業務委託」. 兵庫県丹波県民局. 研究代表者(116万円)
- 「シダ類, ラン類の栽培業務」. 財団法人ひょうご環境創造協会. 研究代表者(170万円)
- 「平成20年度尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務」. 兵庫県阪神南県民局. 研究代表者(110万円)
- 「平成20年度自然環境調査補足業務(経年変化調査)」. 三田市. 研究代表者(150万円)
- 「平成20年度川西市北部の里山の現状調査」. 川西市. 研究代表者(200万円)
- 「平成20年度北摂里山検定業務」. 兵庫県阪神北県民局. 研究代表者(50万円)
- 「国道178号道路緑化作業推進業務」. 株式会社長大. 研究代表者(28.6万円)
- 「ウチワゴケ栽培業務」. 株式会社総合技術コンサルタント中国支店. 研究代表者(12万円)
- 「ひょうごの川・自然環境調査に関する分任業務」. 兵庫県県土整備部河川計画室. 研究分担者(450万円)
- 「シカに関する植物調査」. 兵庫県森林動物研究センター. 研究代表者(90万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファーム等の案内, 25回, 97名.

■行政等支援

委員会等 (計60件)

- 1992.7- 国土交通省河川水辺の国勢調査, アドバイザー, 国土交通省近畿地方整備局.
- 1993.7- 一庫ダム河川水辺の国勢調査, アドバイザー, (独)水資源機構.
- 1995.8- 自然環境アドバイザー, アドバイザー, 国土交通省近畿地方整備局.
- 1996.5- 宝塚市環境審議会, 委員, 宝塚市.
- 1996.7- 兵庫県緑化推進協会運営協議会, 委員, (社)兵庫県緑化推進協会.
- 1996.10- 宝塚市文化財審議会, 委員, 宝塚市.
- 1997.9- 兵庫県環境影響評価審査会, 委員, 兵庫県県民生活部.
- 1999.4- 岬町多奈川地区多目的公園計画に係わる土砂採取事業環境監視データ解析検討委員会, 委員, (財)関西空港調査会.
- 2000.10- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北県民局.
- 2001.2- 宝塚市環境影響評価専門委員会, 委員, 宝塚市.
- 2001.9- 自然環境保全基礎調査・植生調査に係わる近畿ブロック調査会議, 委員, 環境省.
- 2002.3- ささやまの森公園運営協議会, 委員, (財)丹波の森協会.
- 2002.7- 玄武洞公園整備事業検討会, 委員, 豊岡市.
- 2002.12- 兵庫県環境審議会, 特別委員, 兵庫県.
- 2003.1- 円山川水系自然再生計画検討委員会, 委員, 近畿地方整備局・兵庫県但馬県民局.
- 2003.3- 円山川流域委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
- 2003.3- ゆめさきの森公園運営協議会, 委員, ゆめさきの森公園運営協議会.
- 2003.3- 一庫ダム水源地域ビジョン策定協議会委員会, 委員, (独)水資源機構.
- 2004.1- 猪名川自然環境委員会, 委員, 国土交通省猪名川河川事務所.
- 2004.3- 神戸地区稀少植物等の保全対策検討会, 委員, 日本緑化センター.
- 2004.11- 国営明石海峡公園 公園事業座談会, 委員, (社)日本公園緑地協会.
- 2005.2- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員長, 兵庫県阪神南県民局.
- 2005.4- 六甲山系グリーンベルト整備事業, 景観アドバイザー, 国土交通省六甲砂防事務所.
- 2005.4-2009.9 近畿地方整備局景観アドバイザー, アドバイザー, 国土交通省近畿地方整備局.
- 2005.6- 猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会, 委員, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合.
- 2005.6- 慶野松原保存管理計画策定委員会, 委員長, 南あわじ市.
- 2005.7- 近畿地方整備局事業評価監視委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
- 2006.2- 生態系保全対策検討委員会, 委員, 兵庫県自然環境保全課.
- 2006.6- 琵琶湖・淀川流域圏再生推進会議, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
- 2006.7-2009.3 昆陽池再生推進委員会, 委員長, 伊丹市.
- 2006.11- 兵庫県河川審議会特別委員会, 委員, 兵庫県土整備部.
- 2006.11- 吹上海岸(吹上浜)環境再生検討委員会, 委員, 兵庫県淡路県民局.
- 2007.1- 野生動物育成林整備にかかる指導・助言, アドバイザー, 兵庫県農林水産部.
- 2007.4- 丹波の森公苑運営委員会, 委員, 兵庫丹波の森協会.
- 2007.6- 六甲山自然保護センター環境学習運営委員会, 委員, 兵庫県神戸県民局.
- 2007.7- 箕面体験学習の森整備事業検討委員会, 委員長, 近畿中国森林管理局.
- 2007.9- 姫路城石垣整備委員会, 特別委員, 姫路市.
- 2007.12- 兵庫県環境審議会・環境基本計画検討小委員会, 委員, 兵庫県.
- 2008.1- 明石市環境審議会, 委員, 明石市.
- 2008.2-2008.6 加古川流域委員会設立準備会議, 委員, 国土交通省姫路河川国道事務所.
- 2008.3-2008.6 地域性在来緑化植物の供給体制整備等に関する検討会, 委員, (財)日本緑化センター.
- 2008.4- やしろの森公園協会評議会, 委員, やしろの森公園協会.

2008.6- 兵庫県環境審議会自然環境部会・生物多様性ひょうご戦略検討小委員会, 委員, 兵庫県.

2008.6- 三木山森林公園指定管理者候補者選定委員会, 委員長, 兵庫県農政環境部.

2008.6- 西宮市甲山自然環境センター指定候補者選定委員会, 委員, 西宮市環境局.

2008.6- 岸田川水系ひょうごの川・自然環境調査, アドバイザー, 兵庫県但馬県民局.

2008.6- 掛保川水系ひょうごの川・自然環境調査, アドバイザー, 兵庫県西播磨県民局.

2008.6- 生物多様性ひょうご戦略検討小委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.

2008.7- 加古川流域委員会, 委員, 国土交通省姫路河川国道事務所.

2008.7- 「災害に強い森づくり」にかかる事業検証委員会, 委員長, 兵庫県農政環境部.

2008.7- 自然環境保全基礎調査・中国四国ブロック調査会議, 委員, 環境省.

2008.8- 東播海岸の環境に関する会:環境部会(仮称), 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

2008.9-2010.3 由良川水系竹田川(黒井川工区)河川整備計画検討委員会, 委員, 兵庫県丹波県民局.

2008.10- 和田山八鹿道路環境事後評価, アドバイザー, 国土交通省豊岡河川国道事務所.

2008.11- 一庫公園管理運営協議会, 委員長, (財)兵庫県園芸・公園協会.

2009.1- 尼崎の森中央緑地海辺エリア整備計画検討委員会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2009.1- 西紀ダム基本設計, アドバイザー, 兵庫県丹波県民局.

2009.1- 六甲山系グリーンベルト樹林整備マニュアル(案)改定検討ワーキング, 委員, 国土交通省六甲砂防事務所.

2009.1- 「コープの森・社家郷山」森林保全活動推進委員会, 委員長, 生活協同組合コープこうべ.

2009.2- 国営明石海峡公園神戸地区基本計画改定委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

相談・指導助言

来訪者 170 件, 430 名. 電話・FAX 相談 100 件, メール相談 150 件.

小舘 誓治, Seiji KODATE

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ

研究員

小舘 誓治, Seiji KODATE

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教.
昭和37年福岡県生. 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了. 学術博士. 日本生態学会, 森林立地学会, 植生学会, 日本ベ

ドロロジー学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■マーケティング・マネジメント部門

企画調整室 副室長, 経営戦略担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 森林群落における植生と土壌に関する研究
2. 環境保全に関する土壌生態学的研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎小舘誓治(2009)六甲山系における砂防堰堤上流側に発達した森林植生とその土壌環境. ランドスケープ研究, 72(5), 905-98.

◎石田弘明・服部 保・小舘誓治・黒田有寿茂・澤田佳宏・松村俊和・藤木大介(2008)ニホンジカの強度採食下に発達するイワヒメワラビ群落の生態的特性とその緑化への応用. 保全生態学研究, 13(2), 137-150.

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

◎小舘誓治(2008)夏期干ばつによる照葉樹林への影響と立地環境. 日本ペドロロジー学会, 筑波大学, つくば市.

◎小舘誓治(2008)砂防堰堤上流部に発達した植物群落とその土壌環境. 植生学会, 東京農工大学, 東京都.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.4-2009.3 植物・植生・景観などの写真撮影・資料収集. 神戸市, 芦屋市など.

■整理同定担当資料

土壌断面映像資料.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

◎小舘誓治, 2008.4, 「ちょっと観察!この植物(春の植物)」, 博物館・深田公園(14名).

小舘誓治, 2008.4, 「特注セミナー 里山とマツ枯れ」, 吹田シニア環境大学同窓会かたりべ会, 博物館(28名).

小舘誓治, 2008.6, 「草本群落の調べ方」, 博物館・深田公園(3名).

小舘誓治, 2008.7, 「特注セミナー 身近な植物の観察の仕方」, 三田市市民センター講座, 博物館・深田公園(15名).

小舘誓治, 2008. 7, 「森と土の観察会」(六甲山編), 六甲山 (6 名).

小舘誓治, 2008. 7, 「特注セミナー 深田公園の植物観察」, シニア自然大学花組 15 期, 博物館・深田公園 (31 名).

小舘誓治, 2008. 8, 夏季教職員セミナー「身近な植物の観察の仕方」, 博物館・深田公園 (46 名).

小舘誓治, 2008. 9, 「森林植生の調べ方」, 有馬富士公園・有馬富士自然学習センター (5 名).

小舘誓治, 2008. 10, 11, 高校連携セミナー (有馬高等学校) 「里山の自然」, 博物館・深田公園 (全 2 回, 87 名).

◎小舘誓治, 2008. 11, 「ちょっと観察! この植物(春の植物)」, 博物館・深田公園 (22 名).

小舘誓治, 2008. 11, 「六甲山「森の植物」観察会(秋)」, 六甲山 (9 名).

館外講演

小舘誓治, 2008. 10, 「六甲山の植生と土壌(秋)」, 平成 20 年度六甲山自然案内人養成研修プログラム入門コース, 六甲山 (28 名).

小舘誓治, 2008. 10, 「役立つ植物と怖い植物」, いきいき学舎 プレミラ 環境・自然コース, 講師, 宝塚市. (27 名).

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

展示作成

2008. 4-5 阪神北地域 ひょうごの里山、日本の里山 (分担者)

■ミニキャラバン事業

セミナー担当

2008. 10 有馬富士フェスティバル・ひとはく ミニキャラバン 自然観察会講師 (植物) (12 名)

■連携事業

連携グループ等

おおばこの会 (アドバイザー)
五葉クラブ (アドバイザー)

成果発表

2009. 2 共生のひろば「小学校 3 年生の自然環境学習をサポートして」, 自然観察サポーターチーム「おおばこの会」(指導・助言)

2009. 2 共生のひろば「マツ枯れ調査をしてみて」, 五葉クラブ (指導・助言)

共催事業

2007. 7 - 8, ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール' 08, ひとはく連携活動グループ

run ♪ run ♪ plaza, 兵庫県立人と自然の博物館・ハチ北高原 (全 5 回; 講師)

2008. 4-5. 「かわいいう春をみつけよう」. run ♪ run ♪ plaza, 深田公園 (全 2 回; 講師)

2008. 5-2009. 3「自然観察サポーターチーム活動への支援事業」. NPO 法人北播磨市民活動支援センター, 小野市他 (全 5 回)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 4, 富士中学校 1 名, ゆりのき台中学校 1 名, 八景中学校 1 名.

学校団体対応

2008. 7 甲南女子高等学校 1 年生 (18 名).

2008. 6 西脇市立芳田小学校 3 年生 (16 名).

2008. 6 尼崎市立成良中学校 2 年生 (74 名).

2008. 9 高砂市立伊保小学校 5 年生 (116 名).

2008. 10 多可町立八千代中学校 1 年生 (83 名).

2008. 10 丹波市立南小学校 3 年生 (40 名).

2009. 3 西宮市立東山台小学校 6 年生 (42 名).

講師派遣

2008. 6, 「生き物観察(春の植物編)」, 講師, 小野市立市場小学校 3 年生 (74 名).

2008. 7, 「夏の植物観察(教職員研修)」, 講師, 神戸市立榎谷小学校他教職員 (53 名).

2008. 11, 「生き物観察(秋の植物編)」, 講師, 小野市立市場小学校 3 年生 (74 名).

2008. 11, 「校庭の樹木調査学習会」, 講師, 高砂市立小学校 5 年生 (117 名).

2008. 11, 「校庭の樹木調べ」, 講師, 三田市立武庫小学校 PTA (10 名).

2008. 12, 「冬の植物観察(教職員研修)」, 講師, 神戸市立榎谷小学校他教職員 (53 名).

■フェスティバル等

2008. 11 ひとはくフェスティバル, 「植物採れ取れビンゴ」(責任者).

■展示

企画展

2009. 2-2009. 3 企画展「共生のひろば展」(分担者).

2. シンクタンク事業

■行政等支援

相談・指導助言

電話・FAX・メール等の相談 35 件.

石田 弘明, Hiroaki ISHIDA

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ/生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 講師.

昭和 46 年兵庫県生. 神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了. 農学博士. 日本生態学会, 植生学会, 植物地理・分類学会, 日本造園学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門 生涯学習推進室

演習フロアサービスマネージャー

■タスクフォース

マーケティングタスクフォース

グローバル・プログラムタスクフォース

フェスティバルタスクフォース

■研究開発部門

研究促進・総合共同研究推進担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

森林群落、特に照葉樹林、ブナ林、里山林の生物多様性とそ
の保全・復元に関する研究

絶滅危惧植物の保全に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」、研
究分担者。

部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および里山林
の生態学的研究」、研究分担者。

■論文・著書

◎石田弘明・戸井可名子・武田義明・服部 保（2008）都市域
の孤立化した夏緑二次林における緑化・園芸樹木の逸出状
況とその特徴。保全生態学研究，13：1-16。

◎石田弘明・服部 保・小舘誓治・黒田有寿茂・澤田佳宏・松
村俊和・藤木大介（2008）ニホンジカの強度採食下に発達
するイワヒメワラビ群落の生態的特性とその緑化への応用。
保全生態学研究，13（2），137-150。

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・服部 保（2009）布団籠工
の表層におけるシダ群落の成立とその要因について。ラン
ドスケープ研究，72（5），493-496。

■その他著作

◎石田弘明（2009）武田尾溪谷の植物と植物群落。宝塚の自然，
23：2-4。宝塚市自然保護協会。

◎石田弘明・服部 保（2009）猪名川上流域に分布する絶滅危
惧種エドヒガン。pp. 4，人と自然の博物館，三田。

◎石田弘明（2009）北摂里山検定を実施しました。ひとはく新
聞 2009 年 3 月 14 日号。

八木 剛・石田弘明・山下治子（2009）イタリアの自然史系ミ
ュージウム（1）。ミュゼ，87：14-17。

■ブログへの情報提供

1 件

■研究発表

石田弘明・服部 保・戸井可名子・武田義明（2008）2 タイ
プの孤立林における林床性シダ植物の種数と樹林面積の関
係。植生学会第 13 回大会，東京農工大学，府中市。

橋本佳延・岩槻邦男・服部 保・武田義明・黒田有寿茂・澤
田佳宏・石田弘明（2008）中国雲南省菜陽河自然保護区に
おける照葉樹林のシダ植物の多様性と地形との関係（予報）。
植生学会第 13 回大会，東京農工大学，府中市。

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・福井 聡・服部 保（2008）

屋久島低地部におけるスギ人工林の種組成および種多様性
とその地域間差異。植生学会第 13 回大会，東京農工大学，
府中市。

石田弘明・黒田有寿茂・武田義明・田村和也・岩切康二・武
素功・岩槻邦男（2009）中国雲南省菜陽河自然保護区にお
けるカバノキ二次林の構造と動態。第 56 回日本生態学会，
岩手大学，盛岡市。

黒田有寿茂・石田弘明・橋本佳延・武田義明・田村和也・岩
切康二・武素功・岩槻邦男・服部 保（2009）中国雲南省
菜陽河自然保護区における照葉樹林とカバノキ科二次林の
種組成および種多様性の比較—シダ植物に着目して。第 56
回日本生態学会，岩手大学，盛岡市。

■学会役員など

植生学会，運営委員。

植生学会，会計幹事。

日本生態学会近畿地区会，運営委員。

日本造園学会，論文査読

■助成を受けた研究

中山間地域における限界集落の増加が生物多様性に与える影
響。平成 20 年度兵庫県立大学特別教育研究助成金，研究
代表者（金額 60 万円）

照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究。日本学
術振興会科学研究費補助金基盤研究（C），研究分担者（分
担金なし／373 万円）。

■海外調査

2008.6 中華人民共和国

2008.8-9 イタリア

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.6-2009.2 植物・植生・景観等に関する写真・標本収集。
川西市，三田市，猪名川町，鹿児島県など。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

石田弘明，2008.5，「初夏の武田尾溪谷で植物を観察しよう」，
武田尾溪谷。（20 名）

石田弘明，2008.5-6，「身近な環境を調査しよう」，祥雲館高
等学校・博物館。（全 3 回，30 名）

石田弘明，2008.5，「身近な植物の名前を覚えよう」，博物館。
（7 名）

石田弘明，2008.7，「オープンセミナー 身近な植物を観察し
よう」，博物館。（22 名）

石田弘明，2008.7-8，「ボルネオジャングルスクール」，博物
館。（23 名）

石田弘明，2008.8，「教職員セミナー 人間の活動による植生
の変化」，博物館。（27 名）

石田弘明，2008.8，「特注セミナー 里山の現状と保全」，博
物館・有馬富士公園。（28 名）

石田弘明, 2008. 8, 「特注セミナー なぜ多くの植物が絶滅に瀕しているのか」, 博物館. (20 名)
石田弘明, 2008. 10, 「秋の武田尾溪谷で植物を観察しよう」, 武田尾溪谷. (14 名)
石田弘明, 2008. 10, 「特注セミナー 里地里山の自然について」, 博物館. (22 名)
石田弘明, 2008. 11, 「オープンセミナー タネを観察しよう」, 博物館. (36 名)
石田弘明, 2008. 12, 「特注セミナー 北摂里山講座 里山の特徵・現状・管理」, 博物館. (150 名)
石田弘明, 2009. 1, 「特注セミナー 北摂里山検定」, 博物館. (137 名)
石田弘明, 2009. 2, 「特注セミナー 里山と生物のつながり」, 博物館. (71 名)

館外講演

石田弘明, 2008. 4, 「山東町の森林」, 講師, 与布土地域自治協議会, 山東町柊木地区公民館 (30 名).
石田弘明, 2008. 6, 「奥山溪谷の植物と植物群落」, 講師, 与布土地域自治協議会, 山東町奥山溪谷 (8 名).
石田弘明, 2008. 8, 「熱帯雨林の自然」, 講師, 平成 20 年度姫路生涯学習大学校, 姫路市立姫路生涯学習大学校 (50 名).
石田弘明, 2008. 9, 「武庫川の植物」, 講師, いきいき学舎・フレミラ (専門コース), 宝塚市立老人福祉センター (26 名).
石田弘明, 2008. 9, 「里山の植物」, 講師, ひょうご環境体験館 (15 名).
石田弘明, 2008. 10, 「孤立林の保全」, 講師, 平成 20 年度姫路生涯学習大学校, 姫路市立姫路生涯学習大学校 (50 名).
石田弘明, 2008. 12 「エドヒガンの調査結果と調査方法」, 講師, 里なび研修会 in 兵庫, 環境省 (55 名).

非常勤講師

2008. 4. 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

ラジオ・テレビ等出演

2008. 11, 「北摂里山検定」, FM 宝塚

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2008. 4-2009. 3 阪神北地域 テーマ「里山林の保全・復元・再生」

展示作成

2008. 4-5 阪神北地域 ひょうごの里山、日本の里山 (責任者)
2008. 11 阪神北地域 猪名川上流域のエドヒガン (責任者)

セミナー担当

2008. 6 阪神北地域 エドヒガン調査研修会 (実施・企画運営)

2008. 12 里なび研修会 in 兵庫 (分担者)

■ミニキャラバン事業

2008. 5, G8 エコフェスタ神戸 (分担者), G8 環境大臣会合神戸実行委員会, 神戸市立中央体育館.

■連携事業

連携グループ等

山東の自然に親しむ会 (主担当)
菊炭友の会 (主担当)

成果発表

2008. 11 黒川里山まつり 「猪名川上流域のエドヒガン」, 菊炭友の会 (指導・協働)

共催事業

2008. 12, 北摂里山講座, 阪神北県民局 (分担者・セミナーの実施)
2008. 12, 里なび研修会 in 兵庫, 環境省 (分担者・セミナーの実施)
2009. 1, 北摂里山検定, 阪神北県民局 (分担者・セミナーの実施)
2009. 1, 自然のたからもの～丹波竜&コウノトリに会おう! ～, NHK 神戸放送局・NHK プラネット近畿・共同通信社・全国地方新聞社連合会・県立コウノトリの郷公園 (分担者)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 5, 富士中学校 1 名, ゆりのき台中学校 1 名, 八景中学校 1 名.

学校団体対応

2008. 8, 「なぜ多くの植物が絶滅に瀕しているのか」, 香川県立観音寺第一高等学校. (20 名)
2008. 10, 「里地里山の自然について」, 香美町立中学校 (22 名)
2009. 2, 「里山と生物のつながり」, 宝塚市立山手台小学校 (71 名)

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 14, 神戸大学発達科学部学生 1 名, 近畿大学農学部学生 1 名.

■フェスティバル等

2008. 11 ひとくフェスティバル (深田公園本部担当).

■展示

企画展

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(責任者).

ミニ企画等

2008. 4. 15-5. 31, トビックス展示「里山復元の取り組みと菊炭」(責任者).
2008. 7. 20-8. 31, 巡回展「バイオメディカル写真展」(責任者).
2009. 3. 20-4. 26, ミニ企画展「第 19 回堀明子詩集『四季の色』展」(責任者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

「平成 20 年度自然環境調査補足業務委託 (経年変化調査)」. 三田市. 分担者 (150 万円)
「平成 20 年度北摂里山検定業務」. 阪神北県民局. 分担者 (50 万円)
「平成 20 年度川西市北部の里山の現状調査」. 川西市. 分担

者 (200 万円)

「シカに関する植物調査」, 兵庫県森林動物研究センター, 分担者 (90 万円)

■行政等支援

委員会等 (計 3 件)

2008. 4ー. MAB 計画委員会, 委員, MAB 国内委員会.

2002. 4ー. 尼崎の森中央緑地整備事業, アドバイザー, 阪神南県民局.

2002. 5ー2003. 3. 野生動物育成林整備事業, アドバイザー, 豊かな森づくり課

相談・指導助言

来訪者 2 件, 2 名. 電話・FAX 相談 3 件, メール相談 4 件.

2008. 6 地域産苗木の栽培, 講師, 阪神南県民局.

2008. 12 BBEC プログラムのカウンターパート研修, 講師, JICA.

橋本 佳延, Yoshinobu HASHIMOTO

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／生涯学習推進室

研究員

昭和 51 年愛知県生. 神戸大学大学院総合人間科学研究科修士課程修了. 学術博士. 日本生態学会, 植生学会, 環境教育学会, 造園学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

生涯学習推進室 連携・担い手養成マネージャー

キャラバン事業総括, 地域研究員養成事業総括, 「共生のひろば」発表会実施総括, 「共生のひろば 第 4 号」編集, 連携事業申請窓口担当

■タスクフォース

生物多様性タスクフォース サブリーダー

生物多様性ひょうご戦略策定委員会事務局運営補助, 館内作業とりまとめ

フェアブル展推進タスクフォース

記念シンポジウムでのミニセミナー講師およびシンポジウム運営補助

フェスティバルタスクフォース

設営準備, 出展者への什器・備品配置作業総括

■研究開発部門

資料・データバンク整備活用担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. タケ類天狗巣病による竹林の衰退に関する研究
2. 半自然草原の生物多様性の再生に関する研究
3. 里山の生物多様性保全に関する研究

4. 外来植物の侵入・定着に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎橋本 佳延・服部 保・岩切 康二・田村 和也・黒田 有寿茂・澤田 佳宏 (2008) タケ類天狗巣病による西日本の竹林の衰退. 保全生態学研究 13 (2), 151-160.

■その他著作

中瀬 勲, 橋本佳延 (2008) 生物多様性ひょうご戦略構想. 生物多様性を考える・生物多様性条約 COP10 に向けて, 生物多様性ジャパン.

◎橋本佳延 (2008) 兵庫県立大学附属中学校との連携活動報告 1 植物の多様性. ひとく新聞 2008 年 9 月 30 日号.

◎橋本佳延 (2008) 生物多様性ひょうご戦略 ただいま策定中!. ひとく新聞 2008 年 12 月 10 日号

■研究発表

橋本佳延, 岩槻邦男, 服部 保, 武田義明, 黒田有寿茂, 澤田佳宏, 石田弘明 (2008) 「中国雲南省南部菜陽河自然保護区における照葉樹林のシダ植物の多様性と地形との関係 (予報)」植生学会, 東京農工大学, 府中市.

◎橋本佳延 (2008) 西日本におけるタケ類天狗巣病の蔓延による竹林衰退の現状. 竹林景観ネットワーク第 3 回研究集会, 島根県大田市.

橋本佳延 (2009) 外来植物の侵入による植物相の地域固有性の喪失. 第 56 回日本生態学会, 岩手県立大学, 岩手県盛岡市.

◎橋本佳延 (2009) 河川敷におけるニセアカシア群落の成立による在来植生形成阻害. 第 56 回日本生態学会, 岩手県立大学, 盛岡市.

黒田有寿茂・石田弘明・橋本佳延・武田義明・田村和也・岩切康二・武素功・岩槻邦男・服部 保 (2009) 中国雲南省菜陽河自然保護区における照葉樹林とカバノキ科二次林の種組成および種多様性の比較—シダ植物に着目して. 第 56 回日本生態学会, 岩手大学, 盛岡市.

■助成を受けた研究

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析—中国と日本を対比して—. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B) 海外学術調査, 研究分担者 (分担金なし/平成 20 年度総額 403 万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4ー2009. 3 里地・里山における植物および植生景観映像資料の収集 (芦屋市, 三田市, 神戸市, 川西市, 南あわじ市, 大阪府, 山口県, 山梨県, 京都府).

■整理同定担当資料

植生映像資料.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

橋本佳延, 2008. 4, 「早春の里山を観察しよう」川西市黒川(21名)

橋本佳延, 2008. 4, 「春の六甲山ハイキング」六甲山(17名)

橋本佳延, 2008. 10, 「秋の六甲山ハイキング」六甲山(7名)

橋本佳延・辻秀之, 2008. 10, 「灘山探検ツアー」淡路夢舞台公園(35名)

橋本佳延, 2008. 11. 15, 12. 6, 「オープンセミナー くるくる回って落ちる種子を観察しよう！」(2回, 66名)

橋本佳延, 2009. 3, 「六甲山系最大のススキ、ネザサ草原、東お多福山の現状」博物館(11名)

橋本佳延, 2009. 1, 「特注セミナー 北摂里山検定」博物館(137名)

館外講演

橋本佳延, 2008. 4, 「生物多様性を目指した里山管理」, 神付産土の森の会, 講師, 神付産土の森(40名)

橋本佳延, 2008. 9, 「東お多福山の生物多様性の再生」, 日本山岳会関西支部・兵庫県山岳連盟, 講師, 芦屋市高座の滝(150名)

橋本佳延, 2008. 10, 「里山観察会」, 川西里山クラブ, 講師, 能勢妙見山(27名)

橋本佳延, 2008. 10, 「竹がひろがる?! 竹が枯れる?!」, 三木市高齢者大学院, 講師, 三木市高齢者大学(49名)

橋本佳延, 2008. 12 「台場クヌギの調査結果と調査方法」, 講師, 里なび研修会 in 兵庫, 環境省(55名)

橋本佳延, 2008. 12, 「西日本におけるタケ類天狗巣病の蔓延による竹林衰退の現状」, シンポジウム「美しい森林づくり・しまね」森づくりの現場から, 講師, 島根県大田市あすてらす3階研修室(20名)

橋本佳延, 2009. 2, 「六甲山最大のススキ、ネザサ草原、東お多福山の現状」, 六甲山魅力再発見市民セミナー, 講師, 六甲山YMCA(30名)

ラジオ・テレビ等出演

2009. 3, 「竹の天狗巣病について」, よみうりテレビ

■キャラバン事業

セミナー担当

2008. 12 里なび研修会 in 兵庫(分担者)

■連携事業

成果発表

2008. 2, 共生の広場 「東お多福山のススキ草原再生を目指して」, プナを植える会。(指導・協働)

協力事業

2008. 5-11 東お多福山一草原の生物多様性保全事業, プナを植える会(主担当)

共催事業

2008. 12, 里なび研修会 in 兵庫, 環境省(分担者・セミナーの実施)

2009. 1, 北摂里山検定, 阪神北県民局(分担者)

■学校教育支援

講師派遣

2008. 4-2009. 2 兵庫県立大学附属中学校との連携授業, 講師, 2年生.(4名).

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 11, 神戸大学発達科学部学生1名, 近畿大学農学部学生1名.

■フェスティバル等

2008. 11 ひとくフェスティバル(運営分担: フェスティバルタスクフォースメンバー)

■展示

企画展

2009. 2. 15-2009. 4. 5, 企画展「共生のひろば展」(分担者).

2. シンクタンク事業

1) 受託研究

「川西市北部の里山の現状調査」. 川西市. 研究分担者(200万円)

■行政等支援

委員会等 (計1件)

2008. 7- ひとくサイエンスクロスオーバーネット運営委員会, 運営委員, 神戸大学.

相談・指導助言

来訪者4件, 4名. 電話・FAX相談11件, メール相談3件.

2008. 4-2009. 3 東お多福山ススキ草原の保全活動に対する助言・指導, プナを植える会.

2008. 12 BBECプログラムのカウンターパート研修, 講師, JICA.

鈴木 武, Takeshi SUZUKI

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ／生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教.

昭和37年千葉県生. 東京大学大学院理学研究科博士課程単位修得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会, 種生物学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門 生涯学習推進室

副室長、広報出版支援担当

■タスクフォース

博物館ネットワーク構築タスクフォース

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 絶滅危惧植物の遺伝子多様性の保全の研究

2. 市民参加による生物分布調査の方法と効果の研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎鈴木武 (2009) 神戸電鉄沿線にちなむ生き物. 神戸電鉄(編)「神鉄ハイキング」, 122-125

■その他著作

◎鈴木武 (2009) 書評「牧野富太郎と神戸」, 神戸新聞 (1月18日).

◎鈴木武 (2009) 書評「発見する楽しみ」, 神戸新聞 (3月9日).

■ブログへの情報提供

15件

■学会役員など

日本植物分類学会, 図書幹事.

兵庫植物同好会, 会計.

兵庫植物誌研究会, 幹事.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008.5-2009.3 アカウキクサ属植物の収集. 南あわじ市、豊岡市、京都府など.

■整理同定担当資料

シダ植物

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

鈴木武, 2008.4, 「ツクシをよく見よう」, 博物館. (18名)

鈴木武, 2008.5, 「タンポポをよく見よう」, 博物館. (24名)

鈴木武, 2008.5, 「酵素多型で調べるタンポポ」, 博物館. (全2回, 12名)

鈴木武, 2008.5, 「武田尾のシダ植物」, JR 福知山線武田尾駅周辺. (17名)

鈴木武, 2008.5, 「武田尾のシダ植物追加版」, JR 福知山線武田尾駅周辺. (16名)

鈴木武, 2008.7, 「神戸市立森林植物園のシダ植物」, 神戸市立森林植物園. (19名)

鈴木武, 2008.7, 「神戸市立森林植物園のシダ植物追加版」, 神戸市立森林植物園. (17名)

鈴木武, 2008.9, 「佐用のシダ植物」, 神戸市立森林植物園. (22名)

鈴木武, 2008.11, 「電子レンジで押し葉しおり作り」, 博物館. (4名)

館外講演

鈴木武, 2008.4, 「六甲山地の生き物」, 西宮市公民館講座、講師, 西宮市塩瀬公民館 (120名)

鈴木武, 2008.4, 「西日本のタンポポ」, タンポポ調査西日本

2010 実行委員会, 講師, 倉敷市立自然史博物館 (35名).

鈴木武, 2008.6, 「シダ植物について」, 阪神シニアカレッジ, 講師, 宝塚ソリオ (80名)

鈴木武, 2008.7, 「六甲山のシダ」, 六甲山自然案内人の会、講師, 六甲山自然保護センター (24名)

鈴木武, 2008.8, 「オオアカウキクサの同定」, 淀川調査プロジェクト、講師, 大阪市立自然史博物館 (18名)

鈴木武, 2008.8, こどもパークレンジャー講座「六甲山の植物」, 六甲山自然保護センターを活用する会, 講師, 六甲山小学校 (20名)

恩地実・鈴木武, 2008.8, 「六甲山のスミスネズミ」, 神戸市立森林植物園, 講師, 神戸市立森林植物園 (15名)

鈴木武, 2008.8, 「絶滅危惧植物の保全ー兵庫県での例」香川自然博物館、講師, マリンウエーブ三豊(85名)

鈴木武, 2008.8, 「香川県絶滅危惧種ウンラン・アッケシソウ・オニバス・アサザを探して」香川自然博物館, 講師, 観音寺市・高松市など(50名)

鈴木武, 2009.2, こどもパークレンジャー講座「六甲山の冬の植物」六甲山自然保護センターを活用する会, 講師, 六甲山小学校 (20名)

鈴木武, 2009.2, 「宝塚のシダ植物」プレミア宝塚, 講師, 宝塚市立老人福祉センター (80名)

鈴木武, 2009.3, 「タンポポとカタツムリの話」明石市立天文科学館, 講師, 明石市立天文科学館 (24名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生 (分担)

非常勤講師

2007.5. 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

ラジオ・テレビ等出演

2008.8, 「大阪城の赤い浮草」MBS ナウ, 毎日放送

2008.9. 「外来アゾラについて」異常気象と生物の大量発生、テレビ朝日

2008.11. 「アゾラについて」ニュースUP, 名古屋テレビ

2009.1. 「赤い浮草、その後」ちんぷいぷい, 毎日放送

2009.1. 「大阪城内堀のアゾラ」NEWS BIZ, テレビ大阪

■ミニキャラバン事業

2008.10, 有馬富士フェスティバル (分担者), 有馬富士公園, 有馬富士公園.

■連携事業

連携グループ等

希少植物研究会 (主担当)

共催事業

2008.9, ファーブル大作戦! in 県立美術館, 兵庫県立美術館 (セミナーの実施)

2009.11, ウィーン静物画展, 兵庫県立美術館 (セミナーの実施)

協力事業

2008.5, G8 エコフェスタ神戸, G8 環境大臣会合神戸実行委員会 (展示制作)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2002. 6. 5 - 6. 8, 富士中学校 1 名, ゆりのき台中学校 1 名, 八景中学校 1 名.

学校団体対応

2008. 4, 京都府立桃山高等学校 1 年生 (40 名)
2008. 11, 福崎町立福崎中学校 1 年生 (120 名)
2009. 2, 京都府立農芸高等学校 1 年生 (20 名)

講師派遣

2009. 2 「六甲山の生き物」, 講師, 神戸市立摩耶小学校 5 年生 (10 人)

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 13, 神戸大学発達科学部学生 1 名, 近畿大学農学部学生 1 名.

■フェスティバル等

2008. 11 ひとつはくフェスティバル, 「ミュージアムワールド」(分担者).

■展示

企画展

2008. 2. 23 - 2003. 8. 20, 企画展「クリプトガミック・ボタニー」(分担者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 2 回, 30 名.

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 10 件, 15 名. 電話・FAX 相談 20 件, メール相談 5 件.

藤井 俊夫, Toshio FUJII

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ／環境学習推進室

主任研究員

昭和 39 年香川県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 理学修士. 日本生態学会, 日本植物分類学会, 日本熱帯生態学会, 植生史学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■事業推進部門

環境学習推進事業室

■タスクフォース

環境学習推進タスクフォース

■研究開発部門

研究環境整備・研究紀要 M

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. ベニバナヤマシャクヤクの個体群構造の研究

2. クリンソウ自生地の研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■その他著作

藤井俊夫 (2008) 大和川下流部の植物相, 自然史研究, 3 (9): 137-142. 大阪市立自然史博物館.

藤井俊夫 (2008) 深田公園の植物相. 人と自然, 19: 135-142.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-2009. 3 植物標本の収集. 三田市, 大阪市など.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤井俊夫, 2008. 4, 「植物観察会(春の福島大池)」, 有馬富士公園. (15 名)

藤井俊夫, 2008. 5, 「植物観察会(春の虚空蔵山)」, 虚空蔵山. (14 名)

藤井俊夫, 2008. 10, 「植物観察会(秋の虚空蔵山)」, 虚空蔵山. (9 名)

藤井俊夫, 2009. 3, 「咲くやこの花館観察会」, 咲くやこの花館 (16 名)

藤井俊夫, 2009. 3, 「春日山原始林観察会」, 奈良春日山 (? 名)

館外講演

藤井俊夫, 2008. 4 「市民植物観察会」下見, 講師, 人と自然の会, (10 名)

藤井俊夫, 2008. 5 「山菜を食べる会」, モクモクの会, 講師, 生涯学習センター (10 名)

藤井俊夫, 2008. 8 「武庫川の自然観察会」, 宝塚自然保護協会, 講師, (20 名)

藤井俊夫・足立勲, 2008. 9 「鳴く虫観察会」ささやまの森公園, 講師, (20 名)

藤井俊夫, 2008. 9 「妙高山自然観察会」, 講師, 篠山自然の会, 講師, (20 名)

藤井俊夫, 2008. 10 「四国カルスト観察会」, 篠山自然の会, 講師, (30 名)

藤井俊夫, 2009. 2, 「ささやまのクリンソウ」, ささやまのクリンソウを守る会, 講師, みたけ会館 (120 名).

■ミニキャラバン事業

主担当

2008. 10 阪神北地区 テーマ「ひとつはくファープル in 有馬富士」

セミナー担当

2008. 10 植物観察会「ひとつはく博士と歩く有馬富士」(講師・企画運営)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 3 - 6. 6, ゆりのき台中学校, 八景中学校, 富士中学校, 計3名.

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8. 11 - 8. 14, 神戸大学発達科学部学生1名, 近畿大学農学部学生1名.

2. シンクタンク事業

相談・指導助言

来訪者90件, 140名. 電話・FAX相談60件, メール相談30件.

黒田 有寿茂, Asumo KURODA

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ／研究・シンクタンク推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教.

昭和53年愛知県生. 広島大学大学院理学研究科博士課程修了. 博士(理学). 日本生態学会, 植生学会, 日本造園学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

■タスクフォース

グローバルプログラムタスクフォース

情報システム更新タスクフォース

■研究開発部門 研究・シンクタンク推進室

ジーンバンク活用マネージャー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 二次林・人工林における生物多様性保全に関する研究
2. 希少植物の種生態に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・服部 保(2009) 布団籠工の表層におけるシダ群落の成立とその要因について. ランドスケープ研究, 72 (5), 493-496.

◎石田弘明・服部 保・小館誓治・黒田有寿茂・澤田佳宏・松村俊和・藤木大介(2008) ニホンジカの強度採食下に発達するイワヒメワラビ群落の生態的特性とその緑化への応用. 保全生態学研究, 13 (2), 137-150.

◎橋本佳延・服部 保・岩切康二・田村和也・黒田有寿茂・澤田佳宏(2008) タケ類天狗巢病による西日本の竹林の衰退. 保全生態学研究, 13 (2), 151-160.

■研究発表

黒田有寿茂・服部 保(2008) 木製ブロック法留工の施工地におけるシダ群落の成立とその緑化への応用. 日本造園学会全国大会, 北海道大学, 札幌市.

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・福井 聡・服部 保(2008) 屋久島低地部におけるスギ人工林の種組成および種多様性とその地域間差異. 植生学会第13回大会, 東京農工大学, 府中市.

黒田有寿茂・石田弘明・橋本佳延・武田義明・田村和也・岩切康二・武素功・岩槻邦男・服部 保(2009) 中国雲南省菜陽河自然保護区における照葉樹林とカバノキ科二次林の種組成および種多様性の比較—シダ植物に着目して—. 第56回日本生態学会, 岩手大学, 盛岡市.

服部 保・黒田有寿茂・澤田佳宏・南山典子・岩切康二・福井 聡・黒木秀一(2008) 照葉人工林の自然性はどの程度まで発達するのか. 植生学会第13回大会, 東京農工大学, 府中市.

橋本佳延・岩槻邦男・服部 保・武田義明・黒田有寿茂・澤田佳宏・石田弘明(2008) 中国雲南省南部菜陽河自然保護区における照葉樹林のシダ植物の多様性と地形との関係. 植生学会第13回大会, 東京農工大学, 府中市.

石田弘明・黒田有寿茂・武田義明・田村和也・岩切康二・武素功・岩槻邦男(2009) 中国雲南省菜陽河自然保護区におけるカバノキ二次林の構造と動態. 第56回日本生態学会, 岩手大学, 盛岡市.

■海外調査

2008. 6 中華人民共和国・雲南省

■賞罰

植生学会第13回大会 ポスター発表賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

2008. 4-2009. 3 植物および植生の映像資料収集. 神戸市, 川西市, 養父市, 三田市, 篠山市, 芦屋市, 猪名川町, 大阪府, 鹿児島県.

■整理同定担当資料

ジーンファーム受入植物.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

黒田有寿茂, 2008. 4, 「気ままに植物ウォッチング①〜イヤガ谷東尾根〜」, 神戸市北区イヤガ谷東尾根周辺. (2回, 31名)

黒田有寿茂, 2008. 5, 「気ままに植物ウォッチング②〜鎌倉峡〜」, 神戸市北区鎌倉峡周辺. (1回, 24名)

黒田有寿茂, 2008. 5, 「オープンセミナー 鳴らそう草笛」,

博物館。(1回, 35名)

黒田有寿茂, 2008. 10, 「気ままに植物ウォッチング③〜天下辻〜」, 神戸市北区天下辻周辺。(1回, 20名)

黒田有寿茂, 2008. 10, 「オープンセミナー 鳴らそう草笛」, 博物館。(1回, 25名)

黒田有寿茂, 2008. 11, 「気ままに植物ウォッチング④〜六甲山紅葉谷〜」, 神戸市北区六甲山紅葉谷周辺。(1回, 20名)

黒田有寿茂, 2008. 12, 「特注セミナー 北摂里山講座 猪名川上流域の里山」, 博物館。(150名)

黒田有寿茂, 2009. 1, 「特注セミナー 北摂里山検定」, 博物館。(137名)

館外講演

黒田有寿茂, 2009. 2, 「植生調査について」, エコウイングあかし, 講師, 明石市金ヶ崎公園 (20名)。

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

展示作成

2008. 4-5 阪神北地域 ひょうごの里山、日本の里山 (分担者)

セミナー担当

2008. 6 阪神北地域 エドヒガン調査研修会 (分担者)

2008. 12 里なび研修会 in 兵庫 (分担者)

■連携事業

連携グループ等

菊炭友の会 (アドバイザー (副))

成果発表

2009. 2 共生の広場 「親と子の環境教育」, きららの森 (指導)

共催事業

2008. 12, 北摂里山講座, 阪神北県民局 (分担者・セミナーの実施)

2008. 12, 里なび研修会 in 兵庫, 環境省 (分担者)

2009. 1, 北摂里山検定, 阪神北県民局 (分担者)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2008. 6. 3-6. 6, 富士中学校 1 名, ゆりのき台中学校 1 名, 八景中学校 1 名。

2008. 11. 11-11. 14, 北神戸中学校 3 名。

学校団体対応

2008. 4, 兵庫県立大学附属中学校 (40 名)。

2008. 4, 淡路景観園芸学校 (19 名)。

2008. 7, NPO 法人シニア自然大学 (33 名)。

2008. 10, 神戸市立大池小学校 (75 名)。

2008. 11, 兵庫県立大学附属中学校 (25 名)。

講師派遣

2008. 10. 「森と里山の話」, 講師, 雲雀丘学園中学校 1 年生 (160 名)。

■研修生等の受入

博物館実習

2008. 8, 神戸大学発達科学部学生 1 名, 近畿大学農学部学生 1 名。

■フェスティバル等

2008. 11 ひとくフェスティバル, 「植物採れ取れビンゴ」 (分担者)。

■展示

ミニ企画等

2008. 4. 15-5. 31, トピックス展示「里山復元の取り組みと菊炭」 (分担者)。

2. シンクタンク事業

■受託研究

「平成 20 年度オグラコウホネ等管理業務委託」, 兵庫県丹波県民局, 研究分担者 (116 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファームの案内, 7 回, 156 名

■行政等支援

相談・指導助言

電話・FAX 相談 1 件, メール相談 1 件。

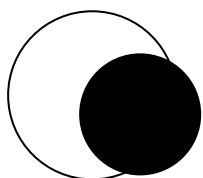
2008. 12 BBEC プログラムのカウンターパート研修, 講師, JICA。

			研究開発																
			調査研究																
			特別課題研究	共同研究（総合）	共同研究（部門）	論文・著書		そのほか著作		ブログへの情報提供	研究発表		学会役員など	助成を受けた研究			海外調査	受賞等	
研究員氏名 （掲載順）	博物館	大学	テーマ数	参画数	参画数	第一著者件数	第一著者以外の件数	第一著者件数	第一著者以外の件数	件数	第一著者件数	第一著者以外の件数	件数	代表		分担	回数	件数	
														件数	（万総円額）	件数			
小林文夫	主任研究員	教授	3	1	1	4	1	1	0	0	1	3	5	1	340	0	1	0	
佐藤裕司	主任研究員	教授	3	1	1	1	0	2	1	1	0	6	1	0	0	0	0	0	
先山 徹	主任研究員	助教授	3	1	1	0	0	3	0	0	3	1	2	1	170	0	0	0	
加藤茂弘	主任研究員		3	1	1	2	1	2	1	1	2	8	4	1	340	2	2	0	
古谷 裕	主任研究員	助教授	2	1	1	0	1	2	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	
三枝春夫	研究員	助手	2	1	1	3	2	2	0	0	4	4	2	1	1481	0	1	0	
半田久美子	主任研究員		2	1	1	0	1	1	0	1	1	3	1	0	0	0	0	0	
松原尚志	主任研究員		3	1	1	2	3	3	2	0	2	6	1	0	0	1	0	0	
池田忠弘	研究員		2	1	1	0	1	1	1	0	2	4	0	0	0	1	1	0	
橋本佳明	主任研究員	助教授	4	1	1	0	0	7	0	0	1	0	4	1	487	1	2	0	
沢田佳久	研究員	助手	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	
八木 剛	主任研究員		2	1	0	0	1	1	0	15	0	2	1	1	350	0	1	0	
高橋 晃	研究部長	教授	3	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	
秋山弘之	主任研究員	助教授	3	1	1	3	2	0	0	3	2	1	2	1	80	0	2	0	
高野温子	主任研究員		2	1	1	0	1	0	2	0	0	1	1	1	310	0	1	0	
布施静香	研究員		4	1	1	0	0	0	2	2	0	1	3	1	251	1	0	0	
福田知子	研究員		1	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
山本伸子	研究員		1	0	0	0	3	1	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	
江崎保男	研究部長/研究員	教授	2	1	1	2	0	6	1	0	0	3	5	2	140	0	0	0	
田中哲夫	主任研究員	助教授	4	1	1	1	0	5	0	1	2	0	1	1	480	0	0	0	
三橋弘宗	主任研究員		2	1	1	0	4	1	15	8	1	8	4	1	400	0	0	1	
大谷 剛	主任研究員	教授	3	1	0	2	0	1	0	0	4	0	1	1	210	0	0	0	
三谷雅純	主任研究員	助教授	3	1	0	2	0	40	0	0	1	2	3	1	12.6	1	1	0	
遠藤菜緒子	研究員		2	1	1	0	1	1	0	8	2	1	0	0	0	1	0	0	
田口勇輝	研究員		0	1	0	1	0	2	0	38	3	0	0	0	0	0	0	0	
中瀬 勲	副館長/主任研究員	教授/副館長	2	1	1	4	2	11	1	0	1	1	28	0	0	4	2	0	
藤本真里	研究員	助手	2	1	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
赤澤宏樹	研究員	講師	2	1	1	1	2	2	1	0	1	2	11	2	330	0	1	0	
嶽山洋志	研究員		3	1	1	2	1	6	2	0	2	1	0	2	868	2	1	0	
田原直樹	主任研究員	教授	2	1	1	0	1	0	0	0	2	1	6	0	0	0	1	0	
山崎義人	研究員		6	1	1	2	7	0	0	0	0	4	7	1	70	2	1	0	
服部 保	研究部長	教授	3	1	1	3	5	6	1	0	1	4	2	1	373	1	0	1	
石田弘明	研究員	講師	2	1	1	2	1	3	1	1	2	3	4	1	60	1	2	0	
小舘誓治	研究員	助手	2	1	1	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	
橋本佳延	研究員		4	1	1	1	0	2	1	0	4	1	0	0	0	1	0	0	
鈴木 武	研究員	助教	2	1	1	1	0	2	0	15	0	0	3	0	0	0	0	0	
黒田有寿茂	研究員	助手	2	1	1	1	2	0	0	0	3	3	0	0	0	0	1	1	
藤井俊夫	研究員		2	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計			94	37	32	43	44	121	33	98	53	79	103	22	6752.6	21	23		

研究開発				生涯学習																						
資料収集・整理				セミナー											キャラバン事業											
資料収集	資料受贈	資料貸出・借用・譲渡	整理同定担当資料	館主催				館内特注セミナー				館外公演			非常勤講師	兵庫県立大学・大学院教育	兵庫県立大学付属中学校	ラジオ・TV出演等	主担当	副担当	展示作成	リサーチプロジェクト	セミナー担当	成果発表	ミニキャラバン事業	
				実施の有無	担当件数	担当件数	担当の有無	責任者		分担者		件数	のべ受講者数	件数											のべ受講者数	件数
件数	のべ受講者数	件数	のべ受講者数																							
有	0	0	有	5	243	0	0	0	0	6	190	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
有	0	0	有	2	141	2	78	0	0	6	465	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
有	0	0	有	15	821	1	17	0	0	18	773	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
有	0	0	有	6	354	2	186	0	0	7	658	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
有	0	0	有	6	177	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
有	0	0	有	12	642	0	0	0	0	22	5252	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
有	0	0	有	7	322	0	0	0	0	3	58	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	
有	2	0	有	5	542	0	0	0	0	2	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
有	0	0	有	10	571	0	0	0	0	3	220	0	0	0	5	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	
有	0	0	有	10	494	1	40	0	0	3	330	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
有	4	0	有	9	70	0	0	0	0	2	35	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
有	0	0	有	6	?	0	0	0	0	2	223	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
有	6	0	有	10	391	3	207	0	0	2	47	2	3	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	
有	0	0	有	4	60	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
有	1	0	有	0	0	1	85	0	0	1	30	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
有	1	0	有	4	259	3	35	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無	0	0	有	1	9	6	287	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
有	0	0	有	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
有	0	0	有	3	53	0	0	0	0	15	2049	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
有	1	0	有	2	81	0	0	0	0	6	202	5	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	
有	2	0	有	7	385	0	0	0	0	19	1120		3	0	1	1	0	0	0	4	2	0	1	1	0	
有	1	0	0	13	938	0	0	4	217	17	659	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
有	0	0	0	4	55	0	0	0	0	3	90	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
有	0	0	有	4	46	0	0	0	0	3	75	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	
0	0	0	有	3	165	0	0	0	0	5	105	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無	0	0	無	1	200	1	120	0	0	48	6812	3	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	
有	0	0	無	8	148	1	17	0	0	10	250	2	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	
有	0	0	有	3	48	1	120	0	0	6	220	4	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
無	0	0	無	3	46	0	0	0	0	11	475	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	
有	0	0	無	6	77	0	0	0	0	10	850	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
有	0	0	無	0	0	0	0	0	0	5	186	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	
有	0	0	有	16	1257	0	0	0	0	55	4107	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
有	0	0	無	14	607	0	0	0	0	7	234	1	0	0	1	1	0	2	2	0	0	0	0	1	0	
有	0	0	有	11	266	0	0	0	0	2	55	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
有	0	0	有	7	294	0	0	0	0	7	371	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
有	0	0	有	9	149	0	0	0	0	12	571	1	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
有	0	0	有	8	442	0	0	0	0	1	20	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	
有	0	0	無	5	54	0	0	0	0	7	230	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	
	18	0		239	10407	22	1192	4	217	326	27002	36	37	1	21	9	14	14	3	15	2	8	13			

			生涯学習事業												
			連携事業				学校教育支援				研修生等の受入			イベント	
			連携グループ	共催事業	協力事業	成果発表	トライやるウィーク	学校団体対応		講師派遣		博物館実習	卒論生など	そのほか	フェスティバル等の実施
研究員氏名	博物館	役職	件数	件数	件数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	受講生徒数	受入人数	受入人数	実施件数
小林文夫	主任研究員	教授	0	0	0	0	0	0	0	1	40	0	2	0	0
佐藤裕司	主任研究員	教授	0	0	0	1	2	4	263	2	166	0	4	0	1
先山 徹	主任研究員	助教授	0	4	2	0	0	1	38	2	349	2	0	0	0
加藤茂弘	主任研究員	主任研究員	2	3	1	0	3	3	89	1	40	2	3	0	1
古谷 裕	主任研究員	助教授	1	2	2	0	3	7	368	8	101	0	0	0	0
三枝春夫	研究員	助手	1	2	1	0	3	1	159	0	0	0	0	0	0
半田久美子	主任研究員	主任研究員	0	2	0	0	5	5	218	1	70	0	1	0	1
松原尚志	主任研究員	主任研究員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
池田忠弘	研究員	研究員	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0
橋本佳明	主任研究員	助教授	0	0	0	0	0	23	2125	1	79	0	0	0	0
沢田佳久	研究員	助手	0	0	0	0	3	24	0	0	0	0	0	0	0
八木 剛	主任研究員	主任研究員	6	8	0	6	0	27	1946	9	131	0	0	0	1
高橋 晃	研究部長	教授	1	0	1	5	0	3	388	1	3	0	0	4	0
秋山弘之	主任研究員	助教授	3	0	0	0	0	2	50	0	0	0	0	0	0
高野温子	主任研究員	主任研究員	0	0	0	0	0	1	80	0	0	0	0	3	0
布施静香	研究員	研究員	0	0	0	0	0	4	77	0	0	0	1	0	0
福田知子	研究員	研究員	0	0	0	0	0	3	108	0	0	0	0	1	0
山本伸子	研究員	研究員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
江崎保男	研究部長/研究員	教授	0	0	0	2	0	3	40	0	0	0	5	6	1
田中哲夫	主任研究員	助教授	0	1	0	3	0	4	89	1	16	2	0	0	0
三橋弘宗	主任研究員	講師	6	0	1	5	0	5	275	9	310	0	4	0	1
大谷 剛	主任研究員	教授	5	7	2	3	3	15	1183	3	209	0	0	0	0
三谷雅純	主任研究員	助教授	1	0	0	0	0	5	170	0	0	0	0	0	4
遠藤菜緒子	研究員	研究員	0	0	0	0	0	2	247	1	47	0	0	0	0
田口勇輝	研究員	研究員	0	0	0	0	0	1	20	3	105	0	0	0	0
中瀬 勲	副館長/主任研究員	教授/副館長	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	1
藤本真里	研究員	助手	1	2	0	0	3	1	?	0	0	0	0	0	1
赤澤宏樹	研究員	講師	0	0	0	0	3	0	0	1	5	3	0	0	0
嶽山洋志	研究員	研究員	0	0	0	1	3	1	166	0	0	3	0	0	0
田原直樹	主任研究員	教授	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0
山崎義人	研究員	研究員	0	0	0	0	3	2	60	0	0	3	0	6	1
服部 保	研究部長	教授	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石田弘明	研究員	講師	2	4	0	1	3	3	113	0	0	2	0	0	1
小舘誓治	研究員	助手	2	4	0	2	3	7	389	6	381	0	0	0	1
橋本佳延	研究員	研究員	0	2	0	1	0	0	0	1	4	2	0	0	1
鈴木 武	研究員	助手	1	2	1	0	3	3	180	1	10	2	0	0	1
黒田有寿茂	研究員	助手	1	3	0	1	6	5	192	1	160	2	0	0	1
藤井俊夫	研究員	主任研究員	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0
合計			29	36	5	30	42	144	7898	53	1460	27	10	20	19

生涯学習事業						シンクタンク事業										
展示作成・実施						受託研究			収蔵庫・ジーンファームの公開		行政等支援				学会開催等支援	
常設展 （映像資料作成を含む）	企画展		ミニ企画展等		委員会など						相談・指導助言 （来訪者）	相談・指導助言 （TEL・FAX・メール等）				
	主担当件数	分担件数	主担当件数	分担件数									件数	受託金額 （万円）		件数
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	10	10	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5	2	16	27	21	0
1	0	0	0	0	0	1	170	0	0	0	5	8		10	1	1
0	0	0	1	0	1	0	0	1	6	19	2	17	40	80	2	2
0	0	1	1	0	0	0	0	1	4	29	0	10	15	10	0	0
0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1		0	1	1
0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	20	30	11	0	0
0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	1
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	1	1
0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	10	?	30	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	50	2	10	?	0	3	3
0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	80	3	?	0	11	0	0
0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	38	1	4	7	2	0	0
0	0	0	1	1	0	0	0	0	14	93	1	3	5	7	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	46	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	?	?	?	2	8	14	50	220	20	0	0
0	0	0	0	1	0	1	70	0	3	8	9	30	100	50	0	0
0	0	1	1	1	0	1	450	0	10	20	19	85	120	75	0	0
0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	5	8	31	1	1
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	10	30	40	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	12	19	0	3	40	31	0	0
0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	20	3	1	1	16	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	123	60	100	90	0	0
0	0	0	0	0	0	2	175	1	0	0	23	150	0	200	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	18	15	0	90	1	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	8	20	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	10	20	5	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	3	0	0
0	0	0	0	0	0	9	926	1	25	97	60	170	430	250	0	0
0	0	1	0	3	0	0	0	4	0	0	3	2	2	7	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	4	4	14	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3	0	10	15	25	0	0
0	0	0	0	0	1	0	0	1	7	156	0	0	0	2	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	140	90	0	0
1	0	6	14	15	10	14	1791	11	110	696	317	823	1367	1280	12	12



博物館事業報告に関連する資料

セミナー一覧

平成20年度は下記のような様々な分野・対象のセミナーを実施した（キャラバンを除く）。

実施日	セミナー名	講師	定員	参加者
4月5日(土)	日本一の里山、北摂地域の早春を観察しよう	橋本佳延	25名	20名
4月5日(土)	都市の歩き方・名所編 花の上町台地を歩く	田原直樹	15名	14名
4月13日(日)	植物リサーチクラブ専修科講座(全4回)	高橋 晃、布施静香、福田知子、高野温子	10名	9名
4月13日(日)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	17名
4月19日(土)	春の六甲山ハイキング	橋本佳延	25名	17名
4月19日(土)	都市の歩き方・名所編 大阪市玉造・鶴橋界隈を歩く	田原直樹	15名	18名
4月20日(日)	花粉の観察1 春の花	半田久美子	20名	6名
4月20日(日)	植物観察会(春の福島大池)	藤井俊夫	20名	14名
4月23日(水)	気ままに植物ウォッチング①～イヤガ谷東尾根～	黒田有寿茂	20名	18名
4月24日(木)	気ままに植物ウォッチング①～イヤガ谷東尾根～ 追加版	黒田有寿茂	20名	13名
4月26日(土)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	13名
4月26日(土)	愛蜂家養成講座・初級全4回	大谷 剛	20名	20名
4月26日(土)	ため池を探る(全4回)	田中哲夫、佐藤裕司	20名	14名
4月26日(土)	都市の歩き方・上級編 名所図会探検倶楽部	田原直樹	10名	7名
4月27日(日)	植物と文化①本当のかしわもちとちまき	服部 保、南山典子	30名	13名
4月27日(日)	植物園をあらく ～春の植物を覚えよう～	高橋 晃、布施静香、福田知子	30名	24名
4月27日(日)	ため池を探る(全4回)	田中哲夫、佐藤裕司	20名	12名
5月5日(月)	丹波の恐竜化石第二次発掘報告会	三枝春生	100名	60名
5月6日(火)	化石のレプリカをつくろう!	松原尚志	12名	15名
5月9日(金)	標本資料を理解する(全2回)	布施静香	10名	43名
5月10日(土)	博物館で生物多様性を考える(全10回)	岩槻邦男	50名	39名
5月10日(土)	ため池を探る(全4回)	佐藤裕司、田中哲夫	20名	14名
5月10日(土)	都市の歩き方・名所編 兵庫県伊丹界隈を歩く	田原直樹	15名	0名
5月10日(土)	多紀アルプス自然探訪	小林文夫、高橋晃、布施静香、福田知子	25名	0名
5月11日(日)	春の石めぐりハイキングーニ上山ー	先山 徹、加藤茂弘	30名	36名
5月11日(日)	初夏の武田尾溪谷で植物を観察しよう	石田弘明	20名	20名
5月11日(日)	市民植物観察会	NPO法人 人と自然の会	30名	40名
5月11日(日)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	12名
5月11日(日)	ため池を探る(全4回)	田中哲夫、佐藤裕司	20名	10名

5月14日(水)	身近な環境を調査しよう～学校とその周辺の草本群落を調べる(全2回)	石田弘明	10名	11名
5月15日(木)	芦屋川の水生生物と水環境	三橋弘宗	10名	123名
5月17日(土)	酵素多型で調べるタンポポ(全2回)	鈴木 武	10名	6名
5月18日(日)	酵素多型で調べるタンポポ(全2回)	鈴木 武	10名	6名
5月18日(日)	植物観察会(春の虚空蔵山)	藤井俊夫	20名	15名
5月21日(水)	気ままに植物ウォッチング②～鎌倉峡～	黒田有寿茂	20名	24名
5月21日(水)	武田尾のシダ植物	鈴木 武	20名	17名
5月24日(土)	植物リサーチクラブ① ～春の西播磨と氷ノ山～	高橋 晃、布施静香、福田知子	20名	19名
5月24日(土)	六甲山「森の植物」観察会(春)	小舘誓治	15名	0名
5月24日(土)	愛蜂家養成講座・初級全4回	大谷 剛	20名	26名
5月24日(土)	家族で蜂蜜しぼり(1)	大谷 剛	30名	49名
5月25日(日)	石ころクラブ	先山 徹、加藤茂弘	20名	21名
5月25日(日)	植物リサーチクラブ① ～春の西播磨と氷ノ山～	高橋 晃、布施静香、福田知子	20名	20名
5月25日(日)	花粉の観察2 ハチミツ	半田久美子	20名	4名
5月25日(日)	身近な植物の名前を覚えよう	石田弘明	20名	7名
5月25日(日)	地球環境危機と科学	江崎保男	50名	0名
5月28日(水)	武田尾のシダ植物 追加版	鈴木 武	20名	16名
5月31日(土)	川の水生昆虫観察会(芦屋川編)	三橋弘宗	50名	29名
6月4日(水)	身近な環境を調査しよう～学校とその周辺の草本群落を調べる(全2回)	石田弘明	10名	9名
6月7日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座全3回	大谷 剛	20名	13名
6月8日(日)	植物リサーチクラブ②	福田知子、布施静香	15名	9名
6月8日(日)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	16名
6月11日(水)	身近な環境を調査しよう～学校とその周辺の草本群落を調べる(全2回)	石田弘明	10名	10名
6月13日(金)	標本資料を理解する(全2回)	布施静香	10名	41名
6月13日(金)	六甲山系ヒメボタル分布調査プロジェクト	八木 剛	50名	17名
6月14日(土)	博物館で生物多様性を考える(全10回)	岩槻邦男	50名	38名
6月14日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座全3回	大谷 剛	20名	6名
6月15日(日)	火山灰を調べる	加藤茂弘	10名	9名
6月15日(日)	もいちど始める昆虫採集	沢田佳久	5名	5名
6月21日(土)	草本群落の調べ方	小舘誓治	10名	3名
6月21日(土)	ガキクラキャンプ2008 今年は料理だ！班対抗食料争奪料理大会！	ガキっこクラブ	30名	25名
6月22日(日)	石ころクラブ	先山 徹、加藤茂弘	20名	20名
6月25日(水)	身近な環境を調査しよう～トンボとりベナントレース(全2回)	八木 剛	10名	11名
6月28日(土)	とっとこ倶楽部 梅雨のキノコ	秋山弘之	15名	12名
6月28日(土)	愛蜂家養成講座・初級全4回	大谷 剛	20名	17名
6月28日(土)	昆虫アドベンチャー	ひとはく連携活動グループrun♪ run♪ plaza、八木 剛・足立 勲 (自然体験教育研究所)	15名	33名

6月29日(日)	ガキクラキャンプ2008 今年は料理だ！班対抗食料争奪料理大会！	ガキっこクラブ	30名	27名
7月2日(水)	神戸市立森林植物園のシダ植物	鈴木 武	20名	19名
7月3日(木)	神戸市立森林植物園のシダ植物 追加版	鈴木 武	20名	17名
7月5日(土)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	14名
7月5日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座全3回	大谷 剛	20名	20名
7月6日(日)	小さな虫の標本作り	沢田佳久	20名	6名
7月6日(日)	パパといっしょの昆虫アドベンチャー	ひとはく連携活動グループrun♪ run♪ plaza、八木 剛・足立 勲 (自然体験教育研究所)	30名	49名
7月11日(金)	兵庫の恐竜	三枝春生	10名	46名
7月12日(土)	博物館で生物多様性を考える(全10回)	岩槻邦男	50名	34名
7月19日(土)	カエル骨格作成教室	三枝春生	15名	9名
7月19日(土)	ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール	ひとはく連携活動グループrun♪ run♪ plaza、加藤茂弘・小舘誓 治・八木 剛・足立 勲(自然体験 教育研究所)	24名	44名
7月20日(日)	石を知ろうー鉱物の見分け方入門	先山 徹	30名	23名
7月20日(日)	森と土の観察会(六甲山編)	小舘誓治	10名	6名
7月20日(日)	カエル骨格作成教室	池田忠広	15名	9名
7月25日(金)	ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール	ひとはく連携活動グループrun♪ run♪ plaza、加藤茂弘・小舘誓 治・八木 剛・足立 勲(自然体験 教育研究所)	24名	24名
7月26日(土)	顕微鏡で見る化石(解説と実習)	古谷 裕	15名	16名
7月26日(土)	愛蜂家養成講座・初級全4回	大谷 剛	20名	14名
7月26日(土)	ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール	ひとはく連携活動グループrun♪ run♪ plaza、加藤茂弘・小舘誓 治・八木 剛・足立 勲(自然体験 教育研究所)	24名	24名
7月27日(日)	ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール	ひとはく連携活動グループrun♪ run♪ plaza、加藤茂弘・小舘誓 治・八木 剛・足立 勲(自然体験 教育研究所)	24名	24名
7月27日(日)	カメラをつかって撮影・現像まで(初級編)	赤澤宏樹	30名	10名
7月29日(火)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	13名
7月30日(水)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	13名
7月31日(木)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	13名
8月1日(金)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	13名
8月1日(金)	親子でつくる昆虫標本(全2回)	大谷 剛、沢田佳久	30名	49名
8月2日(土)	ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール	ひとはく連携活動グループrun♪ run♪ plaza、加藤茂弘・小舘誓 治・八木 剛・足立 勲(自然体験 教育研究所)	24名	20名
8月3日(日)	石ころクラブ	先山 徹、加藤茂弘	20名	20名
8月3日(日)	太陽の力を測ってみよう！	客野尚志	20名	13名
8月5日(火)	園児自然観察指導者講習(2日間)	高橋 晃、足立勲(自然体験教育 研究所)	40名	15名
8月5日(火)	園児自然観察指導者講習(2日間)	高橋 晃、高橋晃、福田知子、長 谷川太一(自然体験教育研究所)	40名	16名
8月6日(水)	園児自然観察指導者講習(2日間)	高橋 晃、長谷川太一(自然体験 教育研究所)	40名	16名

8月6日(水)	園児自然観察指導者講習(2日間)	高橋 晃、福田知子、長谷川太一 (自然体験教育研究所)	40名	16名
8月8日(金)	親子でつくる昆虫標本(全2回)	大谷 剛、沢田佳久	30名	46名
8月9日(土)	博物館で生物多様性を考える(全10回)	岩槻邦男	50名	27名
8月9日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座全4回	大谷 剛	10名	7名
8月10日(日)	針穴(ピンホール)カメラをつくって撮影・現像まで(中級編)	赤澤宏樹	20名	7名
8月11日(月)	自然環境シミュレーター「ビオトープをつくろう！」	嶽山洋志	20名	12名
8月11日(月)	子どもと楽しむ葉脈標本づくり	生涯学習課指導主事	30名	38名
8月11日(月)	地層の見方・調べ方 in 淡路	古谷 裕	20名	13名
8月11日(月)	体の不自由な子ども達との野外活動入門	三谷雅純	30名	7名
8月11日(月)	太陽の力から考える都市と地球	客野尚志	25名	17名
8月11日(月)	子どもに教える里地・里山	服部 保	30名	56名
8月12日(火)	身近な植物の観察の仕方	小舘誓治	20名	46名
8月12日(火)	環境総合学習ソフト「私のまちの環境マップをつくろう」	情報管理課指導主事	20名	37名
8月12日(火)	昆虫標本をつくってみませんか(全2回)	大谷 剛	30名	13名
8月12日(火)	石の観察と見分け方	先山 徹	30名	41名
8月12日(火)	公園の模型をつくろう！	嶽山洋志	20名	18名
8月13日(水)	兵庫県下の活断層と近未来の大地震	加藤茂弘	50名	42名
8月13日(水)	ため池と学校ビオトープ	田中哲夫	30名	8名
8月13日(水)	植物標本の作り方	高橋 晃、福田知子	30名	20名
8月13日(水)	子どもたちに人気のあるカエルとヘビを知ろう	田口勇輝	20名	12名
8月16日(土)	土の中のむし	沢田佳久	20名	4名
8月16日(土)	ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール	ひとはく連携活動グループrun♪ run♪ plaza、加藤茂弘・小舘誓治・八木 剛・足立 勲(自然体験教育研究所)	24名	22名
8月17日(日)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	17名
8月18日(月)	地球史から読み解く温暖化問題	佐藤裕司	50名	40名
8月18日(月)	都市のヒートアイランド ー人工衛星から捉えた都市環境	客野尚志	20名	7名
8月18日(月)	花を解剖しよう	半田久美子	20名	17名
8月18日(月)	自然環境シミュレーター「ビオトープをつくろう！」	嶽山洋志	20名	5名
8月18日(月)	地震教材をつくろう	先山 徹	40名	15名
8月18日(月)	人間の活動による植生の変化	石田弘明	50名	27名
8月19日(火)	昆虫標本をつくってみませんか(全2回)	大谷 剛	30名	9名
8月19日(火)	数字で考える地球環境問題2008	客野尚志	50名	39名
8月19日(火)	地層の見方・調べ方 in 丹波	古谷 裕	20名	27名
8月19日(火)	校区の昆虫の調べ方～実習編～	八木 剛	25名	6名
8月19日(火)	校区の昆虫の調べ方～理論編～	八木 剛	25名	8名
8月19日(火)	生態系ってなに？	江崎保男	50名	32名
8月20日(水)	あなたのハチ知識は正しいですか	大谷 剛	30名	40名

8月20日(水)	水生昆虫の調べ方(野外編)	三橋弘宗	20名	7名
8月20日(水)	学校でできる!やさしい化石レプリカづくり	生涯学習課指導主事	30名	36名
8月22日(金)	造園景観学講座(全10回)	中瀬 勲	20名	19名
8月23日(土)	愛蜂家養成講座・上級全4回	大谷 剛	20名	14名
8月23日(土)	魅力再発見ハイキング 南光編	藤本真里、岩槻邦男	20名	4名
8月24日(日)	石を知ろうー岩石の見分け方入門	先山 徹	30名	25名
8月24日(日)	ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール	ひとはく連携活動グループrun♪ run♪ plaza、加藤茂弘・小舘誓 治・八木 剛・足立 勲(自然体験 教育研究所)	24名	66名
8月29日(金)	造園景観学講座(全10回)	中瀬 勲	20名	18名
8月31日(日)	都市の生態系	江崎保男	50名	11名
9月5日(金)	秋の伊吹山植物観察	ひとはく連携グループ 希少植物 研究会	24名	39名
9月5日(金)	造園景観学講座(全10回)	中瀬 勲	20名	17名
9月6日(土)	植物画を描こう(全2回)	高橋 晃	30名	14名
9月6日(土)	佐用のシダ植物	鈴木 武	20名	22名
9月6日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座全3回	大谷 剛	20名	15名
9月7日(日)	植物画を描こう(全2回)	高橋 晃	30名	12名
9月7日(日)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	14名
9月11日(木)	貝化石でさぐる過去の地球環境	松原尚志	10名	121名
9月12日(金)	造園景観学講座(全10回)	中瀬 勲	20名	16名
9月12日(金)	”ひとはく”とまちづくり	藤本真里	10名	41名
9月13日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座全4回	大谷 剛	10名	4名
9月14日(日)	植物リサーチクラブ専修科講座(全4回)	高橋 晃、布施静香、福田知子、 高野温子	10名	7名
9月14日(日)	植物と文化②秋の七種(ななくさ)	服部 保、南山典子	40名	42名
9月15日(月)	石ころクラブ	先山 徹、加藤茂弘	20名	16名
9月17日(水)	身近な環境を調査しよう〜トンボとりベナントレース(全 2回)	八木 剛	10名	11名
9月19日(金)	造園景観学講座(全10回)	中瀬 勲	20名	17名
9月20日(土)	愛蜂家養成講座・上級全4回	大谷 剛	20名	10名
9月21日(日)	植物観察会(秋の福島大池)	藤井俊夫	20名	0名
9月21日(日)	虫の体を調べよう	沢田佳久	30名	8名
9月25日(木)	芦屋の景色の温度を測る	客野尚志	10名	120名
9月26日(金)	造園景観学講座(全10回)	中瀬 勲	20名	16名
9月27日(土)	博物館で生物多様性を考える(全10回)	岩槻邦男	50名	28名
9月27日(土)	森林土壌の調べ方	小舘誓治	10名	4名
9月27日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座全4回	大谷 剛	10名	4名
9月27日(土)	ファール昆虫記を読み解く	橋本佳明	30名	3名
9月28日(日)	サンゴの薄片をつくろう	小林文夫	20名	8名
9月28日(日)	秋の石めぐりハイキングー 京都府夜久野町ー	加藤茂弘、先山 徹	30名	17名

9月28日(日)	ひとはくパークマネジメント・ゼミ(全6回)	藤本真里、中瀬勲、赤澤宏樹、嶽山洋志	20名	15名
10月1日(水)	気ままに植物ウォッチング③～天下辻～	黒田有寿茂	20名	20名
10月1日(水)	身近な環境を調査しよう～ビオトープ池を調べる(全2回)	田中哲夫、佐藤裕司	10名	11名
10月3日(金)	里山の自然(全2回)	小舘誓治	10名	43名
10月3日(金)	造園景観学講座(全10回)	中瀬 勲	20名	17名
10月4日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座全4回	大谷 剛	10名	5名
10月4日(土)	親と子の鳴く虫のタベ	ひとはく連携活動グループ・鳴く虫研究会「きんひばり」、大谷 剛	30名	16名
10月4日(土)	都市の歩き方・名所編 神戸市兵庫界隈を歩く	田原直樹	15名	13名
10月5日(日)	コノドント化石の抽出・観察	小林文夫	20名	11名
10月5日(日)	里山の植物を観察しよう	石田弘明	20名	0名
10月8日(水)	身近な環境を調査しよう～ビオトープ池を調べる(全2回)	田中哲夫、佐藤裕司	10名	12名
10月10日(金)	造園景観学講座(全10回)	中瀬 勲	20名	15名
10月11日(土)	中生代の動物たち1	三枝春生	50名	5名
10月11日(土)	博物館で生物多様性を考える(全10回)	岩槻邦男	50名	31名
10月11日(土)	ひとはくパークマネジメント・ゼミ(全6回)	藤本真里、赤澤宏樹、嶽山洋志	20名	11名
10月12日(日)	中生代の動物たち2	池田忠広	50名	4名
10月12日(日)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	9名
10月13日(月)	石を通して地域を知るー恐竜がいた頃の日本	先山 徹	30名	8名
10月16日(木)	六甲山の生き物	鈴木 武	10名	120名
10月17日(金)	造園景観学講座(全10回)	中瀬 勲	20名	16名
10月18日(土)	川西と猪名川で中・古生代の地層を見る	古谷 裕	15名	12名
10月18日(土)	秋の六甲山ハイキング	橋本佳延	25名	7名
10月18日(土)	日本のファールブルから学ぶ、ハチの観察法	橋本佳明	20名	13名
10月18日(土)	ひとはくパークマネジメント・ゼミ(全6回)	嶽山洋志、藤本真里、赤澤宏樹	20名	11名
10月18日(土)	都市の歩き方・街道編 大阪市八軒家から熊野古道を歩く	田原直樹	10名	14名
10月19日(日)	植物観察会(秋の虚空蔵山)	藤井俊夫	20名	9名
10月24日(金)	造園景観学講座(全10回)	中瀬 勲	20名	17名
10月25日(土)	縄文海進とは何かー海面変動研究の最前線ー	佐藤裕司	30名	11名
10月26日(日)	石ころクラブ	先山 徹、加藤茂弘	20名	16名
10月26日(日)	秋の武田尾溪谷で植物を観察しよう	石田弘明	20名	14名
10月30日(木)	昆虫標本のはなし	沢田佳久	10名	120名
11月5日(水)	気ままに植物ウォッチング④～六甲山紅葉谷～	黒田有寿茂	20名	20名
11月8日(土)	とっとこ倶楽部 秋のキノコ 1	秋山弘之	15名	17名
11月8日(土)	六甲山「森の植物」観察会(秋)	小舘誓治	15名	9名
11月8日(土)	ファールブル入門～昆虫のデザイン、人のデザイン～	橋本佳明	10名	6名
11月8日(土)	ひとはくパークマネジメント・ゼミ(全6回)	赤澤宏樹、嶽山洋志、藤本真里	20名	11名
11月9日(日)	とっとこ倶楽部 秋のキノコ 2	秋山弘之	15名	12名

11月9日(日)	立体写真撮影入門	沢田佳久	10名	4名
11月14日(金)	里山の自然(全2回)	小舘誓治	10名	43名
11月15日(土)	博物館で生物多様性を考える(全10回)	岩槻邦男	50名	30名
11月15日(土)	愛蜂家養成講座・上級全4回	大谷 剛	20名	11名
11月15日(土)	ひとはくパークマネジメント・ゼミ(全6回)	赤澤宏樹、嶽山洋志、藤本真里	20名	11名
11月16日(日)	植物リサーチクラブ専修科講座(全4回)	高橋 晃、布施静香、福田知子、高野温子	10名	8名
11月20日(木)	電子レンジで押し葉しおり作り	鈴木 武	5名	45名
11月20日(木)	ファーブルにまなぶ～昆虫学入門	橋本佳明	10名	64名
11月20日(木)	公園の模型をつくろう!	嶽山洋志	5名	20名
11月22日(土)	簡単料理教室 味で感じる三田	藤本真里	20名	21名
11月23日(日)	石を通して地域を知る一千種たたらと岩石	先山 徹	30名	18名
11月23日(日)	市民植物観察会	NPO法人 人と自然の会	30名	38名
11月23日(日)	ゴリラの生きる世界(全2回)	三谷雅純	10名	4名
11月24日(月)	小さな化石の観察講座	松原尚志	10名	5名
11月24日(月)	植物園をあるく～秋のドングリさがし～	高橋 晃、布施静香	30名	0名
11月24日(月)	ゴリラの生きる世界(全2回)	三谷雅純	10名	4名
11月29日(土)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	12名
11月29日(土)	ひとはくパークマネジメント・ゼミ(全6回)	中瀬 勲、赤澤宏樹、嶽山洋志、藤本真里	20名	11名
11月29日(土)	封入標本をつくろう	三橋弘宗	20名	34名
11月16日(日)	ヘビの世界	池田忠広	50名	11名
11月30日(日)	青赤立体写真実習	沢田佳久	10名	1名
12月5日(金)	霊長類学が描くヒトの姿ーわれわれは何者か?	三谷雅純	10名	42名
12月6日(土)	石ころクラブ	先山 徹、加藤茂弘	20名	11名
12月6日(土)	愛蜂家養成講座・上級全4回	大谷 剛	20名	13名
12月7日(日)	石ころクラブ	先山 徹、加藤茂弘	20名	12名
12月13日(土)	博物館で生物多様性を考える(全10回)	岩槻邦男	50名	33名
12月14日(日)	植物リサーチクラブ専修科講座(全4回)	高橋 晃、高野温子、山本伸子	10名	14名
12月14日(日)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	12名
12月20日(土)	むすぶ、ひらく、ユニバーサルなこと(全2回)	三谷雅純	10名	4名
12月21日(日)	むすぶ、ひらく、ユニバーサルなこと(全2回)	三谷雅純	10名	5名
12月23日(火)	石を通して地球を知るー大陸移動とプレート	先山 徹	30名	16名
1月10日(土)	博物館で生物多様性を考える(全10回)	岩槻邦男	50名	27名
1月11日(日)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	13名
1月12日(月)	石ころクラブ	先山 徹、加藤茂弘	20名	12名
1月15日(木)	昆虫の触角はどこにあるのか?	大谷 剛	10名	102名
1月22日(木)	六甲山の地形・活断層・上昇過程	小林文夫	10名	100名
2月8日(日)	石ころクラブ	先山 徹、加藤茂弘	20名	13名

2月8日(日)	ユース昆虫研究室(全13回)	八木 剛	15名	10名
2月14日(土)	博物館で生物多様性を考える(全10回)	岩槻邦男	50名	32名
2月22日(日)	植物リサーチクラブ③ 標本の調べ方(2日間)	高橋 晃	20名	15名
3月1日(日)	植物リサーチクラブ③ 標本の調べ方(2日間)	高橋 晃	20名	10名
3月1日(日)	ホタル幼虫の上陸観察(3年目)	大谷 剛	20名	3名
3月7日(土)	早春の花セツブンソウの自生地を訪ねる	ひとはく連携グループ 希少植物研究会	20名	19名
3月8日(日)	石を通して地球を知る—地球と大気の歴史	先山 徹	30名	21名
3月15日(日)	里山でシイタケづくり	赤澤宏樹、藤本真里	30名	31名
3月15日(日)	咲くやこの花館見学会	藤井俊夫	20名	17名
3月22日(日)	春日山原生林観察会	藤井俊夫	20名	1名
3月29日(日)	六甲山系最大のススキ、ネザサ草原、東お多福山の現状	橋本佳延	50名	11名

企画展等一覧（平成20年度）

下記のような企画展、ミニ企画展ならびに関連講座を企画展示室・ミニ企画展示室・3階ギャラリー・4階ひとはくサロンで開催した。

【企画展】

期 間	テーマ	入場者数	担当者(所属)、順不同(*代表者)
2008.2.23-8.20	クリプトガミック・ボタニー	97921 人	*秋山弘之・鈴木武・佐藤裕司・布施静香・三橋弘宗・福田知子・岩槻邦男（ひとはく）
2008.9.20-11.30	ひとはくフェアブル大作戦	74409 人	*高橋 晃・橋本佳明・沢田佳久・八木剛・大谷剛・半田久美子・松原尚志・赤澤宏樹・橋本佳延・川東丈純・春名潤一・小林美樹（ひとはく）
2009.2.15-2009.4.5	共生のひろば展	22347 人	*石田弘明・佐藤裕司・鈴木 武・橋本佳延（ひとはく）

【ミニ企画展（臨時に企画される小規模な展示）】

期 間	テーマ	担当者(所属)	展示場所
2008.4.1-4.13	第2回「知らせたい今・伝えたい未来へ」三田の川フォトコンテスト作品展	三橋弘宗（ひとはく）	4F ひとはくサロン
2008.4.17-5.11	遠藤先生と行った『冬の鳥観察会』	遠藤菜緒子（ひとはく）・ゆりのきフィールドウォーカー	4F ひとはくサロン
2008.6.14-6.22	お化けノアザミ実物展示	鈴木 武（ひとはく）	4F ひとはくサロン
2008.6.15-6.29	篠山市の小型脊椎動物化石速報展	三枝春生（ひとはく）	3F 小企画展示室
2008.6.24-7.18	野草のお茶を楽しもう	布施静香（ひとはく）	4F ひとはくサロン
2008.7.1-7.13	絶滅の恐れのある植物－科博コラボ・ミュージアム in ひとはく	秋山弘之・鈴木 武（ひとはく）	4F ひとはくサロン 3F ギャラリーコーナー
2008.7.20-8.31	バイオメディカル展	石田弘明（ひとはく）	4F ひとはくサロン 3F ギャラリーコーナー
2008.7.20-8.31	丹波の恐竜化石～夏休み期間特別展示～	三枝春生（ひとはく）	3F 小企画展示室
2008.9.13-9.18	三田市中学校理科作品展	平松伸一（ひとはく）	4F ひとはくサロン
2008.12.5-2009.1.12	ネズミさんありがとう。ウシさんようこそ！	遠藤菜緒子（ひとはく）	4F ひとはくサロン
2009.2.11-3.1	恐竜発掘ケーキを作ろう	先山 徹（ひとはく）	3F ギャラリーコーナー
2009.2.17-6.10	六甲山のキノコ展～リアルな森の妖精たち～	三橋弘宗（ひとはく）	4F ひとはくサロン
2009.3.20-4.26	第19回堀明子詩集「四季の色」展	石田弘明（ひとはく）	4F ひとはくサロン 3F ギャラリーコーナー

【資料・トピックス展示（新着資料や研究員による発見などのトピックスを展示）】

期 間	テーマ	担当者(所属)	展示場所
2008.4.15-5.31	里山復元の取り組みと菊炭	石田弘明（ひとはく）	3階トピックスコーナー
2008.6.1-9.19	兵庫県のオオサンショウウオ	田口勇輝（ひとはく）	3階トピックスコーナー
2008.9.20-11.30	フェアブルも知らなかった珍虫、奇虫	橋本佳明（ひとはく）	3階トピックスコーナー
2008.12.2-2009.1.12	タンスに眠る古写真～暮らしの風景写真～	赤澤宏樹（ひとはく）	3階トピックスコーナー
2009.2.1-3.31	この珪化木は針葉樹？広葉樹？	半田久美子（ひとはく）	3階トピックスコーナー

企画展関連講座

【企画展「クリプトガミック・ボタニー」】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2008.4.20	ギャラリートーク	14 人	福田知子（ひとはく）
2008.5.11	企画展講座「こけ・しだ・きのこ その不思議と美の世界」	27 人	鈴木 武・秋山弘之（ひとはく）
2008.5.18	ギャラリートーク	9 人	秋山弘之（ひとはく）
2008.6.15	ギャラリートーク	18 人	鈴木 武（ひとはく）
2008.7.6	公開講座「絶滅危惧植物の現状 と保全」	46 人	松本定（国立科学博物館筑波実験植物 園）・加藤雅啓（国立科学博物館筑波実験 植物園 園長）・秋山弘之（ひとはく）
2008.7.6	公開実習講座「シダを使ったコ ケ玉づくり」	26 人	ひとはく連携グループ 希少植物研究会
2008.7.20	ギャラリートーク	7 人	布施静香（ひとはく）

【企画展「ひとはくファール大作戦」】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2008. 2. 14-3. 22	ひとはくファール大作戦！ in 柳田記念館	480 人	鈴木武・川東丈純（ひとはく）
2008. 3. 15	講談＋セミナー	72 人	松本修（朝日放送チーフプロデューサ ー）、鈴木武・川東丈純（ひとはく）
2008. 5. 3-5	ひとはくファール大作戦！ in フローラ 8 8（ファール編）	305 人	橋本佳明・川東丈純（ひとはく）
2008. 7. 21	ファール展共催事業「日仏友 好百五十周年記念国際シンポジ ウム」	100 人	橋本佳明（ひとはく）
2008. 8. 6-9. 5	ひとはくファール大作戦！ in 中兵庫信用金庫（鳴く虫編）	1252 人	大谷剛・鈴木武・川東丈純（ひとはく）
2008. 8. 7	ファール展共催事業「アリの 行列実演」	80 人	橋本佳明（ひとはく）
2008. 8. 8	ひとはくファール大作戦！ i n フローラ 8 8（ミツバチ編）	48 人	大谷剛・川東丈純（ひとはく）
2008. 8. 11	ファール昆虫記を読み解く	150 人	橋本佳明（ひとはく）
2008. 8. 21	ファール昆虫記を読み解く	30 人	橋本佳明（ひとはく）
2008. 8. 22	鳴く虫セミナー＋講談	72 人	大谷剛・川東丈純（ひとはく）
2008. 9. 2-10. 19	ひとはくファール大作戦！ in 県立美術館（栗林慧の自然の瞬 間写真展）	26312 人	大谷剛・鈴木武・川東丈純（ひとはく）
2008. 9. 15	1 日だけのひとはく美術館	103 人	大谷剛・鈴木武・春名潤一・川東丈純（ひ とはく）
2008. 9. 21	ファール講談「ファールふ ん虫記」	57 人	川東丈純（ひとはく）

2008. 9. 26	ファーブル昆虫記を読み解く	100 人	橋本佳明（ひととく）
2008. 9. 27	虫の音楽祭	54 人	佐藤忠昭・田口勇輝・津田奈保子・川東丈純（ひととく）
2008. 9. 27	ファーブル・ギャラリートーク	60 人	橋本佳明（ひととく）
2008. 9. 28	ファーブル昆虫記を読み解く	10 人	橋本佳明（ひととく）
2008. 10. 9	ナチュラリスト小泉八雲	44 人	小泉凡、大谷剛・川東丈純（ひととく）
2008. 10. 10	レトロ紙芝居スペシャル「ファーブルふん虫記」	34 人	川東丈純（ひととく）
2008. 10. 19	ファーブル・ギャラリートーク	60 人	橋本佳明（ひととく）
2008. 10. 21	日本のファーブルから学ぶ、ハチの観察法	40 人	橋本佳明（ひととく）
2008. 10. 25	ファーブル・ギャラリートーク	60 人	橋本佳明（ひととく）
2008. 11. 1-20	ファーブル大作戦 in 谷上駅	10163 人	鈴木武・川東丈純（ひととく）
2008. 11. 8	ファーブル入門－昆虫のデザイン、人のデザイナー	10 人	橋本佳明（ひととく）
2008. 11. 11	ファーブル講談「ファーブルふん虫記」	64 人	川東丈純（ひととく）
2008. 11. 11	レトロ紙芝居スペシャル「ファーブルふん虫記」	72 人	川東丈純（ひととく）
2008. 11. 16	ファーブル講談「ファーブルふん虫記」	43 人	川東丈純（ひととく）
2008. 11. 20	ファーブルにまなぶ－昆虫学入門	64 人	橋本佳明（ひととく）
2008. 11. 24	ファーブル・ギャラリートーク	50 人	橋本佳明（ひととく）
2008. 11. 24	ファーブル講談「ファーブルふん虫記」	51 人	川東丈純（ひととく）
2008. 11. 29	レトロ紙芝居スペシャル「ファーブルふん虫記」	50 人	川東丈純（ひととく）
2008. 11. 30	ファーブル講談「ファーブルふん虫記」	76 人	川東丈純（ひととく）

生徒・学生等の受け入れ状況

【トライやる・ウィーク】

期間	学校名	人数	担当研究部課室名
5月27日～30日（0期）	宝塚市立宝塚中学校	2	生涯学習課
6月3日～6日（Ⅰ期）	三田市立ゆりのき台中学校	1	旧生物資源
	三田市立八景中学校	1	
	三田市立富士中学校	1	
	三田市立ゆりのき台中学校	1	旧系統分類
	三田市立八景中学校	1	
	三田市立長坂中学校	1	
	三田市立ゆりのき台中学校	1	総務課
	三田市立富士中学校	1	
	三田市立長坂中学校	1	
	宝塚市立西谷中学校	1	
	三田市立八景中学校	1	生涯学習課
	三田市立富士中学校	1	
	三田市立長坂中学校	1	
	丹波市立山南中学校	2	
	宝塚市立西谷中学校	1	
6月10日～13日（Ⅱ期）	三田市立上野台中学校	1	旧環境計画
	三田市立狭間中学校	1	
	三田市立藍中学校	1	
	三田市立上野台中学校	1	旧地球科学
	三田市立けやき台中学校	1	
	三田市立藍中学校	1	
	三田市立上野台中学校	1	旧生態研究部
	三田市立狭間中学校	1	
	三田市立藍中学校	1	
	三田市立狭間中学校	2	情報管理課
	三田市立けやき台中学校	1	
11月11日～14日（Ⅲ期）	神戸市立北神戸中学校	3	生涯学習課
	神戸市立有野北中学校	3	
11月18日～21日（Ⅳ期）	篠山市立篠山中学校	3	生涯学習課

【博物館実習】

期間	学校名	人数	担当研究部課室名
8月8日~26日（内10日）	神戸学院大学	1	
	新潟大学	1	
	京都精華大学	1	
	神戸芸術大学	1	
	高知大学	1	生涯学習課
	筑波大学	1	生涯学習課
	京都府立大学	1	
	関西学院大学	1	
	鳥取大学	1	
	神戸大学	1	生涯学習課
	近畿大学	1	生涯学習課

学校教育支援プログラム

【スクールパートナー推進事業 夏季教職員セミナー】

実施日	セミナー名	参加人数
8月11日（月）	・自然環境シュミレーター「ビオトープをつくろう！」	12
	・子どもと楽しむ葉脈標本づくり	38
	・地層の見方・調べ方 in 淡路	13
	・体の不自由な子ども達との野外活動入門	7
	・太陽の力から考える都市と地球	17
	・子どもに教える里地、里山	56
8月12日（火）	・身近な植物の観察の仕方	46
	・環境総合学習ソフト「私たちのまちの環境マップをつくろう」	37
	・昆虫標本をつくってみませんか(全2回)「昆虫採集から展翅・展足」	13
	・石の観察と見分け方	41
	・公園の模型をつくろう！	18
8月13日（水）	・兵庫県下の活断層と近未来の大地震	42
	・ため池と学校ビオトープ	8
	・植物標本の作り方	20
	・子どもたちに人気のあるカエルとヘビを知ろう	12
8月18日（月）	・地球史から読み解く温暖化問題	40
	・都市のヒートアイランド 人口衛星から捉えた都市環境	7
	・花を解剖しよう	17
	・自然環境シュミレーター「ビオトープをつくろう！」	5
	・地震教材をつくろう	15
	・人間の活動による植生の変化	27
8月19日（火）	・数学で考える地球環境問題 2008	39
	・昆虫標本をつくってみませんか（全2回）「標本箱作り、持ち針はずし、ラベルつけ、名前調べ」	9
	・地層の見方・調べ方 in 丹波	27
	・校区の昆虫を調べよう～実習編～	6
	・校区の昆虫を調べよう～理論編～	8
	・生態系ってなに？「環境問題が深刻な現代においては、生態系についての教養が必須です。」	32
8月20日（水）	・あなたのハチの知識は正しいですか？	40
	・学校でできる！やさしい化石レプリカづくり	36
	・水生昆虫の調べ方（野外編）	7

平成19～20年度2年間学校団体連続入館状況

(カッコ内、5年間の来館状況)

学 校 名	地域	16	17	18	19	20
<県内>						
<幼稚園・保育園>						
神陵台幼稚園	神戸市	(	—	○	○	○
西舞子幼稚園	神戸市	(	—	○	○	○
神戸海星女子学院マリア幼稚園	西宮市	(	○	○	○	○
北摂第一幼稚園	三田市	(	○	○	○	○
弥生幼稚園	三田市	(	○	—	○	○
わかさ保育園	丹波市	(	—	—	—	○
<小学校>						
神戸市立高津橋小学校	神戸市	(	○	○	○	○
神戸市立西脇小学校	神戸市	(	—	○	○	○
神戸市立藤原台小学校	神戸市	(	○	—	○	○
神戸市立有瀬小学校	神戸市	(	○	○	○	○
神戸市立大池小学校	神戸市	(	○	○	○	○
神戸市立山田小学校	神戸市	(	—	—	○	○
神戸市立筑紫が丘小学校	神戸市	(	○	○	○	○
神戸市立有野小学校	神戸市	(	○	○	○	○
神戸市立有野東小学校	神戸市	(	○	—	—	○
神戸市立出合小学校	神戸市	(	—	—	—	○
神戸市立靴台小学校	神戸市	(	—	○	○	○
神戸市立松尾小学校	神戸市	(	—	—	○	○
芦屋市立潮見小学校	芦屋市	(	—	—	○	○
西宮市立夙川小学校	西宮市	(	—	—	○	○
西宮市立西宮浜小学校	西宮市	(	—	—	○	○
西宮市立段上小学校	西宮市	(	—	—	—	○
西宮市立上ヶ原南小学校	西宮市	(	—	—	—	○
西宮市立東山台小学校	西宮市	(	—	○	—	○
伊丹市立桜台小学校	伊丹市	(	○	○	○	○
伊丹市立花里小学校	伊丹市	(	○	○	○	○
伊丹市立昆陽里小学校	伊丹市	(	○	○	○	○
伊丹市立神津小学校	伊丹市	(	○	○	○	○
伊丹市立瑞穂小学校	伊丹市	(	○	○	○	○
伊丹市立池尻小学校	伊丹市	(	—	○	○	○
伊丹市立天神川小学校	伊丹市	(	—	○	○	○
伊丹市立有岡小学校	伊丹市	(	—	○	○	○
伊丹市立笹原小学校	伊丹市	(	○	○	—	○
三田市立あかしあ台小学校	三田市	(	○	○	○	○
三田市立すずかけ台小学校	三田市	(	○	○	○	○
三田市立狭間小学校	三田市	(	—	○	○	○
三田市立広野小学校	三田市	(	○	○	○	○
三田市立三輪小学校	三田市	(	○	—	○	○
三田市立母子小学校	三田市	(	—	○	○	○
三田市立弥生小学校	三田市	(	○	○	○	○
川西市立加茂小学校	川西市	(	○	○	○	○
川西市立川西小学校	川西市	(	—	○	○	○
川西市立北陵小学校	川西市	(	○	—	○	○
川西市立陽明小学校	川西市	(	—	○	○	○
川西市立東谷小学校	川西市	(	○	—	—	○
猪名川町立白金小学校	猪名川町	(	○	○	—	○
宝塚市立すみれが丘小学校	宝塚市	(	○	○	○	○
宝塚市立安倉北小学校	宝塚市	(	○	—	○	○
宝塚市立小林聖心女子学院小学校	宝塚市	(	—	—	○	○
宝塚市立西山小学校	宝塚市	(	○	○	○	○
宝塚市立売布小学校	宝塚市	(	○	—	—	○
宝塚市立宝塚小学校	宝塚市	(	○	○	○	○
宝塚市立宝塚第一小学校	宝塚市	(	○	○	—	○
明石市立錦浦小学校	明石市	(	○	○	○	○
播磨町立蓮池小学校	播磨町	(	—	○	○	○
高砂市立伊保小学校	高砂市	(	—	○	○	○
高砂市立荒井小学校	高砂市	(	—	—	—	○
加西市立賀茂小学校	加西市	(	—	—	○	○
加西市立日吉小学校	加西市	(	—	—	○	○
加西市立北条小学校	加西市	(	○	○	○	○
加西市立九会小学校	加西市	(	—	—	—	○
加東市立東条東小学校	加東市	(	○	○	○	○
姫路市立香呂小学校	姫路市	(	○	○	○	○
たつの市立神岡小学校	たつの市	(	—	—	○	○
南あわじ市立松帆小学校	南あわじ市	(	—	○	—	○
<中学校>						
神戸市立塩屋中学校	神戸市	(	—	—	—	○
神戸市立西神中学校	神戸市	(	○	—	—	○
武庫川女子大附属中学校	西宮市	(	—	—	—	○
猪名川町立猪名川中学校	猪名川町	(	—	—	—	○
稲美町立稲美北中学校	稲美町	(	—	—	—	○
加西市立北条中学校	加西市	(	—	—	○	○
加西市立加西中学校	加西市	(	—	—	—	○
加西市立泉中学校	加西市	(	—	—	○	○
西脇市立西脇南中学校	西脇市	(	—	—	○	○
西脇市立黒田庄中学校	西脇市	(	—	—	—	○
多可町立八千代中学校	多可町	(	○	—	—	○
丹波市立市島中学校	丹波市	(	—	—	○	○
豊岡市立日高西中学校	豊岡市	(	—	—	○	○
豊岡市立豊岡北中学校	豊岡市	(	—	—	—	○
養父市立関宮中学校	養父市	(	—	—	—	○
<高等学校>						
兵庫県立舞子高等学校	神戸市	(	○	○	○	○
神戸市立六甲アイランド高等学校	神戸市	(	—	○	—	○
兵庫県立西宮北高等学校	西宮市	(	—	—	○	○
兵庫県立西宮甲山高等学校	西宮市	(	—	—	—	○
武庫川女子大学附属高等学校	西宮市	(	○	○	○	○
兵庫県立宝塚北高等学校	宝塚市	(	○	○	○	○
兵庫県立福崎高等学校	福崎町	(	○	○	○	○
兵庫県立姫路飾磨西高等学校	姫路市	(	—	—	○	○
兵庫県立大学附属高等学校	上郡町	(	○	○	○	○
兵庫県立篠山鳳鳴高等学校	篠山市	(	—	○	○	○
兵庫県立柏原高等学校	丹波市	(	○	○	○	○
<大学・専門学校ほか>						
神戸朝鮮初中級学校	神戸市	(	○	○	○	○
神出学園	神戸市	(	—	—	—	○
神戸大学	神戸市	(	—	—	○	○
兵庫県立阪神特別支援学校	西宮市	(	—	—	—	○
関西学院大学	三田市	(	○	○	○	○
兵庫教育大学	加東市	(	○	○	○	○
<県外>						
<幼稚園>						
大正幼稚園	京都府	(	—	—	—	○
<小学校>						
追手門学院小学校	大阪府	(	—	○	○	○
茨木市立玉櫛小学校	大阪府	(	—	—	—	○
茨木市立春日小学校	大阪府	(	○	○	○	○
大阪教育大学附属池田小学校	大阪府	(	○	○	○	○
茨木市立大池小学校	大阪府	(	—	○	○	○
池田市立呉服小学校	大阪府	(	○	○	○	○
池田市立石橋小学校	大阪府	(	○	○	—	○
舞鶴市立大浦小学校	京都府	(	—	—	—	○
福知山市立庵我小学校	京都府	(	—	—	—	○
<中学校>						
開明中学校	大阪府	(	—	○	○	○
関西大倉中学校	大阪府	(	○	○	○	○
<高等学校>						
大阪府立泉北高等学校	大阪府	(	○	○	○	○
大阪府立北野高等学校	大阪府	(	○	○	○	○
京都府立桃山高等学校	京都府	(	—	—	—	○
和歌山県立海南高等学校	和歌山県	(	○	○	○	○
香川県立観音寺第一高等学校	香川県	(	—	—	—	○
愛媛県立松山南高等学校	愛媛県	(	—	—	—	○
<大学・専門学校ほか>						
大阪大学	大阪府	(	—	—	○	○
京都教育大学	京都府	(	—	—	—	○

合 計 (117校)

来館一般団体一覧

団体名	地域		
<県内>			
あけぼの兵庫	神戸市	悠歩会	西宮市
ワークステーション・フレニード	神戸市	日本キリスト協会西宮中央協会日曜学校	西宮市
長坂中学校PTA	神戸市	西宮市立総合教育センター	西宮市
大池見山台子ども会	神戸市	鳴尾東ビクターズ	西宮市
神戸積和会	神戸市	北夙川連合子ども会	西宮市
長田老人クラブ	神戸市	神原育成センター	西宮市
竜が岡農会老人会	神戸市	西宮市高須校区老人会	西宮市
交友クラブ	神戸市	名塩老人クラブ連合会	西宮市
フィールド・オブ・ゆう	神戸市	西宮自然保護協会	西宮市
神戸市須磨区若草楽友会	神戸市	西宮市社会福祉協議会広田分区	西宮市
JAM山陽兵庫県連	神戸市	名塩山荘自治会	西宮市
500人委員会第5班	神戸市	西宮上大字ことぶき会	西宮市
関西バス労務研究会	神戸市	西宮防犯協会	西宮市
兵庫県肢体不自由児協会	神戸市	シルバーコースト甲子園家族会	西宮市
神戸市立道場児童館	神戸市	寿号(浜脇校区第四班)	西宮市
北神戸バスファインダークラブ	神戸市	稲門塾	西宮市
和貴以クラブ	神戸市	広田校区老人クラブ	西宮市
戸崎通1. 2丁目自治会	神戸市	西宮市浜脇校区老人クラブ連合会	西宮市
神戸市シルバーカレッジ	神戸市	西宮市立深津小学校	西宮市
兵庫県給食施設協議会	神戸市	芦原老人クラブ連合会	西宮市
勝尾婦人会	神戸市	西宮市苦楽園自治会	西宮市
石ころ調査隊	神戸市	尼崎琴の浦C.C	尼崎市
小部子ども会	神戸市	尼崎プロバスクラブ	尼崎市
矢部町子ども会	神戸市	(株)浦和機工	尼崎市
神戸市中学校理科研究部会	神戸市	尾浜3丁目社会福祉協議会	尼崎市
神戸市立広陵小学校教員研修	神戸市	兵庫県沖縄県人会婦人部	尼崎市
枝吉会	神戸市	立花民協	尼崎市
神戸市動物管理センター支援CCクロ	神戸市	尼崎中央地区老人クラブ連合会	尼崎市
びゅう神戸会	神戸市	尼崎市医師会	尼崎市
おたまじゃくし学童保育	神戸市	尼崎南野球スポーツ少年団	尼崎市
ボーイスカウト神戸第55団ビーバー隊	神戸市	みこころ幼稚園親子学級	尼崎市
自治労兵庫県本部	神戸市	みのり園OB会親の会	尼崎市
ピーター・パンインターナショナルプレスクール	神戸市	尼崎市小田地区民生	尼崎市
鶴甲学童保育所つるのこクラブ	神戸市	東園田町会婦人会	尼崎市
井戸端会	神戸市	尼崎市中央公民館グループ連絡会	尼崎市
学童保育みどりクラブ	神戸市	兵庫トラベル友の会	尼崎市
NHK神戸文化センター日本古典口マンの旅	神戸市	尼崎医療生協大庄南支部	尼崎市
NHK神戸文化センター 歴史・文学の旅	神戸市	尼崎民主商工会	尼崎市
原田青年会	神戸市	トウアOB会	尼崎市
長田区池田広町自治会	神戸市	尼崎商工会議所	尼崎市
おいしい米米クラブ	神戸市	スポーツクラブ21清和	尼崎市
浜手ボランティア30	神戸市	大空少年団	尼崎市
卸勤務薬剤師会兵庫県支部	神戸市	武庫歴史散歩の会	尼崎市
熊野地域ふれあいのまちづくり協議会	神戸市	中野西自治会	伊丹市
ほほえみ北班れんげ草	神戸市	西野団地自治会	伊丹市
小部東ふれあいのまちづくり協議会	神戸市	大鹿・西台婦人会	伊丹市
西舞子5丁目自治会	神戸市	500人委員会阪神北OB会	伊丹市
桃源の郷	神戸市	稲野町自治会	伊丹市
篠原南自治会	神戸市	伊丹市立博物館友の会	伊丹市
絆の会	神戸市	中央自治会	伊丹市
山本塾	神戸市	愛と土の会	伊丹市
ジョイブラザ名店会峯松様	神戸市	伊丹市天神川地区社会福祉協議会	伊丹市
君影ふれあいのまちづくり協議会	神戸市	新しい風プロジェクト「風の学校篠山」	三田市
クローバーコミュニティ	神戸市	成谷敬老会	三田市
六甲クラブ	神戸市	新しい風プロジェクト「風の学校篠山」	三田市
あさか農業保全協議会	神戸市	島子ども会	三田市
灘区高羽友愛クラブ	神戸市	けやき台児童クラブ	三田市
六甲アジサイ倶楽部	神戸市	けやき台第2児童クラブ	三田市
神戸市手をつなぐ育成会	神戸市	兵庫県農業クラブ連盟リーダー講習会	三田市
こっこ会	神戸市	進学塾アイズ	三田市
輝かりば	神戸市	富士児童クラブ	三田市
北区連合自治協議会	神戸市	CSWカンパニー	三田市
唐櫃防災福祉コミュニティ	神戸市	フラワータウン市民センター「旬彩講座」	三田市
坂口会	神戸市	田中長寿クラブ	三田市
兵庫土建長田支部	神戸市	さんだ健康クラブ	三田市
西新ニュータウン自治連合協議会	神戸市	三田市観光協会	三田市
株式会社トーマス	神戸市	阪神北くすの木学級	三田市
池田婦人会	神戸市	中央病院退職者会	三田市
霞ヶ丘児童館	神戸市	西区体育委員	三田市
篠原ふれあいまちづくり協議会	神戸市	妙法界沙彌部	三田市
上北古子ども会	神戸市	三田児童クラブ・三田第3児童クラブ	三田市
神戸市西区砵台ふれあいまちづくり協議会	神戸市	青葉山の会	三田市
千代ヶ丘デイサービス	神戸市	ココロン三田	三田市
熊谷定男	芦屋市	ルネ三田フラーコート自治会	三田市
打出浜地区福祉推進委員会	芦屋市	ほっぺ	三田市
NPO法人さんびいす「恐竜の遠足」	芦屋市	小野児童クラブ	三田市
生瀬子ども会	西宮市	関西淡水動物談話会	三田市
上甲子園1丁目福祉会	西宮市	三田市身体障害者福祉協議会肢体障害者部会	三田市
さくら台子ども会	西宮市	特別養護老人ホームさんすい園	三田市
西宮浜脇校区老人会	西宮市	三田市立高平幼稚園	三田市
手まり会	西宮市	高齢者大学	三田市
昭和園自治会	西宮市	高齢者大学	三田市
西宮市今津山中町福祉会	西宮市	あかしあ台小学校第一・第二児童クラブ	三田市
西宮市社会福祉協議会鳴尾支部	西宮市	三田広野児童クラブ	三田市
西宮ボーイスカウト2団	西宮市	三輪児童クラブ第2児童クラブ	三田市
六甲ミツバチ王国	西宮市	にこにこくらぶ	三田市
		丹有地区生物部会	三田市
		GH歩こう会	川西市

川西市日高寿会	川西市	明石青年学級	明石市
東谷会	川西市	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園	明石市
鶯台子ども会	川西市	繁昌町婦人会	加西市
大和マウンテンボール同好会	川西市	ふるさか子ども会	加西市
陽明子ども会	川西市	下万願寺町子ども会	加西市
終生O1会	川西市	九会地区はつらつ委員会	加西市
川西YMCA	川西市	坂元子ども会	加西市
リバーグレース猪名川	川辺郡猪名川町	田野子ども会	加東市
猪名川町立松尾台小学校内児童育成室	川辺郡猪名川町	家原子ども会	加東市
猪名川町立阿古谷小学校児童育成会のびのびくら	川辺郡猪名川町	黒谷地域活動協議会	加東市
猪名川町退職校舎長会	川辺郡猪名川町	加茂病院	加東市
若葉子ども会	川辺郡猪名川町	穂積子ども会	加東市
多田銀山史跡保存顕彰会	川辺郡猪名川町	兵庫教育大学附属学校初任者研修	加東市
阪神北教育事務所地域教育推進会議第2小会	宝塚市	うれしの学園生涯大学	加東市
カラオケクリスタル	宝塚市	うれしの学園生涯大学	加東市
宝塚市遺族会	宝塚市	グループホーム東条	加東市
宝塚市立中央公民館青い鳥学級	宝塚市	ブライエムやしろグループホーム	加東市
里の坊子ども会	宝塚市	三木高校第8回生同窓会	三木市
ダイハツ車月会宝塚支部	宝塚市	おやつ学園	三木市
宝塚市美座グランドゴルフ同好会	宝塚市	三木市社会福祉協議会吉川支社ハッピーフレンズ	三木市
宝塚市民環境学習リーダー入門講座	宝塚市	三木市てをつなぐ育成会	三木市
デイハウス花くら	宝塚市	三木自然愛好研究会	三木市
阪神北教育事務所初任者研修	宝塚市	東寿会老人会	三木市
デイハウス花くら	宝塚市	三木市高齢者大学OB会	三木市
阪神北地域教育推進会議	宝塚市	三木市立平田小学校教員研修	三木市
宝塚市子ども会連絡協議会	宝塚市	三木市志楽町公民館	三木市
光が丘福祉活動委員会	宝塚市	三木市立総合隣保館	三木市
高司自治会	宝塚市	三木市自然愛好研究会	三木市
コープこうべ安倉コープ委員会	宝塚市	三木市老人会連合会	三木市
社会福祉法人宝塚さざんか福祉会	宝塚市	志染アフタースクール	三木市
ボーイスカウト宝塚第2団	宝塚市	小田上町老人クラブ	小野市
御所の前町自治会	宝塚市	小野カブスカウト	小野市
宝塚市老人福祉センター「フレミラ」	宝塚市	小野市ボーイスカウト	小野市
宝塚市立教育総合センター	宝塚市	板波町子ども会	西脇市
宝塚市立山手台小学校	宝塚市	坂本子ども会	西脇市
NPO法人宝塚モナミ会	宝塚市	羽安町喜楽会	西脇市
宝塚市立長尾小学校育成会	宝塚市	塚口町子ども会	西脇市
古宮連合子ども会	加古郡	田高老人クラブ	西脇市
国安東子ども会	加古郡	西脇市いけばな協会	西脇市
播磨町消費者協会	加古郡	的場子ども会	多可町
大沢東子ども会	加古郡	安坂子ども会	多可町
大國団地少年団	加古川市	郷土史研究会	多可町
永室子ども会	加古川市	多可町教育委員会	多可町
東神吉南少年団砂部隊	加古川市	多可町鳥羽子ども会	多可町
加古川西公民館老人大学OB会	加古川市	今市子ども会	たつの市
サンロイヤル子ども会	加古川市	片島子ども会	たつの市
稲屋子ども会	加古川市	新町老人クラブ	たつの市
坂井少年団	加古川市	砂子子ども会	たつの市
横大路子ども会	加古川市	兵庫むつみ会	たつの市
成井子ども会	加古川市	龍野市富永4丁目自主防災会	たつの市
わかば学園	加古川市	真砂婦人会	たつの市
黒深老人クラブ	加古川市	龍野東中学校家庭教育学級生	たつの市
友沢子ども会	加古川市	楽友クラブサークル	たつの市
東播磨県民局ビジョン委員会	加古川市	はりま西ダンス交流会	たつの市
だるま家族会	加古川市	揖西西放課後児童クラブ	たつの市
新神野2丁目町内会	加古川市	福栖児童館	たつの市
加古川公民館ことぶき大学	加古川市	神古コープ委員会	たつの市
加古川市老人大学院OB	加古川市	サルビア園	たつの市
いなみの学園	加古川市	萩原老人クラブ	たつの市
いなみの学園永丘OB会	加古川市	石海中学校3回生同窓会	たつの市
尾上団地老人クラブ	加古川市	栗町子ども会	たつの市
加古川西公民館館明はたち会	加古川市	上三河子ども会	佐用郡佐用町
サンロイヤル自治会	加古川市	下三方地区婦人会	宍粟市
日岡苑子ども会	加古川市	宍粟市やまさき老人大学	宍粟市
東山子ども会	加古川市	与位子ども会	宍粟市
グリーンハイツふれ愛倶楽部	加古川市	原子子ども会	宍粟市
加古川西条山手町内会	加古川市	田井子ども会	宍粟市
兵庫県建設業協会加印支部	加古川市	山崎地区生推協	宍粟市
加古川公民館老人大学あずま野学園	加古川市	宍粟市生涯学習センター学遊館	宍粟市
加古川西条山手町内会	加古川市	宍粟市山崎町加生自治会	宍粟市
加古川市エメラルド少年団	加古川市	市川町社会福祉協議会わかきさ会	神崎郡市川町
高下ほのぼの会	加古川市	中島子ども会	神崎郡福崎町
野口町民生・児童協力委員	加古川市	神谷子ども会	神崎郡福崎町
県立加古川東高等学校	加古川市	神崎郡中学理科部会研修会	神崎郡福崎町
社会福祉法人はとのさと保育園	加古川市	落地向旅行友の会	赤穂郡上郡町
加古川市養田まちづくり委員会	加古川市	環境プロジェクトあこう環境学習会	赤穂市
米田団地子ども会	高砂市	ひとみの会	相生市
なかよし明友会	高砂市	西播科学株式会社	姫路市
明石市女性団体協議会	明石市	的形町地子ども会	姫路市
あゆみ会	明石市	溝口子ども会	姫路市
明石市立鳥羽厚生館	明石市	寺子ども会	姫路市
高丘7丁目自治会	明石市	八幡子ども会	姫路市
いなみの学園OB明石会	明石市	矢田部子ども会	姫路市
大蔵山奥東山自治会	明石市	サバービア豊富子ども会	姫路市
兵庫県立学校事務職員協会東播磨支部	明石市	城の西公民館友の会	姫路市
明石市立高齢者大学あかねが丘学園郷土史クラブ	明石市	那波中学校PTA	姫路市
明石市職員労働組合	明石市	国分寺子ども会	姫路市
官舎子ども会	明石市	深志野子ども会	姫路市

人と自然愛好会	姫路市	全国高校土木教育OB会	丹波市
姫路市立考古学園大学史学科	姫路市	下滝百寿会	丹波市
豊楽さくら松風子ども会	姫路市	兵庫県立柏原高校PTA	丹波市
御立子ども会	姫路市	JA丹波氷上3アール運動部会	丹波市
砂川自治会	姫路市	田井縄公民館	丹波市
上原子ども会	姫路市	氷上西高校PTA	丹波市
灘児童センター母親クラブ	姫路市	菅原公民館	丹波市
太市中子ども会	姫路市	ボランティア湯たんぼの会	丹波市
神姫バス教育旅行ロビンクラブ	姫路市	丹波市市島民生委員児童委員協議会	丹波市
末広町子ども会	姫路市	千草保育所	洲本市
柿ノ丁東子ども会	姫路市	財団法人兵庫県学校厚生会淡路支部	淡路市
勝山子ども会	姫路市	兵庫県立津名高校PTA	淡路市
須加院子子ども会	姫路市	仁井子ども会	淡路市
見野東子ども会	姫路市	淡路三友会(三洋電機)	淡路市
成人職業訓練推進協議会	姫路市	阿那賀子ども会	南あわじ市
姫路工業大学名誉教授会	姫路市	大榎列子ども会	南あわじ市
好古学園大学校史学科A組	姫路市	里子ども会	南あわじ市
神子岡前子ども会	姫路市	塔下子ども会	南あわじ市
南恒屋子ども会	姫路市	土曜チャレンジ	南あわじ市
別所西子ども会	姫路市	いざなぎ学園高齢者大学	南あわじ市
西蒲田子ども会	姫路市	淡路文化協会	南あわじ市
瀬戸内海環境保全連絡会	姫路市		
中播磨連合自治会	姫路市		
付城子ども会	姫路市	＜県外＞	
五字ヶ丘幼稚園パパの会	姫路市	交野雪解	大阪府
広畑中学校区父親教室	姫路市	ローレルハイツ第1自治会	大阪府
三田屋ステーキ付ハイキングツアー	姫路市	片山子ども会	大阪府
北之町子ども会	揖保郡太子町	摂津市桜町自治会	大阪府
町与子ども会	揖保郡太子町	泉大津市菅原町子ども会	大阪府
美原台子ども会	揖保郡太子町	シニア自然大学「つちのこ探検隊」	大阪府
小代小学校PTA	香美町	桜島NS研修会	大阪府
黒土子ども会	宍粟市	シニア自然大学花組	大阪府
旭町子ども会	朝来市	ボーイスカウト和泉第4団	大阪府
白井子ども会	朝来市	島之内二丁目自治会	大阪府
上岩津子ども会	朝来市	森友クラブ	大阪府
県立但馬やまびこの郷	朝来市	エネルギー・石油の未来を担う若手の会	大阪府
朝来市立生野公民館	朝来市	NHK大阪文化センター	大阪府
朝来中学校PTA	朝来市	近夜中理科部会	大阪府
北真弓老人クラブ	朝来市	谷口昌隆後援会	大阪府
やまびこ共同作業所	朝来市	日本キリスト教団枚丘教会学校	大阪府
朝来市立梁瀬小学校	朝来市	天王子ども会	大阪府
栃本子ども会	豊岡市	松下制御機器	大阪府
東構子ども会	豊岡市	紀陽銀行久米田支店	大阪府
池上育成会	豊岡市	NPO法人トイボックススマイルファクトリー	大阪府
九日市上町子ども育成会	豊岡市	摂津苑子ども会	大阪府
妙楽寺区子ども会育成会	豊岡市	シニア自然大学	大阪府
三方給食グループ	豊岡市	シニア自然大学OB会	大阪府
もみじ会	豊岡市	大阪シニア自然大学	大阪府
水上子ども会	豊岡市	大阪丹波友の会	大阪府
戸牧子ども育成会	豊岡市	上牧荘園自治会	大阪府
国府婦人会	豊岡市	六振会	大阪府
奥小野子ども会	豊岡市	城東区食品衛生協会	大阪府
豊高第9期生同窓会	豊岡市	日韓女性親善協会	大阪府
浅野幼児センター保護者会	養父市	シニア自然大学	大阪府
後川小学校親子活動	篠山市	箕面市文化振興事業団	大阪府
八上上1組	篠山市	一水会	大阪府
篠山国際理解センター	篠山市	松原ロータリークラブ	大阪府
篠山市杉地区子ども会	篠山市	大今里2丁目第3町会	大阪府
篠山市中学校理科教員研修	篠山市	池田中町自治会	大阪府
西木之部自治会	篠山市	大阪青山短期大学学芸員課程	大阪府
篠山市老人クラブ連合会丹南支部	篠山市	大宮第13町会	大阪府
県立学校事務職員協会丹有支部	篠山市	日本高山植物保護協会	大阪府
上新田自治会	篠山市	梅田東体育厚生協会	大阪府
西紀いずみ会	篠山市	シニア自然大学星組	大阪府
篠山市立日置小学校	篠山市	中津人権の会	大阪府
黒石集落	篠山市	泉南市立青少年センター	大阪府
篠山市老人クラブ多紀支部	篠山市	茨木地区福祉委員長連絡会	大阪府
放送大学篠山友の会	篠山市	高石市忠岡町小学校教育研究会理科部	大阪府
薄井興産(株)	丹波市	吹田市シニア環境大学同窓会かたりべ会	大阪府
ふれあいサロンきりしま	丹波市	吹田いきいき市民ネットワーク	大阪府
大名草子ども会	丹波市	吹田市民権啓発推進協議会	大阪府
37の会	丹波市	西淀自然文化協会	大阪府
遠阪地区老人クラブ	丹波市	日本ライトハウスデイワークセンター	大阪府
山南町身体障害者福祉会	丹波市	関目第5振興町会	大阪府
前川子ども会	丹波市	シニア自然大学「講師会・いつでもLOUPEの会」	大阪府
北御油子ども会	丹波市	豊中市水利団体連絡協議会	大阪府
記念医会芦田内科	丹波市	箕面市文化財愛好会	大阪府
丹波市視覚障害者福祉会	丹波市	JA大阪中河内役員研修旅行	大阪府
宮の下、段宿和光会	丹波市	太平洋人材交流センター	大阪府
朝日子子ども会	丹波市	大宮9町会子ども会	大阪府
市島ふれあいブリッジ	丹波市	いちにち会	京都府
下町子ども会	丹波市	京都久御山町ゆうホール	京都府
谷川10区子ども会	丹波市	長岡京市滝ノ町子ども会	京都府
上小倉子ども会	丹波市	中夜久野地域公民館	京都府
柏原町新町子ども会	丹波市	ブライマリーイングリッシュスクール	京都府
吉見ふれあい教室	丹波市	京都市中学校理科部会教員研修	京都府
自然を楽しむ会	丹波市	金谷放課後児童クラブ	京都府
野生動物医学会エクスカッションⅡ	丹波市	山田こー行	京都府
		久御山町ゆうホール	京都府

亀岡市立馬路児童館	京都府
溝尻新町永祥会	京都府
羽栗生産森林組合	京都府
舞鶴市福来コミュニティセンター	京都府
舞鶴市荒田市民交流センター	京都府
福知山市河守保育園保護者会	京都府
福知山学園第二翠光園	京都府
京丹後市文化財保護審議会	京都府
京都市南区役所まちづくり推進室	京都府
矢田南学童保育所	奈良県
生駒市火災予防協会	奈良県
西遊会	奈良県
田園みどり会	奈良県
家庭教育団体アンサンブル	奈良県
仁王堂町内会	奈良県
御坊市立藤田会館	和歌山県
宮会館	滋賀県
中野公民館	滋賀県
大津市生活生涯センターボランティア連絡協議会	滋賀県
化石研究会例会	滋賀県
東近江社会教育研究会	滋賀県
滋賀県総合教育センター	滋賀県
有限会社ユニセル	岡山県
石栄会	広島県
鳥取教会	鳥取県
徳島県立博物館友の会	徳島県
十川グループ	徳島県
生水2組	三重県
名古屋大学農学国際教育協力研究センター	愛知県
藤根良子	北海道

551団体

猪名川町立猪名川中学校	川辺郡猪名川町	追手門学院小学校	大阪府
猪名川町立六瀬中学校	川辺郡猪名川町	大阪教育大学附属池田小学校	大阪府
明石市立衣川中学校	明石市	池田市立呉服小学校	大阪府
明石市立野々池中学校	明石市	池田市立細河小学校	大阪府
加古川市立加古川中学校	加古川市	池田市立石橋小学校	大阪府
加古川市立光丘中学校	加古川市	舞鶴市立新舞鶴小学校	京都府
加古川市立山手中学校	加古川市	舞鶴市立倉梯小学校	京都府
稲美町立稲美北中学校	加古郡稲美町	舞鶴市立大浦小学校	京都府
加西市立加西中学校	加西市	福知山市立庵我小学校	京都府
加西市立泉中学校	加西市	高知大学教育学部附属小学校	高知県
加西市立善防中学校	加西市		
加西市立北条中学校	加西市		
小野市立旭丘中学校	小野市		大阪府
小野市立小野中学校	小野市		大阪府
西脇市立黒田庄中学校	西脇市		大阪府
西脇市立西脇南中学校	西脇市		大阪府
多可町立中町中学校	多可町		大阪府
多可町立八千代中学校	多可町		大阪府
西播朝鮮初中級学校	姫路市		京都府
姫路市立書写中学校	姫路市		和歌山県
県立大学附属中学	赤穂郡上郡町		
福崎町立福崎東中学校	神崎郡福崎町		大阪府
赤穂市立赤穂東中学校	赤穂市		大阪府
相生市立矢野川中学校	相生市		大阪府
香美町立香住第一中学校	香美町		大阪府
香美町立射添中学校	香美町		京都府
香美町立小代中学校	香美町		京都府
宍粟市立山崎南中学校	宍粟市		京都府
豊岡市立港中学校	豊岡市		和歌山県
豊岡市立出石中学校	豊岡市		岡山県
豊岡市立城崎中学校	豊岡市		香川県
豊岡市立竹野中学校	豊岡市		愛媛県
豊岡市立日高西中学校	豊岡市		
豊岡市立日高東中学校	豊岡市		大阪府
豊岡市立豊岡南中学校	豊岡市		大阪府
豊岡市立豊岡北中学校	豊岡市		京都府
養父市立関宮中学校	養父市		徳島県
丹波市立市島中学校	丹波市		大阪府
丹波市立柏原中学校	丹波市		
丹波市立和田中学校	丹波市		
			318校
<高等学校>			
県立御影高等学校	神戸市		
県立神出学園	神戸市		
県立須磨友が丘高等学校	神戸市		
県立舞子高等学校	神戸市		
神戸市立六甲アイランド高等学校	神戸市		
県立西宮甲山高等学校	西宮市		
県立西宮北高等学校	西宮市		
武庫川女子大学附属高等学校	西宮市		
県立宝塚北高等学校	宝塚市		
県立姫路飾西高等学校	姫路市		
県立福崎高等学校	神崎郡福崎町		
県立大学附属高等学校	赤穂郡上郡町		
県立篠山鳳鳴高等学校	篠山市		
県立柏原高等学校	丹波市		
<大学・専門学校ほか>			
神戸大学	神戸市		
神戸大学農学部	神戸市		
神戸大学理学部	神戸市		
関西学院大学総合政策学部	三田市		
関西学院大学	西宮市		
甲子園短期大学	西宮市		
兵庫教育大学自然系地学	加東市		
県立神戸特別支援学校	神戸市		
県立神戸特別支援学校さわらび分教室	神戸市		
県立のじぎく特別支援学校中学部	神戸市		
県立こやの里特別支援学校	伊丹市		
県立上野ヶ原特別支援学校	三田市		
県立阪神特別支援学校	西宮市		
兵庫栄養調理製菓専門学校	西宮市		
県立阪神特別支援学校中学部	西宮市		
<県外>			
<幼稚園>			
豊中文化幼稚園	大阪府		
大正幼稚園	京都府		
<小学校>			
茨木市立玉櫛小学校	大阪府		
茨木市立山手台小学校	大阪府		
茨木市立春日小学校	大阪府		
茨木市立西小学校	大阪府		
茨木市立大池小学校	大阪府		
羽曳野市立高鷲小学校	大阪府		
高槻市立丸橋小学校	大阪府		
高槻市立津之江小学校	大阪府		
吹田市立北山田小学校	大阪府		

共催および協力事業等

(他施設、他団体との連携事業)

【キャラバン事業】

地域名	開催場所（展示）	開催期間	テーマ	ビジター数
丹波	山南住民センター	2008. 5. 3-5	丹波竜フェスティバル	4339
丹波	丹波市山南住民センター	2008. 8. 7～8. 17	恐竜化石特別展	2230
丹波	篠山市篠山市民センター	2008. 8. 21～8. 31	発見された化石等の一般公開！	946
阪神北	県立一庫公園	2008. 4. 1-5. 30	展示「日本の里山、ひょうごの里山」	43049
阪神北	県立有馬富士公園	2008. 5. 3-4	ひとはくミニキャラバン in 春の ありまふじフェスティバル	11230
神戸	兵庫県立大学神戸学園都市キャンパス	2008. 9. 23	ひとはくミニキャラバン in 県政 学会	320
阪神北	県立有馬富士公園	2008. 10. 18-19	ひとはくミニキャラバン in 秋の ありまふじフェスティバル	11680
西播磨	神戸市立櫛谷中学校	2008. 10. 23-30	ひとはくキャラバン「君が未来のフ ァーブル博士！」博物館が学校にやっ てくる	1041
神戸	神戸市立桃台小学校	2008. 11. 1-8	ひとはくキャラバン「君が未来のフ ァーブル博士！」博物館が学校にやっ てくる	1144
神戸	神戸電鉄 谷上駅構内	2008. 11. 1-20	ひとはくミニキャラバン ファーブ ル大作戦	10163
阪神北	川西市黒川 菊炭友の会活動地	2008. 11. 3	ミニ展示「川西市黒川における絶滅危 惧植物エドヒガンの現状」	110
丹波	丹波の森公苑	2008. 11. 8-9	ひとはくミニキャラバン in 丹波 の森フェスティバル	50
淡路	淡路市立しづかホール	2008. 11. 9	ひとはくミニキャラバン in 淡路 のふれあいの祭典	570
神戸	神戸市立広陵小学校	2008. 11. 12-26	ひとはくキャラバン「君が未来のフ ァーブル博士！」博物館が学校にやっ てくる	1183
神戸	神戸市立西脇小学校	2008. 11. 28-12. 8	ひとはくキャラバン「君が未来のフ ァーブル博士！」博物館が学校にやっ てくる	1318
神戸	神戸市立東舞子小学校	2008. 12. 10-18	ひとはくキャラバン「君が未来のフ ァーブル博士！」博物館が学校にやっ てくる	1879

1. 香美町（但馬）

キャラバン参画者の所属

有限責任中間法人 ハチ北高原自然協会（ハチ北観光協会）

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
ハチ北自然案内人講座・初夏の自然観察会	2008/6/3 ー4	兵庫県香美町（ハチ北高原）	20	植物の観察・同定と、どの場所に 何の植物があったかの花マップづ くり	高橋・秋山・ 福田
ハチ北自然案内人講座・秋の自然観察会	10/8	ハチ北高原	9	キノコ類の観察・同定と、どの場 所に何があったかのキノコマップ づくり	高橋・秋山・ 山本

2. 丹波市（丹波）

キャラバン参画者の所属

丹波県民局、丹波市企画部恐竜を活かしたまちづくり課、上久下自治会、上久下振興会、篠山層群をしらべる会、地元・県内在住ボランティア

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
丹波竜フェスティバル 展示解説ツアー	5/3	丹波市山南住民センター	91	丹波竜を展示したひとはく、西日本自然系博物館ネットワーク各館の展示を解説	佐藤，松原
丹波竜フェスティバル 展示解説ツアー	5/4	丹波市山南住民センター	152	丹波竜を展示したひとはく、西日本自然系博物館ネットワーク各館の展示を解説	先山，小林，池田
第2次発掘速報 & 恐竜化石を活かしたまちづくりシンポジウム	5/4	やまなみホール	340	恐竜化石の発掘報告が行われ、恐竜化石を活かしたまちづくりに関して討論が行われた	中瀬，三枝
丹波竜フェスティバル 展示解説ツアー	5/5	丹波市山南住民センター	143	丹波竜を展示したひとはく、西日本自然系博物館ネットワーク各館の展示を解説	古谷，半田
化石クリーニング体験	8/9	丹波市山南町やまなみホール	70	サメ化石を使った化石クリーニングの模擬体験から、化石クリーニングの難しさを実感。	池田・松原
サマーキッズスクール・君もたんぱりゅう化石の発見者！	8/9	丹波市山南住民センター	39	丹波の恐竜化石の発掘残土から恐竜化石を探す。	池田・松原
化石発見市民フォーラム	8/20	篠山市篠山市民センター	113	篠山層群産脊椎動物化石に関する講演と参加者によるディスカッション	三枝

3. 佐用町（西播磨）

キャラバン参画者の所属

佐用町教育委員会、佐用町三河地域づくり協議会、佐用町南光支所、佐用町上月支所、佐用町昆虫館、NPO 法人こどもとむしの会

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
丹波の恐竜化石の学習	7/24	ひとはく恐竜ラボ山南ルームと発見現場	16	丹波の恐竜化石について、産状レプリカ等レプリカや化石、発掘現場を活用して解説・学習	三枝
ナイトウォーク	7/24	丹波少/自然の家	16	カモフラージュや丹波の森についてゲームを通して学習	嶽山
森の美術館	7/24	丹波少/自然の家	16	恐竜がひそんでいそうな場所を子ども達が探すプログラム	嶽山
博物館内の恐竜関連施設解説	7/25	人と自然の博物館	16	館の恐竜化石展示、ひとはく恐竜ラボを活用した解説・学習	先山
恐竜ピザの制作	7/25	人と自然の博物館	16	ピザの材料で恐竜の絵を描くプログラム	嶽山
空想恐竜図鑑をつくろう	7/25	人と自然の博物館	16	歯や骨の化石から恐竜の全体像や生活史を創造するプログラム	嶽山
計画づくりのために ―協働のまちづくり（佐用町）―	1/10	佐用町南光支所	40	地域づくり協議会による計画づくりの策定方法	藤本

4. 川西市（阪神北）

キャラバン参画者の所属

環境省、阪神北県民局、財団法人兵庫県園芸・公園協会一庫公園管理事務所、菊炭友の会

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
エドヒガン調査講習会	6/10	川西市黒川	10	菊炭友の会のメンバーとともにエドヒガン調査の実習を実施	石田・黒田
北摂里山講座	12/13	人と自然の博物館	150	川西市とその周辺地域に偏在する絶滅危惧植物エドヒガンの調査方法について実習を行った。	服部、石田、黒田
里なび研修会 in 兵庫	12/20	一庫公園および川西市黒川周辺	55	阪神北県民局との共催事業。北摂地域に分布する里山林の現状と今後の保全・管理のあり方について講義を行った。	服部、橋本、石田、黒田
北摂里山検定	1/11	人と自然の博物館	137	環境省との共催事業。台場クスギとエドヒガンの現状に関する講義のほか、それらの調査方法について実習を行った。	服部、石田、橋本、黒田

5. 芦屋市（阪神南）

キャラバン参画者の所属

NPO 法人さんびーす・芦屋川に魚を増やそう会・芦屋市

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
芦屋川探検隊：水生生物を調べてみよう	7/27	芦屋市 芦有ゲート前 芦屋川上流域	110	芦屋川上流において水生昆虫や魚類等の観察を行った。都市近郊にありながら、渓流域の多様な水生生物を観察できるスポットを紹介した。	三橋
芦屋川で学ぼう、遊ぼう、子ども探検隊	10/24	芦屋川	45	都市河川である宮川の河口から中流にかけて、親子で川の中を歩いて、様々な水生生物を観察した。	三橋
グリーンマップをつくろう	11/22	あしや市民活動センター	30	芦屋市の市街地において、モクズガニの夜間観察会を実施した。	三橋
芦屋川探検隊～恐竜の発掘現場見学&化石のレプリカ作り～	2009/2/14	人と自然の博物館、丹波市恐竜発掘現場	20	芦屋川沿いの自然の状況を、一般の方々と一緒にグリーンマップとして記入することを試みた。	三橋・遠藤、先山、春名

6. 三田市（阪神北）

キャラバン参画者の所属

水辺のフィールドミュージアム研究会、ありまふじフェスティバル実行委員会、有馬富士公園運営・計画協議会（兵庫県、三田市、人と自然の博物館、兵庫県園芸・公園協会、住民委員）

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
虫とりから学ぶ	2008/5/3-4	県立有馬富士公園	31	有馬富士フェスティバルの一貫として、公園内にて昆虫採集と観察を行った。	大谷
はじめてのバードウォッチング	2008/5/3-4	県立有馬富士公園	28	有馬富士フェスティバルの一貫として、公園内にてバードウォッチングを行った。	遠藤
春の草花しらべ	2008/5/3-4	県立有馬富士公園	17	有馬富士フェスティバルの一貫として、公園内にて春の植物観察を行った。	藤井、福田
プランクトン採集	2008/5/3-4	県立有馬富士公園	58	有馬富士フェスティバルの一貫として、福島大池にて動物プランクトンの採集と観察を行った。	三橋
カエルウォーク	2008/5/3-4	県立有馬富士公園	39	有馬富士フェスティバルの一貫として、公園内の水田等にて両生類の観察を行った。	田口

7. 三田市（阪神北）

キャラバン参画者の所属

ありまふじフェスティバル実行委員会、有馬富士公園運営・計画協議会（兵庫県、三田市、人と自然の博物館、兵庫県園芸・公園協会、住民委員）

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
自然観察講座	2008/10/18	県立有馬富士公園	10	有馬富士公園で見られる様々な植物の観察会を行った。	藤井
自然観察講座	2008/10/19	県立有馬富士公園	10	有馬富士公園で見られる様々な植物の観察会を行った。	小館

8. 神戸市（神戸）

キャラバン参画者の所属

神戸市立広陵小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
化石のレプリカ作り	11/15 日	神戸市立広陵小学校	100	本物の化石（アンモナイト・三葉虫）から自分で型どりをして、レプリカ製作を行った。	平松・春名

9. 神戸市（神戸）

キャラバン参画者の所属

神戸市立西脇小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
化石のレプリカ作り	11/29	神戸市立西脇小学校	40	本物の化石（アンモナイト・三葉虫）から自分で型どりをして、レプリカ製作を行った。	春名
化石のレプリカ作り	12/8	神戸市立西脇小学校	81	本物の化石（アンモナイト・三葉虫）から自分で型どりをして、レプリカ製作を行った。	平松・春名

10. 神戸市（神戸）

キャラバン参画者の所属

神戸市立糺台小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
化石のレプリカ作り	12/3	神戸市立糺台小学校	70	本物の化石（アンモナイト・三葉虫）から自分で型どりをして、レプリカ製作を行った。	平松・春名

11. 神戸市（神戸）

キャラバン参画者の所属

神戸市立狩場台小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
化石のレプリカ作り	12/5	神戸市立狩場台小学校	38	本物の化石（アンモナイト・三葉虫）から自分で型どりをして、レプリカ製作を行った。	平松・春名

12. 神戸市（神戸）

キャラバン参画者の所属

神戸市立東舞子小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
ミツバチの観察	12/18	神戸市立東舞子小学校	300	ミツバチの生態などについて、スライドを使って子どもたちにわかりやすく解説した。	大谷

【アウトリーチプログラム】

月	地域	事業名	場所	開催日	博物館の 関わり方	連携相手	内容種別
4	阪神北	展示交流員養成講座	人と自然の博物館	2008/4/12	共催	特定非営利活動法人 キッピーフレンズ	そのほか
4	神戸	平成20年度「六甲山環境整備協 議会」	六甲山記念碑台周辺地 域	2008/4/1-2009/3/31	協力	六甲山自然保護センタ ーを活用する会	そのほか
4	神戸	平成20年度「六甲山魅力再発見 市民セミナー」	県立六甲山自然保護セン ター	2008/4/1-2009/3/31	協力	六甲山自然保護センタ ーを活用する会	セミナー
4	神戸	森林ボランティアフォーラム「地球 温暖化と森林ボランティア」	兵庫県森林ボランティア 連絡協議会	2008/4/29	後援	NPO法人 ひょうご森の 倶楽部	シンポジ ウム
4	中播磨	～民俗学のふるさと・銀の馬車道 ふれあい事業～「歴民に化石が やってくる！」～第2幕 中生代～	福崎町立神埼郡歴史民 俗資料館展示室	2008/4/26-5/11	共催	福崎町教育委員会	展示
4	神戸	平成20年度六甲山環境整備協 議会「環境調査の設計」	六甲山記念碑台周辺地 域	2008/4/1-2009/3/31	協力	六甲山自然保護センタ ーを活用する会	そのほか
4	大阪府	「恐竜と太古の海の生きもの」展	天保山マーケットプレース ディスカバリールーム	2008/4/25-6/1	協力	大阪ウォーターフロント開 発株式会社	展示
4	大阪府	大阪市自然史博物館・特別展「よ うこそ恐竜ラボへ」	大阪市自然史博物館	2008/4/26-5/18	共催	ようこそ恐竜ラボ大阪実 行委員会	展示
4	阪神北	平成20年度NPO法人さんぽくら ぶ企画セミナー	人と自然の博物館ほか	2008/4/10,6/7,8/5,8/ 21,8/28,9/22,10/1	協力	ひとはく連携活動グルー プ NPO法人さんぽくら ぶ	セミナー
5	阪神北	ガキッコクラブ5月イベント かえっ こバザール	県立有馬富士公園	2008/5/3-4	共催	ひとはく連携活動グルー プ ガキッコクラブ	そのほか
5	北播磨	NPO法人北播磨市民活動支援セ ンター 北播磨自然観察サポ ーターチーム活動への支援事業	小野市うるおい交流館エ クラ	2008/5-2009/3	共催	NPO法人 北播磨市民活 動支援センター	そのほか
5	阪神北	2008猪名川町生涯学習カレッジ 「リバグレス猪名川」	猪名川町中央公民館ほ か	2008/5/17,5/24,6/7,6 /21,7/5,7/26, 9/6, 9/20, 10/18, 11/15, 11/22, 12/20, 2009/1/17, 2/14, 3/7	共催	猪名川町生涯学習セン ター	セミナー
5	神戸	環境フォーラム IN “神戸”～身 近な自然と都市との共存～	兵庫県看護協会 2F 「ハーモニーホール」	2008/5/15	後援	兵庫県神戸県民局	シンポジ ウム
5	丹波	ゴールデンウィーク「恐竜フェス ティバル」	コモレ センターコート	2008/5/2-6	協力	株式会社 丹波の森 ショッピングタウン	展示
5	神戸	東お多福山～草原の生物多様性 保全事業	六甲山東お多福山	2008/5-11	協力	ブナを植える会	その他
5	神戸	ミツバチの飼育と管理について	神戸女学院大学	2008/5/15	協力	神戸女学院大学人間科 学部	その他
5	阪神北	かわいひる春をみつけよう スペ シャル 今年はホテルを見に行こ う	三田市波豆川	2008/6/14	共催	ひとはく連携活動グルー プ run♪run♪plaza	セミナー
5	神戸	キンピール神戸工場 ビオトープ 調査会	キンピール神戸工場	2008/5/21,28	共催	キンピール株式会社	そのほか
6	丹波	第3回 姫ポタルまつり	丹波市	2008/6/14-7/5	共催	姫ポタルまつり実行委員	その他
6	淡路	化石展「地球46億年の旅」	三原パルティ1階 セン ターコート	2008/6/5-20	共催	南あわじ市教育委員会	展示
6	神戸	公開シンポジウム「GOP10Iに向け て 兵庫から 生物多様性を考え よう」	神戸市生田文化会館	2008・6・28	共催	生物多様性JAPAN	シンポジ ウム
6	大阪府	ブラジル、ブラジル！ひやくねんめ いのアミーゴ	キッズプラザ大阪	2008/6/18-7/6	協力	キッズプラザ大阪	展示
6	阪神北	大谷先生と歩く、武庫川大曲ハタ ル観察会	武庫川大曲	2008/6/8	協力	ゆりのきフィールドウォー カー	セミナー
6	神戸	小学校自然学校「昆虫採集・標本 づくり」	神戸市立道場小学校	2008/6/24,7/10	協力	神戸市立道場小学校	そのほか
6	阪神南	ホテル観察のタベ	宝塚市北部	2008/6/21	後援	宝塚市自然保護協会	セミナー
7	北播磨	①昆虫採集と標本づくり②昆虫展 「北はりま昆虫展」	北はりま田園空間博物館	2008/7/12, 7/25, 8/2-17	共催	NPO法人 北はりま田園 空間博物館	展示・セ ミナー
7	阪神北	ドリームスタジオ体験セミナー	人と自然の博物館	2008/7-9	共催	NPO法人 人と自然の会	セミナー
7	但馬	「森の妖精との素敵な出会い」ヒメ ポタル鑑賞会	ハチ北高原	2008/7/12-13	共催	有限責任中間法人ハチ 北高原自然協会	その他
7	阪神北	科博コラボミュージアム in ひと はく「絶滅のおそれのある植物」	人と自然の博物館	2008/7/1-13	共催	独立行政法人国立科学 博物館	展示
7	淡路	花と虫の物語～南米の昆虫たち	淡路夢舞台「奇跡の星の 植物館」	2008/7/26-8/31	共催	財団法人淡路花博記念 事業協会	展示・セ ミナーそ の他
7	北播磨	国史跡広渡庵寺跡歴史公園夏季 特別展-今年の夏は、広渡庵寺で 化石を見よう！-「植物化石の魅 力をさぐる」	国史跡広渡庵寺跡歴史 公園 ガイダンスホール	2008/7/19-9/15	共催	小野市教育委員会	展示
7	大阪府	たかつき子ども自然体験学校 昆 虫標本づくり	大阪府衛生会地域交流 支援センター	2008/7/20, 8/24	共催	特定非営利活動法人 た かつき	セミナー
7	神戸	恐竜ふれあい展	瑞宝園	2008/7/20-8/31	共催	地方職員共済組合 有馬 保養所瑞宝園	展示
7	神戸	兵庫県立六甲山自然保護セン ター 夏休み特別展示	六甲山自然保護センタ ー	2008/7/20-8/31	共催	兵庫県神戸県民局	展示
7	西播磨	平成20年度西播磨エコプレーヤー 塾	西播磨総合庁舎	2008/7/4	協力	兵庫県西播磨県民局県 民生活部環境課	セミナー
7	島根県	夏期企画展「びっくり！どっきり！ 大化石展」	島根県三瓶自然館	2008/7/4-9/28	協力	島根県三瓶自然館	展示
8	阪神南	第4回 みやまあかね祭り	宝塚ゴルフクラブ	2008/8/25	共催	ひとはく連携活動グルー プあかねちゃんクラブ	そのほか
8	神戸	2008年夏の六甲山「子どもパーク レンジャー」を育てよう	神戸市立六甲山小学校・ 記念碑台周辺	2008/8/3	協力	六甲山自然保護センタ ーを活用する会	その他

8	阪神北	兵庫県立人と自然の博物館“ひとはくファール大作戦！”プレイベント「ひとはくファール大作戦！（鳴く虫編）」	中兵庫信用金庫 ウッディタウン支店	2008/8/6-9/5	共催	中兵庫信用金庫ウッディタウン支店	展示・セミナー
8	丹波	丹波竜サマーキッズスクール	山南住民センター	2008/8/7-10	共催	丹波市役所・丹波市恐竜を生かしたまちづくり協議	展示・セミナー
8	丹波	恐竜化石特別展示会	山南住民センター	2008/8/11-17	共催	丹波市役所	展示
8	丹波	化石発見市民フォーラム・化石一般公開	篠山市民センター	2008/8/20-31	共催	篠山市役所	展示・シンポジウム
8	阪神北	昆陽池フォーラム	伊丹市労働福祉会館（スワンホール）大ホール	2008/8/31	共催	伊丹市	シンポジウム
9	三重県	関西の恐竜時代～併催：古琵琶湖層群の化石	伊賀市歴史民俗資料館	2008/9/24-12/23	協力	財団法人 伊賀市文化都市協会	展示
9	神戸	シャガール展・ファール大作戦に関する連携	兵庫県立美術館	2008/9/2-10/19	共催	兵庫県立美術館	展示・セミナー
10	阪神北	企画展「いきもののかたち」	三田市有馬富士自然学習センター	2008/10/11-2009/1/12	共催	三田市有馬富士自然学習センター	展示
10	阪神南	芦屋川で学ぼう、遊ぼう、子ども探検隊	芦屋川	2008/10/24	共催	芦屋川に魚を増やそう会	セミナー・その他
10	大阪府	丹波ツアー	上久下地域づくりセンター、山南ひとはくらぼほ	2008/10/28	共催	豊中駅前まちづくり推進協議会	そのほか
10	大阪府	特別展 地震展2008-今、わかっていること・知ってほしいこと-	大阪自然史博物館	2008/10/25-12/7	協力	大阪自然博物館	展示
10	阪神北	里山観察会	能勢妙見山	2008/10/26	協力	川西里山クラブ	セミナー
11	阪神北	丸山湿原エコミュージアム推進協議会 発足記念フォーラム みんなで湿原をまもるには～湿原の生物多様性 その保全と再生～	宝塚西谷の森公園 多目的室	2008/11/2	協力	丸山湿原エコミュージアム推進協議会	フォーラム
11	西播磨	がんばれ昆虫館セール	佐用町昆虫館	2008/11/30	協力	NPO法人子どもと虫の会	そのほか
11	神戸	神戸大学学園祭「六甲祭」第2ステージ	神戸大学六甲台地区キャンパス	2008/11/8-9	協力	神戸大学放送委員会	そのほか
12	阪神北	昆虫学公開研究発表会	人と自然の博物館 ホロンピアホール	2008/12/13	共催	日本昆虫学会近畿支部	シンポジウム
12	淡路	化石展「和泉層群の世界」	三原ショッピングプラザ・バルティ1階 センター	2008/12/10-2009/1/31	共催	南あわじ市教育委員会	展示
1	淡路	北淡活断層シンポジウム2009	北淡震災記念公園セミナーハウス	2009/1/10	共催	北淡活断層シンポジウム実行委員会	シンポジウム
1	阪神北	三田市小学校理科担当者会及び三田市教育研究グループ理科部会の合同授業研修会	人と自然の博物館、富士が丘化石公園	2009/1/22	共催	三田市教育研究グループ理科部会	セミナー
1	神戸	おもしろ理科教室	神戸市立有野児童館	2009/1/28	協力	神戸市立有野児童館	セミナー
1	阪神南	阪神・淡路大震災 犠牲者追悼のつどい 第14回 あなたの思いを灯してください	伊丹市昆陽池公園	2009/1/16-17	協力	ボランティア団体 ユー・アイ・アソシエーション	その他
1	阪神北	公開授業「大地をさぐる」	人と自然の博物館、富士が丘化石公園	2009/1/21、28	協力	三田市立狭間小学校	セミナー
1	淡路	淡路夢舞台ラン展2009	兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」	2009/1/24-3/1	協力	財団法人淡路花博記念事業協会	展示
1	西播磨	蔵出し資料展 播磨のファール大上宇市の昆虫記	たつの市役所新宮総合支所ロビー	2009/1/6-2/10	協力	たつの市教育委員会文化財課	展示
1	神戸	地球だい好き環境キャンペーン「自然のたからもの～丹波竜＆コウノトリに会おう！～」	大丸神戸店9階特設会場	2009/1/7-12	共催	NHK神戸放送局	展示
1	阪神南	丸山湿原エコミュージアム推進協議会 第3回丸山湿原セミナー	県立宝塚西谷の森公園 多目的室	2009/2/28	協力	丸山湿原エコミュージアム推進協議会	セミナー
2	丹波	節分草まつり	江古花園	2009/2/8	後援	江古花園	そのほか
2	中播磨	ひとはくファール大作戦 in 柳田記念館	(財)柳田國男・松岡家顕彰会記念会館2階 講堂	2009/2/14-3/22	共催	財団法人 柳田國男・松岡家顕彰会記念館	展示・セミナー
2	東播磨	資料展示「見て、読む大恐竜展～失われた地球最大の生きものたち～」	兵庫県立図書館 調査相談室・郷土資料館	2009/2/20-3/18	協力	兵庫県立図書館	展示・そのほか
3	阪神北	第7回展示交流員養成講座	人と自然の博物館	2009/3/29-4/25	共催	特定非営利活動法人キッピーフレンズ	セミナー
3	阪神北	第1回 関西・中国地区のチョウ類の保全を考える集い	人と自然の博物館 第セミナー室	2009/3/1	共催	特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会	シンポジウム
3	東播磨	天文春分祭「天文ひとはく科楽セミナー」	明石市立天文科学館	2009/3/20-22	協力	明石市立天文科学館	セミナー

サイエンスショー2008 出展者一覧

No	タイトル	所属	氏名
1	デジタル紙芝居		フロアスタッフ
2	葉脈標本をつくろう	県立神戸高等学校	稲葉浩介
3	ゾウムシ学序論	人と自然の博物館	沢田佳久
4	チリメン DE BINGO	県立伊川谷北高等学校	名生修子
5	音の世界へ Let's Go!	県立三田祥雲館高等学校	景山嘉祐 三戸尚美
6	ミンミンゼミを作ろう	県立篠山鳳鳴高等学校	宇治宮隆文
7	ロボット	ビー・エル・オートテック(株)	ビー・エル・オートテック
8	風景を見る！万華鏡	宝塚市荒井小学校	赤松祐人 井上千和
9	シャボン玉で遊ぼう	県立小野高等学校	小野高校科学部
10	天然ビーズアクセサリー	県立湊川高等学校	新井敏夫
11	押し花のしおりづくり	人と自然の会 花工房	人と自然の会
12	彩色勾玉	人と自然の会 古代の会	人と自然の会
13	バランストンボ・浮沈子	ケニス株式会社	玉谷勝彦
14	電気のしくみを体験しよう	関西電力株式会社	関西電力株式会社
15	見える？右手の法則	神戸市立有野北中学校	佐藤善信
16	水に浮くもの沈むもの	丹波市立西小学校	渡辺克己
17	まゆ玉でつくる指人形	県立篠山鳳鳴高等学校	篠谷和彦
18	プラナリア再生の秘密	県立有馬高等学校	土居恭子
19	カラースライム作り		フロアスタッフ
20	ペットボトルでビーズづくり		フロアスタッフ
21	あそぼう！水の実験		フロアスタッフ
22	古代船をつくろう！		県立考古博物館
23	-196℃の世界を体験	県立明石高等学校	東田純一
24	放射線 or 放射能って何	県立丹波の森協会	足立幸謙
25	自分の DNA を抽出しよう	県立小野高等学校	片山貴夫
26	ブタの目の解剖	県立鈴蘭台西高等学校	深水正和
27	ウミホタルの発光	県立兵庫高等学校	奈島弘明
28	風に向かって進む風車カー	神戸市水の科学博物館 OB	齋藤賢之輔
29	惑星ヤジロベーをつくろう！	人と自然の会 星の会	人と自然の会
30	日食を観察しよう	県立有馬高等学校	谷川智康
31	アルギン酸ボール	丹波市立和田中学校	中西勝廣
32	紫キャベツで CO2 センサー	県立伊川谷北高等学校	名生修子
33	水溶液の仲間分け	丹波市立西小学校	細見隆明
34	聴診器	神戸市立兵庫商業高等学校	山本恵昭
35	ガリレオプロジェクト	県立須磨東高等学校	サイエンス部
36	簡単な手作り楽器	篠山養護学校	足立晃一郎

ひとはくフェスティバル'08 参画団体リスト（順不同）

■実行委員会・後援・協賛

1. 兵庫県阪神北県民局
2. 株式会社北摂コミュニティー開発センター
3. 株式会社ミツカングループ本社
4. 財団法人兵庫丹波の森協会
5. 神戸三田新阪急ホテル
6. 中兵庫信用金庫
7. 株式会社エフコーポレーション

■ステージ開催団体

1. 三田学園高等学校
2. 県立西陵高等学校
3. 県立有馬高等学校
4. 県立祥雲館高等学校チアリーディング
5. 県立祥雲館高等学校吹奏楽部
6. 県立北摂三田高等学校

■イベント開催団体

1. 神戸市立須磨海浜水族園ボランティア
2. みんぱくミュージアムパートナーズ
3. 西宮市貝類館
4. 篠山チルドレンズミュージアム「ミュージアム・クラブ」
5. キッズプラザ大阪
6. 三田マッキントッシュ・ユーザーズグループ
7. 三田さんでいプロジェクト実行委員会
8. 考古博物館ボランティア・考古楽倶楽部
9. 九州国立博物館
10. 伊丹市昆虫館友の会
11. ささやまの森公園運営協議会
12. やしろの森公園運営協議会
13. ゆめさきの森公園運営協議会
14. 国見の森公園運営協議会
15. なか・やちよの森公園運営協議会
16. 宝塚西谷の森公園
17. 兵庫県立有馬富士公園
18. 三田市立有馬富士自然学習センター
19. ミュージアムショップ(株)エフコーポレーション

20. 兵庫陶芸美術館

21. 明石市立天文科学館

■イベント開催団体（ひとはく連携グループ）

1. run♪run♪plaza

2. テネラル

3. NPO 法人 人と自然の会「ネイチャー・クラフトクラブ」

4. NPO 法人 人と自然の会「里山クラブ」

5. NPO 法人 人と自然の会「花工房」

6. NPO 法人 人と自然の会「古代の会」

7. NPO 法人 人と自然の会「理科ボックスクラブ」

8. NPO 法人 人と自然の会「みつばち研究会」

9. NPO 法人 人と自然の会「星の会」

■飲食系出店団体

1. ボーイスカウト三田第一団

2. 社会福祉法人まほろば

3. ミツカンよかわビオトープ倶楽部

4. 神戸三田新阪急ホテル

5. ガールスカウト日本連盟兵庫県第90団

6. 企業組合氷上つたの会

7. あいな育みの会（あいな茶屋）

フロアサービス実績一覧 2008年度 (08年4月～09年3月)

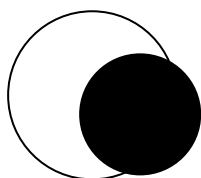
イベント名	内容	参加者数	実施回数
デジタル紙芝居	「アリマキのドロップ」	1340	57
	「たんぼぼレストラン」	804	22
	「ぶくぶくあわわ～森から川へのおくりもの～」	1410	57
	「コウちゃんの60日間」	155	4
	「スミスネズミと100年の森」	1462	94
	「ススキ草原のオーケストラ」	680	32
	「アリクイサスライアリ」	822	15
	「ファールブルふん虫記」	1105	49
	「うりんぼのごちそう」	640	33
レトロ紙芝居	「ファールブルふん虫記」	1105	49
展示解説	「ボルネオジャングル探検」	1145	78
	「いのちの歴史ツアー」	84	8
	「丹波の恐竜化石ツアー」	495	23
	「ファールブルにまなぼうツアー」	588	46
	「氷上回廊」	18	3
フロアスタッフとあそぼう	「うきうきおりがみ」	54	4
	「虫ムシ宝探しラリー」	109	6
	「画はくの日」	358	25
	「恐竜万華鏡づくり」	118	4
	「たんぼぼの切り紙あそび」	75	4
	「川で魚つり」	211	8
	「葉っぱDEカルタ」	53	4
	「シダDEカルタ」	20	2
	「くるくるとぶたね」	61	4
	「風にのってとぶたね」	44	2
	「かたつむりペーパークイリング」	36	2
	「リサイクル工作」	118	7
	「アメリカマストドンのうちわづくり」	35	2
	「ひとはく化石ツアー」	62	2
	「昆虫バルーンアート～トンボをつくろう」	79	3
	「昆虫万華鏡づくり」	112	5
	「クリスマス万華鏡づくり」	51	2
	「治虫、オサムシどんな虫？」と手塚治虫記念館めぐり大会」	57	1
	「ファールブル昆虫ペーパークラフト」 (内訳: ちょうちょペーパークイリング、昆虫切り紙)	134	9
	「ファールブルクイズ大会①②」	238	11
	「クイズ王大会」	61	1
	「ムシがお おめんを作ろう！」	95	4
	「ファールブル昆虫おりがみ」	102	6
	「スノーボトルをつくろう！」	16	1
	「おり紙でクリスマスリースをつくろう！」	7	1
	「コルクでリースづくり」	14	1
	「ぐるぐるモビール」	43	3
	「折り紙の小さなおひな様」	1	1
深田公園うきうき探検隊	テーマ:「初夏の草花」、「初夏の公園の植物」、「盛夏の公園の植物」、「苔と落ち葉」、「冬枯れの中の苔」、「冬の鳥」	68	7
そのほか	「特注デジタル紙芝居」	708	26
	「特注ラブレク」	441	18
	「特注展示室ツアー」	12	1
合計		15446	747

◆科研費等助成金

課 題 名	件 名	助成元	代表者氏名	分担者氏名	金額 (千円)
人間環境としての照葉樹林の植物学的解析－中国と日本を対比して－	科研費(海外学術基盤B)	日本学術振興会	岩槻邦男	橋本佳延	2,730
自然史系博物館の連携研究員養成法の研究	科研費(基盤C)	日本学術振興会	岩槻邦男	高橋 晃・春名潤一・川東	1,560
篠山層群産恐竜化石の研究	科研費(基盤B)	日本学術振興会	三枝春生	松原尚志・池田忠広	6,110
有孔虫化石の群集解析によるペルム系・三畳系石灰岩の起源と搬入・定置過程	科研費(基盤C)	日本学術振興会	小林文夫	－	1,690
近畿三角帯とその周辺地域の中期更新世テクトニクスと地形発達	科研費(基盤C)	日本学術振興会	加藤茂弘	－	3,120
第四紀黎明期の地磁気攪乱－気候とのリンク	科研費(基盤B)	日本学術振興会	兵頭政幸	加藤茂弘	520
博物館等での「演示」の実施による環境学習効果の研究	科研費(基盤C)	日本学術振興会	八木 剛	客野尚志・川東文純	2,600
双子葉植物から単子葉植物への進化の道すじの推定－単子葉植物の起源を探る第一段階－	科研費(基盤C)	日本学術振興会	田村実	布施静香	65
雄しべが動いて性が変わる:フレキシスタイリーの起源と進化に関する研究	科研費(若手B)	文部科学省	高野温子	－	1,300
アリ類種多様性はアリ擬態グモの多様性創出の鋳型となっているか	科研費(基盤C)	日本学術振興会	橋本佳明	遠藤知二・市岡孝朗	1,690
照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究	科研費(基盤C)	日本学術振興会	服部 保	石田弘明・黒田有寿茂	1,430
米国・公園区を事例とした官民協働による地域マネジメント手法に関する研究	科研費(若手B)	文部科学省	赤澤宏樹	－	1,430
フラクタルと自己相関による都市の空間解析とそれに基づく環境評価システムの構築	科研費(若手B)	文部科学省	客野尚志	－	520
ジャワ島中部地震被災地における居住環境の復興に関する総合的研究	科研費(基盤A)	日本学術振興会	重村力	山崎義人	250
口述集積型データベース(LUDS)を用いた自律型景観利用の促進計画	科研費(基盤B)	日本学術振興会	神吉紀世子	山崎義人	600
コウモリはなぜ豊岡盆地で生き残れたのか?－標本と歴史資料が語る生態系のしくみ－	科研費(基盤C)	日本学術振興会	三橋弘宗	－	1,560
アジア産旧世界ザルの道具使用等社会行動に関する研究とその保全	科研費(海外学術基盤B)	日本学術振興会	渡邊邦夫	三谷雅純	650
治水と希少水生生物の保全は両立するか	科研費(基盤C)	日本学術振興会	田中哲夫	－	1,300
ミツバチの尻振りダンスは擬似飛行ではないだろうか	科研費(萌芽)	日本学術振興会	大谷 剛	－	500
合計					29,625

◆受託研究等

件 名	委託元	受託者	金額 (千円)
平成20年度オグラコウホネ等管理業務委託	兵庫県丹波県民局	服部 保	1,160
シダ類, ラン類の栽培等業務	財団法人ひょうご環境創造協会	服部 保	1,700
平成20年度尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務	阪神南県民局	服部 保	1,100
平成20年度 自然環境調査補足業務(経年変化調査)	三田市	服部 保	1,500
平成20年度川西市北部の里山の現状調査	川西市	服部 保	2,000
平成20年度北摂里山検定業務	阪神北県民局	服部 保	500
国道178号道路緑化作業推進業務	株式会社長大	服部 保	286
ウチワゴケ栽培業務	株式会社総合技術コンサルタント中国支店	服部 保	120
キリンビール神戸工場内レフュジアビオトープ創出に関する研究	キリンビール神戸工場	田中哲夫	700
ひょうごの川・自然環境調査に関する分任業務	兵庫県県土整備部河川計画室	三橋弘宗・田中哲夫・服部 保	4,500
パークマネジメントの人材養成に関する研究 その2	兵庫県阪神北県民局	藤本真里	1,000
ミツカンよかわビオトープと生物多様性に関する研究	株式会社ミツカングループ本社	藤本真里	750
加古川小野線道路改築事業にともなう生痕化石露頭の保存と学校教材化に関する研究	東播磨県民局	先山 徹	1,700
隔離分布する植物を用いた生活史レベルでの種の認識に関する研究	新技術開発財団 植物研究助成	布施静香	1,300
共同利用研究費	京都大学霊長類研究所	三谷雅純	125
水源地域におけるダムと周辺森林相互作用の生態学的研究	(財)ダム水源地域環境整備センター	江崎保男	300
中山間地域における限界集落の増加が生物多様性に与える影響	平成20年度兵庫県立大学特別教育研究助成金	石田弘明	600
国営明石海峡公園神戸地区における参画団体群のソーシャルキャピタル形成と利用増進の可能性	(財)公園緑地管理財団研究助成	赤澤宏樹	600
地域活動支援	JST	山崎義人	190
小屋に着目した「生業景観」の保全に関する研究	兵庫県立大学特別教育研究助成	山崎義人	700
コベルコ環境創造基金	株式会社神戸製鋼所	中瀬勲	1,000
ボルネオジャングルスクール	(財)日本児童教育振興財団		1,700
ボルネオジャングルスクール	学校法人 神戸創志学園		500
簡単で効果あり！ニュータウンの自然を再生する方法をおしえます	花王コミュニティ・ミュージアム・プログラム		500
水源地域におけるダムと周辺森林相互作用の生態学的研究(新規)	(財)ダム水源地域環境整備センター	江崎保男	300
合計			24,831



利用案内

■観覧時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■休館日 毎週月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）
 年末年始（12月28日～1月2日）
 臨時休館日（1月13日～2月6日を予定）

■観覧料（平成19年4月1日現在）

区 分	個人	団体（20人以上）
大人*	200 円	150 円
高・大学生	150 円	100 円
小・中学生（県外）	100 円	70 円
小・中学生（県内）**	無料	

*：障害者（介護者1名を含む）及び県内在住の
 65歳以上の方は半額

**：県内在住・在学の小・中学生はココロン
 カードの提示により無料

■ホロンピアホール

文化活動、学習等の催しに利用できます。（客席数500）

使用料（平成19年4月1日現在）

時間帯	9時～12時	13時～17時	9時～17時
（土日祝）	5,500 円	7,000 円	12,500 円
（平日）	4,400 円	5,600 円	10,000 円

なお、附属設備の料金については別に定めます。

■交 通 神戸電鉄フラワータウン駅下車すぐ。
 神姫バスフラワータウンセンター前下車すぐ。
 中国自動車道神戸三田より5分。

■駐車場 バス 13台 無料（要予約）
 普通車は近隣の有料駐車場をご利用ください。



博物館周辺図



広域周辺図



ANNUAL REPORT
Of
Museum Of Nature and Human Activities, Hyogo
For The Fiscal Year Of 2008
Yayoigaoka 6, Sanda, Hyogo 669-1546, Japan